

発 刊 登 録 番 号

11-B553448-000006-01

OPEN



공공누리

공공 저작물 자유이용허락

日帝強制動員被害者支援財団 翻訳叢書 2 口述記録集

朝鮮という 私たちの国があったのだ

日帝強占下強制動員被害真相糾明委員会 編



日帝強制動員被害者支援財団

発 刊 登 録 番 号

11-B553448-000006-01



日帝強制動員被害者支援財団 翻訳叢書 2 口述記録集

朝鮮という 私たちの国があったのだ

日帝強占下強制動員被害真相糾明委員会 編



日帝強制動員被害者支援財団

日帝強制動員被害者支援財団 翻訳叢書 2 口述記録集

朝鮮という私たちの国があったのだ

初版 1刷 印刷 2019年 12月 13日

初版 1刷 発行 2019年 12月 16日

編 著 国務総理室所属・日帝強占下強制動員被害真相糾明委員会
翻 訳 日本語翻訳協力委員会
最終監修 崔永鎬(霊山大学 教授)

発行人 金容徳

発行処 日帝強制動員被害者支援財団
ソウル特別市鐘路区鍾路1ギル42 利馬Bldg. 6F
<http://www.ilje.or.kr>

発刊登録番号 11-B553448-000006-01

デザイン・編集 21世紀教育社(Design21)

本書の全部または一部を無断で複写複製(コピー)することは、
著作権法上での例外を除き、禁じられています。

表題説明

“朝鮮という私たちの国があったのだ”は、日帝強占期に生まれた人々の場合、日本が母国とばかり思っていたが、解放を迎えはじめて自分の国が朝鮮であることに気付いたことが表れたものである。

凡例

- ― 口述内容中に録音の聞き取りが不可能な単語は****で表示
- ― 補助口述者の口述は、内容の前に★表記をし、口述者と補助口述者が同時に話した場合は便宜上、口述者は◎、補助口述者は★表記
- ― 簡単な説明や文章をなめらかに連結するために任意で補われた単語や文章は中間に（ ）表記

本文写真と文献の出处

本文中に挿入した写真は、本委員会へ寄贈されたものや証拠資料として提出された写真の中から口述者の内容と関連するものが選ばれた。本文中に挿入した文献は、国家記録院所蔵の記録で、本委員会に調査のために使用を許可された記録であり、被害者本人の同意のもとに掲載した。

発刊の辞(日本語版)



財団法人日帝強制動員被害者支援財団は、2004年から2015年まで活動した「対日抗争期強制動員被害調査及び国外強制動員犠牲者等支援委員会」(委員会)の事業を承継しました。したがって、弊財団は日帝強制動員被害者と遺族のための追悼及び支援事業、強制動員被害に関する学術研究・調査及び文化事業、国立日帝強制動員歴史館の運営などを主管しております。

このうち、「委員会」解散後中断されていた冊子の翻訳・発刊事業につきまして、今年から日帝強制動員出版事業に拡大・改編し、発刊を迎えることとなり、心より感謝を申し上げます。

今年、弊財団から日帝強制動員出版事業として発刊される冊子は全5種あります。まず、「委員会」当時日本の種々の市民団体、関連研究者及び個人の方々にご助力いただいて翻訳された「委員会」真相調査報告書2種(日本語版)と口述記録集2種(日本語版)、そして、今年弊財団が関係遺族から原本記録の寄贈を受け、検討・監修を行って発刊することとなった強制動員手記集1種(韓国語版)であります。

発刊される「委員会」真相調査報告書2種は、『朝鮮人BC級戦犯に対する真相調査』と『ハワイ捕虜収容所における韓人捕虜に関する調査』であり、口述記録集2種は、『ポンポン船に乗って帰る途中、海の幽霊になるところだったよ』と『朝鮮という私たちの国があったのだ』であります。強制動員手記集1種は、日帝によって強制動員され、日本沖縄県の座

間味島で米軍の捕虜になった後、帰還された故チャン・ユンマンさんの話です。弟さんのチャン・ジェダルさんが筆写した原本記録「大東亜戦争実記集」を遺族のチャン・ヒョンジャさんからお受けし、『太平洋戦争実記集』という題で発刊するに至りました。

このような意味のある事業を弊財団が再開できるよう、多くのご尽力をいただきました韓国と日本の発刊委員と監修者の皆様方に深謝申し上げます。また、本事業が「委員会」当時発刊された主要書籍の単なる翻訳・発刊にとどまることなく、日帝強制動員全般に対する出版事業として一層拡大され、その意義を受け継いでいけるように口火を切ってくださった故チャン・ユンマンさんの遺族、チャン・ヒョンジャさんにも心より感謝申し上げます。

弊財団は2019年を皮切りに、中断されていた「委員会」発刊冊子の翻訳事業を再開するとともに、日帝強制動員全般に対する多様な学術資料や教育資料の発刊などを今後とも続けられるよう努めてまいります。皆様におかれましては、一層のご愛顧、ご助力を賜りますようお願い申し上げます。この度発刊される冊子が強制動員分野において微力ながら小さな踏み台となり、国内外の多くの研究者と市民の方々にとって真実と記憶の歴史としてその役目を果たすことをお祈りいたしまして、発刊のご挨拶とさせていただきます。

2019年12月16日

財団法人 日帝強制動員被害者支援財団

理事長 金容徳

김용덕

発刊の辞(韓国語版)

2004年11月に発足し、2006年11月10日に2年を迎える日帝強占下強制動員被害真相糾明委員会は、強制動員被害の真相を糾明し、歴史的真相を明らかにしようと様々な活動を行っています。今回、委員会の発足2周年を迎え、『強制動員口述記録集3 - ポンポン船に乗って帰る途中、海の幽霊になるところだったよ』と『強制動員口述記録集4 - 逃げるって?憲兵が銃で見張っているのに』を発刊することになりました。

委員会は去年から今年6月まで、2回にわたって22万件に達する被害申告を受け付け、5件の真相調査を完了し、関連データの収集と資料集の発行など、具体的な成果をあげています。特に去年末には『強制動員口述記録集1 - タンコだって?』を発行し、去る8月15日には『強制動員口述記録集2 - 黒い大陸に連れ去られた朝鮮人たち』を発行しました。この2冊の口述記録集は、委員会の被害届の調査と真相調査の業務の中で、最も大きな比重を占めている生存者への調査の成果を編集したものです。

『タンコだって?』は2005年の1年間の労務動員生存者の調査成果をもとに作成されましたが、政府によるはじめての口述記録集であるということに大きな意味があります。『黒い大陸に連れ去られた朝鮮人たち』はサハリン強制動員の口述記録をはじめ、強制動員被害当事者の記録である『山中半月記』、新聞記事のリスト、年表、解題など様々な情報を提供する総合的な性格の口述記録集として企画されました。

今回発行する『強制動員口述記録3 - ポンポン船に乗って帰る途中、海の幽霊になるところだったよ』と『強制動員口述記録4 - 逃げるって?憲兵

が見張っているのに』は、去年と今年の2回にわたって行なった忠清道地域の生存者の調査成果を構成して作成した強制動員口述記録集の忠清道編です。この本では口述内容の修正や編集を最小限にし、より充実した口述記録集になるようにしました。特に忠清道地域出身の生存者たちの豊かで多様な口述内容を取り入れるために、九州地域とその他の日本の地域に分けて2巻で発行することにしました。このように国内地域別の特徴を盛り込んだ口述記録集は、今後も着実に発行されるでしょう。

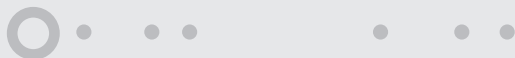
この本が出版されるまで多くの人々の努力がありました。二度にわたって忠清道地域を訪問し、お年寄りから貴重なお話を採録し、編集作業を行った調査1課職員の多くの努力があります。また委員会の調査作業を支援してくださった地方の実務委員会の担当者と支援部署の職員にも感謝いたします。しかし何よりも、この本ができるまでの最大の功労者は24人の口述者のお年寄りです。

口述者が大切な思い出を喜んで口述し、貴重な個人データを提供されたことから、この本が誕生しました。委員会の調査活動に積極的にご協力くださり、口述記録集の出版を許諾してくださった口述者のお年寄りたちに、心から感謝を申し上げます。

最後に、委員会の真相糾明作業への変わらぬご協力とご支援をお願い申し上げます。これからはじめとする各種発行資料や調査活動への激励と叱正をお願いします。

2006年10月31日

日帝強占下強制動員被害真相糾明委員会
委員長 全基浩



目次

発刊の辞(日本語版).....	4
発刊の辞(韓国語版).....	6

日本 | 11

孫永權 • 若いから日本に行かせれば使えるだろう、と送ったのです	13
金永元 • 軍人として召集されたら月給もらうのに軍属としていきなり… これは詐欺だよ、詐欺	27
金元逸 • 真っ暗な夜に車に乗せられ、ひきおろされて(乗ってクサガ(草加) で降りて)	41
柳鍾雲 • 人にするような扱いではなかった	55
薛仁奎 • 人間差別されたうえ飯も少しだけくれて	71
朴魯英 • 検閲を受けて引っ掛かれば手紙も出せない	93
李長民 • 長い剣、ずっと抜いて腹を突き刺したからくらくらして	113
張昌權 • 級長が行かなくては、ついて行かないのだ	137

中国及び東南アジア | 159

朴成春 ● ともかく行こう、と連れて行かれた	161
金濟斗 ● 倒れたら石ころ同然だよ、凍りついて	177
裴英虎 ● ちょっと身動きしても殴られるから	199
金壬用 ● 韓国人もおおぜい死にました、捕虜を虐待したと	225
黄鍾大 ● 逃亡もできない、四方は海だから	247
金顯沂 ● 直ちに行け、といわれたら行くのです	265
金甲天 ● あまりの空腹で髪がどんどん抜けて	291
解題	325
翻訳・最終監修者	341

日本

朝鮮という私たちの国があつたのだ



若いから日本に行かせれば使えるだろう、と送ったのです

孫永權

創氏名	平河宇助
1924.3.2	出生
1942 秋	名古屋 陸軍造兵廠熱田製作所工員として動員
1945.	解放後帰国

どうして徴用で行くことになりましたか？

ソウルで京畿中学校の小使いとして働いていましたが、世間でいう何も聞くなという甲子年生まれで日本の第一次徴兵がありました。それで徴兵検査で第一補充兵判定を受けました。ですが京畿中学校長に島田という校長がいて私を日本に送ってくれました。それで日本に行って名古屋陸軍造兵廠で働いていると解放になったので帰って来ました。

身体検査は受けましたか？

第一次徴兵にひっきり身体検査を受けました。第一補充兵の判定だったので軍隊に行かないで、日本人校長が私を日本に送ってくれました。ですから徴

兵で日本に行ったではなく、その当時は若者が必要だったから日本の奴が私を連れて行ったというか、なんというか選出して送ったのです。

そうすると島田校長が、ご老人を選出して日本へ送ったのですか？

そうです。私を特別に選んで送ったのではなく、若いから日本に行かせれば使えるだろう、と日本へ送ったのです。陸軍造兵廠、軍事施設に送りました。それでそこへ行き仕事をしていると解放になったので帰って来ました。

何歳のとき、徴用されましたか？

私が23歳のとき解放になり帰って来ました。だから行ったのは17歳から18歳になった年に行きましたが、19歳になって陸軍造兵廠に行って働きました。

訓練を受けて陸軍造兵廠に行かれましたか？

いいえ。そこへ行って訓練を受ける必要はなく、そのままそこへ直接行きました。

京畿中学で勤務していて徴用はひとり行きましたか？

そうです。そこでは私一人が行きました。ですが他の場所から来た人と合わせれば数百人いたようでした。軍隊式に小隊程度に集まって1分隊、2分隊と決めて、私たちは陸軍造兵廠弾工場という、いわば弾工場は飛行機のプロペラ(プロペラ)を造るところです。打って鍛えて造る弾工場です。ですが原子爆弾が落ち、空襲がとても激しくなってギフケンセキブンコウジョウ、韓国語で岐阜県関分工場へ疎開しました。つまり避難したのです。避難してニッポントウ、日本刀をつくり解放になって帰って来ました。

行ってどんな仕事をすると教えてくれましたか？

それは知りませんでした。軍隊の秘密かも知れませんが、私は何の説明も聞かされず行きました。だからそこに行って名古屋陸軍造兵廠に配置されました。

そして小隊別に組んで工場別に配置されました。銃弾を製造する場所にも行き、鉄を溶かし練磨する工場に行くなど、数箇所に分かれて行きました。

校長が行けと言って、何日後に行かれましたか？

そうですね。数日して行きました。

釜山港に集合し出発式や歓送式はなかったですか？

その時は日本が負けるか勝つかのときで、そんなのはしませんでした。

行く前に訓練のようなものを受けませんでしたか？

そういうのは徴兵検査前にソウル芳山初等学校でたくさん受けました。その時は司令官の指示通りに訓練も受け精神教育も受けて徴用に(で)行く準備もしました。

京畿中学校小使いとして仕事されていたのに毎日、受けたのですか？

周期的に1ヵ月数回受けました。そしてその時は京畿中学校にいた時でなく、鍾路3街にある他の職場で仕事をしていた時分です。

日本語も学ばれましたか？

日本語は、私自身がまるで日本人のようだったから上手でした。100%できるといって良いほどでしたが、もう60年経ったのでほぼ忘れてしまい簡単な言葉だけ聞き取れます。

釜山港から日本に行く前に軍服のようなものをくれましたか？

ここからはそのままパジ（下衣）で行き、日本に着いて着替えました。

誰かが引率して行きましたか？

日本の奴らはその時、本格的に前に出ないで手下というか韓国人関係者らが引

率して行ったようでした。

銃や剣をつけた軍人や憲兵はいなかったですか？

そういうひとはいなかったです。

釜山港から連絡船に乗船してすぐに着きましたか？

ええ。たぶん10時間もかからず下関、つまりシモノセキに到着しました。

行くとき不便なことはありましたか？ 脅しで気合を入れるというようなこと？

そんなことはありませんでした。

釜山から(に)行く時、知人はいなかったですか？

故郷も以北で、知っている人はいないといえます。

シモノセキに到着し名古屋までどのように行きましたか？

汽車で行きました。

名古屋陸軍造兵廠は市内でしたか？ 郊外でしたか？

市内といえます。アツタセイコショウ、つまり熱田製作所といってすごく大きな工場で、バスでしばらく(少し)回らないと見られません。



1940年 陸軍造兵廠 時期

ではその周辺に他の部隊とか企業はありませんでしたか？

たくさんありました。アイツトケイ¹⁾ など大きな工場がいくつかありました。そしてアイツトケイが爆撃され数千人が死んだ、私たちが臨時で消防車に乗って駆けつけ、頭部が裂けたひと、頭部がばさっと剥がれたひと、手足がもぎれたひとを大勢救助しました。

アイツトケイの漢字はどんな字ですか？

ミツビシ。だから三菱といいます。三菱工場が空襲警報のサイレンを空襲解除と思って、人々が入って仕事をしていて約3千人が死にました。

そうすると熱田製造所のそばに愛知時計や三菱工場がありましたか？

三菱は少し離れていたが、何にせよ名古屋市内にさまざまな工場がありました。

その一帯は工場団地みたいですか？

韓国でいうと仁川、水原、盆唐のような郊外に工場があるので、その工場へ消防車で人々を救助しに何回も行き来しました。

陸軍造兵廠には分隊が何個ありましたか？

そうですね。数はよく分かりませんが韓国人は宿舎に数10人いっしょにいました。

では宿舎では数10人いっしょに生活したのですか？

一番親しく仕事したひとはヒノという水原のひとですが、そのひとしか名前を知りません。ふたりは仲良く避難もいっしょでした。

1) 愛知県名古屋市熱田所在、愛知時計電機船方工場を指すものと見られる。

弾工場では、飛行機のプロペラだけ造りましたか？

いろいろと造りました。プロペラだけ造ったものではありません。私たちは軍隊の秘密は(で)よく分からず飛行機の材料になると思いながら、正確な名前も知らないで鉄を溶かして型だけ造りました。完全な製品を造るではなく型だけ造って、横の工場ではそれを再度削ってまた造るので。そして飛行機の部品だけを造るのではなくて数十種類の型を組んで造りました。

一日の生活を少しお話してください。

朝7時半か8時から仕事が始まり、夕刻6時半か7時半に退勤し、宿所にもどって入浴しました。工場でも入浴できましたが。

食事は3食すべて提供されましたか？

工場では食事したことはなく、宿舎にもどって食べました。とても昔のことなのでよく覚えていませんが、昼食も宿舎で食べたようでした。また宿舎は遠くありません。工場の横からバスに乗って停留所を数箇所往来したので距離的にも遠くありません。

工場はとても大きかったようですね？

とても大きいです。例えば現在の永登浦市内より大きいといえば大きい、小さくはありません。車に乗らないと、徒歩では行けません。もともと距離は遠いです。広い野原です。

土曜日、日曜日でも仕事されましたか？

土曜日まで働き日曜日は休んだのか休まなかったのか。忙しいところだったので日曜日でも仕事のときは仕事をし、休みの時は休んだが、とても時間が経ったのでよく覚えていません。

土曜日にも働きましたか？

土曜日は働きました。その時は毎日のようにB29が爆撃を数百個ずつ落とし夕刻4時頃出撃し朝方4時頃にすんで去りました。

あなた(ご老人)がいた工場も爆撃にあいましたか？

アイゴ、いっぱい爆撃されました。夜に爆撃があるとポプラの木をしっかりと抱いて、こっちに落ちればあっちへ行き、あちらに落ちればそちらへ、ほとんど一晩中ポプラに抱きつき、逃げ回って死の瀬戸際にあいました。

空襲は夜間に頻繁にあったのですね？

夕刻4時頃出撃し朝方4時頃になるとやみます。連続で約20機ずつ投下、投下して8時間ほど連続して空爆します。爆弾を投下すると自分のそばに落ちてこないかと気が気でなく全身がぶるぶるふるえてぐったりします、ぐったりだ。そしてその爆弾が落ちる“サアア”の音がはっきりと耳にこだまします。そしてその時は耳を塞いで目を閉じて口を開いていなくてははいけない。口を閉じていると口が裂けてしまうというので、そうして一晩中数年間を過しました。米国が沖縄上陸後も継続して破壊したのは1、2年あったか。そして結局、広島に原子爆弾が落ちて30万人が亡くなり、長崎に原子爆弾が落ちて15万人が亡くなり、そうしているうちに日本の奴は降伏しました。天皇が。

上官は日本人でしたか？

日本人は内鮮一体、内鮮一体といって上官というより私たちが班長、分隊長を決めました。彼らが大将になったことはなく、一番上に日本人がいるにはいました。

班長、分隊長は朝鮮人でしたか？

そうです。



〈写真〉胸につけたマークが陸軍造兵廠マーク

班長や分隊長はどのような形で選びましたか？

その人たちも私たちと同様です。その人たちがなにか特別に日本人の手先になったのではありません。

階級はありましたか、工員とかの？

そうした階級はありません。工場式の階級はありました。写真のこの丸いのが階級と同じです。長年勤続したひとはこの色がちがいます。青色、黄色です。

賃金を貰いましたか？ 賃金はくれませんでしたか？

賃金を貰わなければ暮らせないでしょ。賃金がなくては小遣いがないでしょ。1ヵ月約200ウォン²⁾ ずつだったか？ 180ウォン、150ウォンずつ貰って、たぶん解放になって帰る頃は250ウォンか200ウォン貰いました。その時の250ウォンは大金です。当時は布地一反80ウォン、100ウォンでした。今なら布地一反は数十万ウォンするでしょう。だから250ウォンだと布地三反の品代になる。だから少ない金ではありません。

毎月、支払われましたか？

そうです。日本の奴はこういうことは徹底しています。徹底してもしなくても、くれなければ私達が我慢できなかったでしょう。私達に小遣いをくれるから、電車賃にして食べたいものも買って食べられた、小遣いもくれず強制すれば餓死してしまう工場に通えますか？ つまり工場に通える能力をくれたということです。

2) ウォン→円

もしや貯蓄を名目に一部だけを支給するとか、全額が支給されましたか？

毎月、日本の奴は月給のようにくれました。

賃金はおもにどのように使いましたか？

市内へ遊びに行くとき車に乗って、菓子など食べたいものを買って食べるには金が必要なのでそれに使いました。だからほとんど小遣いですよ。彼らは月給といいましたが小遣いにしろとくれたものです。

殴打は無かったですか？

それは無いです。その時は私たち韓国青年を利用しなければ持ち堪えられませんでした。青年全員が私たち韓国青年だけでしたから。韓国人全員が若者で20歳前後、そんなひとだけ呼んで使用し、日本人達はみんな軍隊に行って青年はいませんでした。

非人間的な待遇を受けた人はいませんでしたか？

陸軍造兵廠で虐待した人はいません、私たちは指図どおり真面目に仕事をちゃんとしましたから。

岐阜県に避難したのはいつですか？

B29の爆撃で名古屋全域が廃墟のようになり人々が続々に死んで、名古屋市内からいくらか離れた場所へ工場が移りそこで働いて帰ってきたのです。解放になって。

そこも工場でしたか？

はい、そうです。工場。彼らは刀を好みます。軍人も誰もがみんな刀をつくるのが専門だから。

名古屋で働いていた全員がそこへ移りましたか？

いろいろな場所へ分散しました。

誰かがそこへ行くようにといっただけで行ったのですか？

軍隊で部(軍)隊の転出と同様です。数人ずつ配置されて行きました。

岐阜県に避難したのは、解放と同じ年に行けましたか？

そうです。解放になるまで働いて、天皇が降伏したから私たちは韓国に帰らなくてはいけません。まあ、そこで結婚して生活するひともいたが、私たちは両親に会いたくて、韓国が懐かしく韓国に帰りたいかったです、そこで結婚する考えはしませんでした。

何カ月ほど働けましたか？

ひと月以上です。2、3カ月だったか…あまりに昔のことで何カ月だったか覚えていません。とにかく数カ月いました。

名古屋や岐阜県に慰安所はありませんでしたか？

慰安所は名古屋にありました。韓国人は少なく日本女性たち。言わば娼婦たち。慰安婦ではなくて娼婦と同じです。国から票をもらって遊びに行くところではなく、私たちでいえば遊郭というか？

逃亡したひとはいませんか？

鉾山のようなところでは逃亡したという話は聞きましたが、私たちは逃亡したことはなく、ただ熱心に仕事だけしました。その時は内鮮一体、内鮮一体といって日本の奴にしようとしたからそんなのは無かったです。ですが炭坑では逃亡がすごくあるという噂はよく聞きました。

手紙は送りませんでしたか？

それはしませんでした。

家では日本に來ていることはご存知でしたか？

知りません。どこにいるのか、死んだのか生きているのか知りません。母は4歳のときに他界されたから知らず、父は私が解放になって帰って來たので我が息子が生きて帰ってきたそれだけ分かってそのほかのことは知りません。

解放になったことはどのように知りましたか？ 放送で知りましたか？

そうです。日本天皇が降伏して放送にすべて出(ですべてし)ました。私たちは仕事のため放送を聞かれず、後で再放送を聞いて、日本の女性も男性も地面を叩いて泣き叫んでいたのが負けたのだと分かりました。私たちは柿くれ梨くれなどと偉そうな真似はできなかったが韓国人、愛国者たちは倉庫を打ち壊して物品を持ち出したひとたくさんいました。

帰国できるよう交通の便宜は図ってくれましたか？

帰ってくるとき船に乗り途中で台風にあい死ぬ目にあって助かりました。台風が収まるまで対馬島で数日留まり釜山に渡りました。木船に乗って。解放になった時、人々があまりに多くてそのまま木船に乗って帰って來ました。行くときは連絡船に乗ったが帰ってくるときは木船。

解放になってすぐさま朝鮮へ出発されたのですか？

出発？ そのとき日本にいた韓国人は210万人だったといひます。これほどおおぜいのひと全員が帰国するのではないが、ほとんどのひとがみんな帰国しようとしたので、下関港が大混乱になりました。大声で叫びながらそれぞれが帰ろう、帰ろうとして、それで数日して木船に乗って帰ってきました。数日いるつもりだったからではなく、船も無いし何も無くて、いたのです。団体で乗船しよう

とすごく大勢の人が乗船したので転覆しそうになったほどです。

船賃はそれまで稼いだものから出しましたか？

いま思うと金を渡したみたいです。少しずつ集めて船長に金を渡して出てきたから。

工場で帰国の便宜を図ってくれませんでしたか？

今からみると退職金というのか？ 退職金を計算してすべてくれたし、帰り道に食べなさいとリンゴ、餅などを配給してくれました。

国が滅んだのに、すべて準備してくれたのですか？

食べようが食べるまいが、帰ろうが帰るまいがそういう扱いはしませんでした。準備できるものはすべてしてくれて退職金もすべてくれたのです。

名古屋や岐阜県に外国人捕虜はいませんでしたか？

いませんでした。

働く前に何年間働くとどのぐらい貰えるという契約をしましたか？

日本の奴が契約するということはありません。自分たちの思うどおり死ぬまで働かせ死ねば死に死なぬなら死なないまで、そういうことでしょう。よく分かりませんが日本人達は死ぬまで働かせるつもりでいたでしょう。

お父さんは、生きて帰られたから大層喜ばれたでしょう。

ひとり息子でしたからとても喜びました。

家の暮らしはどうでしたか？

食べていくのに(食事や暮らしは)別に心配はなかったです。父は大工だったので稼ぎが良かったです。

仕事のときに負傷したことはありませんか？

そのようなことはありません。

現在はひとり暮らしですか？

子供達はみな嫁いで妻は23年前に他界し私ひとりです。現在は国家有功者です。ですから国に食べさせていただいています。

6.25にも参戦されましたか？

はい、6.25参戦勇士です。これは有功者バッジです。

70年代に補償は受けられませんでしたね？

私たちの世代は金鍾泌は好きではありません。朴大統領時期に補償として受け取り政府が全額使いました。私たちは一銭も受け取れなかった、ほんの数10万ウォンでも、これはその時の補償で受け取ったものと少し分けてくれていれば有り難いと思うけれど、私たちはその当時、時節を知らずに暮らしました。いま思えば金鍾泌は、日本の奴から補償を受け取りそのまま政府が全額を使ったのだから私たちの世代は積極的に批判します。ですから金鍾泌は悪者だと思っています。また私たちは知ることも出来なかったし、つい最近になって知ったのです。

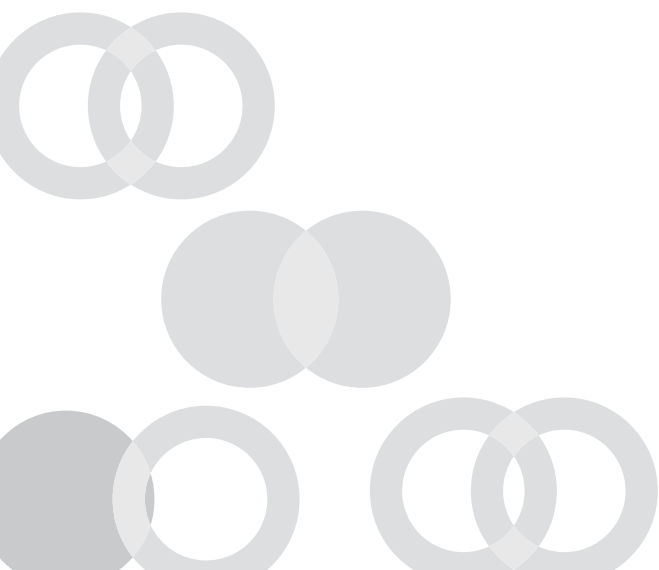
日本側に未払い賃金があるかどうかご存知ですか？

そんなのはありません。いっさいありません。退職金は全額計算してもらって帰ってきたのですから私たちは。

許面談者__オム・ジヘ調査官

録取者__オム・ジヘ

検督/編集/注釈__イ・セイル調査3班長、カン・フィヨン/イム・ドア



軍人として召集されたら月給もらうのに 軍属としていきなり…これは詐欺だよ、詐欺

金永元

創氏名 金井永元

1923.12.27 忠南 舒川郡 舒川面 郡司里 生まれ

1944. 面事務所 嘱託職員 勤務

1945.2 軍属動員令状を受け、日本大阪軍需工場へ動員

1945.3 汝矣島 飛行場空軍部隊 哨所警備兵として軍人動員

1945.8.30 帰還

いつ、行かれましたか？

そこに書いたとおりです。それは考えて書いたんですが…

あなた(ご老人)の書いた日時は1945年2月1日です。

うん、2月1日頃に行ったはずだ、そこへ。

どのようにして行くことになりましたか？

軍属召集令がきました。徴用令じゃなく。私は当然軍人としてくるものと待っ

ていたんだ、徴兵、徴兵召集令だけくるものと待っていたのに当時、面事務所で食糧配給の仕事、嘱託職員でした。私は採用されていたのに、軍人として召集令状がくるとばかり思うて待っていたのにいきなり第乙種。軍人のもとに行けない人達。徴兵で行けない人達は、第甲種か第乙種になった人達は、軍人になる前に軍属として全員動員されたんだ全員。仕方なく軍属として動員されて行かないわけにもいかず。それまでは軍属はたいてい志願でした、軍属は。軍属は志願してさびしく行った。次に、徴用は召集状がくれば行き、その後は無条件に捕まえて行きました。徴兵は無条件捕まえて行った。軍属の第甲種以下、第乙種の段階は軍属として行かねばならない、いきなり来ました。それは職場があっても行かなくてはならないというのだ。徴兵は職場があるなら行かなくてもよかったのに、その当時、面職員は徴兵がきたら行くし、軍人は無条件行ったり、軍属などは自分で志願すれば行くし志願しなければ行かなかったです。それなのにいきなり徴兵がきました。聞いたことも見たこともない動員令が。

その時、軍属は志願して行くのに、志願しなかったのに来たということですか？

そうです。それで後で分かっただが、まだ行っていない人達は今回軍属として全員が動員された。軍からそんな指示があったので、職場があっても軍属は召集令状がきたら行かなくては行けない。だから行かなくてはと思いました。ところで私ははじめに面の嘱託職員に発令されたときは社員でした、郡の。

嘱託の発令があったのはいつでしたか？

嘱託だったのは44年だったか。1、2年勤務したが軍人召集がくるとばかり思い待っていたのに、軍人召集はこないでいきなり1945年2月1日に行ったら、1月15日頃か中旬に召集状がきました。

あなた(ご老人)、軍人として召集されることを何故待ったのですか、別途に申請されたのですか？

いいや、どっちみちくるのだから軍人として、徴兵検査を受けたひとは軍人に

行かないではすまないから。第乙種、丙種以下は2(この)種までは軍人として行かなくてはいけない。丙種は行かない。甲種第1種、2(この)種まではその時、軍人として行くことをみんな知っていました。

身体検査を受けられましたか？

もちろん、身体検査をする間もどれほど訓練を受けたことか。その訓練を受ける前も訓練受けました、それ以前にも。職場にいてもその日が訓練で出て来るように、いわれれば訓練を受けて。

どのような訓練でしたか？

普通の軍人訓練、軍人に行ってもすることだから、竹棒を銃のかわりにして訓練して、毎日そんな訓練だった集結して、毎日そんな練習して。

そういう訓練は、誰が受けるのですか？

それは年齢に該当する人が受けるのです。私も年齢が1ヵ月か数ヵ月遅く生まれていれば、その年に徴兵検査を受けずにすんだのに。父母が出生申告を間違えたため。1923年生まれは大正なん年なのか…。

徴兵検査は…？

徴兵検査は、1週間ほど受けました。

それは誰の管理でしたか？

それは誰が管理したかという、該当者の中から教員したとか学校出身の上級の人をその中から推薦して、兵事係がそのひとを推薦しておまえがちょっと受け持と。例えば中川面だったら中川面をおまえが少し訓練させろと。

徴兵検査はどういうのをしましたか？

それも郡単位でします。学校で。それも学校で一斉に全員できないから、きょうは西川面で何人と、それが12面か13面あるので一斉に全員できません。1日に2、3面と決めておこないます。それも私には正確に分かりません、そうして受けたようです。私はそうだったように記憶しているが。1日に3面ずつを1日して、約3日間受けたようだった。国民学校に集結して。

検査はどういうのをしましたか？

検査は、まあパジャマを着てその時、体重検査、病気があるかを聞き、今のようにX線などはなくそのまま簡単にちょっと見て身体強健なら甲種をもらって。その時のことを思うと体重をはかり目の検査、耳の検査とそんなふうに素早くカマスの検査をするみたいだった。そして最後に誰それは甲種、誰それは第乙種、誰それは丙種、第一丙種としてからその名前だけ読み上げて。第1種だったから私は分かります。

面からどのように行きましたか？

馬西面から軍属令状で私一人きました。舒川面からは2人きて。私は戸籍では舒川面だから。それも舒川面で2人きたのに行くときには私ひとりが行ったので。

引率者はいませんでしたか？

兵事係。朝鮮人。その人はかなりの年だった。そのときここから出発したときは私ひとりだった。すべての郡のひとをあわせて天安に集結し釜山へ汽車で行きました。釜山に行って連絡船に乗らなくてはいけない。日も何日に乗るという話もして(しれ)くれません。飛行機が爆撃するから昼は行かれず夜に行くのだが、その情報を得ようにも、その情報も自分たち同士でいつに行くんだと。倉庫のような場所で3日ほどいました。それなのでいつ出発するかも知らなか

った。釜山で3、4日ほどいて突然夜に、今夜何時頃に出発だから集結せよ、といった。それで連絡船に乗船しその連絡船もひと部屋に豚小屋みたいな所に詰め込んだ。はじめて乗船したから気分が悪くなり外にも出られなかったです。連絡船なのかどうか大きいものを運んで行った。

その時、人々は大勢いましたか？

いくつかの郡の人が集まって行ったから大勢いました。一中隊ぐらいなんでしょう。その日行ったのは。私が知っているのは舒川面のひとは全員知っています。そのように天安で集まって連絡船に乗ってかなり行きました。何日乗ったか分からない。それは夜だったのか朝だったのか。途中でどこに停泊したかも分からない。数日経ちました。どこで停泊したか分からない。下船した場所は分かります。下関だった、そう。朝方4時だった、そう。下船しろといわれて降りました。それなのに降りると服をすべて脱ぐように言われた。パンツだけはかせて。どうして服を脱ぐようにいったかいうと、検査をすると検査。シラミがうじゃうじゃいるから全部脱ぎ消毒すると、全部、追い出すため消毒すると。パンツだけはいて消毒だといって、どこか倉庫みたいな場所へ入るようにといって、消毒しろと言ったか、風呂に入れといったか、とにかく分かりません。行き先も名古屋といったり大阪といったり、それだって日にちも言ってくれない。夜にいきなり汽車に乗れと言われた。夜だから走ってしばらく行くと名古屋あたりまできたのか。汽車には窓があるでしょう？ こちら見てもあちら見ても両側は火の海です。ほんとの火で。こっち見ても火の海、あっち見ても火の海。そうして走ってまた停車しました。でもなぜ停車したのか誰に聞けますか？ その時はまあ犬のように誰かが引っぱって行っても、まあそういう犬のような扱いだった。走って停まれば停まったのかなと、走れば走っているんだと。だけどそれは火の中を走って行くんだ。最初は私も家族も満20歳ほどで若かったから、行けば死ぬだろう、生きて帰ってくるか分からなかった。死に行くんだと思っていた。その時はそんなことを秘密にしても勘で分かります。

耳に入ってくる、いくら秘密にしたって。いつかすっきり知られるにせよ日本が火の海になっていることはみんな知っているだろう。どうして分からない。もうすべて火の海だから生きて帰るとは思いもしなかった。

当時、軍属として何年間働き月給はどうという話は…

そんな話也没有せん。軍属としてきて行くということだけ分かってたんだ。

あなた(ご老人)、これを(これに)見ますと、大阪に行って軍需工場と…

聞いてみると大阪だという。他の人に聞いてみると。降りてみると駅も片隅に小さいのがあって、大阪といえば都市じゃないか、家なんてなにも見えなかった。ところどころに電柱だけあって。さっと下車するとトラックかが来て連れて行った。どこへ行くのか。工場に行くとはばかり思ったんだ。しばらく走った。小さな倉庫に家があった。そこで降りた。平屋建てだ。まずそこで訓練を受けなくてはいけなかった。軍需工場に行くなら。そこで2週間ほどこししばらく3週間はしなかった。2週間ほど受けて…。

どんな訓練でしたか？

軍隊訓練はなんでもありません。竹棒槍、背丈より高いのに端に銃をつけて軍事訓練です。その最中に飛行機が飛んできたら壕に入って。1日に軍事訓練もあまり受けられない。飛行機の音がすると壕に入って。大阪は防空壕だけです。飛行機の音がすると壕に入る、やむと訓練する、時間になったら夕食食べ、時間になったら寝ます。寝ても安心して眠られない。でもそこは飛行機も頻繁には飛んでこない。なぜかという爆撃するところがないから、とっくに爆撃し尽くしていたから。それでも1日1、2回は飛んできます。ですがそこに爆弾を落とすところは見ていません。なんで爆撃するか。でも人達がいるのでひょっとするとあるか分からないから防空壕を掘って。

訓練は、誰が教えましたか？

訓練はその男子が引率する二個中隊で。私に小隊長せよ、と言った。ひとが多くて全員だと多いので。小隊長になって引率してせよと。若くてしっかりしていたから。それで小隊長になって。職員は女子ひとりと男子ひとりを出たり入ったりして、ひとりしかいません。訓練し続する人はひとりしかいなかった。私に小隊長をといたから受け持ち訓練させて、竹棒もってこよう、することはした。夜昼、そうしました。

みんな朝鮮人でしたか？

みんな朝鮮人です。軍人に行けない1種か2種のひと。詳しいことは分かりません。

釜山から大阪まで連れて行った引率者は？

天安では引率者がひとりいました。日本から来たのかは分からないが。その人が釜山から大阪まで連れて行きました。

訓練は何時から何時まで？

訓練は時間も決まっていません。昼食してしばらくすると訓練する、暗くなると出来ないから、電気がつかないから出来ないの、その時は廃墟だった。そうして約2週間、3週間、朝に集結しろといわれた。その中隊で3人に召集令状がきたので。なにをしなくちゃいけないと。某日某時に出発しなくてはならないと。引率者がいません。私に2人を引率せよ、と私に。引率して召集令状かなにかの紙の令状をくれ、これを博多から連絡船に乗船する際に渡すようにと。そして途中でなにか事があれば提示するようにと。何かあればそれを提示せよと。なにか白いものをくれた3人に。そして乾パンを入れ背負い袋にして麦せんべい約3日分の食料をくれました。その乾パンだけを3日間食べ汽車に乗って行ったのです。

つまり他の人達はそこに残って、あなたや(ご老人ら)3人だけに召集令状がきたのですか？

そこに残って。

なぜ3人だけそうなったのですか？ それは分かりませんね。それで連絡船に乗って釜山にこられたのですか？

釜山に来て舒川里に行きました。舒川里に行くのと兵事係に行くよう言われました。兵事係に行って何時に大田へ出発というから。大田へ空軍部隊に入所しなくてはいけないから、何日まで面事務所に来るようにといわれた。大田空軍部隊はその時は柳川国民学校です。当時、空軍部隊で訓練するところは柳川国民学校でした。そこに行くのと兵長やゴチョウ（伍長）が数人いて。集合して訓練を受けた。

舒川面に到着してまっすぐ兵事係…

そのまま到着して兵事係に行って、到着しましたというと、何日何時まで面事務所まで来るようにと。私が一緒に入所する日なのに。私が3、4日ほど遅れたんだと。私がそこから来たので。他の人達は行ってみると全員いました。私だけ遅れて行った3、4日ほど、日本から来たから。他の奴は先に入所して訓練受けているのに、私だけがぼつんと遅れて入所してなんだか居心地がよくなかった。そのこともかなり精神的苦痛で辛かった。

どのような苦痛でしたか？

その人達は先に入所してみんな自分の持ち場でしっかりしているのに、私は遅れて入所して迷惑かけて。そういう苦痛で気をつかうじゃないですか。

そこは日本人だけいましたか？ 朝鮮人達はいなくて？

そこは全員軍人ですから一等兵、上等兵、ジョウトウヘイ（上等兵）というそ

いつが訓練させたがお話にならない。ゴチョウ（伍長）、小隊長か黄色のひとつ星をひとつ付けたのは、それはゴチョウか…

その時はどんな訓練を受けましたか？

その時は、本物の銃を与え毎日、山とかですごく克己訓練するといひどれほど訓練させられたことか。そして訓練しない時は毎日、彼等が必要な建物を建てる木材を運んできて建物を建てる、さもなければ訓練をする、そこでの訓練はとても辛かった。完全に日本のヤツらがさせた(した)から。

直接に戦闘訓練場に行って戦うとかはありませんね？

それはありません。銃弾もくれないし。

あ、ただ訓練受けて。銃を撃つ訓練は受けましたか？

う〜ん。そんな銃を撃つ訓練受けてまあま。実弾もない射撃訓練。飛行機が飛んでくるとすごく***

訓練はどれぐらい受けましたか？

柳川国民学校で約3週間受けました。そこを終えると各自それぞれ部隊に配置されます。その人達は同じ場所に行きません。満洲へ行ったひともあります。満洲へ行ったひともあるし、他のところへ行ったひともある。私は見事に汝夷島飛行場空軍部隊。

そこは何で行かれましたか？

空軍部隊警備。そこへ行ってまた数日、訓練を受けました。そこで数日訓練を受けて。韓国人は何人もいません。韓国人は数人いるかどうか。全員が日本のヤツら。工兵は全員が少年兵達。日本人少年兵が工兵。それはなにかというとその時はじめて知ったが、飛行機で敵軍のところへ飛んで爆撃する、夜になれ

ば出撃して***、そんな人達がみんな訓練を受けました。その空軍部隊は。飛行機もすべてそんな飛行機で。それでそこへ不審な者が入って来られないようにし上部に報告する。不審な者入ってくることもありえた。全員が出入りする人達は上等兵達。そういう人がくると捧げ銃して礼をして挨拶する、そういうことをする。それが仕事です、それが仕事で。入ってきたら上等兵達の洗濯物を洗濯してたんで、よく乾かして手入れをして食事の準備をした。

警備兵をしたのは、解放のその年ですか？

そこで解放を迎えて帰ってきました。8月15日。

そうすると大阪で訓練受けたのも解放のその年ですか？

その年でした。1945年に行きましたから、2月に。

警備兵は何ヵ月しましたか？

大田に1ヵ月ほどいて、大田で訓練受け1ヵ月いて、おもにそれ以後は汝夷島飛行場で送りました。

そこでの組織生活はどうでしたか？

そこでも軍隊は日本のヤツらだったから、なにがちゃんと出来ていないといって殴られ。私は殴られなかったが、気合をたくさん入れられました。私より年下のヤツでしたが全員が上等兵、兵長達は。私を脅かす(私は脅かされ)だけ、それだけで殴られたことはありません。

逃亡したひとはいませんか？

逃亡はできないでしょう。また軍人になって逃亡すれば、死ぬものと思っていた。万一、逃亡すれば私の家族も生きていられません。軍人がそうすれば銃殺です。

もしか月給などは貰いませんでしたか？

貰えなかったです。

では警備兵をして食事、服をくれ……

服ってなに服はそれ一着だ。洗うのも自分でして着る、上衣がすっかりくたびれてもくれません。靴も一足くれ。そして彼らは出撃すれば全員が死ぬヤツですから、そんなヤツらには良い食べ物、良い服を与えました。見てはいないが上等兵が食膳を運んであげるのを見たから。洗濯も私が手洗いに乾かしてたたんで、寝床に1ミリの狂いなく折りたたんで置きました。また上等兵ふたりを受け持つときっちり決められています。おまえは、どのゴチョウ（伍長）を受け持つのだ。お手伝いしてあげるのだ。おまえが受け持つて不自由ないように仕えよ。諸事にわたり手足となってお仕えせよ。警備兵のときは警備して。

解放はどのように知りましたか？

中隊長さんが臨時休校するから中断すると言いました、解放とは言わなかったです。臨時休校令が下りたとか、臨時中断すると。各人は帰郷しふたび召集令状がきたら、呼び出されたらまたその時来るように、とそう言いました。臨時で天皇陛下が臨時中止するので休校令が出たので、また募集があったらまた来るように、また来なくてはいけない。その翌日かそれぞれ帰った。めいめいの所持品を持ち服は着るか着ないかは各自に任せる、私達は解放になっていないからまた呼ば来いということだ。また会おうと。私たちはほとんどが若ものだったが、解放になったことを知らないはずなかった。すべてあの永登浦から万歳の声が聞こえてきたから、解放になったことは分かりました。そこでもおおよそ雰囲気で行かれました。だいたい分かりました。

何日に行けと行って解放の翌日にすぐに帰宅したのですか？

すぐさま家へ、その日に永登浦で乗ろうとし、(乗船せよと言われたから、)解

放になったことは外に出てみて知った。あいつらは臨時休校といったが私たちは外に出てから分かりました。出てくると太極旗が掲げられていたのでそれで分かりました。

旅費もくれなかったのですか？

旅費ありません。車も無いし私は屋根の上に乗ってきました。あまりに大勢で。途中で座席があいて座り途中で休もうと降りると、いったん降りてしまうともう乗れない。満員で。

手紙もしませんでしたか？

私は一度もしませんでした。大田にいたとき、舒川面の人か私の弟かが面会にきて妻が来ましたが、その人は、今は兄も亡くなり、その人も亡くなった。私の妻は舒川から歩いて大田まで来ました。

あ、大田で訓練を受けるときに面会に来たのですか？

そう面会に来ました。一度来ていました。

では結婚されていたのですね？

結婚して娘がひとりいました。

嘱託のときに、結婚されたのですか？

ええ、そうです。馬西面に行って一部屋借りて。部屋、そのとき月々の家賃で借りられました。そのときは私の姉と義兄が住んでいて近所でした。その近所に姉が一部屋借りて住んでいて、それでふとん数組と茶碗をつつんで通いました。なんといってもした苦痛よりも、私が行くときの家族、私の家の直系家族達の精神的苦痛は言い表せません。死にに行くとはっきりと知っている気持ちがどういふものか。面で一緒だった職員たちがとても良くしてくれ里長達、区

長達が、この人はほんとうに気の毒だ、かえって軍人としてそのまま召集されて行けば月給をもらうこともできた。それなのにこれは軍属としていきなり行くのだから、これは詐欺だよ、詐欺。なのにただ軍属として行くから、月給もないし何もない。行く当日の夜は夫婦抱き合って一晩中泣いて一睡も出来なかった。死に行くから。どうして生き別れするなんて。

では生存して帰って来た時は、家中が大喜びしてすごかったでしょう？

大田に行って汝矣島に行く時は面会もこなかった、生きていると知っていたから。

面会に行けば面会できたのですね？

面会に来るとね。何人か(顔見知りが数人)入ってきます。入ってくると面会に行かせてくれます。訓練のときもたくさんくれません。1時間なら1時間ときっちりして。食べ物などを準備し持ってくるでしょう。**そいつを時間が足りなくて食べきれずにそれを包んで洗面所に行ってそれを食べる。ぜんぶ食べました。内務班に入るとすべて取り上げるので。洗面所に行って食べる。私はそんなものを洗面所で食べたのは、そのときがはじめてです。どうすればいいですか、ぜんぶ取り上げてしまうから。それを包んできたものをどうします。時間になったから洗面所で包んできたのを食べる。

そして解放になってから、どういう仕事をなさいましたか？

そうして軍人として行っていればそのまま復職できたのに、退職願を書いたから復職できません。どうして？ 軍人はできるが、軍属はできない。それでも復職しようと郡へ、そこへ何度も通いました。郡の職員達、兵事係も知り合いだったから。軍属のことは変わったから知らない。内務課のひとが行政係長になっていました、そのひとは舒川に住んでいた。それで訪ねて行きました。分かりますか、ああ、いつ帰ってきたかと？ 履歴書を持参しておいてきて、

その時、長項に副面長制度がありました。それで会計に持参して置いてくると連絡がきました。何日に一度来てみなさい、という。来なさいといって臨時書記補に任命してくれました。それで書記補は、書記と一緒に仕事するけれどその当時は、正規職員は書記、私は正規職員ではなく書記補で、書記補として3年勤務すると正式に書記になり、そのようにするという話はなかったが、規定にそうなっていました。3年勤務すれば書記になると。書記補が書記に任命される。書記に、それで長項で3年勤務して舒川係に転勤しました。その時は行政係に話して、当時はバッグがあれば(何度も足を運べば)すべてとなりましたから、同じことなら故郷の近くがいいので舒川で勤務しました。

面談者__チャ・ヘヨン調査官

録取者__チャ・ヘヨン

検督/編集/注釈__イ・セイル調査3班長、カン・フィヨン/イム・ドア

特記事項__軍属として日本・大阪に動員され1ヵ月も経たずに、

軍人として再動員され、汝矣島飛行場空軍部隊警備兵として服務した
軍属、軍人二重動員被害者

真っ暗な夜に車に乗せられ、ひきおろされて (乗ってクサガ (草加) で降りて)

金元逸

創氏名 金山元逸
1921.5.12 京畿 漣川郡 金谷面 金谷里 生まれ
1944.12 陸軍 被服廠 工員として動員
1945.11 帰還

当時の本籍はどうでしたか？

当時は、京畿道漣川郡全谷面全谷里480番地。

その時、日本へ連行される前の家族関係はどうでしたか？

当時の家族関係は、田舎に母が、私はソウルに上京していました。

おじいさんは、ソウルでどういう仕事をされていたか？

ソウルでその時、建築会社に通っていました。現在、桂洞現代建設があるところ、その2階で朝鮮共栄株式会社。現場所長が出かけると、現場の仕事を代行する助手として。

もしや以前に、練成といった訓練を受けたことはありませんか？

ありません。

そのようなことは全然、教練とか訓練をまったく受けずに、中学校卒業後はそのまま就職されたのですか？

ここソウルにいましたが、田舎から連絡が来たのです。

通知書が来たのですか？

そうです。通知書が来ました。

それはいつ頃のことですか？

そう、それは冬(秋)、44年12月だったようです。私の記憶では、正確には分かりません。44年12月か45年2月だったか。

通知書を受けとられて？

田舎から(で)戻れというので帰りました。帰ると、そこにキム・ドゥピルさんや近所の人が数人いて、誰か引率者がいて車に乗れ、といいました。それで車に乗って夜に釜山へ行った。

軍属という名称でしたか？ あるいは他の名称でしたか？

いずれにせよ軍属ということは聞きました。一緒に行くとき聞いたし、行く道々でそういうことを聞きました。

村のどこで集まりましたか？

駅前に集まったみたいです。駅前で、停留所前で。

では駅前に、何人ぐらい集まったようでしたか？

その時、40人ぐらいいたと思います。正確にはその時行って、日本に行って下車して集まると42人いました。

どなたか引率した方はいましたか？

そうですね、私は、誰かは知りません。私はそのまま連れられて車に乗りましたから。

民間人か軍人か、それもよく分かりませんか？

それもよく分かりません。そのまま夜に行った。真っ暗な夜に車に乗せられ、引き下ろされて(乗ってクサガで降りて)、あの4階建ての大きな連絡船、それに乗船して行きました。渡って行きました。

では、その途中であなたは軍属だ、といったような言葉を…

いいえ、いいえ、着いてから私達がどこへ行ったかという、日本サイタマケン埼玉県イルマゴン入間郡カワカトムラ川角村というところ、カワカド、カワカド村。そこへどのように行ったかという、日本東京のニッポリ日暮里、東京ニッポリ日暮里でトウジョセン東上線に乗ってサカド坂戸³⁾という駅で下車します。坂戸駅から当時、徒歩で1時間ぐらい行き川角村というところに行きました。川角村に行くと、スギ(杉の木)やシュノキ(山茱萸)とかの木が、こんもりと生い茂っていてそれは山でなく、その野原一面にそうなっていて、その川角村に行くと日本家屋の2階建てがあって、2階建ての家に行ってそこで、そこが宿舎だといった。そこで10人ずつ、12人ずつぐらいだったか？ そんなして班を組みました。そうして班長、班ができる、班長はキム・ドクキさんがしました。

3) 埼玉県坂戸市

おじさんの班ですか？

そうです。そして私が副班長になり、そしてその統率をして、朝食べて飯を食べてその山中へ、線路というのがたぶん2kmほどです。その宿舎から。その山に木が、木を数十本伐採して空地をつくってそこに木をこのように、線路を通じて陸軍被服廠から東京陸軍被服本廠から、貨物車で陸軍の被服を運搬してきます。それを降ろして縛って、そこへ、ノズミ野積といいます。ノズミ、野積。それをこんなに大きくこう積み上げる。そしてひとつ積むとこう覆って。当時、私達だけでなく近隣の在郷軍人たち、日本の在郷軍人たちが11人いました多分。11人いて、また日本高等学生の女学生がいます、また、合わせると私達は40人ほど、その人達も30人ほどだった。女学生と在郷軍人を合わせると。一緒に協力してしたが、私は降ろして積むこと積み上げる。何個、何個と積みあげるが、それすべてその田舎で農業している人達が来たので、荷を背負う仕事を上手にします。それで布地200斤もするものも持ってきて、下ろし上げてそうしてそこへそれを積み上げると、それを背負ったまま50mさっと持って行くと。あとからどんどん高くなるから、こうアシバ足場（踏み台）を置いてそれをさっと背負って上がって行って***そうした、***おどろいていた。こんなことができるのかといわれた。そうして行ってみると飯をこんなドンブリ鉢に麦と米を混ぜて炊いて、飯はその家の台所で炊事して食べたけれど、誰がそれしたかという、私達のなかに漣川というところから来た人が、中国人の家でそれをした人がいました。その人が飯を炊いたりしたが、飯をどんぶり鉢で飯をこれほどくれてこうして押すとほんのひと匙だけ。それで私がこう言った。これっぽっちの飯で荷物を背負えるか、私達のその担当は誰かという陸軍少尉で、陸軍少尉の下があって陸軍少尉の下は中尉、中尉は当時35、6歳で、ソウルの日本軍隊にいた人です。

日本人ですね？

日本人でマイガツトム、マイガツトム。その人は、私が日本語を流暢によくでき

たから、私がおもにほとんどしましたが、この飯を食べて私達があの荷物を背負えるか、私たちにはできない。だが、それをいう前に、それを話す前に、その近所の畑にジャガイモが植えてあった、サツマイモも植えてあった、その家の裏に半分に切った***があり、風呂***あったが、焚き口があったが、私も知らなかったがその翌日、翌々日にか？ その近所のお年寄りが大騒ぎになった。追いかけて来てあれを掘って食べたんだと、うん、畑に植えておいたのを。

掘って食べた？

腹がすいたので夜中に行って、掘って食べたということ、それを。それで私がこう言ったんだ。マイドツに会って中尉、中尉に会って、飯がこうでは仕事ができないではないかと、だから、***被害が大きいからどうにか処置しましょう、と言うと、（その中尉が）「ソウカ」と言って、トラック⁴⁾2台で東京陸軍被服廠へ行きました。私が行って、私と一緒に上にあがろう、2階に行ったら、星ひとつは何かな？ 准将か？ どっしりと座っていて、行ってから私は傍で直立していると、私達はその部隊名は必勝隊、必勝隊私達は。

必勝隊といったのですか？

必勝隊といいました。そうだったが、そこに行くとき全員が軍服を着ていました。私達に軍服をさっと着させて、着させてここに星を数個ずつ、布地の星です。布地の星。軍属の星をこう付けた、付いたその軍服を着させたので私達は着ました。軍服を着せた、だから軍属でしょ。行ってから、私に話せといった。陸軍***（被服）本廠長がそう言ったので。それで私が言った。私ら韓国人は全員農民が来ているが、韓国人は朝に食べ、間食、昼に食べ、間食、夕に食べて、また夜食として1日に6回食べます、6回食べて農作業します。それなのに***指ぐらい***食べてこれで仕事ができますか、「ソウカ」というと、1台のトラックに小麦粉を

4) トラック

トラックいっぱいに積んで、もう1台のトラックには唐辛子などをトラックいっぱい
に積んで、そうして2台のトラックに積んで私と二人で東京からここまで来ま
した。降ろしてその中国店にいた人に、うどんを打つようにと言って、うどんを
打った。それをホホ。どれほど腹いっぱい食べたことか。それから腹いっば
い食べて、仕事をもっとたくさんしました。田舎から来たひと達***私がそうで
すが、そうこうして3月9日だったか、あのB29が東京、そこから東京は80里足ら
ずのようだが。***B29のウェーンという音がすると空爆機がなにかして、私達はすぐ
に防空壕に入っていたが、私は出てからこう見ると、B29 がこう飛んで来てこう、
こうして、これが東京なら手榴弾を落として、ここに手榴弾を落として炎があが
っただろう。1時間ほどして一般の日本人女性達、男性達が、幼児をおぶってあと
からこちらの方へ避難してきて、それが3月9日だったか。それを思い出します。
そうしてその後も米軍はその船からカンサイキ⁵⁾ という当時、B51かがパンパン
それをしたそうです。その飛行機がそのまま屋根の上空を飛ぶと瓦がぐらぐらし
て、私達は木をつかんでこんなふうに、***そうしてまもなく8月14日かになって、
明日は15日正午に集まると、それで行って集まりました。日本天皇が今やその放
送をした。それでそれを聞いてからは、聞いてからはなにも仕事はしません。仕
事をせずに宿舎でただ食事だけしました。そこにいながら私は東京のあの、***
鉄道局かに通って、私たちは当時42人いましたが、***下関から乗船して渡って
行くもの、汽車、汽車の切符を15日間通って私が準備したんです。

東京にある鉄道局ですか？

うん、東京に、東京に。

つまり戦争が終わってからですか？

そうです。終わって帰らなくてはいけないから。私もどうにかして知って、東京

5) 艦載機：軍艦に搭載した航空機

にその鉄道***にどこかにあった、それでそれを私が通って、やっと切符をもらって、私がすべて移してあげて。私達は。

その時、おじいさん一人で行かれたのですか？あるいはその中尉だったマイダというひとと一緒にいったのですか？

一度は一緒に行ったと思います。最初の1回は。それから私が通いました。もう11月、11月までいました。11月上旬になんとかできました。汽車に、そこからトラックに乗って、そこでは雨が降っていました。すでにトラックに乗ったときから、宿舎から。トラックで東京に行って東京のどこだったか日暮里、日暮里駅だったか？そこへ行って汽車に乗り、すぐ下関へ、下関まで行くのに、雨がひどく降ってどこかで鉄道が途切れた。途切れてしまって汽車が来られない。来ないから***日本人女性***その後は***そのままこうなっていた。それを持って全員が外へ出ていました。それで荷物を、鉄道が途切れたのでそこで荷物を受け取りその人たちが背負ってこちらに持ってきてくれます。私たちはお金をあげます。2箇所でするように雨が降りました。そうして下関に行ったが、下関に行っても雨が降り続いていて、ふたたび渡って来る船が来られますか？旅館で15日間、そのまま遊んでいました。毎日、いつ船が出ますか、聞いて、聞いて、結局はそこで船に乗れず、そこから少し離れた海辺に行って船に乗らなくてはと、そこまで行ってそこからすぐに大きな船に乗って釜山にたどり着きました。婦女会が出迎えおにぎりをみんなにくれて、そして汽車でその東豆川。38度線がしかれているから、全谷⁶⁾には汽車がこないで東豆川で汽車を降りました。東豆川で汽車を降りて、私もその時、たくさん荷物がありました。私の父が来ていて、そこでともかく解放になってからは、そのまま少し歩いてそこまで来て待っていらしかったのです。だからすぐ待ったことでしょう。そうして父に会って、荷物を運ぶ人を頼んで私の荷物を運び、徒歩で漢灘江を

6) 口述者の当時の住所地。

渡れば全谷ですが、漠灘江は***軍が守っていました。だからむやみに渡れません。そのため夜半にその上流まで行って早瀬⁷⁾で荷運び人を雇って、早瀬からそのまま遠回りしてこうして家に帰ったのです。

汽車で夜どおし釜山まで行かれましたね？そこから乗船して降りてみると下関でしたか？

下関です、そう。

では下関で降り、東京へ行かれて…

そう、東京の日暮里駅に、私は、このことは覚えています。日暮里。

日暮里に行かれて…

日暮里駅で降り、東上線という坂戸、坂戸というところへまた乗車して行きました。田舎に行ってその坂戸というところで降りて、そこからその時は4キロぐらいか？その駅から歩いてそこカワカドムラ川角村、川角です、川角。

おじいさん(ご老人)は、軍属だとおっしゃいましたね？その軍属という身分は、いつお知りになりましたか？

そう、それがはっきりしない。汽車の中で私は聞いたようだ。

それでは当時、朝は何時に起きられましたか？

6時頃か、7時頃か。

朝食を7時頃にとられて、仕事は何時に始まりましたか？

7) 川底や海底が浅く幅は狭く水流の早い場所。

それはたぶん9時前に出たと思う。

9時前に出られて、12時頃まで午前中の仕事し、昼食がでて…

戻ってからまた昼を食べて。

また出かけて仕事をされて？

うん、そう。

夕方、何時まで仕事されましたか？

5時か6時くらいです。そんなに長時間しなかった。車が、汽車が入って来なくちゃいけないから。

では、入って来ない日は、何をされましたか？

入って来ない日はそこで***といって、その宿舎前の庭でこんなの、***棍棒で…。

あ、軍事訓練を受けられましたか？

そうだ。軍事訓練を受けました。

休憩しないで？

うん。

2階建て宿舎で就寝されたとのことですが？

2階建て宿舎だが下の階で全員寝ました。

[illegible]

金元逸 工員名表

では、そこで40人全員が就寝されたのですか？

もちろん、そう。40人全員が寝ても十分だった。広いし家は大きかった。

そのそばに日本軍幕舎も別にありましたか？

ありません。そこから50m裏にコクオイチオという農民がひとり住んでいた。
その裏に、そのひとがその裏でひとり住んで、***いた。

では、おじいさん(ご老人)が仕事されるのを監督するのは？

監督はそのひとだよ。マイタツ…。

そのようになさって、そこで仕事をして月給などは貰いましたか？

月給は毎月貰ったのは無くて、帰るときに、その金でたぶん7千円貰ったようだ。

7千円もですか？

ええ、当時の金、倭政のときの金で7000円。で、それを持って下関へ行き、15日間も雨が降り続いたので旅館の宿泊費を払って、少し遊んだりして、そうしても故郷へ帰って残った金で***私がして***

7千円ですと、とても大きい額ですが…

そうです、そう。

8ヵ月分にしては、その当時の日本**たちが受取る金は1.33円、この程度でしたが？

そうですか、私はそのことは正確に分かりません。

ですから1円程度～1.5円程度を貰われて、7千円程度…。8ヵ月しかないのに？ 仕事されてから、それなのに7千円程度でしたら、とても多いのでは…

家に持ってきて、家に持ってきた金は5000円程度でした。その5千円で何はともあれ私の伯母の息子で、えーと？ 私の父の姉の息子ですから。その兄ですが兄のところに行くと、私は仕事が無いというので、大きな黄牛で馬車を引くようにと買ってあげました。

あ、それぐらいお金がありましたか？

私たちは十分に貰いました。

働いているとき、マイダ中尉や少尉に殴られたとか、そんなことはありませんでしたか？

マイタスはほんとうに良い人でした。韓国のあの竜山に行って来たと言っていた。竜山にいて来たということだったが、マイダ中尉、その人の上官は少尉ですがジンペイ少尉が上官で。その当時、私たちが行ってから苦勞は、最初に行ったときに空腹だった苦勞以外に特別に苦勞はしなかった。

そこでなさった仕事は、おもに汽車が荷を積んで来ると、それを野積みする仕事だけなさったのですね？

そうです。

うーん。ずっとその仕事だけ。そしてその仕事をした人達は、わたしたち朝鮮人40人程度だけでその仕事をされたのですか？

そうです。他のところの人達は、私達が解放後のことですが、その解放ですが、12時に日本の天皇がなにか話をして終わって、数日後に聞くとそこから数10里先で韓国の労務者達、労務者達が大韓独立万歳の声を挙げて、日本の奴らがその場で怒りをたぎらせ撃ち殺したとかどうかしたという、そんな話を聞

きました。それで私は、私達は絶対に騒ぎ立てるのはやめよう。ここから生きて出なくては。ここで大韓独立万歳と声を挙げ大騒ぎしたら、銃で撃たれ死ぬことになる。だがそこにいと、日本の奴らが血走った目をして銃を持って東京へ来たんだ。つまり行ったり来たりしていた。いっせいに軍隊が解散になったのだろう。それで自分の故郷に行って、帰ってきてそうしたのだろう。だが、あ、そいつらがよりによって、***降伏したんだ、といって大騒ぎするうちに、その周りの労務者たちの噂が入ってきたんだ。大韓独立万歳と声を挙げて日本の奴が銃で撃って死んだと。

では、もしや仕事中に逃亡した方はいませんでしたか？

いません。

では、さきほどおっしゃった7000円は、いつ受け取りましたか？

もう私達が、すぐに解放になって受け取りました。

汽車の切符は買いましたか？ それとも貰いましたか？

そのまま貰いました。うん、名簿を提出して。

提出して？

そこからトラックに乗って直接、たぶん東京へ行きました。東京。私達の宿舎からトラック2台かで、日本国軍のトラックを出してくれました。それでトラックに乗って。

あ、トラックまで出してくれたのですか？

うん、出してくれて近所の人たちがきて、気をつけて行きなさいと。トラックに乗ってそのまま東京へ行って、東京から下関まで汽車で行きました。そうだな、私たちは本当にその田舎に行って苦労はしなかった。考えてみると。近所

の人たちも、近所のあの在郷軍人会は、私たちが行ってひと月もしないのに、私たちの歓迎会だといってしてくれるんだ(た)、その日本人達は毎月1回その時、忘れちゃったんだ、話をすれば(あのサケとか、例えば)。

汽車は、たくさん入ってきましたか？ 1週間に何回ほど入ってきましたか？

毎日、2トラック分ぐらい入ってきたし、たまに週1回しか入らないこともあったけれど、ほとんど。

不規則に入ってきたのですね。

東京被服本廠で載せなければ来ないので。

そうですね。ではそこに積んで置けますか？ 他の場所へは送らずに？

ええ、送ることはなかった、全部。だから数箇所に積みました。1箇所ではなく。積めるだけ積むと、またむこう側に積んで。

なにかこう覆いをして？

覆いをして、あとから板切れで倉庫のように表面を覆いました。倉庫のように。だから上空の飛行機からは見えません。***というそれは20mずつ高くなりますが、数百回、断ち切っても上からは見えません。どういうまあ***がありますか？ 実際こういう話はですね、連れて行かれて苛酷になんの苦勞をしたとかいう、

そうではありません。それも少し間違ったことでしょう。強制動員という、一般的な考えでは、連れて行かれて殴打され、空腹で、すべてそうあってこそ強制連行と考えていますが、そうではなくて連れて行くということ自体が強制連行なのですから。

そうです。それは。

では、おじいさん(ご老人)は、モロ*隊という話は、はじめて聞かれたのですね？

はじめて聞く話です。

おじいさん(ご老人)の所属は、当時、モロ*隊だったという話は、ご存知ではありませんね？

はい、知りません。

おじいさん(ご老人)は、この40人だけをご存知で、被服本廠で他の朝鮮人達はどんな被服廠へ送られたのか、まったくご存知じゃないのですね？

まったく知りません。はい。

この部隊とはちがうほかの朝鮮人は会われていませんか？

会っていません。

千面談者__調査三課 シム・ジェウク(オク)班長

録取者__キム・ミンヘ

検督/編集/注釈__イ・セイル調査3班長、カン・フィヨン/イム・ドア

特記事項__口述者は、委員会に被害申告を出していないが、陸軍軍需部被服廠等集団動員事例を明らかにするための調査過程で採録された口述。

人にするような扱いではなかった

柳鍾雲

創氏名	柳江鍾雲
1922.11.28	全北 高敞郡 新林面 茂林里 生まれ
1942.	長崎県 佐世保市 相浦海軍基地建設 作業 動員
1945.8.15	解放 以後 帰国

昔の創氏名を覚えておいでですか？

柳江と創氏しました。柳江鍾雲。

現在、お身体の具合がすぐれませんね？

健康はそこで、あの日本海軍錬兵場を、山を崩して錬兵場を造りました。造って昔、鉄クルマ（手押し車）トロッコ、トロッコを押して、その石を運んで錬兵場を造り造って、それを造りながら****ここにぶつけてしまいました。ぶつかって、それがだいぶ良くなっていたのに、年取って今も具合がよくないです。

また、特別にひどくどこか具合の悪いところはありませんか？

耳が少し遠いです。

耳はどうされましたか？ どうしてよく聞こえませんか？

あそこでなりました、あそのあのハツパ（発破）、石を、山に穴あけてナムポ（火薬）、火薬使ってするんだ。音が響いてそこでこんな。

ところで、ナムポってなんですか？

ハツパ。

ハツパ？

石を、石山に穴あけて。

へ、いいえ、山に穴をあけたというのですか？

うん。山に穴をあけてナンポで石を崩す。崩しておく。そしてそれを運んで錬兵場を造りました。

そうすると山にダイナマイトのようなものを？

うん。ダイナ、ダイナマイト、それを入れておいて(でそうなった)。

爆発させてそこで土などを。

はい。土、土や石を運んで錬兵場を造りました。

そこにいる間はずっとその仕事だけされたのですか？

その仕事だけしました。

それで耳が良く聞こえないのですね？

はい。ハツパ（発破）の音にそのままびっくりして*****その、年寄りになってとても良くない。年寄りになってしょっちゅう。

日本へ行ったとき、おいくつでしたか？

19歳のときに行きました。

おじいさん(ご老人)は当時、学校はどこまで通われましたか？

そのころ、国校を。

国民学校を卒業されましたか？

はい、はい。

その時、おじいさん(ご老人)が19歳で行かれた当時、家族関係はどのようなでしたか？

そのころは父母も両親ともいらっしゃって兄弟も兄弟3人が全員、家にいました。

ご両親は、何をされていましたか？

農業をしていました。

ではおじいさん(ご老人)はその当時、国民学校を卒業し行かれたとき、おじいさん(ご老人)はどんな仕事をされていましたか？ おじいさん(ご老人)も農業されましたか？

はい。農業を手伝った。父母がしていたので。

昭和17年に行かれるとき、どのように徴用で行くことになりましたか？

徴用、11次徴用工員として行きました。11次徴用工員。徴用。

徴用工員として行かれたのですか？

はい。徴用工員で海軍軍属。

ではその時、令状のようなのを受け取りましたか？

はい。面から令状のようなのを受け取りました。面から通知書が来ました。

おじいさん(ご老人)は当時、その令状を受け取って何日後に行かれましたか？

受け取って、それは昔のことでよく覚えていないが、10日以内で行ったと思います。たぶん。

ではそこへ行かれるとき、どこへ行くのか、なんの仕事をするのか、すでにご存知でしたね、ご老人は行かれるとき？

行くときは知らなかったです。でも行ってみると日本九州、九州サセボ（佐世保）。佐世保。

行かれるときは知りませんでしたか？

行くときもどこへ行くのか知らなかった。釜山に行って釜山で軍艦に乗って、サドナイカイ瀬戸内海⁸⁾を通して佐世保で降りました。佐世保で降りてそこでみんな、アイノウラ（相浦）、日本語でアイノウラ、韓国語では相浦宿舎で、その宿舎に行って帰って来ました。

では、令状を受け取って行かれるときは、家に、いつどこに面事務所に来なさい、こんな話はされましたか？ 令状通知書を受け取って。

新林面で、みんな新林面のひとがみんな集まって高敞に行きました。高敞郡

8) 瀬戸内海

へ、そこへ全員が集まって高敞郡で60人だった。1面に20人ずつ。

その労務係担当職員といっしょに高敞郡へ行かれ、そこで60人が集まって、60人は全員いっしょに釜山へ移動されたのですか？

はい。60人が行きました。

なにに乗って行かれましたか、釜山まで？ 高敞郡から…

だから井邑へ行って列車に乗りました。

井邑に行って列車に乗られたのですか？

そこへ臨時列車がきて、その木浦近隣から***停車して整然と乗車させます。釜山に着くと約1,000人いました、1,000人いて、そこ釜山から、日本九州から海軍その軍属関係者が来ていて連れに來たようだった。そうしてその人が引率して軍艦に、船に乗って日本九州に行って、瀬戸内海を過ぎて日本佐世保へ行きました。

おじいさん(ご老人)、では釜山に行く途中で井邑、木浦、そうして途中で次々と人々がみんな乗車して行って、

井邑で乗り、あの金堤で乗り、***で乗ってあそこ、停車駅ごとに乗車した。乗車して釜山に着くと1000人ぐらいになっていた。

そうして釜山へ行って、列車に乗って降りてみると、ここからまたお話ししてください。

釜山に行って降りて見ると、日本、その引率者が連れに來ていました。

日本人の引率者ですか？

うん。引率者が連れに來ていて、なんか行事を、式を、行事をして、そしてそ

の人達が引き継ぎしてから、その人たちは軍艦にみんな乗った。軍艦に乗って瀬戸内海を過ぎて日本佐世保港に着きました。

歓送式行事もあったのですか？ 行事がどんな内容だったか覚えていますか？

昔のことでよく覚えていないが、きっちりした行事でした。

覚えていることがあれば、歓送式行事というのはどんな行事ですか？

こうして行って、日本に行ってしっかりと、努力をしっかりとするんだ、という行事です。

天皇にそうする一種のそうした行事ですね？

はい、そんな行事ですまあ。そのとき日政のとき、みんなそうしたでしょう？

そうでした。それで日本人引率者は、何人でしたか？

何人だったか***は分からないが、5人ぐらい来ました。

そして軍艦に乗って、軍艦はどんな軍艦だったか覚えていますか？

まあ、軍艦はそのときはじめて見たけれど、1,000人ぐらいが乗船しても片側が少し埋っただけ。

佐世保港に到着されてから、そこにまた部隊から誰だかひとが来ていませんか？

そこに行くと佐世保に着いて降りると、いろんなところからトラック⁹⁾貨物車が来ていて、ケイム（警務）というその引率者が私を連れに来ていました。

9) トラック

警務？

引率者。警務という。警務、ケイム。日本語はケイムで。

その人が引率者なのですか？

引率者がそのトラックに乗って連れに来ていました。

さきほど軍艦に1,000人が乗船したと、そうおっしゃいましたね？ところでその1,000人は全員同じ場所へ行きましたか？

同じ場所へ行きませんでした。うん。だから相浦宿舎に何人、カワタナ（川棚）どの宿舎に何人、そのように分けて全員、責任者が人員を数えて乗車させ、全員は各地、各地に解散しました。1,000人が1カ所に行ったのではなく。

では佐世保港までみんな一緒に行きましたか？

うん。佐世保港までは同じ軍艦に乗って一緒だったけれど、佐世保で全員解散になりました。ですが相浦宿舎はその横が第2海軍訓練所でした。

第2海軍訓練所のなかにその相浦宿舎があったのですか？

臨時に建てたみたいでした。

ではご老人の場合はこの相浦宿舎へ行って、残りの他の人達はどこへ分散しましたか？

どこへ行ったかみんな知らない。

さきほどおっしゃった数カ所があるでしょう？

川棚というカワタナ宿舎もあるし、オオムラ（大村）という、大村、大村オオムラ、大村宿舎にも行ったし、そんなだけ分かっている。知らない、行ってしまっ

たから分からないだろうが？

軍艦に乗って行くとき、引率者は軍属として行く、というような話はしてくれましたか？

そんな話、あんな話も全然言ってくれないからまったく分からない。分からないままただ行った、行ってみるとそんな作業をしていた、という話だ。

おもな仕事はどういうのでしたか？

錬兵場の整地が仕事？ それだけでした。ただそこでも水道班を修理する班もあったし、またいろんな仕事で作業することが別に、別に作業するところがありました。あったが私たちがしたところは鉄クルマ（手押し車）を押して土を運んで、土を運んでその錬兵場をつくる仕事をしてきました。錬兵場は海を塞いでそのまま海だった。でも錬兵場をつくるから整えなくてはいけない。

あ、その錬兵場は海だったのに、そこを埋める作業をされたのですね？

はい、断崖を石できっちり塞いで埋めたんだ、***石で。ですがその奥は深いところと浅いところがあるでしょ？ そこを鉄クルマで土**運んで行ってそいつを埋めた。平坦に、なにをするのに。運動場つくろうとした。

ダイナマイトで山を爆破して、そこから出る土や石を運ばれたのですね？ その手押し車で。山はすぐそばにありましたか？

山はすぐそばにありました。そばにあったその山を、それを爆破して、石の山はなかなか掘れないんだ。そいつを運んで、鉄クルマで土を運んで、押して錬兵場を何度も整えていった。

その海軍訓練所で、ご老人は錬兵場を整える仕事をなさって、さきほどの他の人達はまたちがう作業をされた人もいましたか？

そこから一緒に行った人達もそこで他の作業、水道修理の作業もあるし作業班もあるし、線路を敷く人もいるし、いろいろです。

おじいさん(ご老人)は、正確にはそこで何年間いましたか？

3年。2年期限で行ったけれど、1年延期になった。休暇をくれたので家に行ってきた。

休暇は、何日ありましたか？

そのとき10日間か1週間だったか、約10日だった。10日間。

それで休暇で帰るとき、何に乗ってきましたか？

休暇で帰るときは連絡船に乗って、汽車に乗って帰りました。

そこで、休暇で送り出すとき、部隊内で休暇費とか他の支援はありましたか？

そんなのは無かったです。

それではどのようにお帰りになられましたか？

そこでお金を少しずつくれたのを交通費にして帰ってきました。

1942年度に行かれましたが、42年に行き1945年に解放になって帰ってこられたのですか？

はい。

もしや何月に行かれたのか覚えていらっしゃいますか？

1月に行きました。雪が降っていました。1月に行ったと。日にちは分かりませんが。

そして解放になりすぐに帰ってこられたのですか？

はい。すぐ帰ってきました。

宿舎の施設はどうでしたか？

宿舎は、建物をこう建ててまん中に***がありました。両側に20人ずつ、20人ずつ押し込んで、9時になると点呼しました。軍人式に。点呼して、現在人員何人、患者何人、事故何人、そして以上無しと、そのように点呼する。点呼して、毎晩そうします。朝6時に起床ラッパが鳴ると、さっと起きて洗面して食事をし、また仕事に出る。

班長した人は、基本的に国民学校程度を卒業したひとが班長になりましたか？

はい。その程度でなければなれません。

文字も少し読め、日本語も少しできる、そういう人達。

それで、また飯を食べる食事、食事のときは、食事するひと何人、現在、仕事に出るひと何人、毎日書いて渡さなくてはいけない、毎日。だからそんなことが出来る人は、そのように国民学校卒業していなくて、そういうことをできないでしょう？

朝の勤務時間は、何時からでしたか？

朝6時半頃に出たかな、6時頃に出て7、8、9、10、11、12、1、2、3、4、5、6、約12時間勤務した。

月給はどのぐらい貰いましたか？

当時の金で60円、60円だったかな？ 60円、65円、それぐらい貰いました。

家にお金は送金されないで？

休暇になるとそれを持って行ってまた使った。

休暇は、どの程度ありましたか？

そこで？ 月1回ずつ。はじめは外出させなかったけれど、数ヵ月すると全員を外出させてくれました。

月1回の休暇以外は、月曜から日曜まですべて勤務でしたか？

うん。そうです。雨に濡れても仕事したんだ。とてもひどい雨で暴雨のように降って、雨に濡れても仕事した。

そこで月給みたいな65円から貯金したとかはありませんか？

うん？

そこで貯金をするようにいわなかったですか？

した人もいますでしょう。

訓練所の雰囲気がすごく強圧的ということはなかったですか？

最初は恐ろしいほど厳しかった。はじめは少しでもきっちりしないと、すぐにびびり殴られてばかりいた。殴られて、なんであれ少しでもよくできないと、やってきて殴られるからとても怖かった。そうだったが、もともとひどいのが約1000人もいれば、そこには変ったひとがいるじゃないか？ 一度はケンカがあった、わけもなく。もとからいづらがやたらとしたので。膳をぶっこわして蹴ったり叩いたりケンカになり、そこに警務のひとがいました。そこを監督する人たち。その人たち***殴られともかく殴った。そのまま数回殴るとひとりふたりとケンカに加わって殴るじゃないか？ そうして憲兵隊、そうして海軍、海兵隊

に電話をして銃を向け剣を抜いて、あまりにお前たち***するな、加わずにいられるか？ みんなそうしてケンカになってしまった。お前たち、ここにいてもいなくても同じだ。お前、どうするつもりだといったから、みんなそのまま引きさがったんだ。引きさがったが、その後に憲兵隊で、海軍憲兵隊ですべて調査して行って、主動者を捕まえて行きました。主動者を捕まえて憲兵所に連れて行ったが、その人たちが戻ってきて聞いてみると、死ぬほど殴られたという。死ぬほど殴られて出てきて、けれどもその後、舎監がすべてを謝罪したんだ。すべてのことをそう。その時は飯も少しだけくれ空腹で死にそうだった。飯も少なくて。だからゴミ箱から***拾って食べる人がいました。それで動くともた殴られ。そうなってからそこで主動者を捕まえ憲兵所に連れて行ったが、その人達は死ぬほど殴られ戻ってきたが、その後は、人々はみんな不満があってそうになって、それをそのまま調査したんだ。だから何が不満かという空腹で死にそうだった。空腹が一番***することじゃないか？ それでそうになって、何だかただ禽獣のように扱って人にするような扱いではなかった。そのことは良くないことで、いろんな状況を話したその時に、それから少しましになった。そうになって、田舎に行ってジャガイモを少し買ってきて、バケツで蒸してもくれたし、飯にジャガイモ入れて飯に少し混ぜてくれたりした。それから少し良くなった。そうして最初はそのように容赦なく***すぐに捕まって収容された。

最初に行ってから1ヵ月間の訓練を受け、訓練の内容はどういうのですか？

訓練は、前にすすめ、後ろにすすめ。ハッハッハ。

実質的に技術訓練のようなことをしましたか？ そういうのはありませんか？

はい。ありません。全部すべて***。入ったり出たりして。班長が20人ずつ連れ

で***して。入ったり出たりして。

おじいさん(ご老人)は軍属としての職位は、なんでしたか？

階級はありません、そこへ行って、すぐちゃんと警務に選ばれた人がひとりいました。千人ぐらいの中から。

警務になれましたか？

千人ぐらいの中から3人ぐらいになりました。

韓国人ですか？

うん。韓国人。その中で成績の良いひとを選んで、その人達が、日本人達がさせました。

もしやそこから逃亡したひとはいませんか？

逃亡したひともいました。

逃亡できましたか？そこは海岸だったのに。

逃亡すると、そう逃亡したら、その班全員が多くの、まあ配給の酒のようなの、配給、たくさん配給があるんだよ？ そんなものがパッと中止になり、外出なども禁止する。それだからその班で責任をとるのは困難なことを、だからその班から逃亡者がいると苦痛だった。その班の人達は。でもそうしても逃亡する人は仕方ないです。

逃亡したひとは、何人ほどいましたか？ おじいさん(ご老人)がいた期間に？

何人かは分からないが5人、数人いました。

配給があったとのことですが？ 配給はおもにどのような配給されましたか？

配給は酒も、休日は正宗、酒もくれ、菓子などもくれるし、そんなもの。

日本人は、だいたい何人ほどいましたか？ 朝鮮人は？

私達は約1,000人だったし、日本人は約300人いたようです。

その人達は工員もいるし、管理者もいるし、そうでしたね？

はい、そうです。そこに守衛もいる、舎監もいる、警務もいる、警務長もいるし、みんないました。ケイムチョウ（警務長）、警務長。

警備が警務ですか？

警備と変わらない、警務とっていた。ケイム。警務。

警務は、勤労監督をする人ではありませんか？

でも警務というのは、その軍需工員達を全員、監督する。その作業場も監督するし、宿舎に宿舎内も監督するし、全部いっさい監督します。その工員を監督する。

勤務されたとき、大きな事件や事故、あるいは空襲などを経験されましたか？

その当時は、灯火管制をしていて夕方に飛行機が飛んでくるとみんな***しなかったか？ そんなことはあったけれど特別なことはありません。

いらっしゃった間に、家族に手紙などの書信交換をされましたか？ 手紙などは可能でしたね？

はい、そういうことは出来ました。

もしや、佐世保の近辺で、慰安所のようなものがあるという話は聞きませんでしたか？

特別にここから軍属として行った人たちを慰安させるというのではない。そういうのは見なかったです。また遊郭のようなのはすべてありました。

敗亡したという噂はどのように聞かれましたか、次にその部隊内ではどのような仕方で処理されたのか、また部隊内の雰囲気はどうだったか、そのようなこともお話しください。

ラジオで聞き、はい。送ってあげるといわれ、そうして帰ってきました。

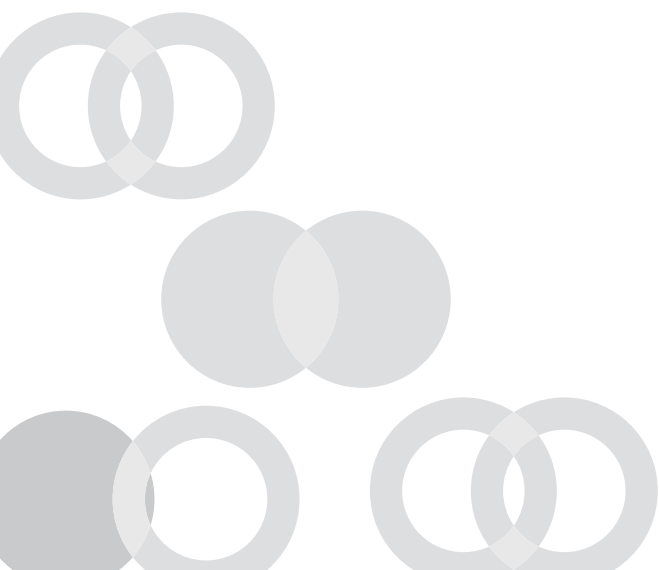
帰ってくるときに引率者はいませんか？

引率者はいません。

シ面談者__チャン・ミラ調査官

録取者__キム・ミンヘ

検督/編集/注釈__イ・セイル調査3班長、カン・フィヨン/イム・ドア



人間差別されたうえ飯も少しだけくれて

薛仁奎

創氏名	莊川仁奎
1921.9.28.	ソウル 鍾路区 生まれ
1943.5.	日本 呉などの海軍宿舎建設作業及び地下壕建設作業 として動員
1945.10.	帰還

莊川なんとですか？

うん。莊川ジンケイ。

当時、連行された当時の住所は、鍾路区域北洞ですね？

はい、そうです。

当時はどなたとお暮らしでしたか？

私たち夫婦でしたが、一番上の子がお腹にいるとき行きました。

ご両親は…

私が5歳のとき、両親とも亡くなりました。

当時のご老人の年齢はおいくつでしたか？

その時、ええっと、わたし****, そのとき当時私が行ったところは21歳でした、たぶん。

当時はどんな仕事をされましたか？

その時は労働です。学べなかったから労働です。

当時、ご老人は建築場で働いて、なんとか生活されたのですね？

はい、はい。貧しい暮らしでした。

では、そこへ行かれたのは、どのように通知書を受け取ったのですか？

それは、私は仕事に出て、仕事をしてあの恵化洞中学校のところでした。城内に。そこは恵化洞です。ここ私たちは城北洞で。そして学校の敷地を広げるため地面を掘る仕事がありました。それで仕事に出て、昼を食べに帰ると通知書が来ていました。来ていて読んでみると日本で2年間、就職させてあげる、とそう書いてあった。2年間。それでそれを持って日本に行ったわけです。

2年間、日本で就職させてあげると？

そうです。

どこに就職させてあげると、そう書いてありましたか？

ただそれだけ、そこに書いてありました。

詳しい内容は、書かれていなかった？

はい。

どこへ、どのような仕事をするなどは。

どこという指定はなくて、ただ日本で2年間、就職させてあげるという通知書で、そう書かれていて、行ってみると海軍軍属として、そうして行った。行ってみるとそうでした。

では、その通知書を受け取って何日後に…

ええ、その2日後に行きました。

どこかに集まって行かれましたか？

ソウルに、ソウル駅で集まりました。汽車に乗るため。

その前に、錬成所や訓練所のようなところで、教育受けたことはありませんか？

ありません。そこへ行って受けました。

ソウル駅に集まった方は、何人ぐらいでしたか？

たぶん、その時だいたい列車に乗った人は、だいたいの数は約2～300だったと思います。ソウル市内から全員行きましたから。列車一両にぎっしり乗って行ったから。

列車に乗る前にソウル駅で歓送式や行事のようなことをしませんでしたか？

そういうのはしませんでした。

釜山で下車されてから…

そこで下車して船にそのまま乗船して行きました。ちがった、あの初等学校に行った。釜山に初等学校があって、その初等学校の名前はもう今ではすっかり忘れてしまった。そして集まって、いったんそこで全員集まって乗船しました。

そこで全員集合し、人員点呼のようなことをしましたか？

そうだ。そう。点呼して。日本の奴らがしました。そうして船に乗ろうとしてそのまま人員が終わると乗船しました。乗船して、その船は。行く途中で昼食を食べました。弁当のようなのを貰って汽車の中で。だから午後になった。午後釜山駅で下車し初等学校は近くにあった。その時、私が列車から降りてみると。

どの駅で、降りられましたか？

釜山駅まで、終点です。終着駅だ。それで終着駅で降りると、船がもうありました。大きな船が一隻。それで私は心の中で、日本に行くらどうして船に乗らないで初等学校に行くのかな、そんなふうに思い行って集まると人員調査、人員を確認しようと学校に行き人員を確認したんだ。乗船して2日目の11時40分に到着しました。

もしや船名は覚えていますか？

分からない。なんという船か。私たちのような人を乗せて行くので。日本に向かう船だと思って乗船してそのまま船の中へ入ったから。

それに乗船して1日行ったのですね、まる1日？

その2日目の11時40分頃に呉市に到着しました。そこは海軍本部です。

では行く途中で食事などは、そこでしてくれましたか？

昼食もないです。2日目の昼食もなかったです。

乗船されたとき、船の中に引率者はいましたか？

引率者ですか？ 船の中に？ 数10人、数100人が乗船したので、誰が引率したかそれも分からない。ええ、日本の奴か、朝鮮の奴かも分からない。日本語をすごくたくさん使ったから。

乗れとってとりあえず乗ったけれど、引率者がいたかいなかったか、誰だったか覚えていらっやらないのですね？

覚えてないです。それでそこへ行行って下船して、また人員を点検したけれど、その時、着いてみたらすごく暑かった、そこは。それで暑さ負けして倒れた人もいた、そこでたいがい日本の奴らは、日本語の上手な人達を手先にして引率しました。日本語の出来ない人は、まあ、使いませんでした。

おじいさん(ご老人)は日本へ船で行く時、行く途中もどこへ行くとか、なんの仕事をするとか、そんな話を聞かれなかったのですね？

それは分からないでしょう。秘密なので。

ここに1943年5月に行かれた、とあります。これはおじいさん(ご老人)が話されたことを書いたものですね？

★はい。そうです。◎あの暑いときだったから、その程度だよ。★今、お話をしていることも少し記憶が前後していますが、そのことをはっきり覚えておられないようですね。今のお話と少しちがう部分もありますし、私にその時におっしゃったお話と。◎その時、暑い天気だった。そのままそうなのかと推測してくれなきゃ。

呉港に到着し、おじいさん(ご老人)が正確にいらした部隊名を、もしかして覚えていますか？

その部隊、そんなことは秘密らしいよ。軍隊だ、軍属なんだよ。どんな場所へ行くという、そんなことも分からない。そこへ行って下船し11時40分頃で、昼食も食べさせてもらえずに、そこで人員点呼をして人々を分散させて、どこかへ送って全員別れました。各地域へ。

では、そこへおじいさん(ご老人)が到着されて、また他の場所に船に乗って移動され、その仕事場までまたちがう船に乗って行かれたのですか？

船には乗らなかった。自動車。

トラックに乗って行かれたのですか？

トラックで。2〜30人ぐらいをトラックに乗せて連れて行ったんだ。

到着したのはどこでしたか？

現場ですよ、なに。

もしか移動中に、逃亡した方はいませんか？

いません。それは。

トラックで移動して到着してみると、その現場だったというお話ですが、そこはどのような仕事をする現場でしたか？

現場は、その現場は海辺で、昔は塩をつくっていました。そこで山を崩して埋めて、そこで何をしようとしたか、海軍宿舎を建てようとしてそこを埋めたんだ。うん。

するとおじいさん(ご老人)は行かれて、海軍宿舎を建てる仕事をなさったのですか？

★海軍宿舎を建てようと、塩田を埋めたのです。

塩田を埋める仕事をされたのですか？

はい、小さな山だけれどその山を崩してそこを埋めた。埋めてそこをすべて埋めると、また他の場所に移動する。また他の場所へ移動して、ずっと移動です。だからそんなことも分からず行ったんだよ。

あ、ではずっと地域を移動されながら…

そうです。移動しました。移動して行ったんだ。1カ所にいたんじゃないありません。

呉市にいらっしゃって…

そこにはいなかったです。そこにそのままだいた人はいなかったです。

呉でなく、他の地域へ移りましたか？

そうです。全員分散しました。呉市、そこにいません。人を置かなかった。そこは海軍本部だから、そこで私達がすることって何かありますか？

初日に到着してすぐ仕事をされたのですか？ または翌日から仕事されたのですか？

それ、翌日にそこに行くと、行くと暗くなってしまった。11時40分に下船して人員調査して、夕食も食べないで行って配置されて、そこ行って夕食もらって食べて寝たんだ、寝てその翌日から仕事したけれど、その村の名前は分かりません。私は。

最初は海軍宿舎をつくる仕事をされて、次は移動してどんな仕事をされましたか？

それも海軍に関係する仕事です。そんな宿舎を建てるどころへ行きました。急斜面***（宿舎）建てるどころに行き、そこへ行って出来上がると、また他のところへ、また他のところへ、だからすべて行くときに、どこの村へ行くといわないだ。

そのような話はいつさい無く…

◎はい。それは海軍軍属だから。★おそらくそのために何か所も転々されたようですが、最後に解放された時は大阪、はい、そちらにいらっしゃったようです。そうして大阪から船に乗って帰って来られたようですね？

大阪から帰って来られたということですね？

★はい。そうらしいです。だから全国どこへ行っただかも分からず、ずっと捕まっていたまま転々とさせられたのでしょう。◎お。そうだ。捕まえて連れまわしたんだ。

宿舎を建てる仕事をされて、また他にどんな仕事をされましたか？

★防空壕掘りをされた、とおっしゃったし。

防空壕も掘られたのですか？それもすべて移動しながら？

★そうです。防空壕掘りを少し多くなされたようです。

もしや、ダイナマイトなどを使われましたか？

あ、私が行ったところではダイナマイトを使ったところもあるが、それは洞窟じゃなく、最初は海岸の崖を崩し海を埋める仕事だったからそれは**広い範囲を活動するからそうしたけれど、大阪周辺に行って竹林畑、竹の根っこがすぐ

く張っていて、それをなかなか切り倒せなかった。そこの穴を掘っても、****だ。穴が掘れない、ほぼ中間ぐらいのところまで掘って崩れて、(しまい)この腰を打ったんだ。

大阪で仕事されたとき、最初に移動されたときにソウル地域から一緒に行かれた30人は…

いません。みんな別れて。

その人達とみんな別れたのですか？

そうです。みんな別れました。移動するたびに別れました。そして日本語が上手な、内容が分かってみると、日本語が上手なそんな人は日本で1年間の技術、労働も後方で仕事する能力がある人は、南洋群島へ送られたんだと。それでみんな別れ別れになった。帰ってくるときは私ひとり帰ってきたんだ。

日本語も少しでき、技術が少しある人はみんな南洋群島へ送られたというのですか？

そうです。そこでそこは日本の訓練所です。いうなら訓練所でした。日本本土は訓練所みたいなものだった。そこで1年か、2年か訓練して日本語も上手で仕事ができる、第一線へ送ったんだ。

その第一線は南洋群島でしたか？

そうです。南洋群島だよ。

一緒に仕事をされた方で、もしか選出されて南洋群島へ行かれた人達はいいますか？

ええ、います。

その人たちが南洋群島のどこへ行かれたという話は、聞きましたか？

シンガポールへ向かう途中、すぐ近くにまで行ったのに爆弾3発が海中にズドンと投下されて死にました。みんな死んでしまいました。

そのような話をどなたから聞かれましたか？

その甲板で仕事をし、恵化洞に住んでいる人だが、その人もこの**学校に通いました。甲板で掃除をしていて爆撃され、そのひとは火傷して病院にきました。日本へ。その人から聞いた話だよ。

その方は、生存されていますか？

分かりません。そのとき別れたから。

そのときお帰りになってほどなくして、その方に会われ、そういう話をお聞きになったのですか？

そうです。その人は私たちと一緒に移動しないで、別れて仕事をしていた、その人は知識があるので南洋群島へ行くように、そこに入れられたんだと。それで行くとき甲板にいました。だから火傷した。爆弾に撃たれて。それで日本に病院治療に来たので、私たちはそのことを知って会って話を聞いたんだ。その人に。

日本でお会いになったのですか？

そうです。病院で。

どこの病院で会われたのですか？

海軍病院だったけれど、どこだったかは分からないでしょ？

その人の姓名は、覚えていますか？

姓を、覚えていられますか。その人ひとりだけ生存した。

その人は恵化洞に住んでいたんですか？

うん。恵化洞に住んでいたよ。

最初に行く時は、その人も一緒…

集まりました。同じ場所に集まって、15日くらい飯食べさせて遊ばせました。でも奇妙なんだ私が考えてみると。どうして他の現場へ行けば仕事をさせるのに、仕事をさせずに飯だけ食わせて遊ばせるのか、これは変だと思ったけれど、まあ当時は私も本を買って**（日本語）を少し勉強して**ついて勉強したから、だいたい出来ました。出来たけれど。15日目に運動場に集合しました。そして集合して全員、列になってぞろぞろ並んで、そしてそこにひとり、ふざけた子がひとり、いたとしましょう。その子が私の後列に並んでいて、何度も私の背中をちくちく突っつきました。ショウカワ（口述者の名前）、ショウカワ、ちえっ、あそこ調査に来たのは、南洋群島へ行く人達、日本語が上手か下手か、その調査で来ているから、ショウカワは行くな、というのです。日本語出来ない、そうしろと、何度もこの背中をちくちくしました。それで私の横に立って、横にきて横でひとが聞いているのに背中を突いた。知らない、そうしろと。それで面食らってしまって分からない、としたんだ。私も日本語分からない、って。

★日本で仕事をしたとき、そうだったのですね？

◎そうです。**工事現場で集めて連れて行こうとそうしたんだろう。それでその人がちくちく突いたからそう、私はその人がちくちく突いたから、面食らってしまって日本語分からない、とそうしたんだ。それで選ばれずにすんだ。それでその人は行って、行って死んだだと。

さきほどお話をさった、集まったという場所はどこですか？ 南洋群島へ行かせるため選出した場所は、どこだったか覚えていますか？

韓国でいうと、呉は道(市)になります呉は。呉の港湾は呉の陸地で、だけど私たちがその呉で降りたところが、港の海軍本部だ。その海軍本部の降りた場所ではなく、離れた、かなり離れたところにその宿舎がありました。徴用で行った人をそこに集合させてそこで選抜してそこで南洋群島へ送る場所が別にあったんだ。行ってみると。そんな場所です。とにかく。

各地域で仕事をしていた人達が、南洋群島へ行く人を選出するときに、またいっしょにみんながそうして集まり、その人達が南洋群島に行く人達がそうでないか、日本語や技術の熟練程度によってその人達を選んで南洋群島に送る人達を送って…

残った人は前に仕事していた場所へ送り返した。20日ほど遊び食べました。そこに入れられたから。入れられて私も日本語はだいたい理解できたから、私も行こうと決心しました。南洋群島へ行こうと一度、軍隊だから決心したのに、そう、行こうと思ったのに、その後ろで背中を何回もちくちく突いて、分からない、そうしろといって、それで面食らって、その横の奴も分からないといったんだ。日本語分からないと。そうなのだ。それでその人は行って。そこへ行く途中にそこへほとんど到着するところだったのに、その爆撃を受けて、飛行機、飛行機に爆撃されて死んだ、全滅してしまった。海に沈んでしまったんだ。それでその人は私を生かしておいて行って死んでしまったんだよ。

ですが、その人は、さきほど船の甲板員として作事中に火傷して…

★その人とはまたちがう人です。

おじいさん(ご老人)は、たくさん場所を移動されたりされていますが、その中にもしや覚えている同僚や上官、日本人上官でもいいのですが、覚え

ている名前がありますか？

覚えているのは、私は仕事したことは覚えているが、他のことはすべて忘れてしまっていて分かりません。

どなたの名前も思い出せませんか？

それで、覚えていること、ひとつ言いますか？ 覚えているひとつは、日本の奴は急迫した時だったから、日本と韓国はもう差別のないひとつの国だ、とって一致させる時があるのよ（合併した時がありました）。そんな頃に日本の宿舎を1回ぶち壊したんだ。米と食糧をくれるその管理者を舎監といいました。宿舎、炊事のその責任者を舎監といったが、こいつが食糧をすべて横取りしてたっぷり食べて飯を少ししかくれなかったんだ、腹が空いて宿舎を1回ぶち壊したが、そのときどんな力があってぶち壊したかということ、お前は我々を合邦して人間区別はしないとittedらう、なんで人間差別されたうえ飯も少ししかくれない、おい？ どうしてお前は人間差別するんだ？ 絶対に問題はここにあります。あいつら日本人達は、貸してもらおうというのがありません。借りていくのです。借りれば翌日に返すんだ、返さなければダメだよ。たぶん、そのはずだ。それだからひと部屋でいっしょに寝たが、日本人ひとり、若い人ひとりとわたしの3人で寝たが、ひとりはこの腕力が弱くて軍にいけない、怪我して。年取ったのは年取ったので軍にいかれずに徴用できて、それでひと部屋で3人が寝たが、その年取ったのが、配給でもらってタバコを吸っていたが、そいつも私もまったく同じように配給でもらってタバコを吸ったが、あ、タバコを1本借りたいといったんだ。明日返すからタバコを1本借りたいと、だから貸してあげたんだ。それで仕事に行き帰ってきた夕方には返さなくてはいけなのに、タバコを返さないでもう1本借りたいといったんだ。それで私はすぐそこでバカヤロウ（馬鹿）、***こいつめ、昨日借りたのを返さずにまた借りたっていうのか、お前も私も同じようにもらったのに、どうして返さないんだということ、そいつが馬鹿野郎、と怒鳴った、ゲス野郎***棍棒を持って戸とか食堂

などもおかまいなしに、そこの韓国人は私たち同胞だけで5〜60名もいたんだが、そこで寝っているとドタバタしてうるさいから、みんなが見てすべて壊してあとかたもない。それを口実にどんな権力を使ったかという、我々すべて同じ民族なのに何故差別する、ということです。だから我々を差別したから気分が悪くてぶん殴った。それでかえってそいつが懲役になった、私たちより。それで1回騒動をおこしたんだ。

同僚の名前を覚えていませんか？

あ、同僚達はみんな別れてしまって海軍病院から出てしまって、いません。

日本人の上官も覚えている方はいませんか？

いません。

そこでもっとも高い人の職責はどうでしたか？

そこで高かった人達、その人達ですか？ すべてこうじっと考えてみると、それは公務員として、日本人の奴らは生活して、みんなもうなんというのか？ 退職？ 退職するでしょ？ 退職した奴らを連れてきてそれをさせた。

★そうすると年輩でしたね？

◎そうです。年輩の人達。若い人はひとりもいません。

移動するたび、宿舎はいつでも有りましたか？

宿舎が無いのでそれをつくろうとして、寺へも行って寝たことがあります。

宿舎は、幕舎のようなものでしたか？

ハコバン（掘っ立て小屋）のように建てて部屋はひとつずつ。食堂は別でその端にあって。

ひと部屋に何人、寝ましたか？

3人。

食事はどのように、そこで食べましたか？

飯はもらってきて食べます。

そこには食堂はありましたか？

ついて行っていました(別の場所へ行きます)、食堂は。飯櫃。飯櫃を持って行き、そこに人数分をくると持って来て食器に盛って食べました。

食事はどのようなのがあったか今、覚えていますか？

米、麦、豆は良いから混ぜてくれなかった。たぶん。豆はなくて麦が多かった。小麦も入って。

おかずは？

おかずは、私たち韓国の食べものもそこも似たようなものです。

種類は多かったですか？

種類がどうしても多いですか？2種類なければ3種類で。汁ひとつと。それにキムチがあればキムチ1種類と、2種類なければ3種類で。

一日の勤務時間は、何時間ぐらいでしたか？

勤務は朝9時に始まり午後は昼食で1時間あって、それから日が短かったり長かったりするから時間をどう測ればいいのか？

普通は9時に始まり6〜7時になると終わりましたか？

そう、その程度です。そうだと思います。

勤務している時、もしや日本人管理者や、そんな人達から過酷な仕打ちや殴打などされましたか？

あ、あります。殴られたこともたくさんあります。国が無い悲しみをそんなときに思いました。

おもに、どんなときに、そのような仕打ちを？

仕事を終え、宿舎にもどり夕食をとって、退屈なので花札を少しすると、花札を少ししたからといって、こぶしで1回殴られ奥歯がすぐくはれました。ほんとうに恐ろしかった。そんなことが国を失ったことの悲しみです。もうひとつはあの九州、九州、わかるでしょ？ 海から離れたその島。そこに行って何をしたかという、飛行機の防空壕をつくったけれど、ヤ、その時に行って私が***炊事した。飯、飯炊き。そこに行って初めて降りてサ***またそのとき集めました。工事に***して連れてきて、私たちは50人くらいが行ったが、ソウルのひとが、そのなかに数人いました。行ってぱっと降りると***分かる人、挙手せよというので、すぐに手を挙げてしまった。その時、飯炊きをさせられました。ご飯。

九州ですか？

九州です。食堂の仕事をしました。

★でもどうして殴られたのですか？

◎私の話を聞いてごらん。そして防空壕を現場に出て仕事をして、私たちは食堂で炊事をしたが、アイゴ、時間が少し早かったので、その人達が帰ってくるかこないかと門の外で少しこのぞいていたら、アヒュー、そいつに見つかった。外をぶらついていたと。ひとが仕事しているのに、外をぶらついていたと。いって、14人を整列させ棍棒でぶん殴られた、私は最後だったが3回しか殴ら

れなかった、腕が痛くて。

月給は貰いましたか？

月給ですか？ 月給というのかな？ タバコ代でもそうか？

直接に貰いましたか？ タバコ代程度の月給を月々貰われましたか？

そうです。なに、私の小遣いにも足りなかった、それ。

では、おおよそどれぐらい貰ったように記憶していますか？

月に10円程度もらったと記憶しているみたいだ。

週7日間、すべて仕事をなさいましたか？あるいは月曜日から土曜日まで仕事をされましたか？

遊ぶ日はありません。休む日はありません。仕事をずっとしします。

1週間ずっと仕事されたのですか？

そうです。1ヵ月でも2ヵ月でもそのまま、1年だったら1年間ずっと仕事をしました。休んだ日は無かったです。

では、外出は全然無かったのですか？

外出も特に。金があれば外出するでしょう。

ですから外出は可能なことは可能だったのですね？

はい。ちょっと外出したいときは、少し出かけて来ます、と申告し外出しました。ぶらぶらして来ました。休みの日はなかったです。

仕事された場所の近くに、朝鮮人村とか朝鮮人達がもしや住んでいた村がありませんでしたか？

朝鮮人が住むところは大都市に行って朝鮮人は何かして暮らしたでしょ。地方に朝鮮人で住んでいる人はいなかったです。

おじいさん(ご老人)は、貰った月給で貯蓄をしたとか、そんなお金はありませんね？

貯蓄をなにでするんですか？ アイゴ、ハハハ。

あちらにいらっしゃったとき、もしや家に手紙を送るとか手紙のやり取りなどは可能でしたか？

手紙は出来ました。

では、家からもご老人のところへ手紙がきましたか？

そうです。この家の消息はそれでも聞かなくてはならないでしょ。

解放になった話は、どのように知りましたか？

屋に仕事をして8月15日に昼食をすませると***（日王）演説する講演するので現場は行くなと言われました。それで行かずにいると、ちょうど1時になると講演しました。日本***（王）が。

日王が降伏するということを、ラジオで聞かれましたか？

そうです。ラジオで放送しました。

それを、ラジオと一緒に作業された方達も、みんな一緒に聞きましたか？

そうです。みんな一緒に聞きました。国民すべてがその時間にすべて同じよ

うに聞きました。

勤務されたときに、直接に体験したか、あるいは聞かれた話で、大規模戦闘があったとか、大事故があったとか、そういう話をもしや聞かれましたか？あるいは直接に体験したとか……

私たち韓国人同士、日本と敵だから飛行機が空襲すると、壕掘りを中断し壕のなかでヤ、ヤ、ヤ、ヤ、空襲だ、これだ。いいぞ。いいぞ。壊せ、壊せ。ハッハッ。

その空襲はどれぐらいありましたか？

アイゴ、なに、毎日です。毎日。

最初に行った頃は、そうではなかったでしょう？

それは私が行って1年ほどして空襲が始まり、それ、とにかく大阪が最初に破壊された。大阪が。

日本が敗亡した事実を知ってから、ご老人は1945年10月5日に到着したとおっしゃいましたが、8月15日後の1、2ヵ月間は何をされていませんか？

遊んでいました。なんの仕事をします？ 仕事もしませんでした。

大阪にずっといましたか？ 2ヵ月間？

そうです。そこにいて解放になって帰ってきたから。

2ヵ月間いらっしゃって、何をされていませんか？

何するって何があります。していた仕事をしました。

仕事されたのですか？

仕事を中止せよ、という話は無かったので、その仕事をしました。だから金を

少しでも貰って食べられるじゃないですか。そして米の配給はくれたからご飯食べて。

★日本人達が8・15に敗戦した後も、仕事していたところにそのままいましたか、という話です。

◎そう引き継ぎました。自分の国なのにどこへ行く。自分の国だから自分の国にそのままいるでしょ。

★日本人管理者はそのままいたのですか？

◎そうです、その部隊で解散させないから、そのままいたんだ。

解散させたのは、召集解除したのは2ヵ月後ですか？

違います。その人たちがいるのを見て出ました、なに。解散はすぐしてくれなかった。

★どのように帰ってこられたのですか？

◎そこから大阪の海辺に出ると、釜山に来る船がありました。

解放2ヵ月ほどして召集解除したのですか？そのまま出てきたのですか？

★ちがいます。解除したではなく、韓国語でいえば無断離脱になります。

そのまま無断離脱して帰ってこられたのですか？

そうです。

何人か一緒に帰ってこられましたか？

私が仕事した現場には、現場には20人ぐらいいいたが、帰った人は15人ほどで、残りの人はみんな残り、会ってきました。帰らないでそこで住むと。

そこを出られてどの港で乗船しましたか？朝鮮に帰ってこられるとき…

それはそのあの、韓国まで来る船じゃなく、日本からただ韓国へ貨物その、連絡

船の埠頭まで乗せてくれて、いくらあげたかな、その時、そこまで5円あげたか？

日本を往き来する連絡船で帰って来られたのですか？

日本の連絡船じゃなく貨物船で稼ぐ船。

呉で日本の貨物船に乗って、下関港から釜山港に来る船に乗られたのですか？ 関釜連絡船に乗船されたのですか？

大阪で、それは、まあ船とは言えない。木船。機械は付いているが木船で小型の海に出て稼ぐ船。韓国へ人が帰って行くから、韓国へ人を乗せてあげて稼ぐとして下関まで。そういうの、そういうのに乗りました。そこから下関までそんな船できて、下関に来て連絡船に乗りました。

大阪でいちばん最後までいたところありますね？その現場から出て来るとき、あちらのほうで、今から帰って行く人達に交通費などくれましたか？そうでなければ配慮のようなことは、なかったですか？

ありません。日本の奴らは会えば称賛はしてくれました。貴方がたは1等国民になっていいなあと。私達はもう負けてしまったと。私達は2等国民で、貴方がたは1等国民だから、どれほど良いかと、このように称賛してくれました。

では、帰って来られたときは、おいくつでしたか？

その時は何歳だったかな？ 年齢も忘れた。ホホホ、25歳だったかな？

ご家族は帰ってくることをご存知でしたね？手紙のやりとりをされていたのですから？

あ、家では知らないです。それは何故かというと、解放が突然なったから、ほかのあらゆることが、すべて中断されました。おそらく。そうでしょ？ 書信連絡は出来なかった。

周辺に、ご老人が強制動員されたという事実をご存知の方はどなたかいらっしゃいますか？

知りません。どうなったのか、たくさん死んだでしょう。そう思っています。数人は生存しても韓国に帰ってこないで、そこに残って暮らすという人はたくさんいました。

最後に、私たち委員会や政府に望まれることがございましたらお話してください。

★父は、話したいことはないようです。私は少しひとつ言いたいことが、大金を望むのでもなく、決定なりとも早く出して、他界する前に恨を少しでも解いて差し上げられればと、ただそのことをお願いしたいです。大金を、お金は多くはなくても少しでも良いので、そうして自分がその時、そうして苦労したことはもういいんだ、なにかそんな恨がとける、それを少しお願いしたいのです。こうするうちに数年経てば、みんな他界されてしまうのに、その恨を。次にもうひとつは今その当時に対日財産権請求にこのことはすべて入っている事項ではありませんか？ その当時にそんなことをした人がまだ生きている人がいるということです。金鍾泌さんとかこのような人たちは生きているし、また朴正熙の主導でこうなったのですが、その娘は現在政治圏にいるし、そんな人達が率直に真摯に一度頭をさげ、誠実な気持ちで謝罪なりとも一度しなくてはいいいのではないのでしょうか？ これはあまりにも国民を愚弄する仕打ちです。またこのような人々を欺瞞することであるし。

面談者_チャン・ミラ調査官

録取者_キム・ミンヘ

検督/編集/注釈_イ・セイル調査3班長、カン・フィヨン/イム・ドア

検閲を受けて引っ掛かれば手紙も出せない

朴魯英

創氏名 正木魯英
1927.3.22. 忠南 燕岐郡 全東面 金沙里 生まれ
1945.1. 沼津市 海軍123施設隊へ動員
1945.8.15. 解放後 帰還

おじいさん(ご老人)、その写真、そこで撮られたのですか？

その時、その徴用に取られた時に撮りました。

この時、何歳でしたか？

この時は18だったかな、19だったかな？ それは国民義勇が初めて出て、それで行ったのです。国民義勇は私が多分最初の番になったようです。国民義勇で行ったのだから？ 国民義勇で行って、何処に行ったかという、静岡 沼津市¹⁰⁾と

10) 静岡県沼津市を示し、沼津には海軍工廠があった。

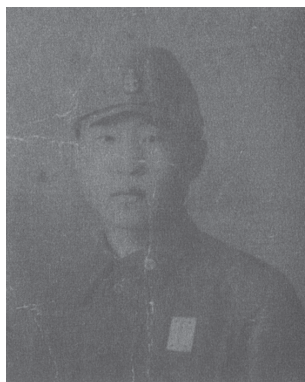
いう所に行って、そこで1,2箇月だったか居て、イスナンハオカ¹¹⁾という所に移動しました。そうしてそこに居て、解放になって帰って来ました。

今年で何歳になられますか？

住民登録上では80で、本来は81です。

その当時、日本名は？

マサキ、日本語でマサキ、正木。木の木。魯英。



国民義勇 当時

ソウルで生まれ育ったのですか？

いいえ。忠南で生まれて、2歳か3歳の時に上京したのだと思います。多分。

当時の家族関係はどのようになっていましたか？

その当時の家族関係は、お母さん、お兄さん、兄嫁、以上でした。

ご両親は？

お母さんだけでした。

それでは、兄弟はお兄さん以外にはいらっしやらなかった？

そうです。そうです。

11) 伊豆長岡。伊豆長岡は静岡県東部の田方郡にある町。2005年4月1日、菰山町等と併合して伊豆の国市になった。

その当時、何をなさっていたらっしゃいましたか？ お母様は仕事をなさっていましたか？

していませんでした。お母さんは。

そうするとお兄様は

お兄さんは当時、郵便局に、西大門郵便局に勤めていました。郵便局に。

家計の状態はどうでしたか？

そりゃ苦しかったよ。

お兄様が仕事をなさって家族の生計を立てていらっしゃったのですか？

はい。

おじいさん(ご老人)、何年度に強制動員されたのですか？

だから、解放になった年だよ、その時だよ、その年だよ。解放になった年に行き、行って、解放になって、帰って来たよ。解放になった年。それが何年度だ？

1945年。45年度ですか？

その年、1月に行きました。

1945年の何月に帰って来られましたか？

それは9月だったか？詳しくはわからないよ。9月あるいは10月だったと思うよ。

動員された地域が何処でしたか？

私が？静岡 沼津という所に行きました。

静岡県沼津市。

沼津市 海軍123施設隊。

海軍123施設隊ですか？

うん。それは海軍123施設隊だと言った、そこではその当時、部隊はよく知らなくて、そこは最後に居た所。イスナンハオカ。

ナンハですか？

ナンハ。イスナンハオカだったか？イスナガオカだったか？よくわからない。イスナンハオカマチと言った、その当時。そこに居て解放になったんだよ。最初に沼津市に2箇月だったか居たと思うよ。それからそこに行ったんだから。

それでは沼津市にいらっしゃって、最後にいらっしゃった所がイスナンハオカマチですか？

そこに、そこで駐屯して…あの山奥、この奥地等に行って整地作業をしたんだよ。

そこが一番、最終的にいらっしゃった所ですか？

その二箇所以外には居なかったよ。初めに沼津に居て、それから行ったんだよ。その部隊が一つの部隊のようだった。だから我々が軍人だとすると、そこは多分補充隊だった見ただよ。

補充隊ですか？

補充隊かどうか。そこには長く居なかった、2箇月居てイスナンハオカに行ったよ。

ここ沼津市が補充隊だというのはですか？

補充隊かどうか、ともかくも、その部隊はよく知らなくて、そこに1,2箇月居て、イスナンハオカに行ったんだが、そこで私の部隊名を確実に知ったんだ。

海軍123施設隊という部隊だということをイスナンハオカに来て判ったのですか？

海軍123施設隊で合っているようだ。

全部これが静岡県にある所でしたか？

それがイスナンハオカなのか静岡なのかよくわからないよ。静岡。とにかく、シミズマツ¹²⁾という所があったが、シミズマツから乗って行って、田舎に入って行くとありました。イスナンハオカマチという所が。

何箇月程度いらっしゃいましたか？

それは、ここを1月に出て、8月までだよ。

その時、おじいさん(ご老人)が連行された当時、お歳は何歳でいらっしゃいましたか？

その時、19歳だったか？17歳だったか？記憶が、17だったか、19だったか…

その当時、おじいさん(ご老人)は何をなさっていらっしゃいましたか？

その時、日帝時代、工場に通っていました。労働だよ。

工場で工員として仕事をなさってましたか？

12) 静岡県駿東郡清水町：沼津市の大部分は駿東郡に属する。

ただ、年が若いから下で。その～シタと、日本語でシタと言うでしょう？職工の下で…

何の工場ですか？

まあ色々とおちこち通ったよ。主に多く通ったのはゴム工場でした。

学歴はどこまで行かれましたか？

学校は小学校中退だよ、2学年。3学年に上がろうとしたが、行けなくなったよ。

そこに行くようになったのは、どのようにして行くようになったのですか？

その当時、国民徴用が来たから。国民徴用。

誰が行けと言ったのですか？

令状が来たから行かなければ。

令状を受け取って、その後、何時、何処まで、何処に来いというそのような…

その時、令状を受け取って、区庁に集結したよ。多分、麻浦区庁。そこで集結したと思うよ、麻浦区だから。

令状を受け取ってから何日で行きましたか？

令状を受け取って10日？10日も経たないかな、10日前に。

一週間後に麻浦区庁に行って見ると、何人くらい集まっていたか？

約150から200人？

麻浦区庁に集結した後、次に訓練所や養成所のような所に行って、訓練を受けましたか？

行かなかった。

麻浦区庁に行って…

そのまま日本に行ったよ。

その時には、家族に話をし、荷造りをして、麻浦区庁に行ったのですか？

そうだよ。

集まった人たちは、その日、そこに集まって直ぐに日本に行ったのですか？

そうだね、その記憶がはっきりしないね。

それではそこに行った時、誰が出て来て話をしましたか？

区庁から引率しました、全員。

引率していた人は韓国人。朝鮮人でしたか？

韓国人だったと思う。

麻浦区庁に集まって、ソウル駅から汽車に乗って行きましたか？

はい、ソウル駅から汽車に乗って釜山に行き、船に乗って行きました。

どんな船に乗りましたか？

その、下関には行かなくて、博多に行ったよ、多分。そうしてそこでその当時、地下鉄***行き交う列車があった、日本に。これに乗って下関に渡って行って、

またその次からは記憶がよく出て来ないよ。あ、また汽車に乗って来て見たらそこで。沼津市駅で降りて、そこで。その当時、日本の奴らの話では、カイトントネル¹³⁾だと言うが、それは何か海の下を渡って行くものだと言っていたよ。

釜山港から博多港に行く時、船に乗って行かれましたが、どんな船だったですか？

それは、その、連絡船なのか、貨物船だったのか？ 連絡船なのか貨物船なのか、記憶がはっきりしないよ。ただそのまま入れられて、一番下の貨物室に居て、着いたら降りたりしたんだよ。

一緒に行った方たち全員が貨物室に乗ったのですか？

そうだよ。九州で降りて、何処、何処へ行くのかと言って、多分分割したようだったと思います。その日、我々が乗った一行は、沼津に行って、降りて。

それでは、貨物室に乗って、何日程度掛かりましたか？

船の中で一晩寝たかな？

引率者はいましたか？

引率者はその時は日本人だったよ、その時は。麻浦区でだけ韓国人だったと思う、釜山からは日本人だったと思います。

船に乗って行く間、何処に行くようになった、という話をしてくれましたか？

その時、何処に行くのかと聞くと、沼津に行くという話を聞きました。

13) 海底トンネルを「カイトントネル」と間違えて記憶しているようである。

日本人が話をしてくれましたか？

その時、我々には日本語がわかる人もいて、だから日本語がわかる人が話をしてくれたと思う。我々だけでこういう風に座って、何処に行くのか、何処に行くんだと、こういう風にヒソヒソ***と話したが、その時、沼津に行くという話が聞こえたと思うよ。誰かが公式的に何処に行くという話は無くて。

何百名程度が船に乗りましたか？

そうだね、それはちょっとわからないよ。ただこのように部屋に、一列で入って行けと言って、それで一列で入って行って、その次には自由が無くて、歩き回ることが出来ないから、人がどの位居るのか居ないのか分からないよ。

麻浦区庁から行く時、同じ地域に住んでいた方たちの中で、一緒に行った方はいませんか？

記憶がある人は、そうだね、ファン・ミョンファンという人がいたが、彼はそこに行って、召集令状が来て、再び韓国に来て、韓国に来て軍隊に行ったんだよ。それから日本陸軍軍人として出征したようです。軍隊にまた行った。そうして徴用に行って令状が来たという話を聞いて、韓国に来たと。その人が一人いて、その次には、長い時間が過ぎたので記憶が出て来ないよ。

この方は、最初は軍属として行って、再度召集令状を受けて軍人として出征したのですか？

そうです。そこで、その123施設隊に居て、ソウルから召集令状が来たと通報が来て、それで再び家に送られたんです。そうして家に帰って来て、軍隊に行ったそうです。

この方は歳が幾つでしたか？

その方は歳が私より2歳位上だったよ。その方は21歳だったか20歳だったか

な。その時、かなり徴兵が出て来た時だった。

123施設隊で職責や職位のようなものは、ただ軍属だったのですか？

職位？ 職位はその時期は、ただ、何か黄金色の服を着て、そうして仕事をしたよ。これが写真だが…

写真を持って、いらっしゃいましたか？

写真は一度捨てようと思ったが、必要だと思って所持して、今は保管しています。それで、そこに行って、こんな服装をしたんです。これを捨てようとしたけど、昨年申請する時、何かこんな物でも一つなければならぬと思い、探したらこれが出て来たんだ。

他の物は全部捨ててしまいましたか？

他の物は、写真を2回撮ったが、6.25（朝鮮戦争）の時に***。あれは、一枚が。二人で撮ったと思うが、一人は今では星になって、切り取って捨てて、あのよに私の顔だけ残したんだよ。

所属部隊に朝鮮人はどの位いましたか？

朝鮮人だよ、全部。日本人が何人かいて、他は全部朝鮮人です。

管理者は…

部隊長は、その時は海軍中佐だったと思います。

名前を記憶していますか？

アイゴ、名前が出て来ないよ。歳をとった人だよ、老けていたよ。ここに、日本も黒い物をこうやって吊るして、拳銃をこうやって付けて。その人が部隊長で

した。それで、海軍が二人いたが、昼間は何処かに行ってしまい、見えなかった？少尉が二人いて、その海軍中佐、韓国式に言えば中領、その人が最後までいました。歳をとっていました、その人たち。

この部隊長。海軍中佐だったその人は日本人で、その次に他の…

海軍将校が一人いたかな？一人いたが、後で行ってしまいました。上海の何か特戦隊に行くとかいう話を聞いたよ。だから陸戦隊。日本の奴らは陸戦隊という。

部隊長、海軍中佐や将校、その次の何人かを除いて大部分が朝鮮人だったという事ですか？

日本人は炊事班長、その他に二人か三人いたよ。行政部には女子が二人いて、男子が一人いて、その他は全部朝鮮人だったよ。

泊まる所、寄宿舍はありましたか？

寄宿舍は、土方場、飯場だよ。普通の飯場じゃなくて、幕舎だよ。そこに居て、数小隊、数分隊と、このように分けて置いて、そこに居ました。畳が敷いてあって。

一つの幕舎には何人程度が寝ていましたか？

それは、数個分隊いたかな？一個小隊がいたように思うよ、一幕舎に。そうしてそこに分隊勤務があったように思うよ。一個小隊で。その当時は、約40名近くいたように思うよ。

宿舎は123施設隊の中にありましたか？外にありましたか？

中だよ。鉄条網の中に。それは行って見ると、麦畑の横に鉄条網をぐるっと張り巡らして置いてあったよ。

生活はどうでしたか？そこで、何か殴打されたり…

殴打は無かったです。そこには医務室もあった。

特別に不合理な待遇を受けたり、そんな事が無かったですか？

徴用で行って、特別な待遇は受けなかったが、不合理な事など、そうした事は無かったです。

おじいさん(ご老人)、その当時、日本語は話せましたか？

いや、その当時はよく出来なかったです。しどろもどろにやり取りして。

日本語が出来ないといって、そこで不当な処遇を受けたり、そんな事は？

無かったです。そこには韓国の通訳がいたから。

123施設隊で、おじいさん(ご老人)がなさっていた仕事は、正確にはどんな仕事ですか？

やっていた仕事は、そこに行ってみたら、部隊から直ぐ近くに山があって、山に洞穴がありました。洞穴に行くと、洞穴を真っ直ぐ行くと、これ位の広い空間があって、また横に行くと、またあって、またあって。洞穴の中が全部このように部屋ようになっていました。ところで話によると昔、日本銃を撃つ時にそこで全部銃を撃ちに駆けて行ったと言ってたよ。そこで、大きな石を掘り起こして、小さな石を底に敷いて、それを整地する作業をしたのです。それで、話では整地作業をしてから、そこを飛行機の付属品工場として使うのだと、言っていました。

それでは正確にはどんな仕事だと言うべきですか？防空壕ではなくて洞穴…

洞穴の中に軍需工場施設を造るということだよ。そこで飛行機の付属品を削る工場をやると、そんな話でした。それで整地作業をしたと、そういう事です。

ところで、なぜ洞穴の中で軍需作業をしたのですか？

ああ、その当時は激しい空襲があったから。工場造ると言って整地作業をしたんだ、整地を。話では、そこに飛行機付属品工場を造るのだと言っていました。だから我々が洞穴の中で整地作業をしたのです。石を敷いて、このようにデコボコになった所は石を外側に持ち出して、深くなった所は石を持って行って埋めて、このような作業をしました。

123施設隊では、それだけを行っていたのですか？

それだけをしていて、後に解放になった頃に、若い、歳が若い人たちを、また訓練させたよ。訓練をさせたが、何の訓練かと言うと、壕を掘るのだが、丸く掘るのです。そうしてこのように人が一人、このように入るんだよ。上に蓋を作って置いて、それで、日本人の奴らは何をやるのかと言えば、それを掘って、中に入って、手榴弾¹⁴⁾を持って入って行くんだよ。そうして戦車がそこに来たら、その手榴弾を投げて素早く逃げなければならないんだ。日本の奴ら、どれだけ逃げれば生き残れるか、とか何とか言ってたよ。そんな訓練を受けました。

それはタク何と言うのですか？ それは何の訓練だと言ってましたか？

タコツボ¹⁵⁾

タコツボですか？

14) 対戦車手榴弾

15) 蛸壺：戦場で兵士が一名隠れるように掘った穴。

タコツボと言うのは、蛸から来ていて、どんな物かというと、地面を掘るんだよ、深く、このように深くね。そしてそこに入って、このように座って、蓋をこのように被せて、穴が一つあって、そこからこのように見ているんだよ。それで戦車、戦車は何で作っているかと言うと、クルマの上に竹で、このように作って、***人が引っ張って行きます。戦車といってもそんな物です。実物は無いから。そうして戦車が来ると、そこからぱっと飛び出して来て、手榴弾を投げるんだよ。***手榴弾を。それから、アイゴ、3秒だけ逃げられれば生き残る言っていたと思うけど？死んでしまう人もいるだろうね。だから、タコツボ壕というのは、そういう物だね。

タコツボ壕？ タコは蛸の事じゃないですか？

蛸壺壕という物だね。丸く掘って、入って行くから。

あ、だからそれは土の中に掘る物ですか？それとも地上に竹を編んでこのように…

私は竹を丸くして、このように蓋を作りました。周囲がこの位です。これを私が作って偽装をしたんだよ、木をさして。それからこの中に入って行くんだよ、壕の中へ。手榴弾を一つ持ってそこに入って行くんだよ。入ってじっと座っているとこれが出て来るから、このようにちよっとうずくまって座りました。そうしてこの蓋を、丸くした物を私が被せて、このように、このように見張ったんだよ。見張っていて、戦車が来ると蓋を開けて出て来て、手榴弾を戦車に向けて投げるんだよ。

月給は貰いましたか？

月給はあったと思うけど、幾らもなかったです。月給は貰いました。貰ったと思います。外出して、その当時、とうとうその時、戦争が激しくなって、市内に出ると配給をくれたよ、食堂で。食堂に入って、さあ食べようとしても出来ず、こ

の飲食店は昼食の時間になると、列が並びました。列に並べば配給を貰える時もあるって、何か食べ物を配給で貰って食べるには、そのように列に並ばなければだめだった。並んでも、食べ物が無くなればそれで終わりだよ。一時間並んで待っていても、食料が無くなれば、それで終わりだよ。そうやって食べ物も買い食いして、さっきの、先程の写真も撮ったりしたよ。

食事は何を召し上がりましたか？

食事はご飯ですよ。豆ご飯、麦飯など、そんな物。豆を混ぜる時には、***を貰い、麦を混ぜた物も貰い、そして作業に出掛ける時は、弁当を作って出掛けるが、弁当は木で出来たこのような弁当箱を使ったよ。それを一つずつ持って出掛けたよ。木で出来た物。

外出なさって、その月給で写真も撮ったのですか？

外出する時は、握り飯をくれたよ。土曜日の午後に出掛けたが、午後に出掛けると、晩飯に食べる握り飯を一つ、日曜日の朝飯に一つ、昼飯に一つ、このように握り飯をくれました。それを持って出掛けて食べて。米で下さいと言えば、お握り一つ分の量の米をくれて。そうやっていたよ。

何故お握りを予めくれたのですか？

土曜日に外出すると部隊に戻って来れないからね。外泊だよ。

何処に行って泊まって来たのですか？

だから、時間が長いから、そこは村だから、日本人が農作業している所に行き、ちょっと手伝って、どこにも行くところが無いと話したりして知り合いになって、「お前、俺の家に来て寝ろ」と言われて、そこで寝たりしたよ。お金がある時には勿論旅館にも泊まったりもしたが、お金が無いと、そのようにして泊まらせて貰ったよ。また、そうでなかったら、こっそりと部隊に帰って来まし

た。晩に、歩哨に立つ人は皆韓国人が立っていて、部隊においても動哨が、鉄条網に行ったり来たりする動哨も立っていたが、動哨が立っている所に行くんだよ。行くと、その時、我々は暗号が何かと問うんだ、銅銭・葉銭とね。銅銭は日本の奴らで、葉銭は我々韓国人だという意味だよ。初めは、ほら、このように動哨がこういう風に来れば、葉銭・銅銭と言うんだよ。そうすると韓国人は葉銭と言うんだ。そうして、これから俺は中に入って寝なければならぬと言うと、歩哨に立っている奴は、鉄条網の中に入れてくれるんだ。そうやって帰って来て寝て、また朝に、夜明前に出て行くんだ、こっそりとやるんだよ。

そこにいらしゃった時、家族と手紙など書信交換のような物を書くことが出来ましたか？

書信交換は、やりました。厳格にそこでは検閲をしました。だから家から来た物も検閲して、私が家に送った物も検閲しましたよ。検閲して郵便局に持って行ってくれました。

では、家族たちが何処に居るのか。日本に行って、どんな仕事をしているのか、何処で生きているのか、そんな事を知っていましたね？

そうだよ。でも、正確に何処に居るという事は手紙に書けず、何の部隊にいるという、そんな事だけ。その位置も正確にその住所は書かないで、何の部隊にいる、何処の部隊にいる、つまり言うならばイスナンハオカの何なにの部隊にいる、と正確には書かずに。それ書くと検閲に引っ掛かって手紙を出してくれないよ。

部隊では、物品のような物を全部支給してくれましたか？服、靴など…

そうだね、靴、服、全部そこで支給してくれたよ。支給してくれたけど、私はそこに1年も居なかったから、最初に貰った物を使っていたままで、そのまま帰って来たよ。

もしかして、そこに慰安所のような所があったという話を聞きませんでしたか？

部隊の中に？部隊の中には慰安所のようなものは無かった。どうなっていたかと言うと、鉄条網をぐるっと麦畑に鉄条網を張り巡らしてあったが、そこに温泉が一つありました、部隊内に。この温泉は、この部落に住む人たちが使う温泉だが、この軍が全部占領したから、この温泉が今は部隊内にあったから。だから、この鉄条網の門を、このようにして置いて、一日は部落の人たちが使い、その次に我々が使っていたが、ある時その温泉で、あの山向こうに挺身隊が来ているという話を聞きました、女子たち。でも私は見なかった。挺身隊が来ているという話だけ聞いたよ。だから多分そこに臨時集結して、何処かにまた行ったのかも知れないよ。とにかく、私は行って見た事も無く、山の向こうに来ているという話だけ聞いただけ。

解放になった事は、どのように知りましたか？

解放になった事は、ある日、この部隊長が全員を集合させて、運動場に全員集合したら、天皇陛下が国民のために無条件降伏をしたと、その部隊長がそう言って、降伏は、

我々日本は降伏をしたから、お前たちは独立するのだ。だからここで受けた全ての訓練を、国に帰ってそのまま利用してやれ、と言った。

8月15日当日ですか？

その翌日(二日後)。

それから部隊内に少し留まりましたか？

部隊に、解放されて約20日いたかな？それ位いて、どういう話があったかと言うと、米軍が上陸するというものだったよ、そこに。それから駐屯するが、米

軍が入って来ると捕虜として全員認定されて、家に帰れなくなる、という話だったよ。だから、我々を早く送ってくれと言ったよ。そうすると部隊長は、そうではない、そうではないと、ここから引率してやるから、その時に行けと言ったよ。我々はそれでも、だめだ、今すぐ俺たちは行くと言ったんだよ。そしたら、行くな行けと言ったよ。それで我々は団体で、全部このように何人かで組みを作って、引率者が一人いて、そうやって我々は自分たちだけで出て来たよ。

引率者は朝鮮人でしたか？

はい。韓国人、そこで小隊長をしていた人。韓国人が引率をしたが、そこで何かを受け取って、何かの書類をくれました。だからそれを受け取って来て、下関に行きました。

部隊で何か書類のような物を作って貰ったのですか？

そうだよ。引率者になった人に、出発して、船に乗るという事を証明してくれる物だよ。

渡航証明のような物を受け取ったのですか？

はい。

港はどの港まで行きましたか？

下関に行きました。そこで船着場を探して行ったら、順番があるが、お前たちはまだずっと後になると言うんだよ。いつ乗船出来るのかわからない。それで誰かに聞いてみると、仙崎という所に行って見ろと言うんだよ。そこに行けば早く乗れると。その日直ぐに仙崎港に行ったよ。行ってみて、先ず寝る所を探し回って、そして部隊でくれた証明を持って、乗船の受付をさせたが、そこで寝場所をどうするんだと聞かれて、部落に配置されたんだよ、村の部落に。民家に配置されたんだよ。そして、来る前に米を貰っていたよ。部隊から米を持

って来たからね。それでその米をくれてやって、その民家で寝たんだよ。仙崎で4,5日過ごしたかな、2日間だったかな、そうして船に乗りました。貨物船。

貨物船に乗ってそのまま真直ぐに来たんでしょ。釜山港に？

釜山港に来たよ。

釜山港まで何日程度掛かりましたか？

一日でそのまま来たよ、多分。仙崎で夜明け前に乗って、夜に到着したと思うよ。

釜山港に到着なさった後、ソウルまでは汽車に乗って来ましたか？

汽車に乗って来たよ。釜山で降りたら、何か握り飯を作ってくれていて、降りて来たら握り飯をくれながら、少なかったら、もっと食べろと言ってくれたり。そこではファンファーレが鳴っていたよ、釜山港に来たらね。それから釜山の何処かに行った。行って、釜山市庁だったか、どこだったか行って、そこで解散になったよ。各自、個人別に皆なったよ。

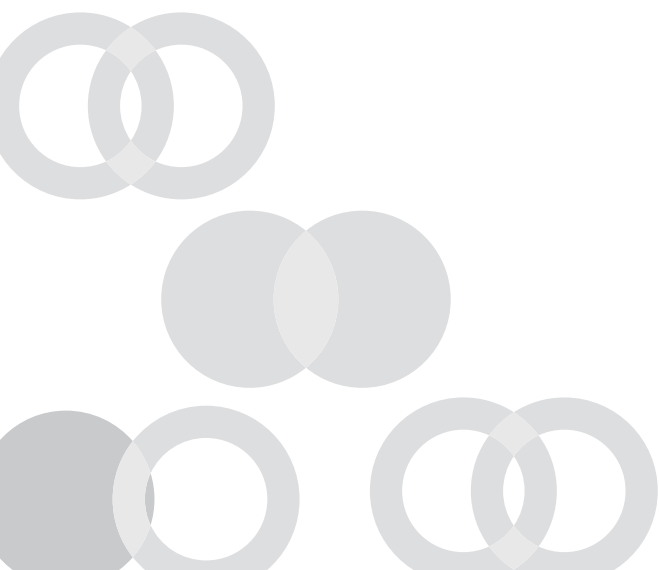
おじいさん(ご老人)のような場合、早く帰って来られましたが、残った人たちは、もしかして捕虜収容所に行ったというような話は聞きますか？

それは、捕虜として捕まえなかったそうだよ。あれは、誰かが知りもしない事を話し散らしたんだよ。誰か捕虜にされましたか？ ハー、今思い出すと間抜けなことだったよ。

面談者__チャン・ミラ調査官

録取者__キム・ミンヘ

検督/編集/注釈__イ・セイル調査3班長、カン・フィヨン/イム・ドア



長い剣、 すっと抜いて腹を突き刺したからくらくらして

李長民

創氏名 イヒムラ チョミン (不確定)
1923.11.3. 全北 完州郡 参禮邑 後亭里 生まれ
1943.9. 日本 大阪 陸軍造兵廠に動員
1945.8.15. 解放後 帰還

おじいさん(ご老人)、今年おいくつでいらっしゃいますか？

ええっと、83歳です。

創氏名、覚えていらっしゃいますか？

創氏名？ (はい。) 覚えています。イヒムラ チョミン。

そのとき当時、徴用に行った時、おいくつでしたか？

たぶん21歳でした。

そのとき、何月ごろでしたか？

9月ごろでした。陰暦の。

21歳ですと、そのときどんな仕事をされましたか？

日本の奴の家で日本の奴の倉庫掃除をして鉄工場であの、鉄工の仕事をしていました。職工生活をしました。

その連隊長、造兵廠連隊長ですか？ 連隊長は日本人でしたか？

日本人でした。タツミタイ(タツミタ)という。

連隊長は大尉で、その次の下はまた小隊長ですか？

それは中隊長です。モリゲンソウ¹⁶⁾。モリゲンソウ。モリが名前で、ゲンソウはその階級です。そしてオカノ、オカノゴチョウ¹⁷⁾という人がひとりいて、ゴチョウは階級です。

小隊長はいなくて、中隊長ということですか？

小隊長はあの、その人がそうです。オカノゴチョウという人が。

どういう仕事をされましたか？

どんな仕事をしたのか分からないけれど、鉄を加熱して鉄板棒に強く押して伸ばす仕事をしました。溶鉱炉で溶けて出てくると、平らになるように叩いて¹⁸⁾伸ばしてそんなふうにして、これぐらいをこのように伸ばして平らにしなくてはいけない。平らにして鉄を削ります。それを機械に入れきっちり削って、そ

16) クンジョウ (軍曹)

17) オジャン (伍長)

18) 平らにして

れで何をつくるのか分からない。そういう仕事をしていましたが、工場がこっ
ちで休んであっちで休んで、そんなふうに休みました。材料が無いから。それ
で私は、材料がないから仕事できなくなった、できなくなったから土方工事の
現場で荷を背負ったり、道路を造ったり、どこか掘るところなどで、まあそんな
仕事を。

1日に何時から何時まで仕事をされましたか？

1日に何時間仕事をしたかですか？ だいたい6時に終わります。涼しいとき
やこう暑いときには6時に終わります。6時、7時頃にこう出て。7時に出て8時頃
に仕事が始まった。

それでは仕事を終えて食事はそこで…

宿舎に行きます。電車に乗って宿舎に行ってそこで食事をしてまた寝て、また
起きて寝て、まだ日本語できない人は日本語を習い、また何かを習い、何かを
習って、寝ることもできない。すべて日本語、やって来て教えるので寝られな
いし腹は空いて眠気はくるし…

夜、宿舎で日本語も教えるなどしたのですか？ 日本語を、日本人がですか？

日本人が。

日本人がみんなを集めてですか、宿舎に？

まあそれは、その仕事は3班、4～5班ずつきっちりと分けて、日本人が少しそこ
にきて教えました。

4～5班ずつですか？ すると宿舎にそうした教育できる大きな講堂のよう ながありましたか？

ありません。そのままその宿舎の部屋で。

そうすると、ある部屋では日本語を教え、ほかの部屋ではなにかを教える、こうでしたか？

ありません。ひとつだけ。

日本語だけですか？

日本、日本人、日本語が上手なひとは習わなくてもよかった。日本語、私のように分からないひとは習って、もう工場に行って韓国語をつかうと韓国語を話したといって罰を受けた。膝をついて罰せられた。日本語をつかうんだ、韓国語をつかったと、韓国でもそうしたが。

ご老人、その陸軍造兵廠の部隊名は、また異なる部隊名はありましたか？

部隊名は分かりません。

ただ陸軍造兵廠とだけ、ご存知でしたか？

うん。知ろうとしても知りようもないし、もし少しでもそうしたら、連れて行かれて調査しごとく、話すんだ、とすぐ殴られた。なんだか話も出来ないしどこか見物にも行けないし。

そこは、大阪の正確にいうとどの地域にありましたか？

大阪の野原、その市内の野原にそれはありました。中心に。

中心にあったのですか？ 例えばここだと洞名があるでしょう？

洞？ そこはそのまま下って行くとモリノミヤ¹⁹⁾ とだけ知っていたが、とても大きいのでどこがどこのか分からない。いろんなものがすべて揃っていて写真

19) 大阪市城東区森之宮

館もあるし飲み屋もあるし、なんかいう店もあって。とにかくありとあらゆるものがある、その中へ行くと。またそのまま汽車も往来していて電車なんかも往来して。行ったり来たりして。

そこで仕事するとき、月給などは受け取られましたか？

受け取りました。受け取ったが2000円貰ったか1500円貰ったか、それをよく覚えていません。

2000円か1500円かですか？

はい。

それを現金で受け取りましたか？

現金で。

毎月毎月ですか？

毎月、毎月。毎月、毎月くれます。

現金で貰いそれはどうしましたか？ その全額をご本人が持っていたのですか？

持っていました。持っていて腹が空いたり休みの日はみんなでぶらぶらして、なにかを買い食いして酒を飲んだりして。

あ、そうですか？ 外出のようなのは自由でしたか？

それだからこっそり外出します。外出したことがばれると、だから点呼、点呼の前に帰らなくてはいけない。騒動があっても点呼までに帰らなくちゃいけない。そして帰るときに日本の奴にみつかると、そこで捕まり殴打される。

点呼は何時でしたか？

点呼は当時11時ごろ…

夜11時ですか？

11時。勉強をする人は勉強をして、一緒に全員みんな通路で点呼しました。

もしか月給をためて貯蓄などはされましたか？

貯蓄しました。貯蓄をしましたが、それは韓国に帰ってから引き出しました。

あ、引き出せましたか？

うん。引き出したことには引き出せました。それもひょっとすると引き出せなかったけれど。みんな日本の奴をさがそうとしたが日本の奴がどこにいるのやら、しかし誰かがこう言ったんだ、軍人が今さっき家にいたと。それで私は家へ帰っていたので、軍人のところへ行って引き出そうと。それで日本でしたこれを返してくれ。私が貯蓄したのを返してくれ、返してくれと言うと、まだ日本人が韓国におおぜいがいるから、韓国に帰って引き出しなさい。そういつて返してくれないからどうしようもない。通帳持って韓国に帰ってから引き出そうとすると、日本の奴らはそれで誰かが府人²⁰⁾の何某がいるといった。それで府人のところへもう1回駆けつけたがいらない。1回自分で行ってあのこれぐらいの奴を連れて行くと、その中に入っていた。それで軍人から引き出せました。その時、13人か14人か？ここから行った人達。

その夫人というのは、誰の夫人をいつているのですか？

20) 府庁の職員である府人のようである。

例えて言えばその時、府庁のひとたち²¹⁾、まあ、シジェン²²⁾ですよ。

市長？

そうだ市長、府人とかう2人。

それでは全州市長？

うん。全州市長。

全州市長に責任があるから？

市長が責任あるでしょ。いったい誰が責任をとる。

その全州市長は日本人でしたか？

日本人です。

区庁長だったのですね、その人は？

うん。そうです。その時は府人といったが。

府人ですか？

うん。府人といった。府庁のひとだから府人といったようだ、たぶん。

あ、市長を府人といったのですか？

そう、その人の妻、夫人、奥さんを言ったんじゃないく…

21) 府庁：日帝強占期に府の行政事務を処理した官庁。全州は1935年10月1日府令第112号（1935.9.28. 公布）により全州邑は全州府に昇格し原州郡から分離した。

22) シジャン（市長）

あ、その時は全州市長を府人と呼びましたか？

府人って、府庁だったからそのとき。

そうですか。ではその全州市長のところへ行って、その貯蓄した金を全額受け取られたのですか？

受け取りました。

どのくらい受け取られましたか？

その時、100いくらか受け取ったはずです。

貯蓄をたくさんしなかったのですか？ 2000円とか1500円を貰ったということでしたか？

う〜ん。それぐらい貰ったが、家に送金するにはしたが、家では1回受け取って全部は受け取らなかったという。家に帰ってみると、受け取っていないと。その時、大東亜末期のときで秩序もあったものではなかったんだろう？

うむ…

トラック乗って、日本の奴のトラックに乗って8月14日だよ。8月14日のことだが、トラックに乗ってそのセメントを運んで行った。セメントを運びに行ったんだ。日本の奴と。でも新しくつくられ道路は静まりかえっていた。自動車も通らず人声もしない。「あれっ、なんでこんなに人声もしないし、人も通行しないで静かなんだろう。ひとつ子ひとり歩いていない。」自動車で走っていると、どこかで泣き声も聞こえてきたんだ。その日は空襲もこないし。あれっ、これは何かある。これは何事かおこった。セメントを運んで行くと会社では、セメントだと、なんのセメントを運びにきた、帰れ、と言われました。ああ、それで解放になったと分かりました。14日です。8月14日の日。そうして確実に8月15日に確定した。

するとご老人は、さきほど貯金を100円ぐらい受け取ったとおっしゃいましたね？そして通帳をそのようによく持ち帰られましたね？

その通帳くれたから、行って引き出しなさい、と通帳をくれたから。

慰安所があったという話は、聞きましたか？

慰安所ってなんですか？

あの慰安婦がいるでしょ。慰安婦、慰安所、そういう話は聞きませんか？

聞かなかった。その時は日本の奴は笑うこともなかった。ものすごく飢えている人がほとんどで、買って食べるものも無いし、そうして大混乱になったんだ、解放がパツとなったということだ。解放がパツとなって、キャーと日本の奴はものすごく泣き叫んで、日本人たちは通りでも泣くな、泣くんじゃない、我々は3年以内に起ち上がる、そう振れ回っていたんだ。3年以内に起ち上がったじゃないかね？日本の奴ら。それなのに、韓国はそうように日本を追い越すべきなのに、わが韓国は立ち遅れているじゃないか。そんなのが腹立たしいし、あいつらは韓国人をどれぐらい連れて行って殺したか知っていますか？大勢が殺されました。それでもまだ足りずに独島を自分の土地だといっているんだ。殺したって飽き足らないよ、胸の中に拳のようなのがふつつとこみ上げてくるんだ。

韓国から行かれるとき、釜山港から出発し大阪に到着するまで、何日ぐらいかかりましたか？

昼1日、夕1日行って夕刻に乗船してしばらく、その翌日しばらく行って夕方に着きました。大阪に。

釜山から下関まで、どれぐらいかかりましたか？

夕刻、1日夕刻のうちに行了きました。

釜山から夜に出発しましたか？

夜に出発しました。あ、昼間に出発したんだ。朝、朝に出発しました。

朝出発して下関に着くと夜だったのですね？

うん。夜。

夜に到着して…

また、そこでその場所でそのまま乗りました。汽車。

汽車で大阪まで…

ひと晩。その日の夜、その日の夜に着きました。だがその翌日に着きました。きょうの夜に乗った汽車でその翌朝に着きましたから。

すると行くときは、丸一日ではなく2、3日ですね。2日半ですか？

そうだね。

さきほど、その造兵廠から逃亡したという人たちがいらっしやいましたね？ その人たちが逃亡してから故郷に帰って来たという話、もしや？

聞かなかったです。ほかの地域の人達で。

おじいさん(ご老人)、宿所ではひと部屋に何人いましたか？

3人。

その宿所全体でいた人は何人ぐらいになりますか？

正確によく分かりません。さきほどですね…

その宿舎には数百人はいましたか？

何百人だったか、いませんでした。全部で総勢、行ったのは約300人以上行ったけれど、一群はタシマヤ宿舎というのがあります。タシマヤ宿舎というそこへ行き、一群はペノジ宿舎というここに来て。

では、100人ぐらいいましたか？

100人はいないです。

宿舎は思ったほど小さいですね。ではご老人、この写真ですが？ この写真は昔、その時そこで勤務なさったときに撮ったものですか？ 遊びに行つて？

はい。そうです。どこ？ 写真、どこ？

これは、おじいさん(ご老人)が添付されたものですね？ 45年3月に奈良県²³⁾公園で…

奈良県公園で撮ったものです。公園で撮ったものです。

この奈良県はその大阪にある…

そこから近いです。そんなにかかりません。

仕事している方たちと遊びに行つて撮ったものですか？

遊びに行つて。日本の奴、そのカメ



1945年3月 奈良県 公園にて

23) 奈良県

ラで写真を撮った、そいつがみんな撮った。そこで。

今見ると、ご老人か、そうではないのかよく分かりませんね。この写真をお持ちですか？

あります。

もしや、その工場内で撮った写真はありますか？

工場では撮れません。工場では。

敗亡する頃、空襲²⁴⁾が頻繁だったということですが？ それなので仕事に空襲がくると逃げ回るなどされましたね？ 防空壕にも潜って。

死ぬまいと思うから逃げなくちゃ。すごくその工場は修羅場（阿修羅場）になって秩序もなくなりうろうろと。それでどんな方法があったかという、日本の奴らは空襲がくると女子だけさっさと避難させてしまう。男子はそのまま。どこに行ってもそのままでいると。だけど私たちは逃げなくちゃ生きられない、そこにいと死ぬからなんとしても逃げなくては。アイゴ、あれが隊列組んで飛んで来てその日に工場は沼²⁵⁾になってしまった。そのまま。日本大阪が廃墟になったからどうなるんだ。都市という都市がすべて爆撃された。

それは、45年の敗亡が迫る8月頃でしたね？

そうです。8月頃、すごくそれが最高に、そしてあのセッセツ機があるでしょ？

24) 1945年、B29の大阪空襲日誌は次の如くである。1945.3.31～14、1945.6.1、1945.6.7、1945.6.15.大阪市街地空襲、1945.6.26.大阪住友精錬所、1945.6.26.大阪造兵廠、1945.7.6～7.大阪丸善精油施設、1945.7.19～20.大阪港口、1945.7.24.大阪住友精錬所、1945.7.24.大阪造兵廠、1945.8.14.大阪造兵廠。

25) 沼という名詞の沼を指すようであり、沼は湖水より浅く泥の多い沈水植物が生い茂るところをいう。

ゼット機(セツセツ機)。それまではそれに似ているの²⁶⁾が飛んできて、橋や工場のようなところ、そんな場所だけ爆撃したんだ。大東亜戦争末期になると、なにが飛来したかというセツセツ機、そいつが飛んできたから日本の奴はおどろいてしまった。

セツセツ機ってなんですか？それは名称ですか？正確な名は？セツセツ機？

セツ、セツと音をたててすぐ。

戦闘機のことをおっしゃっていますか？

はい、戦闘機。そうです。そいつが飛んできて、そこに軍需工場があるとそいつが4機飛んできて、いっぱいそこへきてそこでグーンと上昇する。するとあの断岸²⁷⁾に艦砲射撃すると、山に行つてこうみるとククククククンと音がする。黒い煙がさっきそうするとそこに飛んできて落下した。

では、その空襲で造兵廠にいた人達で、どこか負傷したり亡くなった人はいましたか？

そういう人は特にいません。

空襲がはじまれば、みんな逃げましたか？

ええ。その門は、工場内の門は7個ぐらいあったが？7個あるがすべて閉ざしてしまう。それからそのとき、そのときにそこいればいちおう死んでしまう。だから逃亡しよう、とジュンテという子が。私は文字を読めますか？ジュンテがいなくなった。そして醤油樽4個をころがしてきて塀に立てて上がって、外を東京をみ

26) 似たようなもの。

27) 断岸：河辺や海辺の切り立った丘。

ろと言った。私はどうする？ 上がろうとしたけれどダメだった。私もまた醤油樽の大きいのをころがし、ふたりでころがして、そっとそこに上って外をこう見渡すと、憲兵、先端に剣をつけたのが両側にこう立っていた。日本の奴がどこかへ抜け出ようとするひとを必ず捕まえようと立っていた。それで私が降りてきて2人のうちのひとりが、2人のうちのひとりがあまりしっかりしていないのを押ししておう。すっかり押し込んだらすぐに避ける。や、あの銃の先端に剣がついているから、ぐっと刺されたらどうするつもりなんだ。私が今、先に行こう、死んだら死に生きられれば生きてこうしても死ぬんだからと跳んだ。前に住んでいる知らない子が（前に住んでいる知らない子？）が行って憲兵が剣を持ってこうしたが、片側の横へ行ってしっかり掴んだから、当時は身体もすばしこく機転も利いてしっかり掴んだから、膝をつき銃をおいてしまった。そのまま掴んで跳んだが避けようとして踏まれて腕が折れてしまった。骨がおれてしまった。踏まれて。そうしてそこから脱け出してそのとき逃亡しました。逃亡して4日目に工場にもどったんだ。工場にもどったが、私たちが大変な事をしでかしたのか。どこでなにをしたのか分からない。どうして押し込めたままなのか、そこにいたら死ぬだろう。どうしようもないだろう？ そうして4日目にもどった。それでどこへ行ってきたのかと調査は徹底的にはされなかった。

それでは、いずれにせよ死んだ人や負傷された人たちはいなかったのですね？

うん、特にいなかったです。見ませんでした。日本の奴らはたくさん死んで。

どこですか？ 造兵廠ですか？

工場で仕事しています。

作事中ですか？

うん、門を閉じてしまったからどうなる。女子だけさっさとどこかへ避難させ

て。男子はその場所に。

すると、日本人だけ大勢が亡くなったのですか？

日本の奴らだけたくさん死にました。韓国人は立派にどうにか生き残ったのか、生きて。

それでは、その造兵廠で朝鮮人と日本人の比率は、朝鮮人のほうが多かったですか？それとも日本人が多かったですか？

日本人が多かったです。

日本人は2、3倍ほど多かったですか？

2倍でなく4倍ほど多かったです。

ところで、技術者のなかには女子もいましたか？

女子達が多いです。

もしや日本人学生達も仕事に来ていましたか？

ほかに見かけませんでした。学生達は。

女子技術者ら…

仕事する、仕事する女子達はたくさんいました。

日本人は家族と一緒に住んでいましたか？技術者たちは？

いいえ、その人たちは自分達の家庭があるので、家庭にみんな帰って寄宿舍にいませんでした。

寄宿舎にいませんでしたか？では、造兵廠の近くに官舎のようなものがありましたか、その人達の家？

ありません。

すると、その人たちはどこに住んでいましたか？

うん？どこに住んでいるかって、みんな家族と暮らして昼になるとそこへ出勤したりする人達。

みんな出勤して通う人達？

うん、うん。それで私たちの寄宿舎は、女子2人と男子3人がいました。日本人たちです。ご飯をしてくれる、私たちのご飯をしてくれる女子2人、男子3人。

寄宿舎には、いまおっしゃった日本人女子と男子の5人のほかは、全員すべて朝鮮人だったのですね？

うん。

おじいさん(ご老人)は解放になったことを、そこでどのように知りましたか？

ある日、飯を食べてから日本の奴らとカマスを載せて、トラックに載せて、わたしら5人と日本の奴ら、その時、何人だったか分からない、日本の奴ら3、4人とセメント室に行ったんだ。セメント工場へ。行ってみると初対面²⁸⁾の人がいない。飛行機も飛んでこないし、ひともいない、どこかでひとの泣き声もするし。そして私が乗って行くときも通行する人がひとりもない、どこかで泣いているようだし。なにがあったんだ、ああ分からない、という。奇妙だと思っ
て行ってみたセメント室に、工場にさっと入っていくと、入ってくるな、出て行

28) 新しく迎える

け、といった。引き返してきた。引き返してきて車から降りて工場へ行くと、機械がすべて動いていたのに止まっていた。そしてそうして解放です。8月13日にもうそうになっていた。14日にすべて知ってしまった。

8月13日にご存知でしたか？

うん。

ええ、そうでしたか？

や、どうして解放になったって？ それは、天皇陛下があつた東京に行ってしっかりとみると、廃墟となったところで国民達がワーワー、まるで葬式のようにワーワー泣いて日が沈むとどこに行くのか、洞窟の中へみんな入っていく。それが水底だ。洞窟の中が。洞窟としてすべて掘ったのに水底。日本ではどこを掘っても水が出る。さっとならして²⁹⁾。そうして家をしっかりと建てる。水底になったところに座りこんだ。そうして朝がくると飯を少し、どうにか炊いて長時間³⁰⁾***いまや天皇陛下がみると寒心に堪えない。自分がこうしては国民達が根絶やしになってしまう、それで先に降参したんだ。降参してから発、発表は15日に発表された。

工場から出られたのは、いつ出られたのですか？ 解放してすぐに…

すぐその翌日、仕事行かなかった。どうして行きますか。本当に日本の奴は撤回してしまったのだから。

そうすると13日に知り、戻った日から出勤されなかったのですね？

出勤もしなかったです。

29) さっと平坦にして

30) 長時：長時間

では、宿舎からどのように帰ってこられましたか？

まあ、宿舎で飯を食べて2、3日ほど休んで、くれた飯を食べて休んでぶらぶらして、日本の奴らはすごく泣いてもう船からそのまま家へ帰って自殺する奴は自殺した。そうして帰るのはきょうか明日かと、つくったものを食べながら1ヵ月間ぶらぶらしていた。食べて1ヵ月ほどぶらぶらし、そこでなんというのか、船の準備がまだできないので、船の準備ができたらずくに帰れると。なんども今日明日、今日明日といって1ヵ月ぐらい経ってしまった。

1ヵ月ぐらいかかりましたか？

そうして陰暦9月になりました。

そこではさきほど炊飯していた人たちがずっと一緒にいたのですか？

うん、日本、日本の奴が日本に帰ってきてとてもごった返していて、日本の将校が、あの日本の軍人将校が米国人将校にあってここでは私たちが****それをすべて教えてその人たちに引き継ぎをして、家に帰り自殺する奴は自殺し、生きる奴は生き、そうだった。

そして一応、米軍にそこを引き継いでその次に米軍が帰っても良いと言いましたか？

帰って、日本人が行けと言いました。ただ。

日本人が…

日本人が大阪で私たちに、船が準備できたと、釜山まで引き継ぎをしてくれました。

あ、日本人ですか？

うん、日本人が。

日本人が、大阪までですか？

うん、ちがう、あの、あそこまで、あの下関まで。

船で引率してくれたのですか？

うん、船が大きい。そこでそうして昼に1日中乗って釜山にきて、夜に、真っ暗な夜に着きました。

その宿舎にいた朝鮮人は、みんな一緒にその300人はみんな一緒に帰ってきましたか？

うん、みんな一緒に帰ってきました。

なにか釜山に着くと、行事のようなことはありましたか？

おそらくその女性達が韓服姿でずらりと並んで、両側にすごくあのアリラン打令をすごく歌っていて、音楽なんかもして、飯をこんなにいっぱい山盛りに置いてあって、出迎えてくれてそれをくれました。けれども私は涙があふれて飯も食べられなかった、でも誰かがやって来て、誰かが来てこういったんだ、もらって行くんだよ、さあ、そうしてみんな行くのだと。私の眼を見て。

日本人ですか？

韓国人。カタクラというひとです。でも悪質です。悪質。日本の奴の手先。

船で帰ってこられて。では釜山に着いて汽車でこられましたか？

汽車で来ました。

汽車、釜山からどこまで乗ってこられましたか？

全州。

全州まで直接？ 釜山駅から全州までくる汽車がありましたか？

だから、その汽車には四方各地へ行く人をみんな乗車させたから。そしてハンジュのひとはこっちに来なさい、大田のひとはこっちに来なさい、どこそこの人はここに来なさいと、立札にそう書いてあり、すべてに引率者がいました。郡なら郡、市なら市、面なら面、そうしたところから来ていたが全州だけ来なかった。全州だけ来ない。全州に行って殴り殺す奴はみんな殴り殺してやりたかった。腹が立ってやっと大田、大田まで、大田で出迎えにきていた、その時になって。まあ、ひとりが病気になってそうなったということだった。

それでは、もしや米軍の捕虜だったとか、そんな人はいましたか？

いました。

米軍の捕虜という話は、誰に聞かれましたか？

仕事するところで見ました。うん。仕事をする時、仕事をさせていた、日本人達が。

日本人達が、戦闘に行って捕らえてきた米軍捕虜達を造兵廠へ連れてきて、米軍をそこで労働者として使っていたのですか？

うん、うん。

あ、捕虜として。そういうひとは造兵廠に何人ぐらいいましたか？

約7、8人です。気の毒で見えていられなかった。

米軍捕虜ですか？ では、どのような仕事をさせましたか？ まったく同じ仕事をさせましたか？

まったく同じ仕事です。レンガのようなのを載せて運んで、材木のようなのを載せて運んでいた。見るとなにかの材料みたいなのを載せて運んで。土も掘ったし。

レンガ運び？ 土も掘ってですか？

野方の仕事をします。

この米軍たちと一緒に仕事して、ずっと見ていたのですね？ 一緒にレンガを運んで…？

一緒に、遠くから見ました。一緒に接触できないようにして、話も交わせないようにした。

その人達を、とても厳しくこき使ったのですか？

厳しくこき使ったようだった。あの小麦粉の殻をつぶして砕いて食べて。

その人達が？

かわいそうで見えていられなかった。気の毒で。

造兵廠にいるとき、手紙のようなものは家に送られましたか？

家に送りました。

手紙はしばしば書けましたか？

手紙を書き、封をしないで事務所に持って行くと、そこですべて検閲し送った。

家の状態はどうでしたか？ 帰ってきてみると？

家族は飢えてほんの皮と骨だけ、骨だけで。

当時、兄弟姉妹で仕事する人はいなかったのですね？ ご老人があちらに行かれてからは…

いませんでした。右も左も分からない者たちが、どこへ行ってなにをどうしま

すか。私が金を少し貰ったもので米をひとカマス売って、肉の骨、魚の骨を1、2升ほどもらって、それを干して食べさせて、私の妹が横に座っているのに誰が誰なのか見分けもできず、顔をまじまじとみると妹だった、末っ子、末っ子の妹だったが、あれほどまでに追いつめられ、そんな状態にさせてしまつて。

では、持って帰るとき、いくらぐらい持って帰られましたか？ 月給を？

たぶん4000円ぐらい持って帰って来ました。

ずいぶんたくさん持って帰られましたね？

4000円ほど持って帰りました。

そしてご老人は、帰って来られて、何かなさいましたか？

仕事もあまりできませんでした。腰を打って、後遺症で。また殴打されて、ここ、ここを。まったく、この肩のあたりも痛くないところはありません。

うーん。その時に打ったのですか？ 仕事中に？

打ったではありません。

そこで大怪我してそうして……

並みの人間だったら日本の奴に剣で突かれたら死んだだろう。みんな日本の奴とケンカしてうろうろしていた。タイアカマ氏、タツミタイ(タイ(隊)、さっきのタツミタイ)がケンカばかりしてうろついている、と日本人とケンカばかりしてうろついている、と5人を捕まえ事務所で跪かせて長い剣、ずっと抜いて腹を突き刺したからすぐくあの時はくらくらしてしまった気分が。そうしてから、これぐらいまで刺して止めた。そうしてぶん殴れるだけぶん殴って、どうして日本とケンカばかりしてうろうろする、とすぐく殴打されました。日本の奴らに。

では、帰られてからさまざまな仕事をされましたね？どんな仕事をなさいましたか？あるいは鉄工所で引き続きまた仕事をされましたか？

鉄工の仕事はできませんでした。鉄工の仕事をしばらくして機械でつくったのがたくさんあふれて。あの中国から出てきたの、ソウルで機械でつくったのがそのまま、そういうのがたくさんあふれ出すうちにもうそれでは食べていかれずに、毎回それでも弟妹が働くようになり、私はもう嫁をもらって、それでも嫁をもらわなくては、子どもが生まれて稼いで、ああ、学ばなかったから、どこかそういう野方場で仕事をし、仕事があればせずに、仕事があれば仕事して、家の事情がひどい。暮らしが。

そうすると鉄工の仕事をして、それから他の仕事も少しなさったですね？他の仕事を少ししました。家を建てる仕事。

もしや現在も仕事をされていますか？現在はされていませんか？
できません。

今はもう子供たちが？
はい。

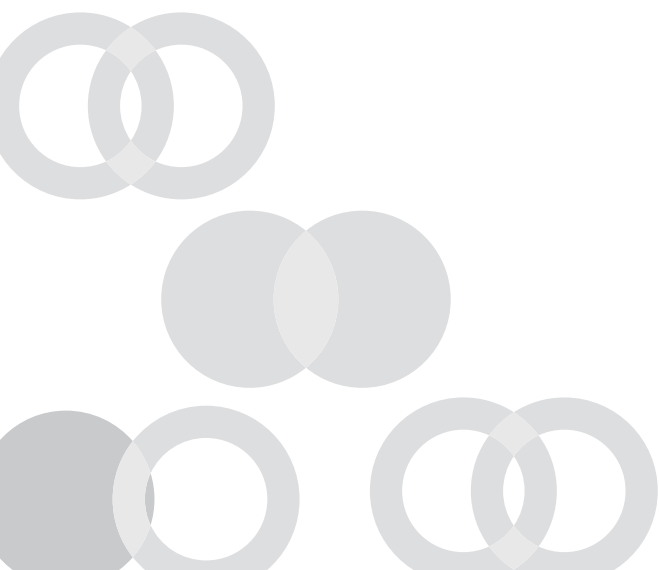
おじいさん(ご老人)、現在のご健康は？

健康はよくありません。見た目はこうだが夜は3回ほど起きます。腰が痛くて。そして痛くないところがありません。

面談者__チャン・ミラ調査官

録取者__キム・ミンヘ

検督/編集/注釈__イ・セイル調査3班長、カン・フィヨン/イム・ドー



級長が行かなくては、ついて行かないのだ

張昌權

創氏名	長谷川昌權
1930.3.18.	慶南 統宮郡 蛇梁面 良地里 生まれ
1943.5.	蛇梁初等学校在学中 日本軍航空機製作廠 少年工員として徴用 鎮海 日本軍51航空廠に入所 6ヵ月教育
1943.12.	日本群馬県所在 軍用機製作廠 中島航空機株式会社に動員
1945.9.20.	帰国

おじいさん（ご老人）、写真を持参されましたか？ これはどういう写真ですか？

それは、日本のあの航空機製作廠。

どこの航空廠ですか？

中島、うん、ナカシマ航空機製作廠。そこで日本の奴らの戦闘機のあるところへ行きました。製作廠です。家に写真があるので、必要なら私がまた持参します。

ほかの方たちも幼くみえますね。同じ年齢のようですが。

はい、そうです。初等学校6年のときです。私が写真を別途に持参します。

1930年3月18日生まれ、そうしますとその時、連行された当時はおいくつでしたか？

年令は、ええっと、44年度に、はい、43年度に行きました。

1943年度ですか？

はい。

何月ごろでしたか？

5月頃です。

当時のご年令は？

その時は10、14歳か？

14歳、14歳ですと初等学校を卒業するや…

いいえ、卒業できなかったです。はっきりといつか分からないが、6年に通学中に連れて行かれ入りました。

そうしますと1943年5月から1900何年まで？

はい、解放になったのが1945年でしょ？（はい。）45年解放、だから45年8月までです。

では、解放になってすぐに帰ってこられましたか？

ええ。解放になって9月29日頃、韓国に帰国しました。解放になって約1カ月し

て、9月29日頃に韓国に帰ってきました。

それでは、おじいさん（ご老人）はその時の創氏名はなんでしたか？

‘長谷川 ハセガワ（ハセヨ）’で、この卒業証書にそう記されているが、長谷川、名前の昌權はそのままで。日本語でハセガワショウケイと。

ショウなにですか？

ショウケン。私の名前の昌權は、日本語ではショウケン。

では、当時のご住所はどこにお住まいでしたか？

その当時は慶南統営郡。そこが本籍地です。

家族関係はどのようでしたか？

家族関係は祖母、父、母、私の下に弟妹3人。

その当時、ご両親はどんな仕事をされましたか？

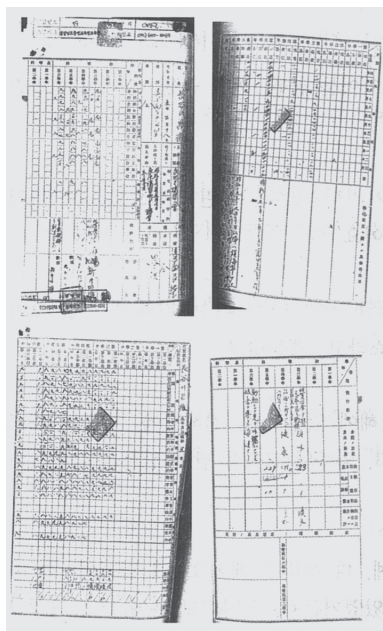
父母はそこで農業をして、父は漁夫で魚捕り、母は農作業。島です。島だから畑作業です。

経済的にはある程度、食べて暮らせる程度でしたか？

とても貧しい暮らしでした。

その当時、学校で先生が志願せよ、と言うので行かれたのですか？

それはどうだったのかというと、私の学校では合計4人行ったけれど、学校で勉強、いわゆるその当時は級長といいました。私はそのとき級長でしたが、級長が行かなくては、ついて行かないのだ、といわれて仕方なく、その時、級長



張昌權の当時の学籍簿

だったし、先生の言葉もちゃんと聞いたので私が選抜されて、ですが、行くには志願しなくてはなりませんでした。どうしたかという、父に知られないように父の印鑑をこっそり持ち出して押印して、そうして志願したのです。先生が、まあ、先生に誘導されたわけです。

担任の先生は、日本人でしたか？

はい、日本人でした。

日本人の担任の先生が、志願せよ、と言って…

はい、先生の名前は、加藤先生です。

では、その時に先生はどこに行って、どんな仕事をするという話を、事前に言われましたか？

前もって言ったのではなく、その当時、日本の奴らの政策で私たちが入った名称は年少工員です。

年少？

少年と。

年少工員ですか？

それは、幼いこどもたち工員。幼い工員。だから年少工員。漢字で書くと…

年老だ、こういう時のように年令が若いという…

幼い工員になり、鎮海に行って6ヵ月教育を受けました。

50日工廠というのは、訓練を50日間受けるということですか？

いいえ、ちがいます。その工廠の名前が。ゴジュウイチクショウという。日本語で。

51工廠³¹⁾ですか？

そう、51工廠が鎮海にありました。鎮海市に、現在は鎮海市です。その工廠で教育を受け、1週間の教育を受けて日本へ行きました。

そこへ学生たちが大勢来たでしょう？

はい、みんな私たちと同じ年ごろでした。その当時。中学校、その時は高等科というのがありました。国民学校の上級に。高等科2年から、初等学校で今なら、その当時の国民学校6年まで。

何学年から何学年まで対象でしたか？

対象は、今なら中学校2年から初等学校6年まで。最近の学年では。

それではどれぐらいの期間、訓練を受けられましたか？

約6ヵ月受けました。

6ヵ月間教育を受けられて、そうして家に行って話をして、荷物をまとめて行かれたのですか？

31) 元来、鎮海には大村第21航空廠の鎮海支廠があり、1942年に鎮海第51航空廠になった。元山には鎮海51海軍航空廠の分工廠があった。

ええ。そうです。

では当時、いっしょに同じ班から何人がそこへそういう工員として行きましたか？

私の学校からは、蛇梁国民学校からは全員で4人しか行かなかったです。

その方たちも、形式的には志願する形ですか？

はい。全員、志願しました。

全体で4人行って、同じ班からは？

同じ班からは私ひとり行きました。私か、ふたりかひとりいしましたが、覚えていません。

人数は多くありませんね？ 全体で4人ですから？

はい。学校からたくさん行けなかったです。

わざわざ志願をしなかったのですか？

しなかったのではなく多分、私の考えでは、その当時は何人という割り当てがあって、そのように行ったようです。

そうでしたか。そうして行かれて、次に鎮海51海軍航空廠に行って、およそ何人ぐらいがそこで教育を受けましたか？

正確に分かりませんが、とても大勢でした。少なくとも5～600人程度が一緒に受けたように思います。

その教育を受けて、そして日本51航空廠へ行く前に家に帰って、どこから

何に乗って行かれましたか？

しばらく家にいて、その当時、行く時は連絡船です。連絡船。

関釜連絡船に乗りましたか？

ええ、私たちが行く時は、それが連絡船か貨物船か分かりませんが、とにかく船に乗って私たちは行きました。

どこからですか？ 釜山からですか？

鎮海湾から行ったみたいです、釜山から行ったと記憶していません。

鎮海から貨物船に乗られたのですか？

ええ、連絡船、ひとを乗せる船みたいでした。いま思えば。

家に行って、どれほどして又そこへ？

家で1週間ほど休んで、しばらく家にもどり母にだけ会って。

そしてもう召集通知書を持って、ふたたび行ったのですね？ いつまで来い、そうして…そう、それでその召集通知書があったでしょう？

ですが、それは覚えていません。

ともあれ家に帰って、いつまで、どこへまた集まれ、というので行かれたのですか？

鎮海訓練所にふたたび集まって、そうして行きました。

航空廠はどこにありましたか？

そこ日本群馬県です、ここに 있습니다。太田市です、その当時、オデ所にこの

群馬県太田町。呼ぶときは群馬県太田市といいました、ここにありました。群馬県、日本関東州です、関東州。会社はこの会社でした。ナカシマ³²⁾コクキカオシ カイシャ、そう中島航空機株式会社。

ここ中島航空機株式会社に、工員として行かれたのですね？

はい。

同期生1人と2人で群馬県、その太田町にある中島航空機株式会社。おじいさん（ご老人）はそこに行かれて帰ってくるまで、その一カ所にいましたか？

一カ所にずっといました。

訓練所に集結したその人たちを、そのまま乗船させて行っただけですか？

その当時、背がやや高く体格の良い人は、すでに他のところへ送り、私たちは背がやや低く、体の弱いひとは、私たちをそこで訓練させたけれど、私たちは身体も小さくて工場にそのまま行っただのではないかと思います。

その気候はどうでしたか？

韓国と似ています。日本の東京の近くでした。

韓国を出発して会社まで行く時、どれほどかかりましたか？

2、3日ほどでした。あっという間に着きました。特にその時は、米軍の航空機

32) “ヒコクキ”は“飛行機”を、“カオシ”は“株式”の発音を間違っただけであり、中島飛行機株式会社を示す。中島飛行機株式会社は1917年設立し、旧日本陸海軍課との関係で航空機製作を担当した民間の飛行機製作会社。しかし1943年10月31日に軍需会社法が公布されて1945年4月1日、中島飛行機株式会社は国営化となり軍需省第1軍需工場になった。

がたくさん飛来した時ですごく用心して行ったようだった。

では、そこへ行ってから……

日本へ入ったのは43年、6ヵ月教育を受けて行ったので、日本に入ったのは43年12月末でちょうど44年初めに入ったでしょう。

1943年5月から6ヵ月間の教育課程を経て、5月から教育を受けられて、そこへ行って車で移動して中島航空機株式会社に入れ、行ってみるとそこに何人の人たちが行っていましたか？

同じ年ごろのひとのことは分からない、何故かというと、私たちはきっちり部署に配置されたので、私たちは私が行った部署は、私たち2人のほかはいなかったです。他のひとのことは知りようもなく。

あ、同期生と？

うん。私たちは2人で行き同じ部署で勤務しました。今、その工場の構造がどうであったかという飛行機生産工場で、日本の奴の戦闘機を生産する工場でした。艦艇です。航空母艦に載せる飛行機製造廠ですが、部署別にきっちりいると、飛行機が、はじめに機体が入ってくると、私は何をしたかという、そこにエンジンを取り付ける、エンジンをしっかり取り付け、そのネジを組み立てることだけしました。ひとつの部署ですと、車が通過して、またほかのものを組み立てる、そうじゃないですか？ そんな方式です。

飛行機のエンジンをネジで組み立てる仕事をされたのですか？

はい、組み立て工として仕事しました。エンジン組み立て工といえば分かるでしょ。

では同級生もその仕事をされましたか？

はい、同じ仕事をしました。

その方の姓名は、なんとおっしゃいますか、同級生の方？

その人はキム・ジョンテ。今も生きているかは知りません。

そうすると、その部署にはおよそ何名程度？

私たちがいたのはおそらく一個分隊程度。10人ぐらいです。最少でも。でも日本の奴で学生もいたし。

日本の学生ですか？

日本人もいっしょにしました。

各部署の班長は、日本人でしたか？

日本人でした。

その日本人学生たちは、どうして来たのですか？

分かりません。まったく話を交わさないから、知りようがないです。

比率は、日本人が多かったですか、朝鮮人多かったですか？

日本人が多かったです。私の部署には朝鮮人はそんなにいませんでした。約2分の1か、2、3人しかいなかったから。3分の1程度？

養成所で訓練を受けたとき、どのような訓練を受けましたか？

まず私たちが受けた訓練は、精神教育といっても過言ではありません。精神武装の次に技術教育はありません。ただひたすら身体鍛錬、その次に基礎軍人教育も受けました。基礎軍事訓練です、いわば。特に私たちの中で少し賢い子た

ちは、あのソネンコク³³⁾という少年航空兵になって行った子たちもいるし。だから、そういう子たちは行っておおぜいが死んだことでしょう。

航空兵で行った人たちは飛行機…

乗ったでしょう。おもに航空軍に行った人たちは、どんな人が韓国人でいたかといえば、私は正確な情報ではありませんが、それ以前に、戦争末期に飛行機に爆弾を積んで、カミカゼトッコタイ³⁴⁾ といって、私の同期生の中にそんな子たちがいました。国民学校、中学校の子たちを完全に精神武装させて、まあ、あのあれ、天皇陛下がくれる***といいました。盃、小さいの。一杯の酒をいただいて飲んで、その翌日にはその子が行っていなくなりました。そんなことがありました。それは、詳しいことは知りませんが。

その会社に行く時、引率者はいましたか？

引率者は全員日本の奴らです。日本の奴、軍人たち。

日本軍人？

はい。あの鎮海51工廠、そこは海軍工廠でした。海上兵です、飛行機が海上に浮上する、日本の奴、そんな飛行機がありました。それを日本の奴。軍人たちがすべて管理しました。

そして行くときになにか、そこで食事などはどうでしたか？ そこへ着くまで食事はしましたか？ そこに移動するまで？

はい、すべて着くまで、私たちはすべて食べました。私たちは着くまで。

33) 少年航空

34) 神風特攻隊

中島航空機株式会社、もしや所属の宿舎が別途にありましたか？

はい、別にありました。寄宿舎が工場近くにありました。ここ韓国でも大きな工場には社員宿舎があるでしょ？ そのように工場とは別に寄宿舎がありました。

では、宿舎では大部分が朝鮮人たちでしたか？

宿舎は、大部分は朝鮮人でしたが、とても広大なので職場がどこにあるのか分からないし、夜だけ少しの間、寝て別々になるから。

その寄宿舎は、何人ほどいたようですか？

一部屋に私の記憶では、小さな部屋に8、9人ほど、それぐらいの小さな部屋を使用しました。ですが夜に点呼するとき見ると、あの大きな***立って二列整列するとびっしりだったから、少なくとも一寄宿舎に一個中隊とすれば、100数十人になるでしょう。120～130人程度だったが、それが数棟あったから。

おじいさん（ご老人）の最終学歴はどのように？

高等学校。

高等学校を卒業されましたか？

はい。高等学校。高等学校2年のとき6.25事変で学徒兵として入り、入って卒業証書を私はもらいました。

ご老人は日本語がお上手だったでしょうね？韓国語より？

いいえ、私はまあ、それは日本語を、（韓国語を）まったく全然できませんでした。韓国語がまったくできませんでした。なぜなら日本語をたくさんさせたから、あの日本の奴らは、日本語をいつも使うよう督励して、日本でした***だっ

たでしょ、日本で。それでもう解放になって帰ってきて1年間、韓国語を学んで入りました。ですがこれはもう本当、日本語も忘れてしまった。ハハハ。

もしや非人間的な仕打ちを受けたとか、殴打とかは？

いいえ、そのようなことはありません。

ことばの暴力のようなことも無かったですか？

そのようなことはありません。ともかくちゃんと、呼ばれればそうして、言われたことはちゃんと聞いたので。またそういうことにまったく神経を使わずに、ただ自分の仕事だけ熱心にして。

月給は、貰いましたか？

月給がいくらだったかも知りませんでした。

貰ったことはもらったのでしょうか？

貰った月給はありません。ただもう終わって、もう帰ってくるときに、金を少しくれたけれど…

帰還するときにですか？

帰還するときに金を少しくれましたが、その金がどれほどかという、ええ、その金をもらって、私は久しぶりに父母に、帰ってきてから父母（に）買いました。贈り物をたくさん買いました。服やなにやらをひと包み買いました。それを買うと金に残りませんでした。

では、そこにいた期間に金を貰ったことはありませんか？

ありません。そんなものは。それで私たちが抗議してその後一度したとき、

私は海軍になって現在入っていますが、一度論山からやってきたその方に話しましたが、私のようなひとが数人いました。それで私たちが言ったことは、当時、ほかの事は知らないが、私たちはそこに連れて行かれて、勉強も出来ずに虚しく歳月を送ったことは、やむをえずして行ったにせよ、私たちはそこから金を貰わねばならないのではないか。そう言うと、そのときに聞いた返事は、日本という話は、韓日なにの協定をするとき、その金をくれた、その金をくれて浦項製鉄工場を建てたではないか、という話だった。そんな話を聞いて私たち一緒に行った同窓生もそうだったが、私たちが望むことは、とにかくそこで奴隷生活をしたのだから補償をもらわなくては***なかったし、ですが私たちが万一もらうべき金があり、政府が受け取ったのであれば、それは私たちに少し戻してくれなくてはいけない、そんな思いです。

そこでは、昼だけ会社で食べましたか？

はい。

食事はどうでしたか？

食事は口に合いました。そのほかに解放になってひと月経って帰ってきました。8月に解放になったのに、9月20日頃に帰ってきました。そのひと月間、ほとんど食べられませんでした。だから、それまでは食べたという話です。それであまりの空腹に特攻隊をつくって、たくさんナスももぎ取って食べ、サツマイモも掘って、私たちの部屋の子たちは互いに盗み食いして空腹をしのぎました。

寄宿舎に担当する人がいますね？ 寄宿舎長のようなひととはどんな人たちですか？

私はどんなひとか知りません、ただ最も怖かったことは、警備に立つその人たちだけ恐ろしかったです。まるで軍出身者たちがすべてを掌握しているように振る舞っていました。

そこで勤務したとき、空襲とかは常時、何回もありましたか？

はい。特に45年度に休戦を、解放になる2、3カ月前から、ものすごく空襲がすさまじかったです。そこは軍用工場だったので、工場はほとんど屋根がなくなるほど空爆されました。だから雨が降ると雨合羽着て仕事しました。日本の奴らはたいした奴たちです。

爆撃で天井が飛んでも仕事を続け、雨が降っても雨合羽を着て仕事をし
て。1日何回ほど空襲がありましたか？

空襲がもっとも激しかったのは、ちょうど終戦になる3カ月前で、昼間も1、2回あり、夜間にもあって。夜間にあると、全員が、もう空襲に対する訓練が徹底されていました。全員が毛布を持参して逃げ、爆弾が落下すると腹ばいになって耳をふさぐのだ、と全員が訓練されていましたから。防空壕が全部できていました。無条件行くとすべて池があってそこへそのまま全員が入って行く。

昼間1、2回、空襲があったのですか？

昼間に空襲がもうまあ***で、そんなときが頻繁にあった。夜はB52なのか大きな飛行機、爆撃機、それがあの上空から爆弾を落下して建物を破壊するのです。

一日に何台ほど組み立てをしましたか？

それは記憶していません。どの部分であるかも分からないし、狭い場所で完成するわけではありません。どれかひとつを、私たちが少ししたのは数個作業だけすると、次の段階にすすんで次の段階にすすむから。

勤務日は、月曜から土曜まで仕事で日曜は休むなど、休勤日はありましたか？

休む日は無かったようです。ずっと勤務です。万一、空襲が激しくて工場になにか問題が生じると、休み。そうでなければずっと仕事をして、ただ日曜日は月1、2回休んだと思います。私も日曜日に、日本の奴らの家に遊びに行った記

憶があります。

朝鮮人は宿所を利用したでしょうし、日本人は近くの家から出退勤しましたか？

たぶん出退勤していたと思います。寄宿舍にいたのは、ほとんど私たち工員だったと思います。その宿所にいる工員は韓国人だけでなく、日本の学生たちもそこに多数動員されていたと思います。

解放になったという話は、どのようにお知りになりましたか？

そのことを聞いたのは8月15日、放送を直接聞きました。

そこで放送を聞きましたか、ラジオを？

その日は、全日本国民全員が聞くよう強要された放送でした。だから私たちは放送を聞いて、なにも言わなくても放送聞き、降伏したことが分かったし。それから1ヵ月間、すごくたくさん苦勞しました。

解放になった事実を知ってから約1ヵ月間、そこにいらっしやったとのことですが？では日本人たちもそこにいたのですか？

日本人はいなくて私たちだけ。私たち韓国人だけ。きっちりそれが放送されると、私たち韓国人は、私たちは知らなかったけれど、その日夕刻に放送がぴたっと終わると、朝鮮独立だ、太極旗があらわれました、その時はじめて私たちは知りました。朝鮮という私たちの国があったのだ、ということ。はっきりそうなると、私たちを寄宿舍の数棟に詰め込んでいっさいの外出を禁止し監禁しました。それが1ヵ月間です。

あちらで日本軍人たちが監禁したのですか？寄宿舍に？

はい。

それでは、会社には行かず寄宿舎にだけ…

うん。寄宿舎にだけいました。そしてその時から、もう食べるものもアイゴ、まねをできません。食べ物、飯がどうだったかというと、ご存知か知れないが、あの食器があるでしょ？ それに飯をくれます。さっとすくいあげるとひと匙しかない、それと汁を少し、それが1食分です。それでその食器で1回さっと食べると、ありません。今が育ち盛りの子供がそれぼっち食べて大丈夫でしょうか？ それでどうしたかというと、私たちの班は12人でしたが、12人を4組に分けました。3人が外に出て食べ物を盗んでこなくてははいけない。義務的に。

どこへ行ってですか？

その日本の奴らのナス、ナスがあるでしょ。

でも、それは会社の外にあるのでは？

外にあります。

ですが先ほど1ヵ月間、寄宿舎に監視、監禁されたと？

監視が厳しくとも、どうにか隙をみて外に出なくてははいけない。こっそりと外に出るのです。鉄条網が張ってあるわけでもないし。外に出て、何も無いから服を脱いで、服をきっちりと折りたたんで、それを風呂敷にします。そうしてからナス畑に行ってナスももいで、次にサツマイモも掘って包んでもどって、それを夜間に生のまま食べました。何も無いから？ そんなふうに1ヵ月間送った。その時が最も苦勞でした。

そうすると、ラジオ放送を聞いたその日ですか？ その翌日から寄宿舎に監禁したのですか？

1週間以内に監禁されました。1週間以内に。数日間はいまいで外出もさせ

なかった。そうなるともうその寄宿舍では私たちが一番年下で、いうなら今や南韓、韓国人もいっしょに詰め込んだのです。その人たちはとっくに知っていて、太極旗、独立した、なにと宣伝するから、日本の奴らが遮断したのです。日本の奴らは韓国から出て行くとき、苦難をなめたではありませんか？ 私たちもまったく同じ苦難をなめました。そこで。

工場へ行ってみませんでしたか？ 日本人たちが降伏したと聞いて…

聞いてからは、その工場へ行けませんでした。

日本人たちは帰ったのか、帰っていないのか、それもよく分からないまま？

はい。私たちだけをきっちり家に入れて。

1ヵ月ほどしてから、そこでは何と言って帰れ、と言ったのですか？

船の準備ができるまで、待て、と言ったのです。そこからもう乗船して帰るときは貨物船で帰ってきました。出てくるときは大きな船に荷物のように運ばれ帰って来ました。

帰って来るときは、どの港から乗船してお帰りでしたか？

日本では長崎で乗船し、鎮海湾へここです。

鎮海湾に到着すると歓迎でたくさんの人ばかりでしたか？

はい。歓迎に大勢が来ていました。

どちら側の人々が迎えに出ていましたか？

その時、見るとおもになに、その、人民共和国のひとが迎えに出ていました、

あの旗を掲げて人々が来ていて、私たち韓国人を歓迎しようと。ですが迎えた人たちは知りません、どんな人たちか分かりませんが、旗だけたくさん見ました、その時は人民共和国だったか民主党だったか共産党だったか分かってどうしますか。なんの政治的概念もなく、ただ嬉しくて旗を掲げて大勢が迎えてくれました。

その歓迎した人たちは、もしや家に帰るときのお金をくれたとか、車の便宜を提供してくれたとか、そういうことはなかったですか？

そんなことはよく分かりません。分かりませんよくは。車の便宜を図ってくれたようです。でもどうだったか分かりません。

帰ってきてから、ご老人はその当時、何をされましたか？ 帰られたとき何歳でしたか？

そのとき15歳だったか？ 16歳だったようです。

帰ってきたときは16歳？ では当時、学校にそのまま入りましたか？

そうです。初等学校にまた入って、ハングルを1年学び中等学校に行きました。

帰ってすぐ入りましたか？ それとも少し経って入られましたか？

それほど経っていません。ただちにハングルを学ぶことは全国各道でしていましたから。帰ると、いくらでも来て学べ、とそうだったのです。それで。

では16歳で帰還されてすぐさま国民学校へ、学校に通いながらまた別に農作業をするなど、そんなことはありませんでしたか？

ありませんでした。ただ私が学校に通学していた高等学校2年のとき、あの学徒兵で連れて行かれたため、学徒兵として行って、論山訓練所で訓練を受けて甲種将校団試験を受けました。それから歩兵学校に入って53年度に将校に任

命されて分隊長をして帰ってきました。

論山訓練所で訓練を受け、試験を受けて何になられたのですか？

はい。陸軍少尉に。53年9月5日に任官されました。

53年に陸軍歩兵学校に入って、その後も引き続き勤務されたのですね？

引き続き軍にいました。

そうしますと、先ほどの試験を受けて陸軍歩兵学校に入学され、それが53年度で、そしてそこで服務し、そこで大尉で除隊されて、ふたたび陸軍本部へ…

除隊は、除隊年度は1968年9月30日、大尉で除隊しました。

最近数年前まで、ずっと仕事をなさったのですね？

私は年齢が今年73歳になるまで仕事をしました。5年前まで仕事をずっとしていました。

今年で80おいくつですか？

満で76歳ですが、わが国の年齢で私は今78歳です。

78歳ですか？

戸籍が1年遅れになっていて。

では、現在の家族関係はどのようになっていますか？

現在、妻と息子ひとり娘ひとりです。

そして特別に最後に、私たち委員会や政府に望まれる点がございましたら、おっしゃってください。先ほど未払い賃金のことを言われましたが、ひとことおっしゃってください。

はい。そうですね、過ぎたことでもっともやり切れないことは、今どんなに私が***たくさんしても、いろいろと難しい状況を免れることができたのに、そのようなことを今さらなにか政府に訴えても仕方のないことで、但し、ただひとつあるのは、私たちは幼いときに他国に行って私の生活はおわったのだが、幼い状態だったからその当時に稼いだ金の一部なりとも、実際に万一政府が受取ったのであれば、それは返してくれなくてはいけないのではないか、こう思っています。実際、私は自分の意志で半分、他者の意志で半分で行ったから、一生を弁償してくれ、とは言えないでしょう。

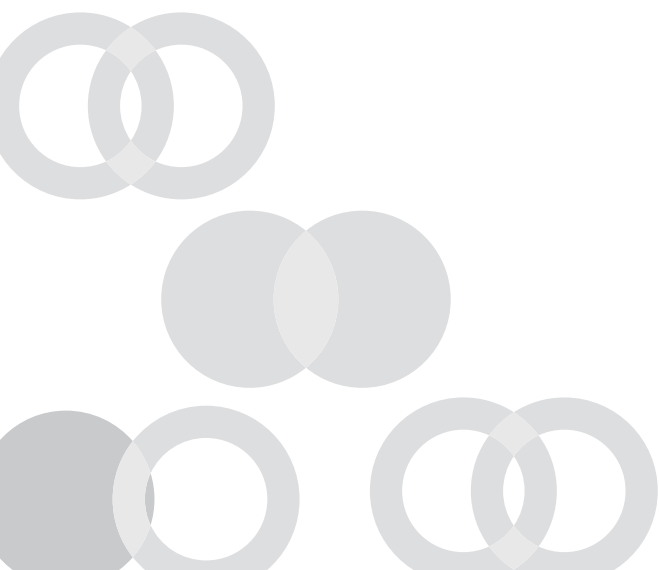
面談者__チャン・ミラ調査官

録取者__キム・ミンヘ

検督/編集/注釈__イ・セイル調査3班長、カン・フィヨン/イム・ドア

朝鮮という私たちの国があつたのだ

中国及び東南アジア



ともかく行こう、と連れて行かれた

朴成春

創氏名 務本成祚

1915.6.1 全南 務安郡 清溪面 南安里 生まれ

1943.6.30. 芝浦海軍施設普及部 所属 工員としてトラック島
(現在名 チュウク chuuk) に動員

1946.1.15. 芝浦で解員された後 帰国

おじいさん、お名前はなんとおっしゃいますか？

ええっと、朴成春といいます。

創氏名は？

それ、務本成祚といいました。

はい、そうですか。それではあの日本の植民地期に連行されたときは、おいくつでしたか？

あの頃、私ははっきり覚えているが、27歳のときに行ったと？

昭和なん年でしたか、その時？

昭和18年度に私は行きました。18年度。

昭和18年のなん月頃ですか？

陰暦5月は何月になるかな？ 麦打ちして麦、稲をして。面からきて。

その時に捕まえに来たのでしたね？誰が捕まえに来ましたか？

面から、面から。みんな死んだ、あいつらも。

なんという名前のひとですか？

あのころ、あのひとか？ チョン・ギドンだったか、その人も死んでしまった。面書記。

チョンどなたですか？ キドン？

チョン・ギュドンが。

はい。それで、なんといって連れに来たのですか？

あ、日本に徴用で行くんだと。農作業はどうなるんだ、食べていけないじゃないか、と言ったら、行くんだ、行かなくちゃいけないと、面でそうして。

おじいさんは、行きません、とおっしゃらなかったのですか？

行かないと言っても、言っても無駄だった。行けないと。家では大騒ぎになったあの頃。

はい。それではこの村からそのチョン・ギュドンという人が、村からおじいさんだけを連れて行ったのですか？

あ、私の村では私ひとりです。

では、チョン・ギュドンという人は、徴用でどこへ行くといって、そうしたのですか？

どこへ行くという話もなく、ともかく行こうと、連れて行かれた。またなに、農村でなにが分かりますか？

はい。それではどこへ行きましたか？ 最初に行ったところは…

松島海軍本部というところだった、そこは。

それでは、この村からチョン・ギュドンさんについて行って、最初に行ったところはどこですか？ 面事務所とか郡庁とか。

ここ清溪面。そして木浦、木浦のどこの郡庁だったか、木浦へ行ってまた身体検査をして…

はい。では清溪面事務所に行ってみると、おじいさんひとりでしたか？

いいえ、私たち清溪面事務所から13人行きました。

清溪面事務所に集合してなんて言われましたか。あの、教育されましたか？

なんの話もなかった。よく分からない。どう言ったのか。もうそうだから行こうと、またそこで車に乗せられて行ったんだったか、木浦に行ってまた身体検査をして、その日夕方に行ったか、その翌日に木浦へ行ったんだったか？

その日、その釜山から乗船したとき、何人ぐらい集まりましたか？

あ、ぞっとする。釜山から何人だったかはっきりと分からない。おそろしい。まるで山みたいな船だ。

その船の名前は、なんといいますか？

私たちが乗って行った船はアサカゼマル³⁶⁾、朝風丸。

乗船してどのぐらい、日本に到着するまでどのぐらいかかりましたか？

私たちはどこがどこだか分からないけれど、船でそんなにかからず約1週間、1週間もかからなかったから、あのトラック島か。けれども私たちが行くときは、17日目かにそこへ到着しました。どうしてそうかという、そこへ以前に行った人たちの話によると、あの米国の魚雷にあって破壊されてもう死ぬかと思ったんだと。そこに着くとみんなが手をとって喜んでくれて、韓国人でそれまでに行った人たちが。

そうしますと、釜山から船で行く途中で、米軍の潜水艦から魚雷攻撃を受けたということですか？

そういうそんな攻撃は受けなかったです。私たちの時は。そのふたりがどこかでどうにかして、ひっかかったということだった。それで。そうしてこうバックして後退したり前進したりして、日にちがそんなにたくさんかかったんだ。

船に長時間そうして乗って、どうでしたか？ 食事をするとか、睡眠は？

36) 朝風丸；山下汽船所属、1940年12月16日海軍徴用船として供出。12月25日呉鎮守府所管特設運送船、1941年11月5日南方部隊に興業丸等と配属、1942年12月10日第8聯合特別陸戦大輸送を目的に盤谷丸等と船団を編成し駆逐艦山風の護衛を受けて横須賀出航。1942年12月22日ラバウル入港等の経歴をもつ海軍徴用船。

それで17日だったか？ 船に乗ってから半ば死んだようになって気力が、飯も食べられずにガリガリにやせて、半数ぐらい死んだ人も多かった。途中でほとんど食べられないから飢えたようになった。その頃は若かった、私はこんなに小柄でもその時は元気盛りの時。27歳だったし身体が頑丈だった。飯をいっぱい、いっぱいくれなかった。それでおかずもたくさん、たくさんくれなかった、干ものをちょっとくれて水もそう、1食と洗面水を、洗面水もケチって。水もいっぱい飲めなかったし小魚もたくさん食べられなかった。

港に着いてから、天気はどうでしたか？

ふつうそこは45度、43度、42度で毎日雨が降る、雨が、夕立。でも雨が降らないと米もできない熱くて。そうしてその土民（原住民）はそこで暮らしていた。顔はすごく日焼けして真っ黒。行って身体にアセモができて住めたものじゃない。そうするうちにそれは皮膚に徐々に慣れていく。それから大丈夫だった。私は満4年目に、私は昭和18年だから、昭和21年度に解放になった秋に出たので。そうでしょう？ 約6カ月かかったかな。雨が降らない日はそこで3日だったかな。1日に3回も4回も降って、それなのに土はこれが砂地や灰地だ。雨が降ってまた陽光が強くさすのでいつも乾燥してしまう。雨が、雨が降らなかった日が3回か、3日かありました。3日だけ。

そこはどういう島か、どこである、そんな話は聞きませんでしたか？

そこはトラック島³⁷⁾、そこは海軍本部。夏島(Tonoas Island)といったか夏島。それでそのトラック島に行くと島が77あった、島が。その島は。

トラック島夏島という場所に到着されて、そこは軍部隊でしたか？

37) 南太平洋ミクロネシア群島のひとつ1990年までトラック (Truk) と呼ばれたが現在名はチュウク (Thuuk)。

そうだ。軍部隊だった。

それでは、そこでおじいさんはどんな仕事をされましたか？

その人たちが、遊ばせるために連れて行っただけだと思いますか？ そして飛行機場に飛行機場でなければ日本人達はその島にああして木が、そこ全部材木がいっぱい積まれていました。そいつをすべてどうにか空けて土を運んで飛行機場にならして造った。飛行機場。

その飛行場名、名前はなんですか？

知りません。それ、水曜島(Tol island), 水曜島だったか？ なんていったかな？

はい。軍人達をそのときたくさん見ましたか？ ええ？ 日本軍人達。

日本軍人もあの、アイゴ、あの日本人達は私たち韓国人達をもう、青年達がもう24歳になった青年達が言葉では表わせない。みんな死んでしまった。若い人達、ほんとうに若い人達、学校に通っていたのに連れてこられて、私たち韓国人もおそろしいほど死んでしまっ。

はい。どうしてそんな大勢が死んだのですか？

ああ、あの米国人達の飛行機が飛んできて戦争したんだ。1日に砲隊が4組で巡回して、そいつが来ると、日本の飛行機は***そこへ行ってそうしたんだ。ああ、でっかいのが夕方に、夕方に戦争するのをみると、炎がものすごくこんなに、こんなに炎がこうなって四方に広がってみんな殺されてしまった。最初は人を、人は殺さなかった。飛行機場にきて、米国の飛行機がきて全部爆弾***して、全部すべて飛行機場をそうして、2回目は船が入ってきて船が数千隻ありました。そして夏島海軍本部。その船でそうしてしまに残ったのはひとりひとりだけ、飛行機からみて韓国人か日本人か分かりますか？ ひとりでもみると機関銃で撃ってきた。あとは戦う戦力がない、日本人。そう軍糧も足りないし。

ええ。そうでしたか。そこは大きな山みたいなのは無かったですか？

山は、全部島だから。トラック島は77の島だから。

トラック島夏島、そこにだけいて飛行機場の建設だけしましたか？

ええ。あとから軍糧米がなくなって日本人達は飯もくれないし、サツマイモを植えさせました。みんな山を掘って。

サツマイモを植えさせたのですか？

サツマイモを植えたんだ。日本人達が、日本人がサツマイモを植えるようにと。サツマイモは最初こんなに太いのになったけれど、虫にみんな食われてしまった。それからトウモロコシ、トウモロコシを植えて、1食で醤油も塩もないから、沼の水を汲んできて沸かし、汁はジャガイモをちょっと入れて沼水を汲んでそうして食べた。飢えてみんな死んだ。

宿舎のようなところは、どうなっていましたか？

こう板切れで、こうタンでそうして家を建てて、こう通路はこうして、こうなってひと部屋に、ひと部屋に3人ずつだったかな？

はい、そうでしたか。日本語は少しできましたか、おじいさん？

日本語は分からない、韓国人とだけしゃべったから、日本語はそれほど…

そうすると日本語が通じないと、その飛行場建設のときに作業の指示はどのように受けたのですか？

そこにも班長がいるし、団長がいるから。その人は日本語できたから。

はい。月給は、お金は貰いましたか？

金はくれません。そこにいて行くとき、もう出るとき、満期がきて出るとき2年、満1年が満期だったかな？ 出るときに渡すからといって通帳に入れておくといったが。少しずつ、今ならまあ数千円ずつをそこで使うようにとくれたが、それをそこでなにに使う？ けれども金、金、そこから出るとき、金、そうして3万円か3千円かの金をくれなかった。日本人達は、金をそうしたのに、通帳に入れたのもどうしようもない。1円もどうしようもなくなった。日本に行くと、日本に行って降り、そこでまたその米国人がくれた服、その軍でくれたオーバー、すべてなくなって、すべてひとつも残らずなくなって、みんなそんなのを着て。乞食になって帰って来たんだ。乞食。

はい。そうでしたか。その給与を1年単位にするという話は、誰から聞きましたか？

あ、そこへ行くときに、ここの面だったか。ここに連れて行ったひとで面書記。1年と私は聞きました、はっきり聞きました。

はい。そうしますとそれはもう、釜山で乗船する前に、それをご存知でしたね？ 1年間する。1年だけすれば良いのだと？

そうです。行くときはそう思っていました。

外出などはどうでしたか？ 外に遊びにでかけるなどありませんでしたか？

月1回、休暇だったか？ 月1回、休暇だったか、2回だったか、3ヵ月1回か、1ヵ月に1回くれたかな？

そこで飛行場を建設するとき、何時から何時まで仕事をされましたか？

そこへ行って、時間は少し、トラック島の時間はちがうみたいだった。ふつう5時、5時に出て何時に解散したか分かりません。陽がまだ少しありました。時間が。

食事などはそこでどうでしたか？ 食事や寝るところは不便はありませんでしたか？

最初行ったときは、食堂でソン・ヨンスというひとがスユ、スユでご飯を炊いて来たのかな。してきてこんな桶に盛って食事のときに持って来てくれる。その飯を。そして食堂に持って来てくれた。そうするとこうしておかずと持って来てくれて食べます。

はい。お腹はすきませんでしたか？

はじめはお腹すかなかった、でも育ち盛りの人達はそうだった。あとになってサツマイモこんなのをサツマイモを育てて蒸かして3食くれた、沼水を汲んで汁をつくってくれたけれど、空腹なのでそれでも食べたけれど、くさい臭いにする沼水、塩もないし醤油もとうとう日本から醤油や味噌なども運んでこれなくなって。

それでは、その仕事中に事故などはありませんでしたか？

私はそれにかかって1度、発疹が出て、ここをどうかして打って。ここを、ここを打ってきれいに治ったけれど。日本人達が病院に連れて行って痛い人はそこで治療した。

はい。そうすると医者もいましたか？

医者は、日本人全部、全部医者です。

朝鮮人だといって粗末にされたり、ひどい仕打ちを少しされたりしませんでしたか？

日本人達、その軍人達はちょっと上官の人は高い人たちはなんだったが。兵卒のヤツらは韓国人だ、朝鮮人、朝鮮人といった。でもそこで上官に知られるとすぐ殴打された、そこで。

はい。日本軍人。日本人の高い階級のひとは大丈夫だったが…

あゝ。上官たちはそうではなかったが良いひとは、上官達はすごく良い。言葉づかいもとても丁寧で。だけどあの悪いヤツらは韓国人にケチをつけるんだ。

家にはどのように連絡、手紙などはたくさん書きましたか？

手紙をそれ、それはわたし、それが手紙は…77島だからここで住所をそれ、私はここで手紙をしましたが、手紙もよくできません。どうしてかというと、私が書けなかったから、それで。手紙を何度か受取るには受取りました。

どなたが送った手紙でしたか？

ここで、私の妻がここでひとに頼んで書いてもらって。

では、おじいさんは返信は送らないで？

返信はしたが、何回かしたが、返信できなかった、それ***送ってくれなかったから、できなかった。

はい。たまに、先ほど休日はたまに1日あったとのことですが？その時はなにをして休みましたか？

アイゴ、どこにも行けない。どこにも、金さえあればどこか行くだらう。そこも飲み屋があったし、あの女性の家もあったけれど。それは金がなくては通えない。

はい。飲み屋もあるし、女性の家もありましたか？

あゝ、女性の家もすべてあった。

はい。ではその飲み屋や女性の家に、わが国のどこか、朝鮮から来た女性もいましたか？

朝鮮女性達がたくさんいました。朝鮮女性もいたし、日本女性もいたし。

日本の軍人だけ行きますか？あるいは韓国人も金さえあれば行くところですか？

そんな日本の軍人のことはよく分かりません。韓国人達も、わが国の人達も女性の家にも通うし休日に外出もできるし、そうだった。それ1時間、1時間。

1時間ってなんですか？遊べる時間ですか？

うん。長時間はいられない。

するとその時、朝鮮女性は何人ほどいたようですか？

知らない。何人か口にするのも恥ずかしいし。あれがあるから何人かは分からない。

では、その施設は部隊の中になりましたか？

いいや。別の場所でそこから離れていた、日本女性、韓国女性がいるところはどう別にあった。

えっ、別に？えっ、韓国女性、日本女性は別々に？それでは1時間、女性の家に行って1時間、遊ぶとお金はどれぐらい渡しましたか？

1時間でその頃、だから300円だったかな？3000円だったかな？それは知らない。1時間で。

300円なのか、3000円なのか、正確にちゃんと分かりませんか？

えゝ。1時間に3000円といったか？当時の金で。

朝鮮女性がいた女性の家は、どのようなつくりになっていましたか？ 構造は？

こうなって、こうなって宿舎があって。部屋ごとにひとがふたりほどこういて。入って1回、見物だけしたが、こんな部屋でこいつがひと部屋***こいつは小さい***こうして人がふたりほど入り寝ると、こうでこうしたから。そうだ、その外に出ると、そこに写真がありました。写真がちゃんと貼り付けてある。だからその女性と遊ぶ人は、その写真をみてそうするといえば、そこへ連れて行き入れる。横の人がそうして外で見物だけしたんだ、そこへは入らなかったよ。

解放になったという話は、どのように知りましたか？

そこで昭和20年度8月、8月15日だったか？ 8月15日でしょう？ 解放になって、朝起きて洗面に行ってみると、それまでは日本国旗をこのように掲げていて、あの水曜島(Tol island)という島は80里にある。大きい、山が。山がこんなに山が大きい。

その山の名前はなんといいますか？

水曜島。

水曜島？

うん。ああ、その山の名は水曜島といった。そこに行くと日本の汽車がそれまで停まっていた。朝起きて外をみると、このように並んでいた米国国旗だよ。それが並んでいた。だから班長に島人達がそうして、班長の名前はキム・ボンソクで、もう名前は知っている（呼ばない）。班長はキム・ボンソクですが、班長と私は同じ年令です。あゝ、それで班長さんがそうして、あのスユに行つて、汽車がそうしてこう見てみると、たいへんなことになった。何もしゃべるなという。大変なことになるという。とにかくもう何も言わずに仕事をそのまま続けました。そうして1週間を、私はその日数を忘れない。そうして1週間経って、

あの海軍大將がきて全部飛行機場に韓国人達、日本人達を全員集合させて、米国飛行機がきて日本本土にこう爆撃したが、韓国と日本、日本沖縄と二つの国だけ和解するという。そうして徐々に分かってくるじゃないですか。8月15日に解放になって、昭和21年度に私が出てきたから、8月、9月、10月、11月、12月、4、5ヵ月ほど経ったのか？ その間にもうそうになって、いつ出発するという話も教えてくれない。いきなり、それだから米国人達は何月に来たのか知らないけれど、もう日本人達は武器をすべて奪われ、軍服をすべて脱がされ、米国人が入ってくるともう***という島へ、どの島だったか山のような船、米国船がきて、運んで米国人たちが運んでくると、昼間だけきて太陽がわが韓国のように5時間もするとその島に行ってしまう。そうして仕事は必ずそれをさせたから解放になった後も、必ず日本人達が仕事をその前にさせたから、日本人に強制的に連れて行かれて仕事して捕まれば仕事してもしなくても、捕らわれたのであれば仕事はしなくてもかまわないというのだ。それなので誰が仕事しようとするか？ だからその頃は私たち韓国人に倉庫のようなもの、食糧倉庫のようなもの、倉庫のようなものを数個***その人達が韓国人にもいっしょに配給してくれて、解放になった時は少し、私たちは少し楽に食べられました。飯ももう炊いて食べて、米があんなに積んであっても飯をくれなかった日本人達は。少しは食べたのか。

日本が敗亡して、いつ出発されましたか？

ここで陽暦11月頃、ちょっと待って。私は陰暦正月7日にこの家に帰りました。わが家に。そう7日か8日にここに帰って来たけれど、12月にとにかく船に乗って日本にきて2日か3日か、また日本空港にきて***島でそうして、大騒ぎした声張り上げ。船に乗せて、もうそうすると、そこでどうにかしてそうだから、何日なのか私は日にちがはっきりと分かりません。

ではいずれにしても、陰暦7日、正月7日、そうすると昭和21年1月ですね？

あゝ。そうです。

日本が敗北して家に帰りましたが、日本軍人たちがそのまま素直に無事に行くようにと、なにか協力してくれましたか？

なに、あそこから来ると、飯はなかったです。くるときにそれ船で食べるようにと。あゝ、そうだ、そこで私たちは聞けなかったけれど、1度そこで解放になってから帰らせようとしたのに帰らせなかったから、あの李承晩博士かなに大統領がそこへ来て、飛行機に乗って来て、韓國人をちゃんと保護してそうして無事にそうして韓国に送るようにする、と言ったそうだ。その話にだけ聞きました。

李承晩大統領が、そこ夏島に来たのですか？

ですから私たちは会わなかったけれど、来たと言っていたから。

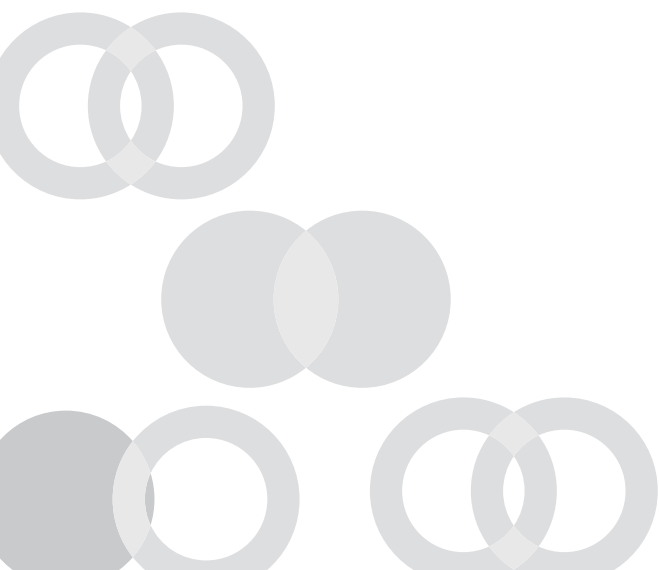
はい。それではお帰りになるとき、お金などは受取られましたか？

だから私は昔のことで分からないけれど、金、その時の金で3000円、3000円か3000円だったか、その時の金で3000円だろう。

面談者__チェ・スヨン調査官

録取者__キム・ミンヘ

検督/編集/注釈__イ・セイル調査3班長、カン・フィヨン/イム・ドア



倒れたら石ころ同然だよ、凍りついて

金濟斗

創氏名	金城濟斗
1925.9.26	済州 北済州郡 涯月面 トンジ里 生まれ
1941.5.	中国新京飛行場 配属 朝鮮第2航空軍 第4航空路部 満洲第12914部隊所属 傭人として動員
1945.8.15	日本敗戦後 ソ連軍捕虜となる
1948.2	帰国

先生のお名前は金字、済字、斗字？

済州島、現在の済の字、一斗の斗の字。

その当時、日帝時代のとき、創氏名などありましたか？

創氏名は金城です。カネシロ。

生年月日はいつですか？

1925年9月26日。

それでは始めに、先生の幼年時期から少し簡単にいくつか質問させてください。

はい、幼年時期に私は、この郭支で五人兄弟の末っ子に生まれ、私は郭支で生まれました。涯月邑郭支で。いつ生まれたことなどは省略して、そして涯月国民学校を卒業しました。当時は涯月にしか国民学校はありませんでした。

その時は、普通学校といましたか？

いいえ、尋常小学校、私たちは普通学校が尋常小学校になった第1回卒業生です。

それは4年制ですか？ 5年、6年制ですか？

うん。6年制です。その次に卒業して日本へ、大阪へ行きました。だから大阪へ行ったのは1941年5月、いいえ、1941年5月じゃない。大阪へ行ったのは、はっきりしない、これは。ですから大阪へ行って、そこで学校を卒業しました。

どちらの学校を？

うん、東京で通信学校を卒業して。

これはどういう通信学校ですか？

無線高等通信学校。

これは陸軍や海軍のようなところの学校ですか？

いいえ。技術養成のところでその通信学校を卒業し、そして配属されたところ、そこで就職して配属されたところは、どこかといえば1941年5月に新京飛行場。

新京飛行場ですか？

はい、つまり当時どうであったかという、無条件にきっちりどの海軍に行きたい、次に陸軍に行きたい、船舶に乗りたい、そうすれば志願したところとほぼ近いところへ送ってくれます。それで私はどうしたかという、陸上を志願しました。

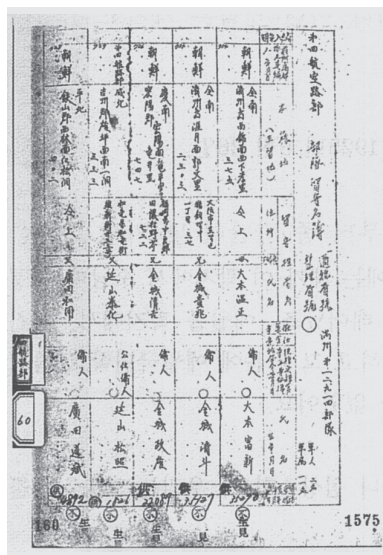
陸上。陸軍のほうへ？

陸上、陸上を志願して第1志望、第2志望の2カ所ありました。その時は大東亜戦争の時で、船舶に乗った人は待遇がたいへん良かったです。この

通信で何番といえば、船長待遇と同じです。それで待遇が良いので船舶に乗った人は、一度でも乗船した経験のある人は無条件に船舶に行った。うん、船舶へ、無条件に行けるのではなく、自分の志望を船舶と志望します。そうだから行ってしまい、私たちはそういう経験は無いので、私は陸上勤務者にしてくださいと志望し、私は、この韓国に帰ってくるつもりだったが？ それなのに長春飛行場に配属されてしまった。それで軍属として入りました。最初から軍属として入りました。

最初から…

はい、軍属としてそこに配属されました。だから私たちは軍属で、そこには軍人も数人いるし、つまり飛行場ごとに飛行場にすべて軍人、軍人たちが勤務していて、軍属が数人入ったのです。私たち通信系統は相当脆弱だったので、通信系統に人員を送り込んで運用したのです。あの長春、あそこですがそれが中



留守名簿

中央航空ロブ³⁸⁾を…

ロブですか？

それはどういうのかというと、東京から飛行機が離陸すると、ここ韓国咸興専用にし、長春に着く前は、どこだったそこは、満洲に入って奉天、奉天か？ そこへ飛んでその次に長春まで飛んで、あの新京まで飛び新京飛行場まで飛んで、その次に南方へ飛んで行く、飛行機は。それを連結させる役割をはたします。それが中央航空ロブです。そこで、その長春飛行場で約2年勤務しました。

約2年ですか？

はい。1年ほど勤務して、次にどこへ行ったかということ、あの図們飛行場。

図們飛行場ですか？

図們飛行場へ43年度に。図們飛行場へ行ったのはどうしてかということ、満洲一体に飛行場が多かったです。そこはその時までどうであったかということ、満洲航空で経営していたが、その飛行場をそのままにしておき、それを第4航空労務にしました。それなので満洲航空で勤務した人がいるし、私たちは軍人軍属として、だから軍人がすべて占領するのです。結局は軍で、そこで陸軍少尉が長になり、私たちは軍属なので軍属として配属され一緒にその人たちの下で仕事をしていくのです。そうしてあの満洲一体の飛行場と通信連絡したのです。

つまり満洲、一般民間人が経営していたものをあとから軍が接收して…

そうです。すでに一般人がしていた、一般人も今や軍人、軍属として配属されてしまったのです。満洲航空はもう、会社の人達も軍属として配属されて、そうして軍人がすべて掌握していました。それでどうしたかということ私はわたし

38) lobe；アンテナまたはマイクを通じて直接に電波や音を受信できる角度や範囲

の兄が咸興で勤務していました。咸興鉄道局におり入れてくれました。

鉄道局にですか？

ええ、日本の学校を卒業し鉄道局に勤務していて。ですがこう地図をひろげてみると、私としては済州島なので、いちばん近い親戚がいるところはどこなのか。その飛行場の図面を持ってきて見せてくれました。その当時、私たち同窓生はハルビン³⁹⁾にも行き、北京にも行き、あちらこちらに配置されました。うん、このようにテサ航空 労務（ノブ）といって、飛行場がすべてその図面に描いてあるのをみせ、自分が行きたい場所を志願せよ、とそうして志願するので、私は図面を志願しました。図們飛行場。

変更する時に、図們飛行場を志願されたのですか？

はい、図們。長春飛行場からこの新京飛行場から、長春飛行場へ転属しました。

転属…。

ええ、転属です、結局のところ。それで次にどうだったかという、そこで2、3年勤務していると、軍人のあれが来ました。令状が来ました。だから令状というのは、私の事務室はどうであったかという韓国人、あの満洲に住んでいた人を給仕として使っていました。そのひとは私より1歳上です。ですがそのひとは甲子生れ、私は乙丑生まれです。甲子生れには召集状がきました。

甲子生れにも徴兵がきました。

徴、徴集がきたのでそれでそれをお送りして。そう酒も一杯飲んで送り、その次の翌年、私は乙丑生まれなので翌年にきました。それが45年10月10日です、

39) ハルビン

10月10日が徴集でしたか？

あ、いいえ、8月10日、8月10日に徴集がきました。

令状はどこへ？

それで、どこかといえば図們警察署。警察署の責任のもとに徴集してあの図們、そこの駅前に全員召集して、そして汽車に乗せてどこ行ったか、ハルビンへ行きました。ハルビン。ハルビン、分かるでしょ？ ハルビンへ行くかどうか、学校へ全員が入って行くと、そこには1000人以上がいました。

ハルビンの学校のようなところへ行かれたのですか？

はいはい、学校に。そこは臨時に、とにかくそこへ。とにかく待機させた。そこへ行きハルビンへ行って一晩泊まって、その翌日の夜によく聞いてみるとソ連と戦闘が始まったと。ソ連と戦闘が始まった、この噂を聞いたとき、私たちが逃亡したことがありました。

そのときそのままその場所から逃亡したのですか？

私たちが鈍感でそうなのか、鈍感でそうなのか。ですから当時21歳です。うん、乙丑生まれ全員をそこへすべて召集したんだ。召集してその学校でひと晩宿泊し、その翌日戦闘がはじまったんだ。昼間は汽車の運行ができないので。

すぐにもう戦闘がはじまったのですね、そこで？

ソ連とすぐに戦闘が始まった。しかし私たちの目的地はどこか、ソングだ、ソング。

ソングは、どこにありますか？

ソングは北満州で、ソングの次に黒河⁴⁰⁾がある。黒河はあのソ連の地のちょう

40) 中国黒龍江にある都市、ヘイホ(Heihe)

ど河の対岸にあるところ。あっちはブラグ⁴¹⁾で。ウム、ソ連の地はブラグで、船でこっそり渡ればブラグ。ウム、そうしてなんとか入隊しました。入隊してそこで⁴²⁾ひと晩寝て、翌日の夜行列車でそのソングまで行くのです。ソングへちゃんと入ると真っ暗で誰が誰か分からない。私たちを収容しにきた人は軍人だった。軍人が収容しにきました。自分たちの新兵を収容しに来たのです。そこに連れてきた者を連れて行くだけです。その新兵を収容する人たちが何部隊、どの何部隊、どの何部隊、どこといいながら。そうして、私は本来あの通信師団司令部に入隊したが、通信師団司令部で教育できないため、一般のところに押し込まれてしまった。ウム、一般に押し込まれて、夜中に汽車が到着して歩いて行ったが、暗闇のなかを歩いた。誰が誰で、どこで誰なのか分からない。そして歩いて幕舎に入りました。幕舎に入ってみると誰もいない。全員が陣地へ、高地へ登ってしまっていたのです。幕舎はかなり大きい。大きくてその山間に建っているが、官舎などは部落にすぐ近い場所にあるが、幕舎は軍人幕舎は、どこか山間に入ったところに建ててあった。それでそこに入って、あ、私たち約30人がそこに入りました。他の人たちは他の場所へ行ってしまうと、私たち約3～40人がそこに入って、そこに行って服を脱いで、当時は私服を着ていた。そしてその倉庫に行ってみると、衣服やらなにやら靴などの新品がすごくたくさん積まれていました、倉庫に行くと。それで全員着替えよ、ところ。だからそれをすべて新品に着替えて、自分が着たものは風呂敷にそっくり包んでいつか故郷へ送ってくれるだろうと。その翌日は。軍服に着替えて。陣地に登って行って内部に入るとものものしい。それは師団司令部以上でした。その陣地のなかへ。その市内はソ連軍が入ってきて戦闘が繰り広げられたところで、いっぱい戦車が入ってきて激しい戦闘が繰り広げられた。ものすごかった。ともかく。だからそこでは戦闘を繰り広げられるものが無くなり、韓国人

41) ロシア東部アムール州の州都のブラゴヴェンチュンスク (Благовещенск)。
黒河 (ヘイホ) の対岸。

42) ブラゴヴェンチュンスク (Благовещенск) を指すようである

に何をさせたか、木をこのように持って、その戦闘に入って行け、とこうでした。だから壕を掘ってタンクが来たとき、タンクが来るのを阻止さえすれば、どうにかなるというわけです。タンクが来たとき、人がいることが見つからないよう壕を掘りじっと潜んで、ワツとそのマルタ（丸太）を持って、持ってタンクに入って行け、ということです。そのように教育します、そう。

教育ですか？

そう、その時はその、今なら、あのタンクを撃つ銃を一発バーンと撃てば、おわりだが、そういうものはなかった。だが、あちらはどうかというと、キュウジョウバクライ急造爆雷⁴³⁾といって、身体に巻きつけ突入するのもあって、それさえ無くなってしまったので、その棒切れを背負って行く、それで韓国人が苦労しても知ったことじゃない。行け、といえばこちらへ行きあちらへ行き、こう行けばこう行く。そうしてだ、それを持ってするのだが、私たちが行ってからソ連軍人はあとからしきりに爆撃するから、壕をすばやく掘って、確実に爆撃を避けようと壕を深く掘るんだ。ウム、それも砂なのだ。そして壕を掘ってその上に木を束ねて覆い隠し、煙突には砂を詰め込んで、爆撃にあっても最少ですむように。ずっと壕ばかり掘ったから。そうしているうちに5人ほど逃亡してしまった。韓国人、これが逃亡したが、どうなったかということ、中隊本部に小隊長を呼んで、よし、この者達を銃殺せよ。

捕まったのですか、また？

捕まった。捕まるさ、どこへ逃げる？ それで逃亡したけれど。この者達、全員銃殺せよ、だから、こう中隊長から命令が下されたから、小隊長は銃を背にして行った。行って、もうこう見れば小隊長がきて銃をもって行ったから、彼らは死ぬ覚悟をしたんだろう。どうしようもない？ だからまさしく死ぬ寸前にな

43) 急造と爆雷を合成した単語で身体に爆弾を定着しタンクに突進させたことをいう

って、これはなんとかしなくてはと、小隊長にすがりついたんだ。5人が全員。今度だけ生かしてくれれば、小隊長のお言葉に絶対服従します、ということだ。ウム、絶対服従するから生かしてください、と言うと、小隊長も人間なのでしょう、その場で銃を5発パンパンと撃って連れて来ました。連れて来たので私たちは知った、そのままでは分からない。誰が逃亡したのか、その人たちが話したから分かった、さもないか死んだか生きているか、何人が行って帰ってきたのか、それも分からない。そうしてそのままその人たちは生き残れました。あとからその人達も全員が捕虜になったが。その次にどうだったかという、敗戦というのは8月20日頃、15日敗戦、解放されたから、20日頃に敗戦だといって武器などをすべて谷間⁴⁴⁾に整列させて、身ひとつになって降りてこい、というから身ひとつで降りて行った。降りて行って次にソ連軍の陣地に入るのだ。ソ連軍陣地に入っていく。それで官舎に全員を詰め込んだ。官舎というのは日本の奴、その将校たちが住んだ官舎だよ。そんなところに行って、鉄条網を張りめぐらせ、そこへ全員を押し込めたんだ。押し込んで10日ほどすると、家に行く。それで満州に行くと、日本人も韓国人も下手すると満洲人にやられるから、こちらのほうから歩いて行くあの、ソ連をまわって行く。

ウム。ソ連をまわって行くと…

うん、まわって行く。そんな噂がでました。それでそうかなと思った。そしてそこ満洲で関東軍は、すべて年輩の人たちで、急迫した時だったから、校長をした人、銀行員だった人、まあそんな人たちだ。昔、軍人をした人、そんな人たちだけ選ばれて入ったから、すべて年輩のひとだけだ。若い人は誰か、あゝ、若者はすべて韓国人です。ウム、韓国人がもっとも若い。今しがた21歳になった、21歳になった人たちだけ。それでもうそこへ全部武器を返納して幕舎にまもどって、家に帰るのでどうしたかというと、自分で背負えるだけを、幕舎に

44) 谷間？

は軍服でもなんでも全部新品のもの、倉庫にはいくらでもあるから。毛布もすべて新品のもの、下着も服も。厚手で編んだもの。手編みのような厚手に編んだそんなウワギ（上着）なども全部、そんなものを背負えるだけ背負って。どうしてそうしたか、満洲にいた人たちは、その人たちは生活して行っただけだから、これは息子にあげるもの、これは娘にあげるもの、これは妻にあげるもの、こうして背負えるだけ背負った。ウム、そうして背負った。そして降りて行って、その幕舎に入って、そこで待機して一個中隊なら中隊ごとに出発させたんだ。出発して3日間歩く、3日間を。その黒河まで3日間歩いて行っただけ、その年輩のひとがそれを背負い切れますか？ 3日間歩くともう歩けない。だから半分ほどに減らして歩き、またもう半分減らして歩く、ホホホ…すると私たちはそれを拾ってひとつずつ持ち、独身者は着実に歩いて行き、その人たちは歩いて行くうちに倒れてしまう。そうするとソ連軍が後からついてきて全部運んで自分のところに持って行く。ソ連はありません。物資がないから。本当、そんなのを見ると目頭が熱くなった⁴⁵⁾。うん、それ、時計なんかもない。ないから時計をひとつでもあげると、このように自分の身を捧げでもするように喜んだよ。そうして3日ほど歩いて黒河まで行って、黒河で乗船すれば10分もかからない。船でそのソ連まで入って、あの河、あのようになら、それも約500 m、1 kmにもならない。そう、そこを渡ってこんな大きなレンガ造りの家。その学校へ入った。そこに行ったらはじめて見たが、私も荷物を持っていたが、そこで全部無くなってしまった。こいつらの盗みがどれほど巧妙か、技術証明があったのに、それも持ち去りそこで失くしてしまった。そして1日ほどするとジャガイモを掘るところへ来いという、それでジャガイモ掘るところへ行っただけ。ジャガイモ掘りに行くと、あゝ、まったくジャガイモを、そこではトラットラというが。うん、トラクターをトラットラという。うん、それをどうするかというと、畑をひとつとおり耕して、そのまま取り入れをすればすむじゃないか。ジャガ

45) 赤らんでしまう

イモを拾ってジャガイモを大釜、釜に粥のようにする、たぶん牛乳、牛乳のような。少し甘いにおいがした。え、はじめの頃は食べられる。いっぱい腹が痛くなるまで食べたんだ。しばらくすると腹が減ってまた行くと、それを弁当箱でそこで食べるんだ。そうしたにはしたけれど、つまりそうして仕事場に行けば、食べ物はなんとかまにあった。そしてそこで3、4日仕事をして次に、家に帰るといってまた船に乗せたんだ。あ、船に乗せて。黒龍江だよ、だから、それは黒龍江だよ。コクリュウコウ、黒龍江、黒龍江で、船に乗せて行く、家へ行くといっただけです。その船に乗ってハバロフスクへ、ハバロフスクで少し船を接岸させた。接岸して、さあまた行く、といっただけでまた出航して、どこまで行ったかというニコライスキ⁴⁶⁾というところへ行っただけ。

ニコライスケンですか？

ニコルライスク。

ニコルライスクですか？

ニコツケイと読んで、ニコツカイというところがあります。ここ、ここですよ、私たちはここに行ってきました。こここれ北海道じゃありませんか？　ここがカラウド（サハリン）で。樺太（サハリン）はここで。ここが河のちょうど入口です。入口がものすごく寒い。ここでは零下40度は問題にならない。まあ、昔住んでいたら必ず死んだだろう。行って見るとここはチシマレットウ千島列島、ここに軍人と、軍人の一個大隊、すでにここに来ていました。ここに来ていた、その収容所に収容されていました。

はい、収容所に？ そちらに…

はい、収容所です。その収容所ですよ、いちおう今ではもう捕虜だから。これ

46) ニコラエフカ（Николаевка）；ウラジオストクから北方へ400キロメートル離れた村。

捕虜です、もう。どうしてかという、いったんソ連に入ったのであればそれは捕虜でしょう。うん、捕虜生活がとうとう始まったんだ。

ええ、そうですね。

そして9月1日頃になると黒龍江はカチカチに凍ってしまう。だからそれに間に合わせようとして入ったようだ。黒龍江がカチカチに凍るだけ凍り、もうそれからそこで伐採。

そこでまた伐採されたのですか？

木を切ること。また、どこかの倉庫整理。倉庫はどうだったか、麦類を積んで置くところ、また河が硬く凍ってしまうともう船を運航できない。だからその小麦粉袋を屋上に上げて車に載せるんだ。ウム、そうそう、倉庫に入れる。ええ、そんなこと。そしてまた家を建てるのに土を掘る、便所掃除。だからここ収容所で一般のひとが要求します。ええ、一般のひとが、それを何人と要求します。収容所に私たちは何人と志願し、私たちのする仕事はこれほどあるから、何人ください。そこはすべてどうなっているかという国営農場です。国営なので個人のものはありません。農場のようなところでジャガイモの裏返し、ジャガイモが倉庫にこのようにあると、それを1回ずつ裏返しにしないと。腐りはじめるとどんどん腐ってしまう。だから年1回なら1回、2回なら2回、裏返しにしないではいけない。つまりジャガイモ返し。農村では、冬なのでだからそれであの、そうして、そうでなければ木を切る、伐採。木が凍りついてしまう⁴⁷⁾、韓国人はぎょっとする。どうしてか、すべて木を、そんなのを全部すべて切れ。だから少しでもそうなると、それは実に奇妙な木なんだ、このぐらいで、あんなに木が高くなって、風が少し吹いただけで倒れる。あ、倒れそうになる。まあ、今なら機械でバサッと伐採できるが、それをまるまる自力で切るんで

47) 凍りついてしまうと

す。そうして伐採をそれ冬にさせるんだ。夏にさせない。

あ、冬にだけですか？

私たちは1日当たりどれぐらいだったと思いますか？ 299グラム。どんなのかというと、そこではフルレバ⁴⁸⁾という。フルレバ。あの食パンがあるでしょ？ 食パンを8等分して真ん中をサッと切って一つ、二つ、三つ、四つに切って、それをもって食べ重労働するんだ。それだから空腹でたまらない。気が狂いそうだった。目がくらくらした。人に食いつきたくなるほどだった。だから全員ガリガリにやせ細って、私もここに帰ってきてから身体がだいぶよかった、全員ガリガリにやせ細って。半分ほどに。だからそこは1度力が尽きて倒れたらそれまでで、患者は必要ではありません。患者に病院がどうして必要なもんか。倒れたら石ころ同然だよ、凍りついて。瞬くまに凍りつく。あ、まさに、命が尽きたときには瞬くまに凍るので。その人には病院も必要でない。どうなのか本当にそこは、こんなだから食べることもできない、食べられないからもっと寒い。だからそこで韓国人が歩いているとこんな具合です。人が歩いて行くのに、それはまあ、マラソンするようなものです。女も男も大腿にさっさと歩いていく。そんな速さで歩きます。あのソ連人たちは。そうして歩かなければ寒くて耐えられない。翌年6月1日、46年6月1日になると雪が解けた。黒龍江が。コクリュウコウ。あのソ連語ではアムール川というが。そして韓国人だけきちっと別に集めてどうしたか、韓国人行くんだ、といって別にしてどこかへ行くのです。だから日本人たちがどんなにかうらやましがったか。あゝ、本当に、これはその、韓国人が帰れるなんてとても良いことだ、うらやましい。それは、なに、どれほどうらやましがったことか。それはそうでしょう。飢えに飢えていたから、家に帰るという話だけを聞いても、私たちのことを喜んで。そのまままた船に乗って又こっちのほうへ戻ってきたんだ。

48) フレープ (хлеб) ; パンという意味のロシア語

どこへですか、その次は？

私たちはあの、そこはどこだ、ハバロフスク。

ハバロフスクに戻ってきたのですか？

ハバロフスクにまた戻ってきて、船をさっと接岸させ、命令をもらって行く、そんなふざけたまねをしにくれたんだ。ハバロフスクでまた数年暮らしました。

最初に捕虜として行ってまもなくすぐ朝鮮人だけが別になって集まったのですか？

はいはい、別に集まりました。そしてハバロフスクに着くと韓国人収容所がありました。

ハバロフスクに、韓国人収容所が別途に建ててあったのですか？

はい、別に建ててありました。韓国人収容所だけ別に建てていました。そして、またここでどうだったかという、帰れるとばかり思っていたのに、また働かせる。どうすりゃいい。そして働かせるのもいろんな仕事です。1種類ではなく。小麦倉庫に行った人は運の良いひとだった。他のところへ行ったひとは死にそうだった、あの木を切りに行った人は空腹で気が狂わんばかりだった。それなので自分の服でもなんでも売り払って食べた。冬でも下着なんてとんでもない、それもまた交換して食べるんだ。パン、それを1、2個くれる。下着を渡すと。だからそれを持ってきて、少しでも1日でも持ちこたえるため食べようとした。それで小麦倉庫に行くと、そこには食べ物はいくらでも食べて良かったが、持って行くな、という。そうして数年間暮らし、46年だったか、48年2月に、どうしたかという38線を越えたのです。船をそこで、ウラジオストック・ポスタ⁴⁹⁾ 港だったか？ その港があります。そこから船に乗って貨物船です。そ

49) ウラジオストック ポルト (владивосток порт) ウラジオストック港

れも旅客船じゃなく。どのように来たか、咸興に着いた。咸興に到着し、咸興の学校に入って行きました。

学校ですか？

学校に。学校に入って行って、その時はだから降りてみると、その時は北韓の人たちが責任だった。うん、北韓の人たちが責任で、その人たちは船で行ってしまっ。ようやくもう捕虜生活が完全に終わったわけです。そしてそこで約5日、約1週間滞在して多分。そして1週間ほどして約10名なら10名、20名なら20名ずつ38線まで連れてきます。38線まで連れてきて、その責任者がこっちの道に渡って行きました。「渡って行きなさい。」といったから私たちはそちらのほうへ。そこをずっと歩いて行くとば部落があるからそこ韓国に入れば、若者はひどく殴られます、そう脅かしてちょっと殴って。それで、今はそうなのかと思った今は。私たち全員は軍人出身だから、一列になり先頭が約10メートル前方、そうしてのっしのっし⁵⁰⁾ 歩きました。のっしのっしと歩いて人が見える程度に並びました。そうして行くと部落がありました。そこはどこか、漣川に入ってきた。山からこう見ると大きな部落があった。だがみると他の離れたところに家が一軒あった。それで最初に見た人をそこへ送った。送って、そこへ1回、行って見るように。どういう事情かが分かれば、私たちもどうにか行動できるので。最初に下見を送り、その人がその家に入ってしばらくすると出てきて、そいつを捕まえろ、という声がして騒々しい。だから部落は大きい部落なので犬の鳴き声、幼児の泣き声、捕まえろ、捕まえろという声、さまざまに声が。だから私たちは山へまた駆けもどった。そのうち全羅道のひとりがあの北へ越えて行ってしまった。その人、その人はすごく臆病な人だった。私たちは山へ行ってどうしたか、私たちは済州島まで私は歩いていく、峰つづきに私は歩いて行くと。歩いて行かなくては。それでもう無条件にとにかく歩いて行こう、そう

50) 身体の大いなか動物が、身体をすこし揺らしゆっくりと歩き続ける様子へのそののそり

して歩いてすごく疲れてしまった。山上は2月だから雪があって、雪がとけて、だから木の下で寝ました。寝てから朝に目が覚めると、ちょうど前方に家が数軒あった。もうその翌日は空腹でどうすればよいのか、以北から来るときにひとり2000円ずつかをくれました。

それはどういう名目でもらったのですか？

約5000円だったか？ それは途中で腹がすいたら買って食べるなどして使うように、と韓国の金で5000円ずつくれた。そこへ行ってどうしたかという、ご飯を炊いてください、という。自分たちは飯を炊けない、という。どうしてなのか、ここにある家々がすべて飯を炊いてあげるのであれば、自分も炊いてあげるが、自分ひとりがそうすると万一捕まるかもしれないからと。共産党だ、なんだかんだと盛んにうるさい時だったから。それで米だけでも売ってくれといって米をもらってきた。そしてそこで朝飯炊いて、弁当箱で炊いて食べて、船を借りてだね。そうして、さあ、ここから乗ってみよう。さあ、みんな一緒に行こうか？ そうでなければ歩いて行くのか？ 歩いて行く人は歩き、出るひとは出て行き、そうしようということです。それで共に苦労して来たのだから一心同体で出発せねばということです。そして地理も調べてみると、そんなにたいへんなことではないようだった⁵¹⁾。だから出発しようとして橋をちょうど渡っていると車がずっと来た。それは警察官が乗った車で、どこへ行く、と聞かれたので、私たちはあちらの方へ行く。あちらに行けば抱川警察署だから、抱川の近くに一步でも踏み入れたら、銃撃されるから用心しろ、という話だった。そういって彼らは警備のため去った。それで私たちは歩いて抱川警察署まで入って行った。そして抱川警察署へ行って3日ほど入っていました。そしてその次に全員が仁川に送られました。仁川収容所、仁川収容所に行って何を受けたの

51) たいしたことはないようだった

か。ひとりずつひとりずつ呼ばれて、どうしたかという調査⁵²⁾を受けました、但し、その人たちはあの米軍に行って、韓国人は調査しないで、あの米軍に全員が調査を受けました。

米軍にですか？

どこで、どのようなソ連軍たちが、という話ですよ、どこにいて、どこにどんな飛行場があり、そういうことだけを調査しました。ほかでもありません。その時は本当に腹いっぱい食べました。少し生きた心地しました。とにかく私が思うには、1週間以上そこで調査を受けました。

1週間程度ですか？

私も2、3、4回、呼ばれて行ってきました。良かったですよ。そこに宿泊させて、済州の人は済州警察署が引き取りに来ました。全羅道の人は全羅道警察署がきて引き取り、また京畿のひとは京畿道がきて引き取りました。そして私は、そこに知人がいたのでソウルに行きました。ソウルに行ってソウルで2、3日遊んで、兄があの咸興鉄道局から新川鉄道局に来ていたので、新川鉄道局にいる兄の家に滞在して、新川鉄道局に履歴書を出しました。そしてそこで採用してくれました。そうして済州に戻ったのは、16歳頃に出て、その時です、どうであったか、済州に帰ってみると、済州の4.3事件はすべて終わって。あの副司令官の李徳九が捕まった時です。その時にちょうど帰って来ました。そうして歩いて帰宅しました。その時は4.3事件が終結したときで車もなにもない。無いので歩き、家まで帰りました。家に帰って父母に挨拶し、2、3日してふたたび警察に行って申告しました。私はこうして帰ってきたんだ。それがこの警察には、先に帰ったひと全員が警察に入れられていて。警察に入れられていて私だけ抜けていました。それで警察に入るんだ、といわれたので、私はもう新川で

52) 調査

就職しましたから心配なさらないでください、という、分かったと。

いくつかもう少しお尋ねします。幼年期、学校に通学していた頃、ご両親はどんな仕事をなさっていましたか？

農業しました。麦耕作。

その当時、農地を少し多く所有されていましたが？ 学校にも通って、日本にもまた留学されましたので……

いいえ。留学したのは、父母が金を工面してではありません。どうしてかという、兄が日本で工場をしていました。2番目の兄は薬局をして、3番目の兄は



金濟斗 写真

2番目の兄とふたりでデブライト⁵³⁾工場。あのソケットのようなのがあるでしょう？ 女性たちのクリームのふた。そんなのをつくりました。それをつくるには、それも技術的につくらなくてははいけません。その技術が必要とされます。だからデブライト工場をして日本人からかなり信用を得ました。そして当時、軍需工場にされてしまいました。軍人の食器、食器のようなものもつくりました。最後には。そうなのです。兄たちがすべてをさせてくれました。このことは父母がしてくれたものではありません。兄がそこで金を稼いで弟を勉

53) debrite:堆積岩の一種、安山岩質角礫岩ともいう。

強さしてくれたのです。

日本の大阪へ渡って、無線高等通信学校を卒業されましたね。

はい。

では、この学校を卒業すると、ほとんどがこういう軍関連やその方面に就職することになりますか？

ほとんど軍関連です。その時は先祖代々とても迫いつめられていた時だったから、軍関係でなくてほかにありますか？ どこにまあ、卒業する頃にひとまず募集があります。募集があれば自分の行きたいところへ行けます。

それでは、陸軍や海軍のような…

陸軍でなく、陸軍とは言わずに陸地、陸地とそのようにだまされ行ってみると軍隊だった。

軍隊へ行くのでしたか？

海軍、海軍のようなところそこは、海軍軍属は、それは完全に軍とみなされ、これは陸地とあって行ってみると軍属として入れられていた。

海軍は軍人として、軍属として行くことを知っていて。

はい、それは知っていた。知っています。

ですが、陸地といえばそれが軍人として行くのか、軍属として行くのか知らずに…

軍属として行くか、それは分かりません。

それでは(パン)、20日頃に入隊して、武装解除はちょうどその時になったのですか？

ソ連が武装解除せよ、といったのです。命令が下りたその時に、あ、もう敗戦だと分かった。私たちはなに、ただ、上からもう負けたので武装解除だから、その銃などをすべて返納せねばならないといわれれば、その言葉を聞いたということだけなのです。ほかにはありません。

では、その時の所属はどこでしたか？

私は、私は師団司令部、その通信師団司令部に。

最初に行ったとき、捕虜になり最初に入ったところはどの地域でしたか？
そこがイバロフスクでしたか？

黒河を渡ってそこがあ、ソ連のニコライスカ⁵⁴⁾ だった。

はい。それでは、最初は日本軍と宿舍や幕舎もみんな一緒に使用されたの
でしたね？ 最初に幹東(間東)に行った時は。そうなのについてから朝鮮人と
日本軍にはっきり分けるようになりましたか？

結局どうだったかという、ソ連に行って1、2カ月経って。

それではニコライエフカで朝鮮人だけが別になったとき、そこに朝鮮人だ
けで集まったのは何人ぐらいが集まりましたか？

そこで約20人。

そしてもう帰ってこられる時、ウラジオストクのそばに、ポシエツ⁵⁵⁾ とい

54) Николаевка (ニコラエフカ)；ウラジオストックから北側へ400キロメートル離れた村。

55) Посьета (ポシエツ)；ロシア連邦のハサン地域(Хасанский район)：北韓側に面している)。東海岸の港湾都市

うところに集まった時、あちらのほう社会主義国家ですから、あちらで社会主義教育のようなこともたくさんさせましたか？

あ、私は教育された経歴はありません。私は教育されたこともなかったし。あ、そんな人がいたにはいたようだが。

帰ってきてから、また仁川などの収容所においても、ときどき調査のようなことが、たびたびあったようですが？ ええ、帰ってこられてからいつも監視されていたとのことですが…

帰ってきて一次的に調査したことは、只どんなのかといえば、人々は各地で労働したからみんな異なります。ウム、だから労働に行って、そこに行くと、ソ連軍人はどこに兵士がいたか、あるいはタンクなどもここに配置されていたか、あるいは飛行場はあったか、それを調査したので、どこに何があるかは予測できました。そうすると図面を描ける、それです。それひとつだけで、ほかのことで調査したのはありません。なに、お前は共産主義者か、なに、そんなこともないし。

はい。その時はまたちょうど戦争直前でもあり、反共が厳しい時でした。北韓からそうして降りて来た人たち、またソ連にもしばらくの期間いて、帰って来たという、少しそんなことで多く監視を受けたという疑惑がありそうでした。もしや先生もそのような部分があったのではと思いまして…

ですが私はどうかというと、すでにスンチョン（新村？）鉄道局に入っていたので、監視はあまり受けませんでした。

先生、それでは鉄道庁に勤務なさって、次に6.25が起これ軍人として韓国軍、国軍へ参戦されて…

いいえ、私はどうだったかというとスンチョン（新村？）にいて、兄はどこか田舎に行っていて、私に木浦へ行けと、だから私はまた兄のことをよく聞き

ました。父母の言葉もよく聞きますし。言われるとすぐにそうします。それで食べ物或少し包んでその時は車がありますか？ 何がありますか？ 人民軍が入ってくる時だから。山中を行きます。山中を歩いて2日ぐらい歩いて木浦まで行きました。それで木浦まで行って木浦で隠れていました、アイゴー、次にきて軍人にして連れて行こうと、若い人、全員ともかく家々を探すのです。我が軍がはいってきて。ともかくどうしようもない、耐えられそうになかった。それで、道頭里⁵⁶⁾というところがあります。私の妻が道頭里出身です。それで搜索隊の小隊長をよく知っています。それでもうふたりでどこでも行って隠れ場所があればそうしろ、といわれたのです。そういわれてもう士官司令部に、通信部に入りました。11師団。それで11師団に入ったのですが、現地入隊させられました。私の原籍は3月26日生まれなのに、ええ、原籍は。9月26日生まれです。8月でも入隊せずにすんだのに、9月26日生まれだ、ということで現地入隊させられてしまった。それで結局、約4年間また軍人生活を送りました。それでずっと苦勞が多かったです。

軍生活を終えられて、次は、ではどのように？

軍人生活を終えて済州空港で。

いつまでそこで勤務されましたか、定年になられるまで？

うん、定年退職する時に、60歳になる時まで。

面談者__調査総括課 ピョ・ヨンス班長

録取者__キム・ミンヘ

検督/編集/注釈__イ・セイル調査3班長、カン・フィヨン/イム・ドア

56) 現在の済州市道頭洞

ちょっと身動きしても殴られるから

裴英虎

創氏名 米田英虎

1927.3.25 慶南 釜山府 凡一町 生まれ

1945.5.26 中国派遣軍 第6方面 軍直轄部隊 傭人として動員

1945.9.13 解放後に帰国

生年月日はいつですか？

1927年3月25日です。

創氏名は？

はい、ヨネダエイコといいました、米の米字に畑の田字。それ日本語でヨネダといえます。ヨネダ、英虎。エイコ。

おじいさん（ご老人）はその当時、どこに行ってこられましたか？

中国江西省南昌市。

どこですか？ 南昌市のどの部隊ですか？

征部隊、征、征。征伐するという。その征部隊。当時はすべてこんな、部隊名はすべてこうでした。

ではその当時に行かれた時、年齢はおいくつでしたか？

その時19歳。

19歳ですとその当時、なんの仕事をされていたか？

家で遊んでいました。

学校に通われましたか？

はい。学校は今なら国民、初等学校です。卒業して職場で少し勤めてやめ、まあそうでした。

お父さまは、その当時なんの仕事をされましたか？

父は会社員でした。

そうしますと当時の家庭状況は、お父さまは会社員されて経済的に苦しいほうではなかったですね？

苦しくもなく余裕があるでもなく。まあまあ。その時は韓国人が待遇される位置にはいませんでした。やっと食べて暮らせる程度…

では、行かれた時は、どんなきっかけでどのように行かれましたか？

ですから駐在所、派出所から捕まえにきたのです。各村に派出所が一カ所ずつありました。現在もありますが、そこから日本の巡査がきて、当時は非常に急迫した時でした、日本人は。45年度8月15日に解放になりましたね？ 終戦になっ

た。非常にその時は急迫していました。日本人達は敗亡する直前だったから。

それは、そうすると何年度ですか？

ちょっとみよう、1943年だったか？ そんな時だったから。8月初旬かおそらくその時分です。正確な日は覚えていません。

そうしますと、その巡査がきてどういつて行こう、と言ったのですか？

軍に行け、こうです。その時、私が少し年長だったら、徴用で連れて行っただしょう。でも年が若かったので軍属として行ったのです。やってきて行こう、ひとまず行こうと。それで私は***ではないのに何故行く、と言ったけれど、行けば分かる、とこうです。それなのでそこに行ったが、2、3日内に軍に行かなくちゃいけないというので、では軍のどこへ勤務するのか、日本へ行くのか、どこへ行くんだ、という、中国へ行かなくてはならないと。日本軍部隊に集合させて、それが3日後だったか？ 3日後か、2日後だったか？ ただずっと汽車に乗って、ずっと汽車で行きました。

ではその時、その人はどこへ行って、どんな仕事をする、そこへ行ってどういう仕事するということは？

そんな話はしなかったです。

では中国の部隊へ行く、そこまでは話してくれましたか？

はいはい。秘密になっていて、最初は何の地域だ、という話ありません。中国へ行く、という以外は言いませんでした。

それではそのとき派出所に行き、2、3日後に直ちにそこに集まった人たちと一緒にいき、家に帰られて行きます、ということも言えずに直ちにそのまま…

ええ、そのまま行きました。

では、ご両親はまったくご存知ではなかったのですか？

そうだから知らないでしょう。かわりに見送りをしてくれました。追いかけてくるではありませんか、お母さん、お父さんが。なぜ捕まえて行くんだ？ そういったがその時は韓国人にひどい扱いをした。それで知る必要もない、中国へ軍属として行く、それだけ知っていられればよいと。それで連れて行ってしまったので。だから知らない。お母さん、お父さんは、行く、その2日後か3日後に汽車に乗って行く、それだけしか知らない。どの地域に行く、どの部隊に行くということも知らない。

すると、挨拶もできずにすぐ行かれたのですね？

そうだ。そうです。そこで顔だけをみて、その派出所内に入ることもできないで、外でガラス窓から見て、行ってしまうのか、捕われて行った、その後のことは知らないでしょう。

では、その派出所に何人ほど集まっていたか？

10数人来ました。正確にいま思い出せません。

それでは、おじいさん（ご老人）と同年齢のひとでしたか？

はい。私より2、3歳上の人もいたし、私が一番おそらく若かったでしょう。19歳だったから。2、3歳上だったでしょう。

ではその時、その派出所で集まり、どの駅から行かれましたか？

釜山駅から行きました。その時、集まってどこへ行ったか、釜山兵站司令部へ行きました。釜山市内の全人員をそこへ総集合させ、汽車の便を待ち汽車がくると憲兵がきて引率しました。

すると、その派出所には10人程度が一緒に行って、次に兵站司令部に人々をまた乗せてそこへ行き…

約100人程度いました。

釜山から中国まで、何日ほどかかりましたか？

9日。どこかというあの南京。いまあの揚子江があるところですよ。そこは汽車の線路がありません、当時は。船で、船で行き来した、その揚子江には鉄橋がなかったから。その手前に浦口⁵⁷⁾という駅がありました。浦口という駅で下車し船に乗って南京へ渡って行く。南京に行くときまたあの南京島のしたに兵站司令部がまたありました。そこで3、4日待ちました。そこで飯を食べ食事してそこで寝て。そこで待って3日か4日後に、船は揚子江の中間ほど行くと九江⁵⁸⁾、九の九字、九江。九江という小さな湾がありました。そこで全員が降りました。下船させました。そこで下船させると軍部隊からトラックが来ました、トラック。そしてトラックに乗って南昌まで行きました。そこまで9日間かかりました、9日、9日間、汽車の中で生活しそこで寝てそこで動いたりするものだから膝がすり切れてしまった。当時はナイロンではなくて木綿だった。この膝のところがすり切れてしまいました。

では行く途中、なにか残虐な行為や、あるいはなにか…

そういうことはありません。まだです、もっとすぐ経ってから、完全に軍属になって軍人となるのです。行く途中は憲兵が、逃亡しないよう包囲して行ったのです。

57) 浦口 (pukou: プーコウ) : 中国江蘇省南京市にある湾。揚子江を挟んだ南京市街地の対岸。

58) 江西省九江 (九江: Jiujiang)

南昌(南京)に行くまで、憲兵に包囲されて行ったのですか？

はい。そうです。逃亡させないために。

ではその時、行く途中では食事などは提供されましたか？

食事はくれました。にぎりとかの、今のあの沢庵あるでしょ？ それを数切れと。塩でこう漬けて、少ししょっぱいおにぎりをこれぐらいの。小さいのを2個ずつ。

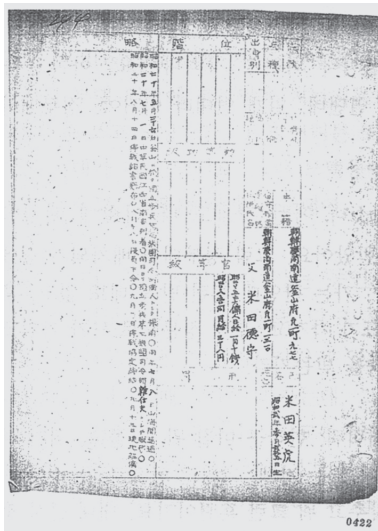
では汽車に乗って、船に乗って、またトラックに乗って南昌まで行かれて、その間に1度もどこへ行くということをまったく話さなかったですか？

それはしません。そして私達ははじめて中国に行くから、そこがどこでどこやらまったく分かりません。また、私も知らないしまったその軍人達も。あの憲兵達も、引率する憲兵達もどこへ行くという話も、私たちと対話もないし。ただこ

ちらの車輛とあちらの車輛の扉口でしっかり一人ずつ座り、便所に行くのを見張りして座っていて。逃亡しないかしっかり監視し座っていたので。どうしてそこで憲兵が座っているのに逃亡できますか？

もしや、釜山駅にご両親がいらっしやり歓送された…

いませんでした。誰もいませんでした。それがいつ行くのか、何時に行くのか、どのように行くのか、それを聞けない、分からないのです。これが釜山駅で汽車に乗るのか、釜山鎮



兵籍戦時名簿 写真

駅から乗るのか。それは父母に教えてくれませんか。

では兵站司令部で待機する間、事前教育のように教えたものはありませんか？

いいえ、そんなものではありません。そのままずっと待機。時間がくれば食事して、船、船便が来るまで待ちました。ですが行ってから、現場で部隊に配属され教育を受けました。その兵站司令部というのは一種のそれです。そのホテル⁵⁹⁾、ホテル。旅館ホテルに集結させ、日時がくれば送るというその役割だけしかしません。

もしや、その部隊名を記憶されていますか？ 正確に？

征部隊としか知りません。私は日本からそれだけを持って来ましたから。名簿。日本から名簿、それにもな、何千何部隊というのがありませんか？ それがありません。***派遣軍中支第6方面軍直轄部隊。それしか書かれていなかったです。

では、その部隊は何名程度になるか覚えていますか？

アイゴ、私がそれをどうして分かりますか？ きっちりと一個連隊ですよ、一個連隊だ。征部隊というところは。

それでは、部隊内に入って宿所などもそのように配置されて…

いいえ、2カ月間訓練を受けました。征部隊に配置される前に訓練。配置前に行く途中、行くのに訓練を受ける場所もなく、訓練させる奴もおらず、部隊にひとまず入って、部隊正門から入った錬兵場で2カ月間教育を受けたのです。

59) ホテル

訓練はどんな内容でしたか？

まあまあなに、韓国軍で数日ほど銃を持って走って銃撃態勢、伏して銃撃態勢、そして前進というのを組み合わせ歩行をぴったりきめるといった訓練です。いつも軍事訓練をしました。いつもあの論山とか、まあ新兵訓練所のようなそういう訓練です。そしてその服をくれてですね。私たち、あの南昌というところは暑い国です。暑いところですよ。だからなのか長ズボンはなしに半ズボンのみです。半ズボンをはいて軍靴をはいて帽子をかぶって戦闘模様、上半身ハダカで。

ではそこに集まった人達は、すべて朝鮮から集まった人達でしたか？

釜山もいるし、ソウルもいるし。この名簿を見るとソウルもいるし、慶南もいるし、いろんなところからすべて来ていた。すべて朝鮮人達です。急迫していたその当時は、急迫していたんだ。日本軍隊は非常にたいへんな敗亡か、最後まで米國と戦うのか、そういう岐路に立った非常に、目から豆が飛び出すほどの急迫した時だ。だから他のことを考える余裕もなかった。2ヶ月間訓練して銃を持って、当時は蒋介石軍隊、蒋介石軍隊だ。彼らが何度も奇襲したんだ、部隊に。銃を掲げて奇襲してくるんだ。そしてすぐに応戦して戦かって、死んで、殺して。

そうすると国民党と直接、闘ったのですか？

そうです。銃を撃ち闘いました。その部隊の外郭に鉄条網を張りめぐらした。そいつらは、たびたびそこをうかがいたたびたび銃撃して逃亡した。また防御するとまた夜にすぐ奇襲してきた、すぐ。その時、蒋介石軍隊がそこにいました。その時は毛沢東ではなく、現在のように毛沢東ではなく、その時は蒋介石軍隊だよ。

出発するとき、動員地域まで行く途中、さきほど憲兵が護衛したとおっしゃいましたね？ ですが憲兵ではなくその部隊にまた他の引率者がいま

したか？

はい、いました。あの日本軍人が、今だったら中士。当時、グンソウ⁶⁰⁾といったが、その時に中士その人は着剣してひとり1名来ました。そして運が悪いことにまたそれにかかりました。汽車のなかであれば、腸チフスにかかり狼林で死んでしまいました。汽車に乗り揚子江を渡って南京城下の南京兵站司令部からその汽車に乗って、監視していてどうしてか腸チフスにかかり、その病院に入院して死んでしまいました。それで他のひとがまた引率者として来ました。部隊から。そうして私達を連れて来ました。

先ほど、その部隊は全員すべて朝鮮人だとおっしゃいましたね？

ちがいます。日本人も多いです。はい。日本軍隊、日本軍隊も多いです。ですが私達は補充、補充です補充。日本はもう軍人が足りなくなって、それで韓国青年を捕らえて戦争もさせた。

では補充としてそこに朝鮮人はおよそ何名程度？

それは知らない。それは知らないです。知りません。

日本人がより多かったですか？ 朝鮮人がより多かったですか？

日本人がもっと多かったです。はい。日本の軍隊だから。日本人が多かったです。数日ずつ夜に歩哨に立つときは、10名出ると韓国人は3人、2人、3人が一緒に立ちました。そう一種の補充兵です補充。日本軍人たちは人員が足りなくて、韓国人の子も補充するため連れて行っただけです。

それでは、征部隊でその所属や職責はどうでしたか？ 職責はありますか？

まあ兵卒ですから。

60) 軍曹：旧日本軍階級で下士官のひとつ。

そこでなされた仕事は？ どんな仕事をなさいましたか？

ですから夜に歩哨に立ち。中国、その中国人を鉄条網周辺に攻撃してくると一緒に撃退して。

全部すべて戦闘兵だったのですか？

はい。

では、征部隊にいて、他の場所へ移動されましたか？

移動しませんでした。私はそこにいました。私はそこにいて解放に遭遇し、解放になって即時帰らずに、そこで数カ月いました。

そうしますと、そこに2年以上いらっしゃったのですね？

どこです、ちがいます。そこで1年半いて解放になり、こんな紙切れに、除隊証でしょう、一種の。今でいえば。金も1銭もくれず、除隊証のそれ1枚だけくれて、今、韓国へ行け、こうだ。

では解放になって、解放になったという話はそこで聞かれたのですか？

そうです。聞きました。アイゴ、その時、錬兵場に軍人は全員集まれ、といました。それで集まって立っていると、すごく調子の悪いラジオが、すごい旧式、その倭政の時代になにがありますか？ それをつけて、いま天皇陛下が、いま天皇陛下が重大放送をするから、聞け、こうです。それでしっかり、その時は天皇陛下というと直立姿勢をとらなくてはいけない。しっかり直立するとまもなく聞こえたが、かなり遠方なので、日本東京で放送したけれど、あまりに遠いのでなんと言っているのか、聞き取れなかった。それで、まあまあ、一語ずつ途切れ途切れに聞こえたが、私達は戦争を知らなかった。私達は兵卒なのでなにが分かりますか？ そうしてきっちり終わると、あ、将校達が泣いていて、日本の将校達が。軍人達は、したの完全に軍人達は、どうしたのかとお

どおどして、将校達はすごく涙を流し涙を拭いてすごい騒ぎになった。それでこれはどうしたのだ、なにかあったのかこれは。私達はまったく知らなかった。3、4日して、日本が降伏した、その時の天皇陛下のラジオ放送は降伏、降伏放送である。それで私達は知りました。そうしてその中に銃、私たちが持っていた銃に、日本の天皇陛下のあれがあります。紋、紋様があります。それは何かというと菊の花です。きっちり銃にきっちり刻んであった。それを、ヤスリ⁶¹⁾をくれてすべて削るんだ、とこうです。削り落とせと。そしてきれいに削り取ると縄で10丁ずつ、10丁ずつ束ねた。10丁ずつ、10丁ずつに束ねて、それで何故こうする、と聞くと、その時はもう韓国人と同等の位置です、もう。なに日本軍隊はもう今は、日本は完全に負けたから少しも威張ることができなくなった。すると蒋介石軍隊に武装解除されるのだと。しかしこの天皇陛下の紋様があつては良くない、だからヤスリですべて削り取れと、だからきれいに削って10丁ずつ10丁ずつをわら縄⁶²⁾で束ねて置く、という話でした。そしてまもなくして中国、中国軍がやってきて運んで行きました、車で。

それでは解放になって何ヵ月程度、

3ヵ月ほどいました。その中を整理し、作戦地図などをすべて巻いて出してその錬兵場で焼却してすべて火にくべて焼却して。機密文書、軍機密文書それをすべて焼やし尽くして。銃器などは 全員(移すので)、そいつを出してすべて束ねて結んで。それするのに3ヵ月もかかりました。

解放になっても、するとその人たちは3ヵ月間、本国へ、日本へ帰らずにずっと文書を廃棄して、一緒にいたのですね？

その人たちは全員、捕虜として捕まり行きました。中国軍に捕虜として。ひとり

61) 金属を磨いたり削ったりするのに用いる鋼鉄でつくった道具＝ヤスリ

62) 縄で

として日本へ送られたひとはいない、その部隊のその部隊全体すべてがそうだったはずです。中国にいた日本軍隊は無条件に、その上から高い司令官から下の兵卒までひとりも家に帰さなかった、全員(移動し)労役、捕虜として労役させました。

あ、すると解放になってから日本軍は捕虜として捕らえられ、3ヵ月間は残った朝鮮人達はその文書をすべて廃棄した、そうされましたか？

はい。廃棄しました。

その時、一緒にいた人の中で同じ故郷から来た人はいませんでしたか？

ひとりも会いませんでした。さっと部隊から出てきて票を、そいつをひとつ持って、金も1銭もないし。だが部隊でどんな話をしたかという、なんでも欲しいものをみんな持って行け、こういう話でした。それで背負うもの、それはなんだ？ それと、まあ、とにかくまあ、中に下着や服や、靴は古くなくても履いていたけれどもすべて捨てて、新品に履き替えて、そうして出て来ました。金がありますか？ 金は少しもくれずにそういうもの、これぐらいの票を持って除隊証と。そんなあれだ、敗けた軍人が、何が敗北、あのあのあの、そうして来ました。それで出て、いちおう部隊を出たけれど、その時から中国人たちは、すぐさま日本人、日本の民間人もすぐに踏み倒して殺しました。日本の女性たちも男性たちも。だから女性たちがどれだけ追いつめられたか、髪をすっかり短くして男性のように。女人男装いるでしょ？ 死ぬまいとして。それでもなに、誰か干渉するひとがいますか？ 身動きすらできませんでした。

殴打やらは無かったですか？

少しありました、ちょっと悪いことをすると頬を平手打ちされた。日本軍隊も気合がきつかったです。まあ、韓国軍の気合は向こうへ行け、です。

その部隊内に宿所もありましたか、寄宿舍？

はい。寄宿舍。内務班にすべてありませんか？ ええ。ありました。

宿所の施設はどうでしたか？

食事？ 食事はまあまあ、戦場はそんなもんでしょ。飯とあのタクアンとちょっとしたもの、まあ、毎日そうでした。味噌汁。奴らは味噌汁をミソ汁といいます。汁をして毎日汁をしてくれます。タクアンは時々あって。ほかはありません。

では、おにぎりを食べましたか？

いいえ、ちがいます。部隊ではおにぎりはくれません。そのまま飯をくれる。器にタクアンなど、和え物、なにか細切りした炒めもの。月1回、牛肉のようなのを1回ぐらい炒めてくれたときもありました。

それでは、その部隊で起床時間は何時でしたか？

朝5時。就寝時間は10時。それが毎日、就寝できますか？ 夜も歩哨に立たなくてははいけないし、就寝時間10時になるとラッパが鳴ります。就寝、就寝ラッパが鳴ると、そこで消灯して寝なくてははいけない。眠れなくても寝るふりして横になります。ちょっと身動きしただけでぶん殴られるから。

5時に起床されてすぐ…

訓練し、そして朝食してまたすぐ自分の哨所へ配置され。だから私たちは最前列、最前列だよ。そう日本人の数が、日本軍人の人員が少ないから、韓国人を中間に少し少しずつ入れて一緒にして数字だけ合わせるのです。そしてあそこで、遠くに中国人が眼にはいると銃撃し、一緒に戦争し、逃亡して静まればじっとして。必ず昼間にそれが来ます。空襲があります。米国のあのB29、ええ、まちがいに来ます。毎日のように、そうしてすぐ防空壕にじっと潜んでいました。するとまあ、日曜も土曜もあります。毎日くる。飛んできて爆弾落下して去る。

その部隊内へですか？ 部隊に？

はい。部隊へ。それすぐに日本軍隊だとすぐに部隊へ爆弾落とす。

すると、その部隊内に爆弾が投下され、負傷者も多かったですね？

分かりません、それは。中に、中に防空壕があります。すべて掘ってあります。そこに全員が潜んでいなくてはならない。チェンーとサイレンが鳴ると、途中の仕事もすべておき、そしてすぐに第一線で歩哨に立つ人はすぐさま壕が掘ってあるから。そこに伏せます。飛行機が飛び去るまで。

ご老人、そこで歩哨に立ち、戦闘して、そのほかにちがう仕事をしましたか？

いいえ、それはありません。はいはい。どうしてそうかという中国、中国人を捕らえて雑役は中国人にさせます。便所を掘るとか、その当時は水洗式なんか思いつかなかった。そこがいっぱいになると、中国人達がきてそれをすべて掃除する、雑役はともかくすべて中国人にさせます。まあ、ちょっと。ちょうど軍属のように軍隊に連れてくる、あの労務者たちいませんか？ そんな人達、すべて中国人を捕まえてさせます。そしてその仕事をする時は、日本軍人が銃の前にいてすべて最後まで作業が終わるまで歩哨に立っていませんか？

ですが、おじいさん（ご老人）もそこで軍属として仕事されたのではありませんか？

軍属です。その時は軍属、軍人の区別もありません。差し迫ったときだから。

そうしますと、その戦闘された以外でほかの仕事を受け持ったことは、まったくありませんか？

ありません。その雑用をするのはすべて中国人を連れてきてさせ。私達はその鉄条網のところで、中国人らが奇襲してくるのを防ぐため血眼になり。

すぐに爆撃機がくれば防空壕に潜んだとのことですが、その防空壕を掘るようなことは、なさらなかったのですか？

あ、掘ってありました。行ってみると、すべて準備が整っていました。あ、その軍人達がすべて準備していました。あまりにもよく急に米軍の戦闘機が、あの爆撃機が、部隊があるから必死に叩きつぶそうとした。毎日、飛んできると。それがぐるぐる旋回して。あの豪州の飛行機も飛んできた。

豪州ですか？

豪州の飛行機。飛行機名はなんだったか？ 豪州の飛行機はそれは胴体が無くて、こうその飛行機も飛んできて。それだから毎日1日も欠かさずに爆撃機がきたから。ともかく来るのを待ちかまえる程度に。ウーンとサイレンが鳴りひびく。そうすると逃げる、あのあの、防空壕に全員が潜り込まなくてはならない。高官も兵卒も。

ご老人は、その部隊にいる間、苛酷なことなどをされたことはありませんか？

はいはい、そんなことはありません。私はまあ、徹頭徹尾しました、命じられるまま。日本語も少しできたから。日本人によく、日本軍人によくみられた、と言えるでしょう。よその家ののらくら息子はたくさん殴られましたよ。ゲンコツで頬を殴られたり、あるいは棍棒で尻を叩かれたり、でなければ靴底で蹴られたり、まあ、日本軍隊の気合は怖いです。

一緒に部隊にいた方で親しくなった方はいませんか？

いません。親しくしようにもできません。親しくさせないから。親しくならぬようにした。自分のなすべき仕事をきっちりすると、疲れてとても、交代をきっちりおえると2時間でも眠らないと、その防空壕内です、こうして身体をまげて寝ます。寝て起きれば銃をもち地面にうつ伏せになり今にも中国軍が来るかと、入ってくるのではと。

部隊内でもしや月給のようなものを受け取ったことはありますか？

ありません。

毎日毎日、戦闘に出たでしょう？ 歩哨に立ち、さきほど戦闘にも出た、とそうでしたね？

戦闘に出たのではなくあの、そこは私たちが追跡し捕まえられない。部隊が空っぽになるから。部隊でその鉄条網内に壕を掘っておき、そこに潜み歩哨がいます。歩哨が、歩哨ではなく、そこへ中国軍がくれば一緒に銃撃して撃退させる。

あ、それでは直接に戦闘に出て闘われたとかではなく、部隊内だけにいましたか？ 部隊内で歩哨に立って、万一きたらそれを防ぐ、そう…

はいはい。ですが部隊内でも、その外郭に鉄条網をしてあってそれは部隊内です、鉄条網とまったく同じにぐるりと壕が掘ってあります。そしてそこに毎日潜んでいました。交代で。

では、部隊の外に出たことはありませんか？

出たことはありません。中国軍も中国服を着て、私服で拳銃をもって通行し、そうしてするのです。狙撃するのです。日本軍人や人をみればそうするので、勝手に出るのは、部隊の外に出ることはできません。狙撃されるかもしれないので。

すると解放になって部隊の外に出ましたか？ それまで一度も出ずに…

そうです。そうです。解放になってから。3ヵ月後に、内部を整理して行けというので、その時はじめて世の中を見物しました。

その部隊にいらしたとき、もしや家族と、または家族から手紙を送るということはいっさいありませんか？

アイグ、いっさい。

では休日、こんな日はありませんか？

休日？ どうか交代、交代で1回ずつ。日曜日は風呂にも1回入って。風呂といってもなに温泉のようなそんな浴場ですか？ どこかへんな、あのあの、倉庫のようなところで水を沸かし、そうして風呂に交替で入ったりしました。

週1回、風呂に入りましたか？

なに、そんなにはできません。15日に1回？ あ。毎週日曜は休めません。15日に1回ほど風呂に入り、入って。そう、部隊にあれがあります。あのあの、理髪所があって理髪師がやってきて散髪してくれて、その時はこの韓国軍のように髪を長めにする人はいません、全体をバサバサ、あの坊さんのように切ってしまう。日本軍人達は。それも昼だけします。昼間に限って。夜はふたたび歩哨に立つ、ふたたび、そうしなくてはならない。

では帰ってきた日を記憶されていますか？

帰ってきた日は45年度だったでしょう？ 解放のとき。46年度。46年度5月、月尾島にサクラの花が咲いていたからね、桜の花が咲いていたから、5月たぶん中旬だったか初旬だったか分かりません。

先ほど45年8月に解放されてから、3ヵ月ほど部隊内にいて、文書を廃棄して3ヵ月後に帰ってきたと言われましたね？

帰ってきたのではなく部隊から出たのです。部隊から出て私たちが故郷を探していく道は数万里です。数万里。

はい。それではどのようにして帰ってきましたか？

ハ〜、その時はもっともっと苦労しました。完全にまあ、軍隊生活はあっち行けと。まあ、あ、その時はまた毛沢東と蒋介石がまた争いをはじめた、戦争が。それで汽車で数万里、私たちは上海に行こうとした、上海へ。上海に行け

ばまさか韓国へ行く船がないはずはないと？ そう思って上海に行こうとしたが、南京兵站司令部では今、上海に行く日本人をすべて殴殺すると大騒ぎしている。だから上海に行かないでそこから上方に行けと。そうすればあちらから陸路を行って韓国に行けるだろう、こんな話をした日本の奴が。それでその話を聞いて線路を歩いて北上した。南昌⁶³⁾から南昌から出て九江に行きました。九江そこを通ったではありませんか。九江、最初に行ったときも九江、九江で下船して部隊に行った、また、九江に行けば船が運行しているという話だ。それで九江に行って船に乗せてもらって南京へ行きました。そして南京から乗船してまた渡って、浦口駅で汽車が解放になって汽車が運行していますか？ それで線路をずっと歩いた。群れて歩いた。そして運良く良い人と出会いました。そして夜は線路を枕にして線路で眠り昼は歩いて、またなんでも部隊から持っていけとってくれたものを一つずつ、一つずつ取り出してパンと交換して食べて、そうして天津まで行くのに2ヵ月かかりました。そこまで行くと中国北支、中支からきた軍人、軍属韓国人たちが数百人いました。行ってみると韓国に行けないというのです。ええ？ 山海関⁶⁴⁾からこっちへ歩いて山海関まで行くと、ソ連軍がもうすでに満洲に来ていました。それで怖くなってまた戻ってそこで冬を過したのです。そしてその時はもう韓国軍政、軍政責任です。軍政庁。米軍がそれをするとき。そして軍政庁から翌年5月に米軍の上陸艇⁶⁵⁾というのがあって、はい、船が。その船で送ってくれました。そして軍人、軍属できた人たちだけ最初に乗せて送りました。そして5月初に天津港を出港して

63) 南昌 (ナンチャン:Nanchang) :江西省の省都

64) 山海関 (シャンハイグワン:Shanhaiguan) :中国河北省北東端にある交通・軍事上の要地。

65) 米軍上陸用艦艇。2004年4月に刊行したシン・ヨンホの評伝 (テサン シンヨンホー素手で生木に穴をあけ) には次の内容が載せられている。“1946年5月初旬、中国天津港から米軍上陸用艦艇のLST一艇が汽笛を鳴らし東へと航海を開始した。乗務員等500余人が乗船したこの艦艇は日帝の敗亡で夢の中にも思い焦がれた故国に帰る朝鮮人が大勢乗船していた。いわゆる”帰国船“だった。戦闘用軍艦なので船はひどく揺れてみんなひどい船酔いをした。”

仁川港に着きましたが、そのとき5日ほどかかったと思います。仁川港まで来るのに。その時46年度5月に韓国で米軍政庁が船を送ってくれ、乗務員達は元日本海軍達です、その乗務員達は。その人たちが運転して仁川までできましたが。来てみると仁川港のあの月尾島の港に船を着岸して、なぜ下船させてくれない、というところ現在韓国ではコレラが蔓延⁶⁶⁾しているので下船させられない。船で、にぎり飯、また寝てにぎり飯です。にぎり飯を1食1個もらって食べて5日目に下船させてくれましたが、仁川港でさっと降りると当時DDT⁶⁷⁾というのがあります、DDT、そいつを頭から足の爪先まですぐ散布し、人々にいっぱい散布して消毒し、そして大韓婦人会が当時の金で、日本円1000円をくれました。船からさっと下りると1000円と、釜山行きの切符と、ちゃんと大韓婦人会がアイゴ、ご苦労さまでした、と言いながらくれました。そして乗って仁川沿岸埠頭にきてみると汽車が、汽車その貨物車がちゃんと待機していて、枕木⁶⁸⁾を走って釜山、大邱、どこどこ、麗水、光州と、枕木が敷いてありました。それに乗車すれば、もうその時それも汽車が出ていないので5日間かかりました。そこから出て仁川から出て、永登浦から出ないから数日いて、そうして帰るのに5日間かかり家に着いたのです。ほんとうたいへんな苦労だった、話しにもならない。

乗務員たちはどの国の人ですか？

日本軍海軍。つまり船は米国の船、米軍の船だが、乗務員は全員日本人です。日本海軍達で、そう一種の捕虜でしょ。米軍の指示に従ったのです。その天津で乗せて仁川まで運んで、仁川まで連れてきてくれた。そうでなければ上海から日本のどこか下関なら下関、福岡なら福岡に下ろしてくれた。

66) 解放の翌年の1946年6月初旬、南韓でコレラの気勢は極度に達した。ひと月前の5月2日、中国から釜山に帰還した同胞から広まったコレラは瞬時に全国に拡散し、全国で9月末まで1万1000余名が死亡した

67) DDT:有機塩素系列の殺虫剤で農薬。

68) 線路を敷くときに下に埋設して鉄道を固定させる木。

ではくる時に、部隊内で配慮のようなものはありましたか？

ありません。アイゴ、1銭もないのに、彼らは解放、いやその、敗亡したからそのような気力もなく、金もなく、そのまま紙切れ、除隊証といって。

そこ南京には朝鮮人たちはどれほど多かったですか？

それは分かりませんよ。自分たちは帰途を急いでいるし、自分の生きる道を探そうと、その周囲には神経もはらわずに。ですが天津にきてみると、どこに収容されたかというとすぐに最初に、天津には同胞がおおぜいいました。そこへ倭政時に移住して家族たちと商売しながら、その人たちが何度も、その天津港になったので韓国へ行く一番の港になったので、そこがもっとも早いといって、寝ている人が数、数百名になった。だからその多数の同胞達がすぐに少しずつ金を出し合って食事をさせていたけれど、どんどん人数が増えたので粟粥を炊いてあげ、その次は米の汁をしてあげたが、遂に責任をもてないといった。それで米軍政の部署で軍人、軍属に行った人たち、独り者が一番気の毒だから、その人たちを一番最初に韓国に乘せて送るようにしたので、私たちが第一次で出てきました。

先ほどその天津に集まった軍人、軍属に動員された人たちは数百名いたと
のことでしたが？

数百名、はい。数百名でしたが、その時、その収容所はなにかというと、倭政のとき、その娼妓たち、するところですよ。あれなに、あれ、なんだ？ 売春婦達を収容した。していたところでもう解放になったから。

慰安所ですか？

はい。慰安所。

慰安所がそこにありましたか？

天津市内にありました。それはもう空家になってしまった。そこで待機していました。

ではそこ天津でどれくらい何ヵ月ほどいましたか、乗船するまで？

天津でええっと、8月だ。ジュウイチ、ジュウニ、イチ、ニ、サン、シ、ゴ、⁶⁹⁾約7ヵ月いました。

あ、7ヵ月間、さきほどのその天津にあった軍慰安所？

はい。慰安所の建物に収容されていました。

その軍慰安所はとても大きいのですか？

あ、とても大きかったです。ざっと数百名収容できる、日本人の奴らが女子を捕らえて、あのあの、軍人達のその慰安所になっていて大きかったです。

それではもしやそこに残っていた慰安婦たちや、そういう…

どこかに去って、解放になってどこかに去って***みんな出て行ってもう空家なので収容したのです。

そこが軍慰安所だという話は、誰が教えてくれたのですか？

あのその、同僚のひとが話してくれました。その韓国人たちはその周辺に店⁷⁰⁾を開いていました。米商売の人、洋服店の人、さまざまな店をする同胞がいたのです。その人たちが話して、あの軍慰安所だと。

そうすると、先ほどその天津で朝鮮人同胞達が米軍政庁がその船を手配するまで、食事も提供してそうして…

はじめの頃はご飯をくれましたが、次にどんどん人数が増えて、どんどん私たちもどのみち韓国に帰ることになるし、少しでも金を使おうとしますか、誰が？

69) 11, 12, 1, 2, 3, 4, 5

70) 店、商店

だから最初は飯をしてくれ、その次に粥をしてくれ、その次は粟粥をしてくれ、次には米汁をしてくれたが、とうとうぶつつり途切れてしまいました。だから乞食ですよ。完全に、なに完全な乞食、乞食。

では朝鮮人たちは自分たちの家にある食糧をそうしてくれたのですか？ それとも米軍達が提供してくれたのですか？

はい。米軍達が提供してくれたものはなにもありません。その同胞達が十匙一飯で、少しお金を渡すとその金で米も売り、粟も売り、そうして。おかずもなしに、おかずをつくる余裕はどこにありますか？ そこに大根の葉の汁もないし、ありません。ただ飯を炊いて、最初は飯だったけれど、あとになるとずっと飲める粥になりました、粥。そしてあとで軍人、軍属たち、こいつらはどこで何をしたか、拳銃を購入して強盗をしたのです。もう金がありません。食べものもなく。それだから悪事をしでかした。拳銃をもって強盗したのです。こうして一時はですね、とても中国人たちは、韓国人と中国人はポンヨウ⁷¹⁾、ポンヨウ、朋友、ポンウといって私たちをもてなしてくれたけれど、あとになると強盗をして拳銃で脅かしたりしたから、朝鮮人をみんな殴り殺せ、と騒ぎになった。とても親しい友、無二の親友だ、いまや朋友といっていたのに、アイゴ、あとになると悪事を韓国青年がしでかしたから。あんなだから倭政のとき、倭奴の手先になって私たちをおおいに苦しめたのだ。あいづらも殺せと、そうしまった。だから私たちも外出もできないで、とじこもっていました。おそろしくて。

では、すでにその時、以前にその米軍政はすでにそこに来ていたのですね、天津へ。そして天津に行つてすぐ、米軍によってそのまま軍慰安所の建物に収容されたのですか？

はいはい。そうです。当時、思いどおりにはならなかったでしょう？

71) 朋友 (pengyou)

では、その軍慰安所の建物は、ある種の捕虜収容所とみることができますか？

捕虜収容所ではありません。完全に倭政の時から軍慰安所。

そうではなくて、その米軍政庁、米軍によってその天津に着いてすぐ、米軍によってその軍慰安所の建物に収容されたではありませんか？ですからそれ自体を収容所のひとつとみなせるのでは、ということなのですか？

まあ収容所はどうなっているのか分かりませんが、収容所ではありません。まず、ひとり暮らしの、軍人、軍属だから故郷に帰る手立てもなく、だからまずそこで。けれども米軍が飯をくれる、服をくれるというようなことは一切なかった。その天津市内で暮らす韓国僑民たちが金を少し少しずつ十匙一飯で少しづつ出し合って飯も食べさせていたのに…

では天津に入ったとき、米軍政その米軍が入ってくるとき、この人は朝鮮人軍属なのか、軍人なのかこんなことを…

直接にそういうのを管理しませんでした。米軍は治安だけ。治安だけそれをしました。全体的な天津市内の治安だけそれをしました。統制をしました。

苦労して帰ってこられて、ご両親はその時もお存命でしたか？

アイゴ、大騒ぎになりましたよ。どこの家⁷²⁾の息子は軍に行って帰って来た、どこか南洋に行って帰って来た、来たというのに、我が家に、こないのです。あんなふうに行ってしまったと、と母はそうして涙で歳月を送っていましたが、突然に風呂敷を乞食みたいにしてみすばらしく完全な野宿者みたいになって、ひょっこり帰って来たのです。来たので私の母はおどろいてしまって素足でそ

72) どなたかの家

のまま庭、庭に下り駆けてきたのです。来ました、隣近所の人たちが、嬉しいよと、ヨンおかあさん。そして近所で祝宴をひらきました。祝宴、祝宴じゃなくてこちらの家では餅をついて持ってきて、こちら家では甘酒をもってくるし、そうして簡単な祝宴を開いて祝賀してもらって、その当時、門のなかにさっと入って行くまでいつくるか、どこから来るのか、死んだのか、生きているのかも分からないでしょう。知る手立てがありますか？ 手紙がきましたか？ 1ヵ月近くも、まあ、なんというか完全に土方でした。それほど苦労したこと、一方では家に帰れたという安堵感でほっとして緊張がとれてしまいました。アイゴ、それでまあ、完全にまあ、死に際から生き返ってきました。外出もできずまあ、もう緊張感がずっとほぐれてしまって病気になりました。どんなことをしてでもそこにいたときは、あゝ、死のうが生きようが家に帰らなくてはいけない、そんなふうに緊張して決意して神経をとがらせ活動して、行動して、家に帰ってきて横になると、とたんに緊張がとれてしまって。

お帰りになった時、おいくつでしたか？

その時はこう、22歳か？ 21歳か？ 22歳か？ 3年かかったから。

それではお帰りになられて、何をなさいましたか？

アイゴ、警察からも訪ねてきて。また国防警備隊、当時韓国陸軍長達、長達です。警察も当時は長達がそういう時だったが、アイゴ、軍に行行って帰ってきたのだから毎日、私に将校になれと。派出所、その警察からも訪ねてきて、兵士を殺したのだらうと。また、軍からは、国防警備隊からは、少尉にするから来いと、でも私は振りはらって行きませんでした。アイゴ、まあ、どれほど死ぬ思いの苦労をしたことか、もう組織生活はいっさいしません、としませんでした。

そこで、他の同僚達はとても苦労しましたか？

苦労といって毎日まあ、休憩時間もなく、毎日まあ中国人と戦うことは、それが

すべて苦勞でしょ。銃弾は飛んでくるし、ここから撃退せよ、と言われれば命令どおり撃退しなくてはいけない。それでも鉄条網の外へは出るなという、日本軍は。だから鉄条網の内側で、壕を掘って頭を低くして銃、銃、銃口だけ向けて撃ちまくる、それです。なに、そうして昼間にまた空襲になって。

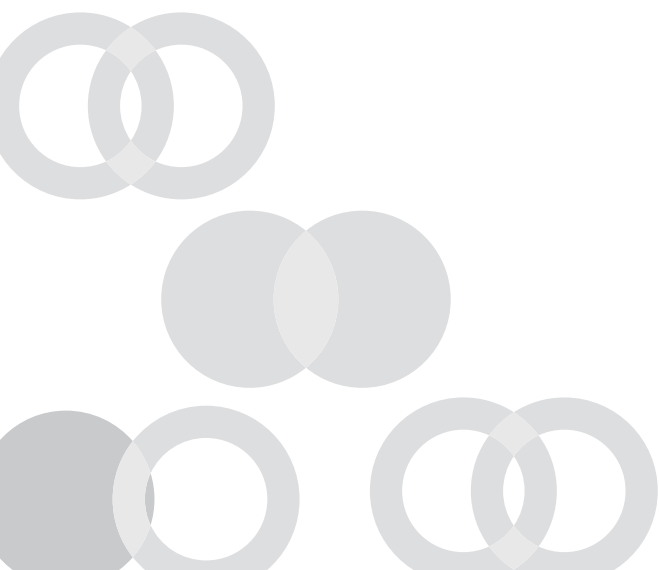
今になって振り返ってみて軍隊、中国にある軍隊に行き送られた3年間は、どのような生活というか、そんなことをいま振り返ってみると、どんなことがもっとも記憶に残り、またどんなことがもっとも心が痛むことか、そんなことがもしありましたら、少しお話してください。

はい。心が痛むことについて話します。日本人が、韓国人をひどく蔑視し虐待したこと。そのことがもっとも心が痛む。同等に名前まで創氏させておきながら、そして内鮮一体だ、日本人も韓国人もまったく同じ国民だ、そうしておきながら、虐待したこと。人種差別して虐待したことは言うまでもなく、もっとも良い私たちが見習うべきことは、いくら組織生活、軍隊生活といっても実には一糸乱れず行動したことは、もちろん韓国軍もそのようにはしますが、日本軍隊はもっと徹底していました。そうして一糸乱れずにその組織生活を引導するのを見ると、実にそれは日本人は見ごたえがあります。

調面談者__チャン・ミラ調査官

録取者__キム・ミンヘ

検督/編集/注釈__イ・セイル調査3班長、カン・フィヨン/イム・ドア



韓国人もおおぜい死にました、 捕虜を虐待したと

金壬用

創氏名 金谷澤山

1922.11.26 慶南 昌原郡 内西面 校坊洞 生まれ

1942.6 陸軍捕虜監視員として動員され釜山西面野口部隊で訓練

1942.8 インドネシア ジャワ捕虜収容所 捕虜監視員として動員

1945.8.15 日本敗戦後 戦犯裁判等に連座

1947.2.20 日本 宇品で解用後 故郷に帰還

おじいさん（ご老人）、創氏名はなんでしたか？

金谷カネヤ、金谷澤山。

1922年のお生まれですか？

はい。

その当時どちらにお住まいでしたか？

昌原郡内西面校坊里。

おじいさん（ご老人）は当時、何歳でしたか？

20何歳か、21歳か？ 22歳か？ よく覚えてない。

当時、ご両親と兄弟は？

当時、私の下に兄弟3人いました。弟ふたり妹ひとり。

おじいさん（ご老人）は当時、学校に通われましたか？

城湖普通学校。

その時は何年度でしたか？ 千九百、

42年か？ 思い出せません。

1943年に行かれたことになっています。

その頃でしょうたぶん。

その時、43年度に行かれ、47年度に帰還されたのですね？

はい。

では当時、通学していたときの先生が、班の卒業生を訪ねて行き、1班に何回ぐらい…

先生ではなく村の里長が。

先生が推薦されたわけではありませんか？

ちがいます。面長が里長に証明をして、普通学校を卒業した者は集まれといって。面長の弟もそこへ行ったのに除外して、私たちだけ送ったんだ、悪い奴だ。

はじめに、いつ、どこへ集まれという話を、里長を通じて聞かれましたか？

それはよく分かりません。何日に行くので面事務所に集まれといったかな。ここに集まれ、とそれで集まって最初は早く行きました。

その時、面事務所に集まったのですね？ だいたい何人程度、集まりましたか？

★最初に行ったとき何人ぐらい集まって行きましたか？◎約20人いたかと。

その人達はみんな国民学校を卒業した人達ですね？

はい。

そうしてその日、面事務所に20人が集まって、その時にいつどこへ行っても何の仕事をする、こういった話は聞かれましたか？

そこへ行ってもそんな話をたくさん聞きました。

捕虜監視員として行くことになる、それではそこでどんな仕事をするという話は始めに聞かれましたね？

そうです。

それは里長が話されましたか？

はい。募集するという話をしました。強制しても募集だそうです。

そうですね。ではその時にその場所に集まった20人はみんな捕虜監視員として行った人達ですか？

はいはい。全員がその島に、みんな島に。30人集まって行ったから。全員集めて。



1942年インドネシアで使用された軍票

そしてその時、もしやそこに行けば月給をもらえとか、どんな待遇を受けるとか、そんな話はしませんでしたか？

そんな話はなく、訓練を受けると初月給が30数円だった。初棒給が37円かあって。そして1年、2年いると80円までもらいました。80円もらいました。40円は竜山部隊から家に送金してくれ本俸は、手当といって40円、それはもらいました。軍票⁷³⁾で使えない金です。

家に40円送金されたか、事実は分らず？

分かりません。消息がないから。

その軍票について覚えていらっしゃるいませんか？ どんな軍票だったか。現在、お持ちではありませんか？

来るときに数百円ずつもらえたのに、米軍の奴らが検閲して金はすべて押収されました。千円か2千円くれて、***に証明してくれただけだ。恨んみても仕方ないです。

73) 外国で戦争をする場合または軍隊が占領地に駐屯した場合、軍隊に必要な物品を購入するときに使用するため政府または交戦団体が発行する特殊な貨幣。

その日、30人全員汽車で移動されましたか？

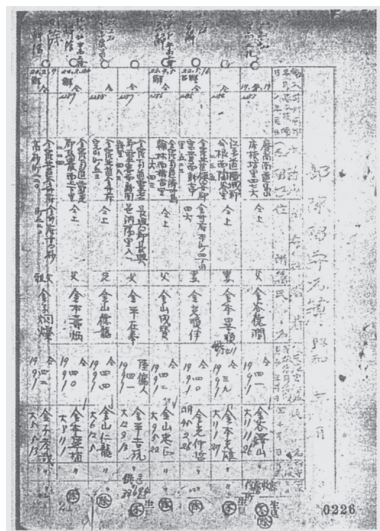
はい。いっしょ、いっしょに。

釜山駅で下車し西面に行って、その訓練所に行かれましたね？

野口⁷⁴⁾部隊で。

はい。野口部隊です。私が確認したところでは、ここで訓練を受けたひとが少しいらっしゃいました。

いるでしょう。3千人いたから。



金壬用 留守名簿

3,000余名程度が野口部隊に集まり、その人達は後日どこへ配属されましたか？

最初に配属する時に日本語で番号をつけ、この者はどこへ行く、お前はどこへ行く、ある者はどこへ行く、とこうしました。ですが乗った船はみな違いました。***あるフィリピン⁷⁵⁾へ行き、***ない南洋へ行き。

訓練所でいっしょに訓練を受けた人達のうちでは、何人程度がジャワへ行

74) 1942年5月陸軍省は捕虜監視と取り締まりをするため朝鮮全域で3,223名の青年を選抜し、釜山から臨時軍属教育隊（通称「野口部隊」）を編成した。約2ヵ月間にわたる厳格な軍事訓練を修了後、3,016名を捕虜監視員としてタイ、マレーシア、ジャワ等の捕虜収容所に派遣する一方、捕虜処理要領を発表し連合国捕虜の強制労働を決定、悪名高い泰緬鉄道、軍用飛行場建設に動員した。

75) フィリピン

きましたか、いっしょに？

一個小隊だから約80人。

80余人がいっしょにジャワに行かれ、1小隊ごとに各地域へ配属されましたか？

ジャワに行ったが、1小隊1分隊はどこで、2分隊はどこで***。

もともとはジャワ捕虜収容所だった人がまた派遣され、他の分所に送られた、そんな方もいましたね？

はい。

小隊別で先ほどのジャワ、フィリピン、マレーシア、またほかに地域は？

それは、私はよく分かりません、マレー、シンガポール。

その訓練内容はどういうのですか？ 野口部隊にいた時…

銃の撃ち方、人を捕縛する方法、ハハ、ここ韓国軍隊式と同じ。

その教育は何ヵ月受けましたか？

3ヵ月か、2ヵ月か分かりません。2ヵ月受けて、3ヵ月目に行ったから。

訓練を3ヵ月間受けたときその西面、野口部隊は西面のどのへんにありましたか？

凡一洞のあたり、競馬場のところですよ。昔はそこが兵站部隊だった、日本の奴らの。

おじいさん（ご老人）、それでは3ヵ月間の訓練を受け、次は釜山駅から出

発し船で行かれましたか？

船に乗って行きました。釜山鎮部隊から。第3埠頭。輸送船、貨物船で貨物船の部屋にこう押し込んで立つことも出来ず。全員捕らえてそこへ行きました。座るとすぐ船がすごく揺れました。

ではその船に乗ってどのぐらいしてジャワへ着きましたか？

ひと月かかった。回り道して行きました。急いで行かず。こう行き、こう行って遠回りしたから遅くなった。潜水艦を避けようとして。来るときは1週間だった。そのジャワから日本まで1週間。速力は、それが貨物船だから速いはずないでしょ？

1ヵ月程度行っている間にどうでしたか？ 食事などはそこでしてくれましたか？

話もなりません。食事は安南米。日本の味噌汁にカボチャがほんのひと切れと飯は一杯分。

ジャワまで？ ひと月かかったのですね。そうして途中でフィリピン、シンガポールで下船させながら、ご老人はジャワまで行かれたのですね？ そしてちゃんとジャワで下船したとき、そのジャワへ行くということをご存知でしたか？

知りません。

ただ捕虜監視員として行くことは知ってが、ジャワへ行くのかはご存知なかったのですか？ ひとまず船から降りて到着して分かった…

下船しろ、というので下船すると、そこだったんだ。

ジャワ港、ジャワ港でしたか？

タンジョンブロク⁷⁶⁾

タンジョンブルクですか？

うん。タンジェヨンプルク。その埠頭名はタンジェヨンプルク。ジャカルタでそこは港。

これは日本式発音ですか？

発音は日本式だよ。それが名称だ。

そこに到着してからジャワにきたという事実を知ったのですね？そこに80人がいっしょに下船しましたか？

80人か150人か分からない。その数は分かりません。当然、数えなかったから。

先ほど野口部隊でジャワ捕虜収容所に配置されたひとは80人と、先ほどおっしゃいましたが？

ちがう。1個部隊が80人だ。

小隊は80人で、小隊は同じ地域に行ったのではなく、みんな分散したということですか？

そこへ行って1週間もしないでシンガポールへまた行った人もいるし、タイに行った人もいるし、各地へ思い通り…

76)タンジュンプリオク(Tanjungpriok):インドネシア・ジャワ島西岸にあるジャカルタの外港。

あ、そこへ行って。ではその港で下船してどこへ移動しましたか？

ジャカルタからきたなに所長かがやって来て査閲した。所長、星ふたつ。サイトウ所長。そうしてやって来て***か、だからチラチャブ⁷⁷⁾ いうところ。ジャワから汽車でチラチャブという収容所に行きました。

最初に行かれた場所がチラチャブ収容所、ここでしたか？

約6カ月いてからバンドンというところも行って。そこは高山地帯で島だから本当にいいところです。そこは避暑地だよ。またジャカルタ行って。

またジャカルタ収容所ですか？

最初に行ったところへもどって、また出てぐるぐる回りました。一カ所に長くいないで。

では、おじいさん（ご老人）が最初に行ったのは、ジャカルタ収容所へ行かれて、その次にチラチャブ収容所で6カ月、バンドン収容所にいて、また戻ってジャカルタ収容所に行かれ…

ジャカルタ収容所でスマトラへ出張が2回ありました、輸送しに。その捕虜がみんな死んでしまって、私たち韓国人3人だけを残して、警備する人達。韓国人たち、鉄道工事をするのでその…というところへ行って約1,000人運びました。

あ、ジャカルタ収容所にいたときですか？

うん。

77) チラチャブ(Cilacap):インドネシア中部ジャワ州にある地名、第2次大戦当時、日本が建てたジャワ捕虜収容所第2分所があった。

捕虜を約1,000人運んだのですか？

捕虜は約500人で、現地住民、労務者。

先ほど、捕虜500人、現地住民、労務者。ではこの人達が行ってそこで鉄道…

みんな死んでしまいました。潜水艦魚雷攻撃を受けて船が爆破され船が座礁してしまっただけです。

それなのに、おじいさん（ご老人）は生存されたのですか？

そうだ。ひと晩中、海面の上に浮かんでいたら救助船がきて。（手）振る人だけを運んで行って、振らない人は運んで行かなかった、そうしたんだ。

2回目のときですか？ その時は戦争が非常に激しくなって盛んに空襲が…

日本の奴は海軍がなくなって、日本海軍が全滅して**できなかった。警備で伴走した船はわが国の船でなく捕鯨船で魚を獲る船。それに大砲を載せ、伴走していたそうだった。

日本軍が攻撃したのではなく、連合軍が攻撃したのですね？

連合軍が。魚雷攻撃を受けて沈没してしまった。生存者は約100人いたかどうかだ。

連合軍は、捕虜がいるのを知らずに、それを攻撃したようですね。

だから赤十字社側は避けて運行するようにと、ひらひらと目印を付けていれば死なずにすんだのに、日本がしたんだ。目印を付けなかったからそうだった。

では、もともとはこの人たちが捕虜や労務者や住民たちを運んで、そこで

どういう仕事をさせようと連れて行ったのですか？

建設事業をするため。

おじいさん（ご老人）は、そのとき魚雷で沈没してから海上で24時間漂流して救助されたとのことですが？そしてそれが原因で中耳炎にかかったのですね？ではその時に治療を受けられましたか？

受けるには受けたが、まったくいい加減です、いい加減。病院といっても衛生兵が診てくれる。膿を拭いてくれた、それ。

中耳炎にかかった後に難聴になったのですね。そしてご老人はそこでチラチャ収容所に6ヵ月いて、バンドン収容所では何ヵ月いらっしゃいましたか？

期間ありません。ほとんど行ったり来たりする出張でしたから。

おじいさん（ご老人）の場合、かなり長期間いらっしゃいましたね？4～5年程度なりますか？

解放になって3年もよぶんにいたから。最初は2年契約で行ったが、その人たちが帰してくれなかったのだ。1年、また延長したが、帰してくれたとしても、その時に死んだかもしれない。帰れば、お前死ぬぞ、といって止めました。帰してくれず延長させられて。

捕虜収容所で捕虜監視員だった方は、朝鮮人たちがかなりいたのではありませんか？

約200人程度。

マレー半島にも行き。捕虜収容所にいらしたときの日本人管理者を覚えて

いますか？

あの所長サイトウ。あとで他の人と交代しました。あとからエンドウという大佐がきました。

上の管理者達の大部分は日本人でしたね？

簡単にいうと、ここの矯正所のように警備が立ちます。その人たちはみんな銃殺されました。

連合軍がきて銃殺されましたか？

銃殺、全員されました。私たちも、韓国人もおおぜい死にました、捕虜を虐待したと。

そこで勤務時間などは？ 日課などはどうでしたか？

1日24時間。

朝は何時に起床されましたか？

朝5時起床です。点呼も夜10時で。

そこでは食事はどうでしたか？

そこでは大丈夫でした。韓国人が料理してくれたので。飯を炊き汁があり卵もついて。

そこでは、食事は大丈夫だったのですね？

はい、食べものは大丈夫でした。週1回、外出しました。

もう日本人の場合は裁判して処刑されて…

捕虜を虐待した人たち。虐待しなくても処刑された。韓国人でもっとも位の高い人たちもフィリピン、フィリピン（で）みんな処刑された。黄某⁷⁸⁾ といつかたは中領でした。

黄某中将ですか その人の故郷はどこですか？ この人は、どこの出身が分かりませんか？

満洲関東軍出身で。

この人は軍官学校出身ですか？ 満州軍官学校出身？

それは知らないが。いいや、その人は日本士官学校出身でした。

すると黄中将という人についてお話されましたが、この人のような場合は連合軍に捕われどうなりましたか？

死刑になりました。

おじいさん（ご老人）、ではその当時、ほぼ戦争末期の頃に敗亡してから連合軍がきたとき、その時の状況を詳しくお話してください。つまり、そこで敗亡した事実はお聞きになりましたね？ 8月15日。

17日、17日。ラジオ放送があった。あゝ、我々は勝てなかったと、集結させて話しました。降伏したと。日本天皇が降伏したと。

日本人が教えてくれて、それから日本人たちは逃亡せずに、引き続きその

78) BC級戦犯として処刑された洪思翊中将を指しているようである。洪思翊は日本軍関東軍参謀部、興亜院調査官、北支派遣軍旅団長南方総軍兵站監兼捕虜収容所長などを歴任。日本敗戦後、連合軍側捕虜に対する残虐行為責任問題によりマニラ法廷でBC級戦犯として絞首刑に処された。

部隊に残ったのですね？ 解放の消息を聞いてどれほどして連合軍がきましたか？

覚えていません。連合軍がくる前に捕虜たちが残っていました。その人達を、武装させてその人達を監視しました、最初は。

その人たちはどんな人たちでしたか？

オランダ人。オランダの植民地だった。それでその人たちがしていて、外国人部隊がきました。インド人、外国軍が入ってきた。

連合軍が入ってきてからは、逆にオランダの捕虜によって監視されたのですか？ 全員すべて朝鮮人、日本人はいうまでもなく全員？ そうしてその後、インド連合軍がきたのですか？

うん。連合軍です。そして船が無いから帰れない、順番に送るから待て、待て、と何回も延長になった。だから、すぐ帰るといつてから2年ほどして帰るというので埠頭に行ったけれど、捕虜収容所の捕虜監視員たちが帰らせないと、いつてバックさせました。

そして解放になって帰るまで、捕虜収容所でなにか他の仕事をするとか、労役をするなど、2年間は何をされましたか？

掃除をして、戦後復旧のような掃除をして、ジャカルタで。日本人の奴で関係のない奴たちは全員送って。

あ、日本人たちは送って？

捕虜虐待の部隊にいなかった人たちは全員送った。船が無いので。私たちは残っていました。そうして部隊でダメだと***刑務所に詰め込んだのだ。そうして写真を撮られたんだ。お前はなにをしたんだ、なにをした、全員写真を撮つ

て、6カ月間コンクリート打ち⁷⁹⁾ この人に。***しなかった。金さんならキオツ(ㄱ)字、キオツ(ㅋ)字、その順番で乗船させるのだと。40人、20人で。私が出てくるときも大勢いました。

つまり、この捕虜監視員の写真を全員撮って、そこにきっちり貼り出して、この人たちにどんな過酷な行為を受けたのか、そうですか？そしてどのような過酷行為を受けさせられたと指差された捕虜監視員の場合、どうなりましたか？

軍法にかけられる。かけられたが、他のことは見ませんでした、チョ某、その人はひと晩とても心配したんだ。どんなに神経をすり減らしたのか。一夜でおじいさん（ご老人）のように頭髪が。その人を撮った写真をみて確認しようとしてくる。その人達が。***（裁判を）そんなふうに終わらせてしまう。死刑にされたひともあるし、懲役約20年、50年を受けた人もいた。

そういう人たちは、そのあとどのように、結局釈放になったではありませんか？ 10年、20年、終身刑を受けたのなら…

それは日本の巣鴨へ移送されました。長期囚。10年以上の長期囚たちは、日本の戦犯を収監するところ。

どこですか？

スガモ⁸⁰⁾、スガモ。

79) コンクリートを打つ（セメントをこねて塗る）の日本式発音でこの文では文脈上、いろいろと辛い目にあったという意味に解される。

80) 東京の巣鴨刑務所：現在の東京東池袋にあった拘留所。通称は巣鴨プリズンと呼ばれ第二次世界大戦後、極東軍事裁判に回付された戦犯達が収容され、東条英機等7名の死刑が執行された。東南アジア各地の戦犯裁判で有罪判決を受けた韓国（朝鮮）出身BC級戦犯もその後、巣鴨に移送され服役した。

スガモ監護所ですか？ 監護所に移送されたのですか？

はい。マッカーサーのその部隊に。戦犯収容所といていたが。

それでそこへ行った人たちが朝鮮人は？

その消息は知りません。

もしやその収容所内で直接そこで集結、（即決）その裁判によって処刑されたひとがいたとか、そのようなひとはいませんでしたか？

日本将校、少佐、少領。アナミ⁸¹⁾少佐、少領が死刑になりました。

いずれにせよ、おじいさん（ご老人）は命令によってしたことです、おじいさん（ご老人）もその命令に従ったので、その捕虜たちの立場では過酷な行為をしたひとではありませんか？それで、その人たちの中には、おじいさん（ご老人）からも過酷な行為をされた、と言ったはずですよ？

それは違う。普通はそうでなかった。それはなぜかという、その人達は品物を少し所有していた。それをくれ、といってもくれないで、そのまま頑固に**しているんだ。それは100円ぐらいのもので、それを奪おうと欲を出し***（して）。

捕虜達が所有していた品物を？

★そのまま所有していたんだ。

おじいさん（ご老人）の場合、命じたことだけをした…

81) オランダによってすすめられたインドネシアに於ける戦犯裁判は12箇所においてBC級戦犯1000名以上が裁判に回付された。そのうち236名が死刑処罰を受け連合国5カ国裁判中で最大数を占めているが、死刑者にアナミという名前の少領ないし少佐がいたかは確認されていない。

勤務せよ、といわれれば勤務だけして、飯を食べたんだ。

ですが、おじいさん（ご老人）があんなに遅くまでいた理由はなんですか？ 47年度までいらっしゃったのは？

そこで帰してくれなかったから、仕事がなくなれば帰してくれる。3ヵ月、6ヵ月、苦しめられたその人***まあ、そんなもんでしょう。だけど日本人将校たちは、重要なのはすべて朝鮮人あなたたちが悪かった。責任者だと、責任者だ、そうだと。部隊長だ。

先ほどのアナミ少領という人ですか？ この人が部隊長でしたか？

その人は軍人常任隊長で、本隊長はサイトウという人で。

ジャワから直接来てすぐにこられたのですか？ ジャワから日本まで1週間かかったということですか？ すると1週間かかって日本へ行って日本…

ここ⁸²⁾に、ここに15日間いた。広島ウジナ港だ、ウジナ港。宇品で日本の奴はウジナという。また九州に行って船が無いので密航者として収容所に合同で集め、合わせて集めて送りました。九州大村収容所に行って、そこも1回に1ヵ月目に解放された。

そこに1ヵ月いらっしゃったのですか？

だいたいそのぐらいで、帰りました。日にちは分からないが。

そこにいらっしゃって、その次に九州で最終的に出発して、釜山港に帰ってこられたのですね？ 釜山港に到着してから家にはどのように？

釜山にくと羊の缶詰と小麦粉で粥を炊いて、故郷に帰る汽車は無料で乗車し

82) ここ、広島宇品

た。無賃乗車して。クマサン駅まで。解放して3年も帰ってこないから、皆は死んだものと思っていた。

もしやジャワ収容所にいるとき、家に手紙などをしましたか？送れましたか？

日本へ捕虜を輸送するときに韓国を往き来する人がいました。それで写真を1枚送りました。それはこのどこかにあります。父母はその写真を見て生存していることを知りました。

あ、写真を1回、送って？では帰還されるときも、いつ帰るというのもしらないまま、帰ってきてからそれを知ったのですね？

解放になって2年ほどしてインドネシア放送局に呼ばれて、韓国へ放送しました。ですがここに帰ってきてから、それが放送されたといったか？



1947年 日本 宇品 撮影

放送を聞いたのですか？どのように聞いたのでしょうか？当時はテレビもない時でしたが？

ラジオ、ラジオ。

解放になってすぐそうなって、2年後ではなく、いつ頃？

2年ほど経っていました。***元旦のとき、放送局に金を渡して借りて。

すると解放になって約2年後ですか？

陰暦の正月1日。

誰が金を渡してインドネシア放送局を借りたのですか？

私たちの団体で。その***（捕虜収容所）監視員だったとき日本の奴に**（賃金）くれと言った。持って行って食べようと、（行ってその分を）米でたくさん受けとった。米が何俵もあるからそれもくれた。

その団体というのはなんの団体ですか？捕虜監視員をしたその人達でつくった団体ですか？

私たちは収容所にいたので団体ではなく。クジュ***

それで、そのラジオ放送局に行ってひとり、ひとり、みんな…

いいえ、ひとりが全員から聞いて、名前だけ日本語で、日本の名前で。

帰ってこられておじいさん（ご老人）は、どんな仕事をされましたか？

当時は職場もなかったし、みんな労働者でした。洞事務所にいましたが金はありません。月給はありません。馬山市が金を出さなかったのです。

それでは、公務員として少し仕事をされたのですね？

★洞事務所書記です。

何年ほど勤めましたか？

★6・25のとき。1年ほどか、2年したか？

1年間、面書記をなさったのですね？他の地域でもみると、例えば人民軍が入って来たとき、文字を読める人はわざわざ軍のために行って仕事をするんだといって、面書記をせよ、と言われることもあったそうです。

能力もなく、ともかく。実際、当時は正規公務員も月給は無かったから。

おじいさん（ご老人）、もうひとつだけおうかがいします。その捕虜収容所にいらっしゃったとき、おじいさん（ご老人）が確実になさったお仕事は捕虜その歩哨、つまり…

そんな仕事はしていません。

それでは？ですから捕虜を監視する仕事をされましたね？しかし、そこで捕虜達を虐待したとか、殴打したとか、こういうことはいつも日常的にありましたか？それをした人は多かったのですか？

班に数人です。数人がそうしました。

大部分はそうではなかった、ということですか？

はい。しませんでした。

そこにおもにいた捕虜はオランダ人と、どの国の人がおもに多かったですか？

オランダ人と、インドネシアがオランダの植民地だったから、それを管理するため全部オランダ人です。イギリス人、インド人も混じっていたけれど。

おもにオランダ人で、イギリス人とインド人もいましたか？ここにあとになってその捕虜収容所に女性達もいましたか？

女性いました。女性は別途に収容しました。

女子収容所は別にありましたか？

別にあります。

もしやここへあとから慰安所にいた女性のなかに、もしやオランダ人女性もその慰安所にいましたか？

それは分かりません。そのあいの子がいました。現地の女性と、そのオランダ人との間に生まれたのが合の子、混血児。混血女性がいました。そういうのは収容されなかった。子供たちと母親は一緒に集めました。それは子供たちが怪我をしないようにと。

その女子捕虜を監視するのも、私たち朝鮮人捕虜監視…

ちがいます。出られないように鉄条網を張って別にしてあって。

そのように分離して、鉄条網を張って？

出られないようにそうした。その人も生存できたか分かりません。キム・マンズというひと。

キム・マンズですか？キム・マンズって誰ですか？

その人はスパイになって、その人も連合軍から賞をもらった。私たちといっし

よにいたけれど、呼び出して飛行機に乗せて送ったんだ、おそらく。連合軍スパイ。オランダ部隊に潜入させたのです。そしてその話を***知られました。日本人の奴は驚いてそれでどんな奴がしたのかといって、そいつを捕まえて殺せと。

では、連合軍スパイが、敗亡以後に、その連合軍スパイとして捕虜収容所にきた人でしたか、そのキム・マンスという人は？

私たちといっしょに勤務しながら、そうしたのです。その人は監視をしないで、私たちの炊事班長です。連合軍が来る前ですが、オランダ人に通信を教えあげて、内部ではどうも話が洩れている、というのだ。噂になればどうするのだと、日本の奴らはなにも言わずに全部あるものを取り出してくまなく搜索したんだ。そうしたって何かが出てきますか。手を挙げたのをみるとそいつだ（そいつだった）。キム・マンスという奴だ。（そこ）いたので、お前は前に行け、飛行機に乗せて送ってあげる、といった。私たちはいっしょに行くものと、どうしてそんなことができるのか？ 呼び出して、送ってしまった。

面談者__チャン・ミラ調査官

録取者__キム・ミンヘ

検督/編集/注釈__イ・セイル調査3班長、カン・フィヨン/イム・ドア

逃亡もできない、四方は海だから…

黄鍾大

創氏名	黄本鍾大
1919.8.29	全北 錦山郡 錦山邑 中島里 生まれ
1942.春	海軍軍属としてソロモン群島及びラバウル飛行場設営工事に動員
1943.秋	病気で中途帰還

おじいさん（ご老人）、創氏名はなんでしたか？

黄本⁸³⁾です。

黄本鍾大？

83) 旧日本軍の軍履歴等軍属を証明する記録はないが、1942年頃にソロモン諸島を経てラバウルに行き負傷して帰還したという詳細な口述に照らしてみても、1942年5月1日編成されガタカナルに進出し、残留者がラバウルへ移譲された第11設営隊所属海軍軍属工員とみられる。

はい。そのようにしました。

おじいさん（ご老人）、何年のお生れですか？

19年生まれです。

当時、おじいさん（ご老人）が行かれたのは1900何年度でしたか？

それがですね、それが21歳のとき、その徴用、それがきたので満州へ逃げて、2年後に帰ってきてその翌年に行ったから、だから42年度に行って捕まって訓練を受け、その翌年に行ったから42年度だったかな？ うん？ 24歳で行ったから。はい。そして43年度に帰ってきました。

当時、帰ってきた時は何月でしたか？

その時も檜の木の葉がすっかり落ちていたから、秋か春、晩春だったか、ともかく1年過ぎていました。あのソロモンで負傷して、今も足をひきずっています。このくるぶしを打って、今も足をひきずっています。

おじいさん（ご老人）、では1943年秋頃に帰られたのですか？

秋かどうかもかく1年少し過ぎて帰ってきました。それであのソロモン島からラバウルへ行きました。ラバウルという島に行きました。仕事はそこで終わって。ラバウル島に行ってそこではじめて治療を受けました。治療を受けられなかったが、そこでは受けられなく、するそれがありませんでした、ソロモン島には。そこへ行くと病院があり病院治療を受けました。全員、痛む人は来なさいといって、そこで治療を受けて、肛門脱肛症もそこで治療を受けられずに薬を少しずつくれましたが、それは治らない薬で。

では1年余りいたのですね？

はい、そう思います、はい。それでそこで言えば日本語でアサヒ丸⁸⁴⁾です。私たちのそれではチョイルファン（朝日丸）、アサヒ丸。病院船です、名前は。今思うとそれを思い出しました。病院で乗って呉港に行きました。その時、淳昌の人もいたし、高敏の人もいたし、病気のひとたち。けれど残りの人はニューギニ⁸⁵⁾、ニューギニだったか？そこに行くと言っていました。ニューギニだかそこに行くと言っていました。けれど行ってからこの錦山の人で死んだひとがいるという話を聞きました、帰ってから。

それでは おじいさん（ご老人）、最初に行かれたのはどのように、令状を受け取り行かれたのですか？

39年に21歳だったから、39年に令状を受け取りました。あの徴兵、いうなら日本の奴らが志願兵と名づけたそれを、身体検査を受けさせ身動きができないようしました。だから徴用、え…例えば、きょうだったら、今朝までにその日に行くと、もう徴用に軍隊に行かなくてはいけません。それで先ほどのお話のように、当時は揮発油もなく油もないときだから木炭車に乗って。ヒィヒィ、木をくべてバスを走らせた、蒸気をためて。そんな車が錦山から大田まで運行していました。一日2台ほど往復し数回走っていました。それでその車に、私の一番上の兄がいました。4人兄弟で私は末っ子です。長兄がその運転士に話して、当日朝2時に家を出て20里ぐらい歩いてその人に会って満洲へ逃げました私は。満洲へ逃げたけれど約2年後の41年だったか？家で不幸なことがありました。父が危篤状態だったので帰ると、日本人にまた捕まりました。もうそれで、その時に捕まって訓練を受けて、私の記憶では42年だったか？入ったのです。それがその時に行ったから、その時は令状ありません。訓練だけ受けて

84) 朝日丸は旧日本軍の病院船。1937年海軍が病院船として徴用し使用中に、1942年3月26日、ティモール島で英国軍飛行機の空襲にもあった。1943年11月、病院船としての任務を解き輸送船として使用された。1944年油造船満珠丸と衝突後、解体された。

85) ニューギニア(New Guinea)

その日、ある日突然、そのまま大田にみんな移送されて、汽車で釜山に行ってそこで当時、アルヒンシマル丸⁸⁶⁾？ アルヒンシマル？ アルヘンチナマルとかいう船に乗って、ともかく12,000トンとっていました。とても大きかったです。だから高敞郡、淳昌郡、錦山郡がいっしょにその時に乗船して行きました。うん、その人達がみんな釜山にきて集まって。

それではおじいさん（ご老人）、1939年21歳のとき令状がきて満洲へ逃亡し、41年に家から不幸の報せをもらってまた帰られて、いずれにせよ1942年にまた徴用で行くようになったということですね？

軍隊に行かなかったけれど、当時は名前を軍属に、名前を軍属として徴用で行って、そこで飛行場をつくりました飛行場。

では1942年度に24歳で行く前に、訓練所はどこに訓練所…？

訓練所ではありません。ただ錦山で訓練を受けました。

錦山のどこで訓練を受けましたか？

場所はその前は普通学校でした。錦山普通学校。キム・ジェユンという人がいます。そのひとは錦山邑事務所にいた人です。キム・ジェユンがその人が訓練しました。前に進め、後退して、後ろ回れ、なにとか、そんなことだけしました。ほかのことはしないで。

その訓練期間は、どのぐらいでしたか？

だからその時に数カ月受けて1年過ぎました。1年がその時過ぎました。そこへ

86) あるぜんちな丸は12,755トン級の世界一周用豪華旅客船で1939年に建造されたが1942年に日本海軍に売却され航空母艦海鷹に改造された。1945年7月24日、別府湾で機雷に接触して座礁し7月28日に爆撃された。

24歳の時に行ったから1年過ぎていたと思う。

それでは釜山まで何に乗って移動しましたか？

汽車でした。

では出発はどこからでしたか？

大田からです。錦山から出発して大田にきて大田から。

大田駅まで汽車で行きましたね。

その時はあれで行きました。木炭車。

釜山に集結して訓練を受けたとき何人が、釜山港から何人行きましたか？

その時、数百人いたはずですよ。

数百人ですか？ すると釜山港まで数百人いっしょに行ったのですね？

汽車で釜山まで？

あ、釜山駅まで行ったのは私たちだけ行って、そこに集結して汽車に乗って一緒に行ったかは分かりません。そこでは分からなかったです。それは覚えていません。そこで船と一緒に乗ったから。だから大田ではその人達を知らなかったです。釜山に行って知りました。そこに集結して知りました。けれど私の記憶ではあれは錦山郡で、ちょっと待って、錦山郡から何班行ったのだったか？ え、錦山郡だけで36班、それも確実な数字で。ともかく40班。高敞郡の人、ここにいた人は40班あった？ ひとつで約20人だから、そうだね、ひとつの郡で、富利面と錦山邑といっしょに行ったのです。錦山面と秋富面の人もいたな。

釜山からアルゼンチナ丸？ これはどんな船ですか？

だからこれは遊覧船なのか寝台が全部ついていたから、船に行ってみると。分かりません。貨物船じゃない、とにかく。

このアルゼンチナ丸に乗船してどこへ行きましたか？ 最初に？

ソロモン群島。

では乗船前に、行事のようなことをしましたか？ 歓送行事のようなことをしましたか？

あ、ありません。

では釜山港からソロモン群島までおよその所要期間は、そこまでどれぐらいかかりましたか？

ソロモン群島へ行くのに昼夜で14日間かかったかな？ とにかく2週間かかったそうです。当時の話では。

食事はすべてありましたか？

飯はまあ、おかずは、ふざけたことに1種類だけくれました。飯と汁だけ。飯と1種類だけ。それはワカメを炒めればワカメ、ワカメを合えればワカメだけくれた。またあのソロモン群島へ行って仕事をする時は、仕事をする時は例えばまあウサギ肉だったかな？ それを1回ずつ炒めてくれた。それ1種類と飯だけくれました。

ソロモン島に到着すると、その部隊はどの部隊でしたか？

部隊もありません。日本人は監督といって数人いました。軍隊はなかったです。

それでは、軍隊に編入されたのではありませんね？

でも言葉だけ、名前だけ軍属とつけたのです。もうこのことを知っていられちゃなくて。日本人らは徴用、いうならば強制で連れて行って軍隊も志願兵と言ったのです。名前を彼らの言葉では。でも軍属と言ったけれど勤労者だよ。確かに行って飛行場を造成したのだから。

では大きい船で港に下りて、小舟でその島、その作業場まで運んでくれたのですね？ 距離は何時間くらいかかりましたか？ その島に入るのに？

はい、運んでくれました。そこからそんなにかからなかったです。それを時間で計ってどれくらいかは、私たちが時計を持っていればそれも計ってみるだろう。時計なんて見物もできない時だった。だからどれくらいか、とにかくそこで分からない。その船で10～20分ほどで着きました、たぶん。

そこへ行くと、忠清道の人達がすでにそこに来ていたのですね？

来ていました。来ていたから、そのひとが日本人の下で、総監督がひとりいました。あとで分かってみると大徳郡の人だといった。ひとは私たちが飛行場の整備するところ、監督は日本人で忠清道の人と2人いました。日本人の下にいました。私たちが仕事をする場所にはこなかった、その人は。

それでは、どの部隊があったというのでもなく、そのまま行ってソロモン島で飛行場を建設する、そういう仕事をされたということですね？

どうしてもかくなのですか、高いところから低いところへこうしてリヤカー⁸⁷⁾、こうして引っぱるリヤカーがあるじゃないですか？ こうして付いている。取っ手のある、鉄パイプでつくってあるの。そのリヤカーで、その人達が1日にきょうはここ、ここは高くなっているから、ここがこう高いから低くならし

87) リヤカー、荷車

ていくから。それをするので、ここでまたここで測ります。ここを1mだ、2mだと彼らの思うまま、きょうはこれをしろ、と測ります。作業量をあらかじめ測る。これをすべて完了せよ、完了すると申告して戻ってくるんだ。

では飛行場建設ですから、長い滑走路をずっと整地する仕事をされたのですね？

うん。整地する仕事をしました。運動場みたいにこう広く。島だからまあ、わが国のように長くそのように整地しないで、つまり島だからその形状はそのまま何度も埋めて行きました。道路をつくるのじゃなく。島でも高いところと低いところがあるじゃないですか。平坦にするために高いところから運んで埋めました。現在、萬頃江の水路を塞ぐところをご存知でしょう？ 車で何度も降りていくじゃありませんか？ そのようにあの高いところまでリヤカーを引っばって、スコップで掘ってリヤカー引いたところへ行って、手でこうして低いところを何度も埋めたのです。

1日に何時間、仕事をされましたか？

だから、その話をしようと思ったのに。また忘れてしまった。年寄りだからうっかり忘れる、今だって。そうさせられると、(こうして話せば、)それをすべて話すと夜を明かしても話せません。話すことがたくさんあって。そのように組ごとに2人なら20人、錦山の人は錦山の組があって、その人達をそうさせられると、(こうして話せば、)それも話そうとすると夜まで話しても足りない。棒杭を前に引いておく。棒杭に綱を巻いてパツとはめると、そいつを無条件しなくちゃならないのだが、それをすべて話そうとしてもできない。1日中かかって。夜を明かしても足りない量だから。そいつを短縮するというのだから私達は。

あ、そこに来た人達を組別にして仕事をしましたか？

組別です。錦山邑のひとは錦山邑のひとどうし。私たちは錦山新面だけど富利

面と錦山邑と1組になって行きました。富利面と。

各組別に受け持った仕事は、すべて違いますか？

まったく同じ仕事です。組だけ分かれてしました。そうして私はいつも忘れてしまうのだその名を。組に班長がいました。それで私が班長でした。

そこで仕事をする人達は、数千人いましたか？

いいえ。そんなにいませんでした。数百人、300人未満だったと思うが。

そこは、宿舎もありましたね？

宿所は、そこに記入してあります。木でこうしてそれをずらりと敷いて、真ん中に通路をこうつくりました。そして両側を板間にします。両側を板間にして、そこでずっと寝ました。一軒をそのように建てて。結わいてある松の板を敷いた。そして毛布を1枚ずつくれました。夜は冷えて寒いから。とにかく木でそうして当時のことばで、日本語で飯場だ、そう、飯場。

軍隊に行くとき、たいがい軍服や軍靴のようなものも支給するではありませんか？ そのようなものを別途にもらった、物品のようなものはそこでくれましたか？

ええ、タバコをくれました。タバコをくれたが、私はそれをなんでタバコのこと思い出したんだろう、タバコを私は当時、吸っていなかった。だからそれをためて売りました。売って金にしました。それで金を巾着に入れ持って行ったのに。金はありません。すべてありません。金は1円もくれなかった。

それではおじいさん（ご老人）、その訓練所へ行行って訓練を受けられたとき…

訓練所は行っていません。学校でまるで監視でもするように毎日、呼び出され

ました。それがそうなって訓練でしょう。言うなら監視しようとして毎日、呼び出したのだ。そのまま自宅にいて通いで何時に出てこい、明日は何時に出てこい、といって監視をして、逃亡ができないよう、監視するために訓練を受けさせたんだ。なにか特別な訓練所じゃなくて。

錦山初等学校から釜山へ出発するとき、また家に帰って行くことはお話になりましたか？

私の兄が付き添って来ました。

では、家に話をされてきたのですね？ 行くのは、ご存知だったのですね、ご両親は？

もちろん知っている。

それで、お金をいくら持って行くことができたのですね？

そうです。

ではご老人、お金とかそういうものを家で準備して行かれたのですか？

アイグ、なんの金がありますか？ 当時ですよ？ 金儲けもしないでなんの金がありますか？ だからなにか買って食べなさい、と少しずつくれた金、そんな金ですよ、すべて。

そこでは階級とかこういうのは全然なかったですか？

ありません。

日本人監督はずっといましたか？

いません。

では誰が監督したのですか？

そのまま作業、あの白い半ズボンをはいて、こんな半袖を着て白いのをこんな風につくって着て、その人達が着ていました。軍人達はいなかったから。

月給をもらったことはありませんか？

ありません。

それでは、先ほどのタバコを売ってためたお金はどうされましたか？

使うところありません、売ったところで。そのまま持っていて病院船に乗ってくるときに持ってきました。

軍隊のようなところは、すごく監視なども厳しかったのではありませんか？それでそこでは特別にそういうことは？

監視人もいません。逃亡もできないから、四方は海だから。まあそんな監視みたいなこともなかったです。ただ日本人が3、4人いました。

そこでお風呂には入れましたか？

風呂は海水でした。

衣類はそこで支給されましたか？

最初に行く時にしてくれました。半袖、半ズボンなどをくれました。そして衣類もみんな持って行きました。私はね、すごくいやになっていて、そこで暮らしていけるのではと思って、別途に服も持って行きました。カバンにそうして行きました。ぜんぶそのまま故郷から。うんざりしていました。逃亡できるなら逃亡しようと、どこかへ消えてしまおうとしたけれど、そんなところじゃありません。暮らしていくにも暮らしていけないところで。あの黒人たちだけがそ

のまま、原住民たちだけがそこに住んでいて。丸太でつくった舟、女たちが乗ってあの島、この島へ通って。またその原住民達を連れてきて踊りを2度かそんなこともありました。日本人が彼らを連れてきて踊り…

そのソロモン群島に行かれて、そこにいてから、先ほど他の場所に移動されたと、そうでしたか？

ラバウルに行きました。

ソロモン群島にいた人達は、作業が終わってからラバウルに移動したのですか？

はい。みんな移動、いっしょに移動しました。あ、3郡⁸⁸⁾がすべて。当時そこ、そこに行く時には、私たち忠清道のひとは見かけませんでした。

ラバウルに行く前、ソロモン群島ではどれくらいいましたか？

それが日の経つのも分からない。嘘じゃなくて事実そうなのです。日が過ぎるのが分からないのです。だからいつ、どの季節、どの時期に出たのか、それなので分からないのです。

船で移動するとき、もしや船名を覚えていますか？

その時は分かりません。ラバウルに着いてからは、その時はそこへ行って待機していました。仕事をしないで待機していましたが、私たちのなかに痛む、あの、病気のひとがいて、痛む人達、患者達を選んでまた選んで、残りの人達はニューギニアに行くのだ、とっていました、ニューギニア。

88) ともに動員された3つの郡の高敞郡、淳昌郡、錦山郡で、当時の錦山郡は行政区域上、全羅北道に属した。

では、ご老人はラバウルまでいかれたのですか？

ラバウルまで行っていました。そこでは何をしたかという、ヤシの木の農場がありました。それは日本人達がつくったのではなく、英国人達がつくったといいました。ですが、ヤシの木をそのまま秩序よく、そのまま秩序正しくいっぱい植えたところがありました。そんなところで草取りもし、そんな仕事をしました、そこで。

ラバウルにはソロモン群島よりも長かったですか？ 短かったですか？

短かったです。数ヵ月だったと思います、たぶん。

そこで、ラバウルで健康な人たちは、またニューギニアへ行ってもう…

行くのは見ませんでした。残りの人たちはニューギニアへ行く、という話だけ聞きました。そしてその人たちはニューギニアへ行ったのか、行かなかったのかも分かりません。私たちは患者だけ高敞のひと、淳昌のひと、錦山のひと、患者だけ出てきて船に乗って日本に行きました。それが何日いて出たかも分かりません。そこでもかなり長かったです。船が戻ってこないのです。すぐに、すぐにこなかった。

それで、その患者たちはどういう病気にかかった人たちですか？

そのほとんど私が、私は怪我をして赤痢にかかり脱肛症になってしまった。肛門がこうぬけてしまった。赤痢にかかると下痢がひどく、すぐく力を入れようとするから、その病気になったんだと。日本の奴ら、もっとも恐れる病気。

足はなにをされていて負傷しましたか？

それはその仕事をしていて石が原因で。そこにいて、とにかく石が転んで、大きな石が転がってきて当たって打って。

ラバウルから出た方達は、同村の人もいっしょに出たとおっしゃいましたが、病気のひとは何人ぐらいいっしょに日本へ行きましたか？

錦山から行ったひとは、チョン・ヘヨンと私のふたりが出たようです。私とその時、誰といっしょに出たかな？ 10人もいなかったようだが。どうしてかというと、日本に行って病院にも入れずに、なんだか粗末な家で扉もない家に寝かせて、そこで寝たが。そこもまたそのままいられますか？ 毎日、なにを拾えといっって、仕事をさせられたのです。

日本のどこ？

呉のあの軍港です、そこは。昔、日本の奴らの軍港です、そこは。そこに行きました。そしてあとで病院に入りました、入るには。

ご老人、ラバウルにいらっしゃった時、そこに慰安所などがあったでしょう？

ありません。

ですが慰安婦として行ってきた人で、ラバウルにいた人が少しいました。

そうでしたか？ そういうのは私、私たちは見ませんでした。

おじいさん（ご老人）は、ラバウルでもあのヤシの木の農場にだけ、いましたか？

いいや、農場にいたのでなく宿所がありました、そこも。農場内ではありません。こっちが山、例えばこのように平坦なところにヤシの木がきっちり植えてあり、こんな山みたいな高いところに幕舎を建てて、家を。だけどその家には英国人が住んでいたのに、追い出したのだそうです。そんなところで私たちは寝ました。

呉に行って、はじめはそのまま民間の家にいて、しばらくして軍人病院で治療を受けたのですね？

そう、治療を受けて出てきました。

おじいさん（ご老人）、そこにいるときに賃金をもらったことはありませんね？一銭ももらったことがないということですね？

ここに私、故郷にきて。ちがうな、故郷にきて少額で数10回もらったことがあります。

あ、帰国後に当時のお金で120、30円？120万円程度を…

ちがいます。まったく。120円。え？想像できますか？

あ、当時のお金で。誰にももらいましたか？

郡でくれました。郡庁で。

そのお金はなぜくれたのですか、そこで？

その金、その賃金だといってくれました。

郡庁ですか？郡庁なら、邑事務所…

現在も原州郡庁とかあるでしょう？全州だったら、郡庁職員が来なさいと言って。私だけでなく、帰国した人達はみんなそのように受け取ったそうです。

ここに、帰国後1943年とありますが、帰ってきた翌年のようですが…

そうだ。そうです。うん。

では、郡庁でいずれにせよ120円程度をくれたので、それがどんなお金か

分からないで、ただ慰労金だ、こうお考えなのですか？

ああ、そうして行って帰ってきた、さあ慰労金だ、賃金としてくれたのかもしれない。それは。どんな意味でくれるのか知らずに受け取ったから。

それでは、43年度に呉から帰ってくるときは、船でどこまで来ましたか？

釜山に着きました。

釜山港、では釜山からは？

釜山からはもう自由に汽車に乗って。あの木炭車に乗って家に行きました。あ、釜山にきて、釜山で汽車に乗って大田まできて、大田からは木炭車バス、錦山まではそのバスで行きました。

おじいさん（ご老人）は帰ってこられてから、これまで何をなさって…

それをまた話すと、ずいぶん時間がかかります。行って帰ってきました。その時、警察署から、帰ってまもなく高等係に呼び出されました。高等係というのは、なにを取り締まったかという、思想犯を取り締まりました。思想犯を取り締まったところが高等係です。その時、倭政のとき、その時そこに呼び出されました。それで行ってみると、中国へまた行け、というのです、私を見て。ですがそのとき高、高い高の字、高某という人が主任でした。我々の韓国、朝鮮人ですが、で、その人が呼び出して中国へ行け、とこういいました、私を見て。それで私は今も痛くて行けない。それで免除され、いました家に。それだからどうしますか？ そこにいとダメだから、当時、新京に私のすぐ上の兄がいました、満州の新京に。それでそこに行きました。ハハ。洗濯の注文を受けに行くとか、そんなことをしました。それをして、宝山百貨店に入りました。その商品部というところで、商品が入ってくるとこうして定価を付けました。そういう付けるのがあって、ボックスをこう開いて物品目録を読んで、品目を見て、そこでその定価票を、糸に通した定価票をゆらゆらしたそんなやつです。そうす

るとそこに縫う針があるでしょう？ 鉄、縫い針？ 先がこんなの。それをこうはがして、そこに付けます。そういうのをするところがありました。そしてあの、あとで宝山百貨店⁸⁹⁾ のところ、その当時、40円しかくれなかった。40円しか、ひと月。そうして満洲生命株式会社に、また移りました。満洲生命株式会社⁹⁰⁾、だけどそこも月給は下宿代しかくれないので、とてもなにをしようにもできない。それで妹もその時一緒に行っていましたが、その妹を結婚させるのに、そこで結婚させましたが、平安道の人に嫁がせました。それでそこ行って興農産業株式会社⁹¹⁾ という葦のゴザ⁹²⁾ とカマスを取り扱う会社がありました。そこに行ってから月給が少し増えました。そこで勤めて大東亜戦争末期に、大東亜戦争末期にもう日本が撤収したじゃないですか。その時、汽車に乗って、乗った汽車はもう、我が国に行くのを乗ったんだ。そして奉天に行って解放になりました。

それでは、家に手紙を送るとか、そんなことは全くしませんでしたか？

しました。そういうのをしました。なぜしたかという、家にもしたことはありません。東京のチェ・サンスンという、そこへいっしょに行った人ではないが、東京に留学した親友がひとりいます。音楽がよくできました？ それでそこに行ったらバイオリン科にいたとのことでした。それで、歌詞をひとつ私がつくって、その人に送ったことがありました。それを送って、送って見てくれと。それ

89) 宝山デパート：竣工年度ははっきりしないが石本建築事務所の設計で1911年、中国新京（現在の長春）に建っていた百貨店。

90) 満洲日日新聞1937年12月2日付には、すでに「満洲火災保険創立総会開催」という題目で「日満」において火災海上保険会社の総合出資をすることとなった満洲国で損害保険独占・会社の満洲火災海上保険会社の創立総会は1日午前10時新京・大和ホテル会議室で開催。高橋（經濟部商事課長）、高橋（満洲生命理事長）、村井（大連火災社長）、景山（明治火災理事役）等出席という記事が掲載されている。

91) 三井、三菱を支柱会社に満洲興農産業が設立した。

92) ござの誤記、葦を編んでつくったゴザ。

でそれを送ってきました。それだから手紙のやりとりをしたことを、それでも覚えています。

それで返事ももらわれましたか？

その返事を、曲をつけて送ってくれましたよ。

面談者__チャン・ミラ調査官

録取者__キム・ミンヘ

検督/編集/注釈__イ・セイル調査3班長、カン・フィヨン/イム・ドア

直ちに行け、といわれたら行くのです

金顯沂

創氏名 金田顯沂

1921.1.15 慶南 統営郡 長木面 長木里 生まれ

11942.5 満洲関東軍 軍司令部及び教育隊軍属・警防手として動員

1945.8.15 解放後帰還

何を入れていましたか、ここに？

え？ これに貴重品。貴重品をこの中に入れていました。

貴重品とは、どのようなものですか？

ここには、軍人の身元証と重要なものをいれていました。このポケット⁹³⁾をこう引っ張ります。

93) ポケット(pocket):ポケット

あ、そうですか。これをよく保管されましたね。見ますと、ここにすべて記されていますね。満洲第785部隊。そこに行かれてもらったものですか？

はい、関東経理部部隊といっていました。満洲関東軍経理部部隊と。

はい。ほかにお持ちのものはありますか？これに見ますと、まだ他にもあるようですが？

ここにあります。その関東軍経理部といっても、日本式ではなくこれは満洲勤務です、満洲国にありました。満洲帝国といい、勤務しました、そこでは満洲国が認められていました。この505軍事郵便所で支給したものだ。これは900円。これは月給をもらいボーナスをもらって私がまとめて貯金しました、これは貯金して受け取ったものにしましたもの。

受け取ったものには赤線を引いてあるのですか？

900円は別途で、これは引き出して使ったもの、これは部隊で月給をもらった時に、もらう時に差し引いてくれます。経理貯蓄といって、除隊時にこれを引き出します。これはいわば退職時に引き出して使うようにと、貯金したものです。

あ、退職時に、退職金名目で貯蓄しておいたのですね？ところでこの金は受け取れなかったものであり、この金は月給名目でもらったもの、ですね？あ、そうなのですね、よく保管されていましたね。

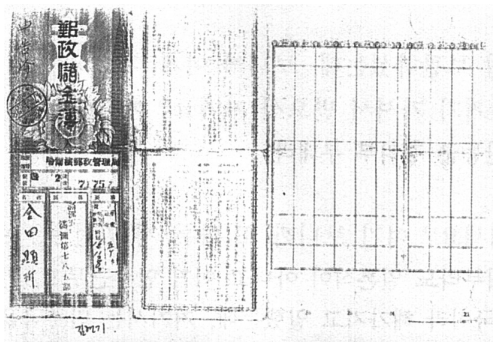
私はこの部隊にいて、ソ軍（ソ連軍）の攻撃を受けて、ソ軍の捕虜となりました。我々の部隊がだ。奉天にキワジグロイブダイ⁹⁴、その捕虜収容所において、何を知っていたのか、日本の奴がソウル、聞いた奴、聞いていない奴、それすら知らずに出てみると、日本はとっくに降伏したという。そのため、これを引き

94) 9869部隊の誤った発音のようである。当時、奉天には7陸軍拘禁所である986部隊（日本の発音：キュウハチロクブタイ）があった。

出せなかったのだ。だから、いろいろ困難な条件がありました。

当時、満洲へ行かれたのは何歳ですか？

20歳。



20歳ですか。当時のご住所は？

貯金通帳

はい、仁川松林洞に住んでいましたが、朝鮮総督府国民総動員令、朝鮮総督府国民総動員令26条、27条による令状をもらったのだ、出頭令状を。仁川支庁に直ちに出頭せよとのことで行くと、すでにあの満洲関東軍経理部、そこの将校がきて選抜されて行きました。

当時、どんな学校に通っていましたか、仁川で？

ソウルで勉強し、仁川で就職して行っていた。就職して。

では、ソウルでどんな学校に通っていましたか？ 中学校まで通われましたね？

学校は夜間学校。苦学しました。昼間は仕事して、夜間に夜学に通ったが、韓国外国語学院といって現在の外国語学校。そこで英語を学ぼうと通いました。

軍属募集の話は、どのようにお知りになったのですか？

いいえ、令状が来たのです。朝鮮総督府国民総動員令26条、27条により何日まで仁川市庁に出頭せよと、令状が来たのだ。

それでは仁川、もしや日にちを覚えておいでですか？ 1940何年何月何日とか、何月頃と覚えていますか？

だから私は、ちょっと待って。ともかく私が20歳のとき昭和17年で、ちょっと待って、昭和17。

昭和17年ですと1942年、合っていますか？

はい、昭和17年だったから。昭和17年度の6月か5月かよく分かりません、ともかく。

6月頃に令状をもらって、仁川市庁前に集まれというので、仁川市庁前に行かれたのですね？ おひとりで行かれたのでしたか？ ではその当時、ご家族はどこにお住まいでしたか？

家族はここ（巨済島）にいたし。

では、もしやその日に集結して仁川市庁に集まって、当日に直接行かれましたか？

はい。その日、仁川市庁に行きました。行くと約40人、約50人が来ていました。ですが10人ぐらいはみんなどこか病気で行けなくて、約40人が合格した。40人が合格したが、その日に合格、直接にきっちりその将校が合格だときっちりそうして、2日後に全員がそうして全員すべてその時に行ったのだ。新しい役所⁹⁵⁾をもらってだ。2日後に仁川駅に全員集結せよといって、だから引率をいわば全員が満洲へ汽車に乗って行った。だがその汽車の切符もすべて軍人票、軍人票でくれた、軍人票。将校がすべて汽車の切符をすべて購入し一枚をくれたのだ。そしていつ、2日後に仁川駅に集結すること。そしてすべて帽子も日本の奴、あ

95) 役所：仕事をする場所

の星のある帽子をすべてくれた。すぐくゲートル⁹⁶⁾ それもすべて、巻けというのだ。服は与えず服は自分、自分の服を着て。ゲートルをきっちり巻いてです。

汽車に乗る前に、なんというのか、歓送行事のようなもの、そういうのはありましたか？

ですがそれは当日に合格した人は、全員すべてだね、直ちに行け、といわれたら行くのだ。逃亡しないようにきっちり日本の奴の警察がだ。仁川のあのチンジャ神社、いうならジンジャ、最近の神社、話はその参拝するということだ。それで行って参拝してだ、敬意を表してだ。そしてきっぱりついに行くのだ。そうして身動きができないようにした。

では、その2日後に集まれといって、全員それぞれ帰宅してふたたび…

全員に2日間の余裕を与えるのですべて整理するものは整理せよ、といわれて、何時に、きっちり仁川駅に何時まできっちり集結せよ。

では当日、汽車に乗る前に先ほどの神社に行って参拝し、行事をしてから…
当日、その当日に合格してから。

それでは汽車に乗るとき、どこへ行くという話は事前にありましたか？

いいえ、汽車の切符にチチハル⁹⁷⁾とちゃんと記してあった。

あ、そうでしたか。では行く時に食事などはしましたか？

食事は旅費として計算してくれた。食事して2日間、家で整理するその旅費、

96) ゲートル〔(フランス語) guetres〕ズボンの裾を巻いて足首から膝上までつけるもの。
ほとんどが軍事用。

97) チチハル

汽車の切符はあるから。車内で買って食べる旅費をすべてくれる。当日に。

列車内ではご飯を買って食べられないのでは？

車内では飯などを販売している。

列車で何日かかりましたか、満洲まで？

満洲まで2日間かかった2日間。チチハル、ここからそこまで2日間かかった。

チチハル駅に到着してからその40人は全員同じ場所へ行きましたか？
そうでなければ全員分散しましたか？

同じ部隊に決められている。785部隊⁹⁸⁾とみんな決まっていた。けれどもその
同じ部隊に配置されると、全員がその部隊だが更に勤務地があるんだ。勤務地
を全員にすべて割り当て配置します。トラックに載せられて行きました。

トラックに乗ってどのくらい行きましたか、その部隊は？

その部隊は約30分？ 約20分？ トラックで行くとその部隊があります。

その40人が、それでは同じ部隊に入って各自はもう…

その部隊も1箇所だけでなく、本部はそこで、そこにあってそれぞれの現場へ、
40人は5人ずつ、10人ずつ、15人ずつ配置されました。

それではおじいさん（ご老人）は、その785部隊本部にいらっしゃったので
すか？

私は785部隊本部にいました。その駅で降り、トラックで運ばれ部隊に行った

98) 関東軍経理部チチハル出張所

のです。その日1日はだ、内務班に、全員
すべて内務班に入れて並ばせ、その中で
配置するのです。お前はどの行政、お前
はどの部、そこのお前はどの行政にと全
員に配置します。そして私は785部隊本
部にいました。

はい。ではおじいさん（ご老人）、
1942年4月、いいえ1942年5月から
1900何年度まで勤務しましたか、そこ
で？

昭和20年8月15日解放まで、そこにいま
した。



留守名簿

おじいさん（ご老人）は、785部隊での職責はそのまま軍属ですか？ ある
いはまた他に職責などはありませんでしたか？

警防手です。警防手⁹⁹⁾。職責名だと警防手です。

785部隊内でご老人は経理部で、その785部隊はおもにどんな仕事をしま
したか？

その部隊が何をするかという、作戦用の穴掘り、作戦用の橋づくり、作戦陣
地を建てた。

あ、それが経理部のする仕事でしたか？

経理部でそういう仕事をします。

99) 警防手：火災や危険などを警戒し防止する役割を受け持った軍属。

ですがおじいさん（ご老人）、ふつう経理部は事務室で事務をすることではありませんか？

だから、そういう陣地とかの事務をみなくてはいけない。これがまったく仕事といったら、だから上から、あの日本からですな、たくさん軍需品が入ってきます。その軍需品がくると汽車に積んでくる、部隊に。するとそれでそれをするのだ。経理部、経理課、経理官が引率します。それを警備しなくてはならない。それを誰かが、泥棒が盗んでしまったらダメだろう？ 警備して事務をしてこれが数個だ、まあすべて、なにになにというその事務をしなくちゃいけない。警備、警備に立つときはまさに軍属で、こう剣をつけて銃をしてそうした。事務半分、警備半分、そうしました。

あ、事務もなすり、また軍需品がきたりすると歩哨にも立たれ、それをおもにされたのですな？ それをすべてそこでは軍属と称しましたか？ そうでなければ先ほどおっしゃいましたね？ 職責がそこではなんとかいう職責が別途にありましたか？

階級は、階級は軍属のときは階級はなく、そのまま軍属という票を付けて。職責は警防手だ、警備するひとということだ。

そこ北満洲はとても寒かったですか？

寒かったです。零下40度にまで下がったから。

では、そこでその部隊に行って、他にになにかそこで物品のようなものをくれましたか？ こうなにか防寒服とか…

すべてくれました。

いっしょに行った人で同じ部隊、同じ部署に配置されて仕事した人もいますか？

同じ経理部に勤務しました。経理部は同じでも行政がちがう。工場行政が。穴掘りのところがあるし、選別するところがあるし、家を建てるところがある。それにすべて配置されてします。月1回、会議もします。

月1回集まって何の会議、どこで集まったのですか？

月1回、月1回ですね、会食する、会食。会食は内務班で会食します。将校がきて演説し、なにか注意すること、注意を喚起することを注意し、なにをすることになって。

その経理部に朝鮮人でなく中国人や他の人達も、日本人もいましたか？

おもに日本人です。朝鮮人は数人ぐらいで。全員日本人です。すべて軍人です。将校、私の部隊長はサキタニツネイチで、そこで大領です大領。ナナハチゴブタイ（785部隊）部隊長です。日本人の言葉で大佐です。大佐。そして庶務主任はイチダ¹⁰⁰⁾少尉です。イヤミ中尉は、技術主任。

その部隊に、朝鮮人は40人だけでしたか？

いいえ、もっといました。

その朝鮮人達は、おもにどんな仕事をしましたか？

おもに警防手。おもに車の運転手、トラック運転手になった人もいるし。車の故障を直す整備手、整備手になった人が多い。はい、私たち40人中で約20人が車の運転手、整備手です。車の運転手、整備手は本部勤務でなく全員が現場に勤務します。

それでは本部には、朝鮮人はおよそ何人いましたか？

100) イシダなのかニシダなのか発音不明瞭。

本部には日本人がいて、その中で事務をみる人もいたし、まあそんなです。私
たちも合わせると約20人。前からきていた人と合わせて。

現場には、朝鮮人は何人ほどいましたか？

現場は100人ほどいたでしょう。現場が多いです。穴掘り、家を建てるどころ、
選り分けるところ、またすぐく工事現場がたくさんある。そう1部隊でここにも
あり、あそこにもあるというように。

では、その部隊内に寄宿舎はありましたか？

本部は軍人達がいる内務班があり、内務班が。身動きすらできない内務班が。
現場には幕舎みたいなのが建っていた、たくさん。

それでは寒くなかったですか、幕舎での暮らしは？

どうして寒い。すべて施設して暖かくしてある。

では、水やほかの物資などで不足するものはありませんでしたか？

それはありません。満洲は当時、私たちが行ったときは、関東軍の大部分は南
洋里（南洋）前線に行って。今や軍人達が足りなくなり全部、軍属が代理で仕
事したのです。はい、あちら満洲付近に私たちがいた間は、60年前にそこにい
た間、いた時は物資とかなにやらは十分でした。ありとあらゆるものがすごく
豊富だった。

軍人達は多くはなかったというお話ですが？ 軍人達が不足していたと。

関東軍の一部は全員すべて南洋へ行きました。それを補充するため、その軍
属がすべて仕事をした。その満洲国の関東軍が南洋に移住した後、兵隊の大部
分が行ってしまっけ、ふつうの今やもう日本からもおおぜい来た。

部隊内で、もしや日本語が分からずに聞き間違いしたとか、さもなければ他の理由で、もしや日本人から殴打されたとか過酷な行為などにあったことは全然ありませんか？

ありません。

それでは食事はどうでしたか？ どんなものをおもに食べましたか？

どんなものって、なに米飯ですよ、まあ。内務班では、ずらりと並んで食器を置くと、おかずをくれ飯をくれてそうして食べた。おかずはサツマイモのようなのがおかずだ。きっちり量って、量ってくれます。たくさん食べようとしても、目配せしてたくさん欲しいと言った。こんな平たい容器に飯をきちっと盛ってくれて、それでそれ以上はたくさん食べられないになっていた。

空腹になったとか少しそんなことはまったく無かったですか？

ええ、ええ～、そんなこと。ありました。

もしや、勤務していた内務班の施設がどうであったか覚えていますか？

内務班の施設はひどいものでした。部屋があって。部屋がまあ、いうならまあ火も焚いてボイラースチーム、スチーム、スチームそれで沸かして。それは熱かった。施設はひどかった。

もしやその部屋は、タタミ部屋でしたか？

そうです。すべてタタミ部屋。

その部屋の大きさはどうでしたか？

5人が一部屋に。

勤務時間は何時から何時でしたか？

朝6時起床。洗面、食事して7時に点呼。点呼後すぐに勤務。午後6時まで。

では6時まで仕事をして、その後の時間はどのように過しましたか？

その内務班にきて集まって、集まって飯を食べ、寝て、また日直の人は日直して、宿直の人は宿直する、そんなです。

はい。風呂の施設は良かったのですか？

その内務班の中に風呂がありました。浴場と浴場施設は良くできていました。そこもスチームのようなのが入っていて暖かい水もよく出るし。けれど化粧室、小便大便するところ。スチームを入れないとできない、寒くて。凍って凍えて、大変なことになる。

7時から6時まで勤務し、6時以後の時間は、ずっと自由なほうでしたか？

その食事までは自由ではありません。内務班で食事はきっちり命令どおりにします。命令でなくてはいいけない。で、6時にきっちり終わり、風呂に入って飯を食べ、いうなら食後は自由時間です。

夕食は何時でしたか？

6時。6時に終わり、風呂に入ってからすぐ食事します。

外出はどれぐらいされましたか？

外出は日曜日。またはあの国慶日の日。あ、日本の奴国慶日だけはしてくれる。特別にまた自分がどこで何を買いいたいといって、酒保¹⁰¹⁾という酒保。ソ、ス

101) 酒保：酒を売る人の意味に由来し、兵営内あるいは軍艦内で日用品、飲食物などを取り扱う売店。

ボ、軍用品を売るところがある。他のところでは高いが、そこは税金を免税するからとても便利なのだ。なにかを買うときは外出許可をもらい行った。酒保はそのまま部隊の司令部のなかに酒保がありました。大きいのがあった。

司令部内にあるその酒保、そこで軍から受け取った月給で自由に物品を買えたのですか？

行くとんでもあります。百貨店です。

そこで、月給はひと月いくらぐらい受け取りましたか？

その当時の月給は170円か、60円だったかをもらいました。

170円か160円？ それでは160円か170円ですと現在の金に換算するといくらぐらいになりますか？

現在もくると、300万円か250万円程度でしょう。

それをどのような形で受け取りましたか、月給を？

会社でその封筒でくれます。全部。

そのお金を受け取りおもにどのように使われましたか？ 家にも送金しましたか？

それは私が、私が使いたいだけ使ってから貯めておいて、あの旧ソ連だったときにそれを集めてまたこれはそのままボーナス***スコロ タイ¹⁰²⁾ですよ、ボー

102) ロシア語でスコロ タイ (скоро дай) はよく使われる表現ではなく、しいて韓国語に翻訳すると、“すぐ、くれ”程度に解釈できる。いうまでもなくボーナスが早くほしい、という意味で使われる表現は、ヴィストレイ プリミュ (дай быстрей премии) の程度となるが、ロシア語が上手でない口述者が、“スコロ タイ”といった時にお金を受け取ったので、口述者はその文章をそのままボーナスという意味に思ったようである。

ナスをくれる。30、30円ずつ送るとそれをためて900円を貯金したのです。

あ、この900円を？ とても多くされましたね。ではボーナスはいくらほど受け取りましたか？

うん、1カ月にボーナス30円。ボーナスといわずに、賞与金といわないで間食しなさいという、間食を。食べたい食べ物を買って食べろ。それで毎月30円ずつ月給以外に別途くれました。

そうすると当時としてはとても大金でしたね。とても大金でしたでしょ？

その当時にどうして大金ですか、その当時。最近の公務員の月給が300万円から250万円程度。その当時はその程度になるかもしれないが。大金ではない。

先ほどの外出したときですが、誰に許可を得なくてはいけませんか？

直属の所属長に。経理部に部隊長まあ庶務、庶務主任じゃなく、自分の6人なら6人、10人なら10人がいっしょに勤務するその所属長です。

その所属長は日本人でしたか？

日本人。朝鮮人のわけがないでしょう。

200円ほど受け取っていましたね？

それぐらいです。そして先ほどその中からこれを差し引いて、また受け取る前にまたなにの宴会費と、ひとが行きます、いわばそこに少し、少し高位の人がひとりくると送別会をしてあげます。それもその月給から差し引く。その送別会の金がたくさんかかります。内務班で、食べ物は内務班で準備し、金はまた私たちが出して、そう。内務班でしてその内務班長がすべて購入した品名を記して、月給からきっちり差し引きます。酒は正宗を飲んだから。すべて正宗にしたから高い。

もしやそうして貯めたお金をここにすべてこのように貯蓄して、もしや現金で所持されていたのはなにもありませんか？

解放になって出てくる時は、捕虜収容所から出てきたんだ。金はすべて押収され、私が持っていた金は20円ありました、20円、ハハハハハ。

おじいさん（ご老人）、その部隊の捕虜収容所にいつからいつまでいましたか？

捕虜収容所には3日間しかいませんでした。

あ、3日間しかいらっしやらなかった？

はい、あ、ですから。私たちは奉天の四平街¹⁰³⁾でソ軍の捕虜になりました。ですが解放になっていたのにそれも知らなかった。それで汽車、無蓋¹⁰⁴⁾汽車に乗せられ、奉天にきてそのまま捕虜収容所から出ると解放になっていたのです。

捕虜収容所へはどのように行きましたか？ 誰かが連れていきましたか、そこへ？

ソ軍の捕虜になったじゃないか。

ソ連軍捕虜に？ あ、ではその部隊の日本人はすでに去っていませんでしたか？

だが、その部隊長と全部みんなそこで私たちはあのもう、無蓋車で荷物を運ぶ無蓋車、石炭も運ぶその上にはこんなのがあつた。天井を覆っていない汽車、無蓋車に全員我々を捕らえ乗せた。そしてそのまま来て、そうして来て捕虜収

103) スーピンジェ（四平街）：現在の地名はスーピン（四平）、Sipingで中国チーリンション（吉林省）西南部にある都市。

104) コペ：屋根のない汽車、車の慶尚道方言

容所に入ってきたのだ。

ではその部隊の日本人は、すでに逃亡していなかったのですか？

まあ、ただ、なに。日本の奴は全部すべてまあ。だが日本の奴で現役は、この星たちは現役は全部すべてその捕虜となって出てこれなかった。捕虜収容所に入るとモスクワから来たという朝鮮女性がだ、演説したんだ。朝鮮人たち、全員出てこいと。それで私たちが出て行くと、太極旗をくれながら、模型をくれながら太極旗を描いて付け、名前を韓国人名を書け、と言った。これを付けろ、そうして、その女性が演説した。西塔¹⁰⁵⁾へ行くと飯も無料でくれるし、また出て行くのも全部すべて無料なのでそうしなさいと。それですぐ、西塔行って解放になったことを知ったのです。

はい。ですが、もうその日本人達は逃亡していなかったのですね？

逃亡は誰ができるのです？ 逃亡する余裕があったものか？ 軍人達は全員出てこれなかった。捕虜となり。

ソ連軍は、その部隊内の軍属達、軍人達全員をその捕虜収容所へ連行し、ソ連軍が連行したということですね。捕虜収容所までは。そしてそれは先ほどの列車に乗って行った、ということですね？

その無蓋車に乗って。そのままもう捕虜になった。ウム、だから、あの遠いところからソ連軍が機関銃鳴らしたので身動きもできなかった。ウム、それでそこにソ連軍が乗ったまま奉天駅に到着して四平街で。奉天駅に到着し、奉天駅からそのまま無蓋車でそのまま捕虜収容所へいっしょに入ったのです。

では捕虜収容所は、奉天の近辺にあったのですね？

105) 中国シェンヤン（瀋陽）のシーター（西塔）

捕虜収容所は、奉天のキュウハチロクブタイ¹⁰⁶⁾という飛行場です。飛行場。キュウハチロクブタイ、キュウハチロクブタイ飛行隊、飛行隊。そこへ数千人、数万人が捕虜になっていたのだ。そのままたくさんテントを張ってです。

ではそこに集まった捕虜は、およそ何人程度いましたか？ 何万人でしたか？

少なくとも奉天、そこには少なくとも数万人、なにまあ分からないが。それはまあ数万人はいただろう。私たちその時数万人いた。日本人が死んでですね、入れられ死にました、自殺してです。そうしてまあ、そのまま、死んでしまうとちょうどその横が飛行場なので、広がった。そのまま掘って埋めました、そのまま。

そこに入ると、滑走路に全員すべて捕虜がこうずらりと座っていたのですね？ つまり日本人もいるし、朝鮮人もいるし、全員いっしょで？

そうです。だから朝鮮人達はそこにきっちり入れられて、不安な気持ちでいたが、モスクワから朝鮮女性、背が少し高くて制服を着てさっと現れ、朝鮮人がいるなら出なさい、と。そういつてすべて放送したんだ。それで。だから朝鮮人は全員行った。すると日本の奴がですね、朝鮮人だと。そいつがたくさん出てきました、日本の奴の軍属達が。軍属は日本の奴らも出ました。現役だけそこから出てこれなかった。だから私たちが先に出てきて、日本軍属は全員審査を受けて出たでしょう。

満洲のこの部隊にいらっしゃったとき、関東軍にいらっしゃったとき、もしや慰安所が部隊内にありましたか？

そのときチチハルに慰安所、それは経理部所管です。経理部所管だがこの慰安所にモブ、日本の奴モブ、モブ、モブです。日本の奴の軍隊、軍用モブがある。

106) 986部隊：奉天にあった7陸軍拘禁所

モブ。あの化粧紙、コットン¹⁰⁷⁾、その慰安所で必要な軍用品（を）その、経理部で供給します。それでそのチチハルに慰安所があって、第1慰安所、第2、第3、第4、第5慰安所。5カ所あります。第3慰安所までは日本の奴、全部日本の奴が使用し。いや、第2まで日本の奴が使用した。第3、第4、第5は朝鮮女性が全部当時に。そうして第1慰安所は将校しか行けません。その第2慰安所は下士官、上士ということで、近頃ならヘイチョウ¹⁰⁸⁾とかゴチョウ¹⁰⁹⁾とかで、ですが兵卒達は第2慰安所と第5慰安所を使用する。そのまま自分の思いどおりだ。将校も朝鮮女子達のところに来ることもあるし。ええ、それは自分の思うまま。

おじいさん（ご老人）も、そこへもしや行かれたことがありますか？

私は供給しに行きました。はい、その化粧紙、そういう類のものを配りました、その、その時は食べ物物が希少で全部配給でした。配給物品を運び、慰安所に供給に行きました。

するとそこへ化粧紙。コンドーム…

コンドーム。またカゴとか、貴重品があるでしょう。日本の配給品。社会で使う配給品、その当時、あれこれ、そういうものを供給する。

はい。ではもしや1から5慰安所まで、すべて行けましたか？

行きました。その市内に第1、第2、第3、第4、第5慰安所。そこは憲兵がおもに憲兵が管理します、慰安所は。

憲兵が管理するのですか？

107) コンドームを指すようである。

108) 兵長

109) 伍長

そう、満洲人がよく来ます。満洲人がくるとあの性病が、病気がすごく蔓延する。あれこれつく。その病気を防止するため。満洲人が絶対にこられないよう、外国人が絶対にこられないようにした。その、その機密が流失するというのだ。日本人憲兵がそこを監理もし、歩哨も立ち。

はい。その慰安所に女性達は多かったですか？

ひとつの慰安所に約20人から30人。もっとも小さいところは15人。

人々は慰安所をたくさん利用しましたか？

あの日本の奴の天皇。天皇。その4月29日がケンチョウセト¹¹⁰⁾で公休日だった、天皇誕生日¹¹¹⁾だった。その時は良い日です。公休日です。その時は部隊にいる軍人たちが全員すべて出頭しました。その良い日だから。日本人天皇誕生日だから。慰安所にずらりと列をなして列、ずらりと列をなして立っている。それで私が配給品を持って行って聞きました。慰安所の中でも一番の、いうならその管理責任者がいる。その慰安所女子達が悔しいこと辛いことなどを、その慰安所を管理(する)人に言って憲兵隊に言って苦情をそうした。それで聞いた。それなのに、その日は4月29日の日は、列になってずらりと並んで、ひとりの女子が58人を受け持つんだ。ええ、それが最高、そしてその女子が、それ以上は受け持てないと言うんだ。

誰からそんな話を聞かれたのですか？

軍人達。

110) 天長節(てんちょうせつ): 天長節(テンチョウセツ)を誤って発音したようである。第2次大戦が終わるまで当時在位した日王の誕生日をさす名称。

111) 前日本天皇裕仁(昭和)の誕生日

その日58人の軍人を受け持ったというのは、日本人女性や韓国、朝鮮人女性も同じですか？

その日は、とても将校や下士官や兵卒たちで、もともと人数が多いからだ、うん。それは朝鮮第3慰安所でそんなことがありました。おもに、その慰安所を経営する人達は請負業者だ、請負業者。朝鮮人は朝鮮人で請負業者が募、募集してくる。あのソウル、ソウルや国内の遊郭あるじゃないか？ 遊郭の娼妓。その人達をすべて連れてくる。殴られ殺されて。

そんな話を聞いたのですか？ 運営したひとはつまり朝鮮人ですね？

朝鮮人。日本の奴も全員すべて日本で娼妓だったひと。朝鮮人もそう。

遊郭で募集してきたという話は、その慰安所の運営者から聞いたのですね？ その女性達に直接物品を配りながらその人たちの顔をご覧になったこともあったということですね？

まあまあ、娼妓達はまあ可愛いものもいるし、まあそうでないものもいる。ホホ。

年齢は何歳ぐらいにみえましたか？

おもに30歳以下だよ。30歳以上の人はいない。

もしやおじいさん（ご老人）と話を交わしたことはありますか？ どんな話をその人達はしましたか？

まあ、話まあまあ、ほかの話がありますか、身世打令だよ。

ではどうして自分はここに来た。そんな話をする人はいましたか？

はい。親友にだまされ自分はこうなってしまった。大部分が親友にだまされそのまま…

その人達に、その慰安所へ行っても良いという利用券を切ってあげましたか？

慰安所は切らない。自由に。金1円だ1円。

1円渡すと慰安所を利用できましたか？ あ、その利用者はおもに軍人達でしたか？

おもに軍人達、軍人、軍属。

慰安所は、部隊内にありましたか？ 外にありましたか？

ええ、慰安所は市内。車でしばらく行かないといけない。

その慰安所は、軍隊で運営する慰安所でしたか？

ちがう。司令部で運営する。そのチチハルにその第3方面軍司令部がある。そこへ軍人達のためにそういうのを設置したんだ。

3方面軍司令部で運営した、という話はどのように知りましたか？

私達は経理部にいてその供給をした。石鹸やコンドームやモブとか。

慰安所責任者は日本人でしたか？ 韓国人でしたか？

いいや、朝鮮人慰安所は朝鮮人が、日本人慰安所は日本人が。

おじいさん（ご老人）、もしやそこへ最初に行ったその部隊ではなく、他の部隊へ移動したことがありますか？ そのまま最初に行きずっとその部隊におられたのですか？

はい。そうだ。その部隊内に。

その部隊内に継続しておられて。そしてご老人、その貯蓄があるではありませんか？それを貯蓄するときその部隊内にこんな郵便局がありましたか、別に？

その司令部の中に軍事郵便係がありました。私達の部隊内ではそこでは取り扱いしません。その司令部内に。

受け取れずにそのお金を誰かが自動的に差し引き軍事郵便局に自動的に貯蓄するようにしたということですね？

ですが司令部内にこれを取り扱う課があります。貯蓄してからいうなら通信庁へ行くんです。

この郵便貯蓄を担当する部署、司令部内はどんな部署でしたか？

ひとが4、5人座って仕事するところ。なに課だったかな、それ、経理課かで受け持ち通信庁へ渡すんだ。

先ほど捕虜収容所にいらっしゃり、40何年度に帰ってきたとおっしゃいましたが？

45年8月25日だったか、24日だったかはっきり覚えていません。そうして捕虜収容所から出て来たんだ。

出て来るとき、もう出てよい、という許可証のようなものを受け取りましたか？それともそのまま捕虜収容所から出たのですか？

朝鮮女性がソ連モスクワから来たと言って、全員朝鮮人たちは出て来るようにと言って。ここに太極旗をつけ名前をつけ、それで全員が出て来たから、そのまま続々と外出証なしで出るようにした。それで出てから西塔に行けば、西塔というところへ行けば、全部すべて受け入れることになっているから、そこへ行きなさいと。奉天に西塔というところがあります。

では西塔へはどのように行きましたか？何に乗って行きましたか、西塔まで？

西塔まではそこからそんなに行きません。歩いて行く。距離は約、約30分以上歩きました。それで西塔に行ってそこには朝鮮人村があったようだったが？全部朝鮮人が住んでいるところ。その西塔に朝鮮人連盟があると。

はい。朝鮮人連盟。新義州行きの列車票を全員に1枚ずつくれましたか？ですがこれに見ますと、45年10月と、おじいさん（ご老人）は45年10月にその汽車で新義州へ行かれた、とありますが？ですがおじいさん（ご老人）は先ほど8月25日とおっしゃいました、8月ですか？それとも10月ですか？

西塔でだから1か月ほど滞在したんだ。あまりにも人がおおぜい押しかけたので順番で部隊にして汽車に乗ったから。宿舎は学校の教室をあけて教室に100人、200人が寝たんだ。

奉天駅から新義州まで行ったのですね？

奉天から新義州のそこ 丹東（関東）、丹東（関東）といって、新義州の対岸に 丹東（関東¹¹²⁾、丹東（関東）あるでしょ？そこまで汽車で行って下車し、そこから歩いて新義州鉄道まで歩いて新義州まで行きました。橋まで歩きました、鴨緑江橋へ。鉄道を歩いて新義州まで来ました。その新義州にくと新義州に朝鮮人連盟がまたありました。そこで全部配置で（配置を）していて飯も無料でくれ。そこへもう新義州までほとんどくると。治安隊、特別治安隊は憲兵で、ただの治安隊は警察だ。その警察が指示しました。お前はどこへ行け、そのもてなしの酒と飯をいただいて食べてだ。

朝鮮人連盟で特別治安隊を運営していたのですか？では新義州ではどれくらいいたのですか？

112) 関東：関東をわが国の漢字音で読んだ名。翻訳者 ＊当時は安東、現在の丹東では？

新義州ではそこに約10日いて、仁川で物資を運んで38線でぷつぷつ途切れてしまって、うまく越えられない。それでその夜に、仁川から物質を運んで新義州まで来て船に物資をおろし。その憲兵隊で行けない、としっかり捕まえるから、こっそり夜に私達全員はその船に乗船して、夜にこっそり逃亡して仁川に着きました。私が仁川に、その松林洞に行ってみるとその家の主人も、私が下宿していた主人も爆撃を受けて。ハッハ、飛行機に爆撃され家が壊され、その付近に全部疎開していました。疎開を。家を家がすべて壊れてどこかへ行ってしまっていた。とても言葉ではいえない。私が通った会社もどこか行ってしまって無くなり。う〜ん、それでもソウルへ、ソウルまでまた汽車の切符は無料で、仁川連盟で無料の切符をくれました。それでソウルまで汽車で来て、ソウルから釜山までまた無料の切符をくれた。うん。それで釜山にきて馬山まで無料の切符をくれた。それで馬山まで来て巨済島に帰ってきました。馬山から船に乗ります。船に乗るのは切符で乗船して、金を渡して。

そのとき家に、巨済島に着いたのは何月頃でしたか？

だから9月か、陰暦9月頃だった。

そうすると10月頃ですね？

うん、そうです。

家の状況はどうでしたか？

家の状態はまあ〜あ〜なに〜、ひどかったその時。その時の状況はまあ最低だよ。自給生活でした。農業を少し耕して。家族が少なかったから。

おじいさん（ご老人）も農業をされましたか？

できません。したことがないから。

日本に徴用で行ってきて、最近までは農業で暮らしを立てていましたか？

家にいて面議員もしたし面長もした。生計を少し立てた。ハハハハハ。教育議員もしました。そうして歳月を送りました。

軍属から帰ってきてから、その時の生活で一番記憶に残ることはありますか？

一番の記憶は、とりたてて記憶はないけれど、結局もっとものんびりしていたのは、ソ連飛行機が爆撃したときに後退しながら、トラック¹¹³⁾の上に飛んできたので爆撃を避けて草原に寝て、私が死ぬときはどんなふうに死ぬんだろう、とそれが、ハハハハハ。捕虜収容所に行く直前に後退しました。後退して四平街のその村に行って汽車に乗りました。奉天に四平街があります。シヘイガイ、そこから汽車で、汽車、無蓋の、上に屋根がない無蓋に乗ったんだ。それに乗ってその四平街に。ソ軍が攻撃して遠くからしっかり包囲されて捕虜になった。

おじいさん（ご老人）、先ほど後退するときに無蓋車にどうして乗られたのですか？

もう後退だから汽車に乗ってその後方へ後退しなくてはいけなかった。日本軍にソ連がタンク¹¹⁴⁾で攻めてきたのです。四平街で就寝していて、そこで前方をソ連軍が遮断してしまったのだ。それでたちまち捕虜になってしまった。ソ連軍が近くまでまだこずに、遠方から銃撃していたんだ。8月7日か8日、そこ四平街に来た。

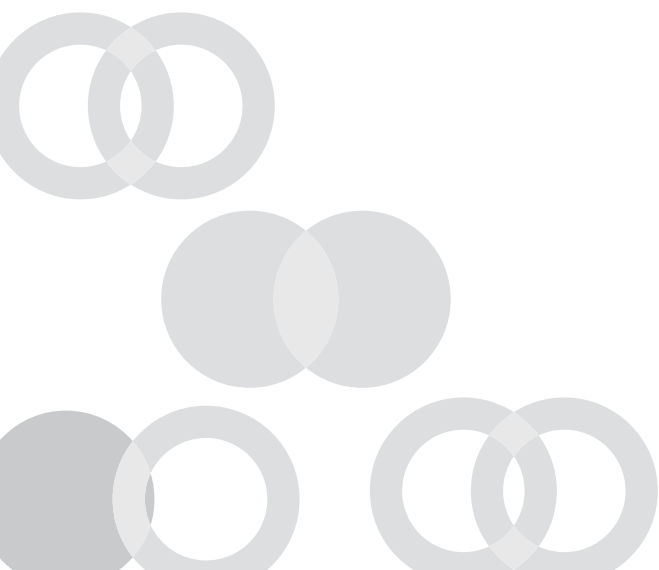
面談者__チャン・ミラ調査官

録取者__キム・ミンヘ

検督/編集/注釈__イ・セイル調査3班長、カン・フィヨン/イム・ドア

113) トラック

114) ソ連タンク



あまりの空腹で髪がどんどん抜けて

金甲天

創氏名	金田甲天
1922.4.4	全北 群山市 助村洞 生まれ
1942.6	陸軍 捕虜監視員として動員され 釜山西面野口部隊で訓練
1942.8	インドネシア パレンバン捕虜収容所 捕虜監視員として動員
1945.8.15	解放後 シンガポール チャンギ刑務所に収監
1945.秋	帰還

おじいさんが捕虜監視員として行った背景、どうして行くことになったのか…

それは、それは昭和13年、私が23歳だが、私は中学校を中退しました。2年生。生活がもう困難で。日本の奴、大東亜戦争のとき、いうなら日本の奴の店員でした。私は日本語が少しできましたから。そこで日本の奴は大東亜戦争が勃発して、行くなら行け、と日本人が。そんな人達は行くものだと。

どこにいたとおっしゃいましたか？

日本人の店舗。そこは食料品などを受け取り配達のようなことを。当時、日本人につかなければ、どう食べて生きていけるんだ。

ですが、誰がそう勧めたのですか？ 捕虜監視員として行く考えがあるのかと？

それは義兄がひとりいますが。その方も亡くなりましたが。その義兄が私に行く意志があるかと。日本人が来て、あれこれするから軍人として行くよりも、そのほうがましでないかと。

そのような話を義兄がされたのですか？

はいはい。それでそうしてそのようにした。群山から200人ほど行きました。

群山から行って、その200人が釜山に行き現地に配置されたのは7人しかいっしょに配置されなかったのですか？

私たち、いわば助村¹¹⁵⁾チョンウ¹¹⁶⁾から友だち7人が行きましたが釜山で合同して。各地から200人も来ていました。もう何千人来たか分からない、捕虜を監視するひとが。それが釜山で、部隊でそれぞれ大きな船のあるところへ行って7階か8階あった。夜だけ行く、夜間だけ。昼間は行かないで。それから飛行機に乗り夜だけ。昼は行かない。ええ、ひと月ほどかかったはずです。シンガポール。

船の名前は分かりませんか？

分かりません。名前は分かりません。

では釜山で乗船してどこへ行きましたか？

釜山で乗って、あの台湾だったか？ 台湾を通過して今の越南はどこ？ どこ

115) 当時、口述者の居住地の村名。

116) 全羅北道井邑の井宇面をいうようである。

だ？サイゴン！サイゴンへ行って一晩泊まって、そして夜だけまた何処かへ行った。そしてもう、そこから熱帯地方なのでとても暑くなり、船酔いがすごくて。そのシンガポールからずっと行って1ヵ月間、まともな状態ではなかったです。

乗船したとき、日本とかあちらの方面から来た人はいましたか？ さもないと、がらんと空いた船に乗りましたか？

[illegible]

臨時軍人軍屬届

からっぱの船に乗りました。からっぱ
の船だけれど、船底には彼らのなにか軍用品などをたぶん積んでいたようだ。
トラックのような、そんなものを載せて、大きな船だった。6千トン級の船。も
のすごく大きいです。そこでご飯もすべて水兵たちがつくってくれました、つ
くって。カンパン¹¹⁷で寝て、船底で寝たまま、行くときは1カ月かかったけれ
ど、来る時は1週間しかかかりませんでした。昼夜ずっと走りっぱなしで。釜山
にくるのに10日ほどかかりました。釜山でもう1日、船で寝て消毒してから夜10
時頃に家に帰りました。

ええ、それでは釜山から出発して到着したのはどこへ…

シンガポール。

シンガポールですか？ ではシンガポールからいつパレンバン…

117) “甲板”のようである。

シンガポールからすぐスマトラパレンバンへ、また派遣されて行きました。

では到着してまもなく配置されたのですか？

そこで、あれやこれや1ヵ月以上、はい、配置も日本人にされるまま、なに私たちはじっとしています。そのシンガポールからスマトラに行くのも、とても遠いです。1日、2日たっぷりかかりました。

その時、スマトラに行く時は何人でしたか？

私たちが行ったのは60人。一小隊といって。私がいたところは60人。60人でインドネシアと黒人たちもいて、さまざまな人種が暮らすところじゃないですか、そこは。まあ日本の国旗をもって歓迎されましたよ。日本が占領していたから。捕虜***監視、ポリヨ(捕虜)たちはそのまま全員がテントにいました。ヤシの木の葉をとって、そこは暑いから1年12ヵ月。暑いから蚊がいるし蚊帳もちゃんとするした、捕虜たちは。そこに約20人いました、捕虜が。あとからまた連れてきて、なにか働かせるため出て、またこちらに行ってなにをして、タイ国へも行き本島、日本本島に行っても捕虜に仕事をさせて、なんだかそんなようでした、働かせて。

捕虜を本島や他の地域に送ったのですか？

はい、はい。仕事をさせるため送りました。

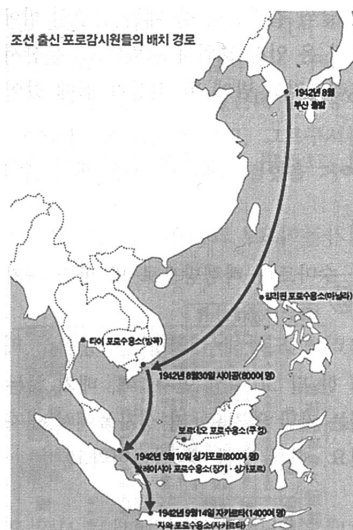
では、シンガポールに1ヵ月ほどいてこのように配置されたということですが、パレンバンへ直接、配置されましたか？

はい。直接、配置されました。そこだけにいました。

スマトラもメダンとかいろんな場所がありますね。あちらへ行った人といっしょに移動せず、分かれてパレンバンの人だけが移動したのですか？

はい。そこだけ60人と小隊長日本人ひとり、中尉といってひとつ、ふたつあるのと。日本の中尉で星がふたつ、それとコチョン(伍長)とかでひとつがいるし。ヘイチョン(兵長)がひとり、軍隊とはそう。その時は、その中隊がどこにあるかも知らないで。それから私たちが小隊に配置しその捕虜を、監視はテントだけにいましたから。パレンバン市内の外出を一回して。そこで2年ほどしてから、もう日本が敗戦し不利だという噂があり、捕虜がそういう話もして。日本捕虜、いうなら捕虜機が食糧をたくさん落としてくれる、ちゃんと書いてあるここは捕虜収容所だと、そ

それで飛行機からみて続々と品物を落としてあげるのです。捕虜に食べさせるため。薬品のようなもの。解放後、日本が敗戦したと同時に連合軍がそのようにして送ったのです。だから捕虜達はとても喜んだ、死ぬほど喜んだ。そして韓国人は絶対に害を加えることはしませんでした。その時まで武装解除もされなかった。連合軍が入ると同時に武装解除させた、それでもう私たちは。現地のインドネシア、とても騒々しくなった。そして連合軍が入ってくると私たちはもう収容所へ、チャンギ刑務所¹¹⁸⁾へ全員入れられました。そこでそうして日本が敗戦降伏し、連合軍がきたのも1年経ってから入ってきました。そのぐらい1年以上かかりました。



捕虜監視員 配置 経路
(図出处; ハンギョレ 21)

118) チャンイ(changi, 日帝時期はチャンギともいった)刑務所: 第2次大戦中は連合軍捕虜収容所として使用され、終戦後は日本軍が収容されたところ。BC級戦犯裁判で韓国(朝鮮)人、台湾人を含め130余人が処刑された。

そんなに長期ではありませんが、ご記憶ではそうなのですね。

ちがいます。そこは連合軍がおそく入ってきました。

ええ、いずれにしても遅れて入ってきました。

捕虜をただちにそれぞれ連れて行った、すぐ。患者だったから。

ところで捕虜収容所に監視員として配置されたとき、日本軍人たちもいっしょに配置されましたね？ 中尉という人、中尉の名前はご存知ですか？

マツオカと。

ではマツオカが、あの釜山からいっしょに行ったひとですか。あるいはそのシンガポールで？

釜山から釜山からいっしょに行ったひとです。私の記憶ではマツオカ、松岡、マツオカフサク、私が知っていることは。

捕虜収容所は、どのあたりにありましたか？ そのパレンバンのどのあたりにありましたか？ パレンバン市内からかなり遠いところでしたか？

すこし遠いです。そう。そこから車で30分ほどして市内に入ります。かなり離れたところの建物です。

では60人が行くまでは、誰が監視していましたか？ 日本軍が？

分かりません、それはよく…誰が監視したか分かりません、そのことは。

ところで、爆撃は多くはなかったですね？

いいえ、3、4回ありました。だから丸く掘ってさっと入り、帽子だけ毛の帽子をかぶり、それから穴の中に入ってこう見ると飛行機の空襲だった、数回。

捕虜たちにも防空壕はありましたか？

いいえ、捕虜たちはなかったです。捕虜収容所と大きな看板を掲げているので、飛行機からはそこへ落とさない。爆弾を落とさない。市内を少し行くとパレンバンで石油調査をしました。そこが石油、石油のボラウジ地区¹¹⁹⁾のようだが。大きな車があった。飛行機が飛んでくると、そこへ数回来ました。あの空襲が。数回きてB29といったが、見ても（見えもしない）のに音だけが聞こえる、少し。その飛行機がつまり物資を運んできて、そうしました。

解放になった時、聞くとところによりますとスミス少尉という人が、英国軍が先に入ってきたという話をしています。パレンバン方面に。そうして、最初にその捕虜監視員であった方たちをそこに収容すると、パレンバンでそうして、朝鮮人だけを集めるという動きがあって、朝鮮人たちが集まるところにいっしょに集めることになったという話をしています。

はい、はい。それは解放になって、私たち朝鮮人は朝鮮人だけいましたが、私たち朝鮮人はマークを付けた。それも太極旗を、手を尽くして中国華僑団が私たちの力にすごくなってくれました。太極旗もそこで私たちがつくりました。太極旗がどういうものか、それも知らなかった。ですが朝鮮人は市内にいて、絶対にしてくれずに。それでその中国華僑団が、こう私たちに教えてくれたのです。今、38線で分かれていることも教えてくれ、金圭植政府がどこにある、そんなことまで中国人が教えてくれました。

その中国人と会ったきっかけや、捕虜監視員でなく他の日本の会社にい

119) バリクパパン(Balikpapan)：インドネシア・カリマンタンチモール州（東ボルネオ州）にある都市。ボルネオ島の最大石油基地のひとつでバリクパパン湾の内側に位置。20世紀初に奥地のサンガサンガ油田が開発され、その積出港として急速に発展。油田からここへ送油管が附設されており、海岸には巨大精油所が多数。この石油業は第2次世界大戦前からオランダ系人のBPM会社が大きく左右している。

た朝鮮人や船員や慰安所にいた女性たちが、いっしょに一度集まったことはありましたか？

それは、ええ、はい、ありました。それは車を待っていたときですが、収容所へまた行って、チャンギ刑務所ですが、大きなそこへ行ってみると、朝鮮同胞収容所と書かれてありました。行ってみると慰安女、慰安女は慰安女でたくさん女性達がいて、いっしょに入って待機していました。監督番号をひとりずつ渡して。そこは待機、待機室です、いわば。帰国させる人たちの待機室。そこで慰安女にも会い、一般の人たちで連れてきた人とか企業体のまあ小さな、ともかく全部すべて収容所にいました。そうしてそこでも約20日以上、1ヵ月ほどかかりました。その番号順に続々に出ることになりました。

どのようにして捕虜監視員だけのところから、朝鮮人だけいる場所へ移ったのか覚えていますか？

その人たちが全員みんな、そこへ車で行ってみると、そう書いてあったそうです。そこへ送ったとのことでした、そこへ。

朝鮮人がいた場所で、自分の故郷とか名前、こんなことをたくさん書きませんでしたか？

書きました。けれどもそこで以北の人は南韓へ送らない、ということだった。以北の人は以北へ送る。以北の人も多数いました。

収容所にいたとき、その女性達がおおぜいいたでしょう？ その時の状況を少し覚えていらっしゃる少し…

集合した収容所にどの程度かという、ともかく南方のあそこにいた女性たちは、慰安所は全員がそこに集まりました。集合所だったから。車¹²⁰⁾は埠頭から

120) 収容所のようなものである。

そんなに離れていなかったです。大きな船が入ってくればそこからいくらも離れていなかったです。約100メートル？ それくらいしか離れていません。

はい。では、その収容所にいた人たちはどんな人たちで、何人くらいでしたか？

それはよく分かりません。何人いたかは。女性は女性でいたし、男性は男性で別にいましたから、そこでも。そこでは自由に好きなようにつくって食べて、そんな草地で草を取って食べ。そのまま米を少しずつ、飯を少しずつくると、そこでめいめい簡単につくって食べました。

そこへ集まった女性たちは、どんな女性でしたか、それを覚えていらっしゃいますか？

おもに慰安組（女）が多い…

おもに慰安組（女）ですか？ すると他の人もいましたか？

そこへいっしょについてきた、あれはなんというか商売人、そんな人もいたようだ。そうだな、どういう商売かは分らない。女性の商売じゃないかな？

女性の商売？ すると一種の業者ですね。

そうだ、それは。

慰安婦ではないけれど、ともかく慰安所に関係する女性のようにだった、ということですか？

そうです。はい。よく考えてみると、そうだったようです。はっきりはしないが、そうでなければ、そこまで来るどんな必要がありますか？ そうじゃありませんか？ 軍人じゃないなら軍属なのだから。

外出するとき、パレンバンは大都市ですよ。大きな都市で、朝鮮女性でほんとうにこんな女性商売でなく、ほんとうに一般の商売とか、さもなくば商業する男性、男性が夫である女性とか、そんな女性…

そんな人もいたようだ、いたし。日本の奴は日本女性がついて来ました、慰安女。日本の奴は日本の奴しか行かない。朝鮮のところは行けない。朝鮮人だけが行く。そこに商売人たちも少しいたかもしれない。そこまでは分からない、私たちは。

朝鮮女性で、パレンバンでそういう仕事ではなく、他の仕事をしている女性に会ったことはありますか？

それは会いませんでした。朝鮮女性がそうなら、朝鮮女性なら、ほとんどおもにその女性だけです。そこに行ったのは。そこで商売とかはありません。

日本女性が少し多いですか？

日本女性はそれほど多くありません。私が、私たちが行ったときは朝鮮慰安婦が約30人いました。しかし日本の奴、日本の女は別にいたがそれは少なかったと思います。

30人いたというのはどこで、30人。つまりパレンバンにいた？

ええ、女性は約30人いたようです。私は見ましたから、そこに来た女性。女性たちも涙をながし騙されて来たと言っていた。ひどいあの日本の奴らの時代だったから、身動きもできなかった、あいつら軍人の相手をしろと。ただそのことだけ知っています。他のことは、市内へむやみに行けないから。

市内もむやみに行けなかったですか？

はい。行けません。危険なので。敗戦後に日本の奴らも大勢そこへ逃亡し、あのインドネシアが、最後にはただ市内に入ってくると殺したりしました。むや

みに出られなかった。夜間は絶対に出られないし、昼間にどこかへ行ったりしました。品物を買うところもなく。

捕虜監視員をされるとき、つまり日本が敗戦する前、そこはどうでしたか？

日本が負ける前は市内に出かけました。大丈夫だった。なんでも食べ物、バナナのようなものも、今ならこの金で10円出すとこんなにくれたので食べて。

その時は、おもにどこへ行きましたか？

行くところなんかないでしょ。

そこで娯楽とか…

ありません、何も。はい、ただ行って、そのまま少し慰安婦のところに行ってそのまま帰ってきます。それも時間でそうして。

何人ほど、そうして行きますか？

1回出ると部隊ごとで、私の部隊は15人。60人だと外出は15人ずつ？ 10人？そこを守らなくてはいけないから。全員は外出できないじゃないですか。捕虜監視員は交代で出かけます。

ひょっとしてその慰安所にいた人たちを、あとで待機したその朝鮮同胞収容所というところで会ったひとはいませんか？

そこに行ったからみんな会うでしょう。顔だけを見てあの女性だ、そうして。けれどもその女性たちが全員そうなのか、そうでないのか分からないが、おもに慰安婦が多かったということです。でもその慰安婦がいたとしても、私に分かるはずありません、それは。

パレンバンで待機したとき何人だったかも、あまり覚えていませんか？

それは数百人程度だった。私がみたとき、男性がおもに多く、女性はそれほどいない。おもに女性は慰安女だけだったから。女性はそれほど多くなかったようだ。そうでなければ他の場所で待機していたかもしれないが。

太極旗と金九のことを聞き、38線のことを聞き、それはどこで聞かれましたか？

それは中国僑胞がいます、シンガポールに。

シンガポール朝鮮同胞収容所にいらっしゃったときですか？

はい。そこシンガポールで。あ、パレンバンにも中国の奴がたくさんいました。中国人が。私たちそのひとりが通訳もよくできました、中国人、通訳しに。その人達と知り合った私たちはそれを知ったのです。

あ、朝鮮人で中国語の通訳ができる人がいたということですか？

はい。他のひとはいいませんが、あのチャンギ刑務所でも、通訳官は朝鮮人で通訳してくれました。私たちに。こう通訳官がきて、私たちが出てくるとき、彼らはどうしたかという、赤い紙と黄色い紙、青い紙非死刑（ミスは）、赤い紙は死刑、赤い紙に名前が記された奴は死刑です。その人が教えてくれます。白い紙で名前を呼ばれると釈放されて出られるだろう。通訳官がそう教えてくれました。

それでは、少しの間、パレンバンにあった朝鮮同胞収容所から女性や一般の人たちは、シンガポールへ先に行ったではありませんか。残ることになったとき、どのような経験をされ、ふたたびシンガポールへ行くようになったか、一度お話ししてください。

解放後、そこですますたいへんで、それから節目がたくさんありました。私も生きるか死ぬかの問題でしたが。そこにも連合軍が入ってきました。私たち

全員を整列させ服を脱がせ写真をすべて撮りました。そしてまた数日もせずにまた捕虜がきます。捕虜がきて、連れていた捕虜が全部みんな選り出せ、そうしたのです。クジビケ¹²¹⁾してそいつを連れて行くと死にます。死んでしまった。戻ってこない。だから捕虜監視した者はたくさん死んだことでしょう。たぶん私が見たときは。私たち60人中でおそらくそのとき、帰ってきたとき半分程度しかいなかったから。私たちがいたその部隊は、60人中で彼らにクジビキされた人以外では30人しか残らなかった。そう、死んだのか生きてるか分からない。ものすごく厳しかった。そのまま、捕虜監視は。とにかく捕虜たちがきて。その時、頬を1回殴っただけなのに、そのひとつがしっかりひっかかった。私達がそのことを知らなくても、彼らはすべて知っているのです。とにかくあいつがどうであったか、私たちはよく分からないが。ですが大勢が死んだでしょう。そうするとそいつは分からない、どこへ行ったのかも。そればかりは私も分からない。

そのように数回検査を受け、その次にどうしてチャンギへ行くことになったのですか？ その検査をした後にある人は呼ばれていき、残った人は…

残った人はあの米軍、あの連合軍が連れて行きそこに収容されました。船に乗せて連合軍がその収容所、シンガポール収容所に連れて入れました。

その収容所には、日本軍も朝鮮人もいっしょで全員でしたか？

はい、全員いました、はい。朝鮮人は朝鮮人でいて、また日本は日本人でいて、その死刑台がありました。死刑囚がいて、日本の奴の僧侶も来ているし。日本の奴がおもにたくさんいました。朝鮮人はそれほどいません。もう外にも出られず、そこにそのままずっといろ、といわれればいて。朝、昼の2食は準備

121) クジシケン（首実検）：旧日本軍の捕虜になった連合軍軍人に捕虜虐待等で嫌疑のある捕虜監視員達を選ぶため用いられた方式。捕虜監視員達を一行に並ばせ、捕虜達が対面して嫌疑のある人達を指差した方式。

してくれた、それで捕虜船¹²²⁾がくると始終、上のほうで名前を呼んだ。20余人がきっちり呼ばれ、私の名前がちゃんと入っていた。そいつらが座っていて。そしてそいつが来いという、とても大きいので監房は一部屋ずつみんなありました。2人で使用する部屋が。それで、それが、連絡するその人が来るときようもここで寝て、通訳官が毛布1枚とレーション¹²³⁾というのか、まあ食べ物、それはみんなありました、それをひとつずつくれた。いいや。そこで1日ずつ寝て、その日に車が来ました。その収容所、船が、朝鮮同胞収容所まで来てくれました。ここまでは私が確実に知っています。

その朝鮮同胞収容所はどこですか？

シンガポール。

そこは朝鮮人だけが集まりましたか？

そうです。朝鮮人だけいました。解放になって日本人と朝鮮人は別々にいました。日本の奴は日本の奴同士。よく分かりません。そこにいないので。日本の奴の収容所は他のところにあったから。軍人たちがいたのでそいつらがどうなったか分かりません、私たちは。私たちは収容所だけにいましたから。朝鮮人だけ、女性、男性。

**すると解放になった年も、その収容所に長い間いらっしまったのですか？
勤務して？**

そうです。だから連合軍が来るまでそうでした。1年ぐらい。その当時、連合軍

122) 捕虜船

123) Ration:米軍の戦闘食糧で第2次大戦当時、米軍を勝利に導いた3大物品（ガーランド小銃、レーション、ジープ）で、ひとつとして呼ばれる。第2次大戦から韓国戦争まで出された戦闘食糧をレーション(ration)と呼びA,B,C,Kレーション等があり、C-rationがもっとも知られている。

がきて命令がないと、日本の奴もいっしょだったから。そうして日本の奴は日本の奴同士で行った。その小隊長というひとは死んでしまった、そこで。自爆したということだった。あの伍長かなにかはどこかへ逃亡してしまった。

チャンギ収容所ではどのようなでしたか一度、すこしお話してください。どんな人達がいる、人数はどの程度で、期間はどれぐらいだった、というようなお話を…

捕虜を監視した人達がそこに入れられた、一部屋に全員をいれないで。私がいたところでは約30人いました。また他にもいたし。また日本の奴は日本の奴同士で別にいたし。そのチャンギ収容所はものすごく大きい。死刑台もちゃんと設けられて。だからどこにいるのかよく分かりませんが、とにかく広いことは広い。

そうすると、建物はきっちりありませんか？ 建物はきっちりありますか？ テントですか？

チャンギ刑務所？（はい）チャンギ刑務所は大きな建物です。建物は、すごく大きいです。レンガ建て。とても大きくて門にはすべて電気を通してあって、門を開けばがらんがらんと音がして。その中に入ると構造はどうなっているのか、どこがどうなのか、全部が鉄条網になっていて、脱け出して死んでも分からない。いいや、分からないだろう。自分がいたところだけを知っている。一度出ると、どこがどこだか分かりません。とても大きく建ててあるので。さらに運動場が別にあり？ 中間、中間に。その刑務所はとてつもなく大きい。そこへ全員すべて収容所に入れられたんだ。南方入隊軍人はそこへ全員がいったん行きます。収容所へ。チャンギ刑務所に入り、そこですべてが処理され、殺す奴は殺され、連合軍も全員そうして。

そこには、どれほどいらっしまったのですか？

そこで約1カ月間、28日間、私はそこにいました。28日。

そして船に乗って帰ってこられたのですか？

あの大きな船、乗船して。あの連合軍のあの船、日本の奴もいっしょに。日本の奴が船をもってきました、私たちはその船。

船は日本の船のようでしたか？ 船名は分かりませんか？

分かりません。それは分かりません。日本の奴たちがいてそいつらがみんな話していました。他の人たちは捕虜を監視し連合軍に罪は無くそのまま故郷に送るから、そのように承知して釜山までは連れて行ってあげる。以北のひとはそうできないと。

釜山にくる時は、日本などへは寄らないで？

寄りません。直接来しました。

乗船した人は全員朝鮮人たちでしたか？

はい、はい、朝鮮人。女性達と。

女性も乗船しましたか？

そうです、そこへ女性もたくさん乗りました。

チャンギにいた人たちだけが乗船したのではないようですね？

いいえ、そこの人です。番号を1人ずつきっちり入るときにくれるじゃないですか？整列して女性も大勢乗って、男性も大勢乗った。朝鮮人だけ乗船しました。

チャンギ収容所にいた人だけ乗船しましたか？

そうです。そうです。

すると、女性達はチャンギ収容所でも大勢いたということですか？

多かった、大勢。

その女性はどうな女性たちでしたか？

分かりません、それはもう大勢でした、とにかく。

チュロンでなくチャンギとおっしゃいましね？

うん。

そこに女性達が大勢いたのですか？

集合所に集まって、私がちょっと見たときは待機名簿を見たようだが、どこで見たかも分からないが、船は満員だった。また他の場所で乗せて来たのかは分からない。けれども乗船するとぎっしりでした。

それは何月、いつですか？ 何月ですか？

何月か、秋、秋です。私が家に帰ってきたとき秋、稲穂が黄色く輝いて。でも私は夜に帰ってきたので分からない。とにかく稲穂が黄色く実った秋だった、私が見たときは。群山の助村だったはずだが、そこの稲が、稲穂が黄金色だった。夕方の夜だったが陽光¹²⁴⁾が見えたんだ。

いっしょに到着した人はいますか？

いません。私だけです。その村、私たちの村では、群山では、群山で降りたかもしれないが、数人。私の村では私以外にいません、帰ってきた人は。あとからまた帰ってきたかもしれません。

124) 月光を意味するようである。

最初に行ったとき7人というのは、群山のひとが7人ですか？

そうです。群山のひとだけ7人で。その人達はみんな分散して、それぞれそうだったのも私に分からない。出てくるときも分からないし帰ってきたか死んだかも分からない。

ええ。船をおりたときに交通費などをくれましたか？

なにもありません。裸になって帰ってきました。毛布1枚だけしかなかった。着ていた軍服と。暑いからなにも必要でなかったし。

釜山から群山までどのように来ましたか？

汽車で来ました。

どなたのお金で？

金はありません。そのまま無料です。群山までそれは。

そして帰国して下船して、お金をくれたとか、そういうことはありませんね？

はい、ありません。ただ飯をひと匙くれ、身体ひとつで送り出されたんだ。そのままたにも無しに。でも汽車はそのまま無料だよ。私は群山に下車して家に帰りました。家でも誰も知らない。私が帰ってくるのか死んだのか、数日して到着してから、家では夜分だから分かるはずもなく。それまでは通信できました。日本が敗戦してぷつぷつ途切れてしまった。もう家には知らせはないし、そのまま。もう死んだのか生きているのか分からない、家では。そのまま数年間は。

先生だけ軍服を着ていましたが、他のひとも同じように1銭もくれずにそのままそうして全員を送り出したのですか？

はいはい。そこでその捕虜にすべて奪われてしまった。何回も調査したんだ。

指輪であれ、なにか持っているとして出せ、とすぐ。金みたいなものを持っていると。それを奪われ、たくさん奪われた。奴らは、すべて出せ、といって。あるもの全部出さなくては。出さないと殺されるからどうする。

ではパレンバンでそうだったのですか？

パレンバンから出るときそうだったし、チャンギ刑務所でもすべて搜索された。ええ、彼らが言った。お前たち、それ全部、捕虜からもらったものを差し出せ。もしもここで調査して出てきたら、それは厳罰に処する、と言った。みんなすべて。私みたいなのは何かを持っていればの話ですが。他のものとかそんなものを、もしや欲が出てなのかは知らないが、そんな人達はたくさん死んだでしょう。多分、捕虜をむりやり扱った奴らも。捕虜たちは写真を撮って何度も回りながら、そうしたんだ。

その人たちは、どこの国の人たちでしたか？

連合軍がおもで、あのオーストラリア¹²⁵⁾。オーストラリア人がすでに連合軍にそんなことを話したから分かるでしょう。オーストラリア人と。

あ、先生は英語もおできになるのですか？

その時、私は正確には分らないけれど私が一番。見るとすぐに、あ、あれは英国の奴、あれは米国の奴だと分かった。たいがいそうして、またそれはおもに連合軍がそういうことを厳しくしたから。それは徹底していた。

ではパレンバンに入ってきた連合軍は豪州軍でしたか？

あのオーストラリア、連合軍にオーストラリア人が多かった、そこは。その人たちがたくさん。英国人はそんなにいませんでした。オランダ人はいた、あのイ

125) オーストラリア

ンド、インド人も少数。インド人も軍人も髪の短いひとと短くないひとがいま
す。そういう人はほんとうにおだやかです。こわそうに見えても。

待機収容所とチャンギはどのような違いがあるか少し教えてください。

待機収容所は埠頭のそばにあり、刑務所は市内にあります。

シンガポール？

シンガポール市内に、チャンギ刑務所というのは。シンガポールは要塞じゃな
い。そこに入ろうとするとあまりに小さい。どうなのか、船一隻がやっと入れら
れるくらいです。そうでしょう。両側はすべてジャングルで、そしてワニがうじゃ
うじゃいる。そこを少し、うん、何時間だったか？ ともかく7、8時間ほど行かな
くってはならない、おそらく。それくらい船が入っていかなければならない。そう
すると太平洋に面する。要塞に入ったんだ、この両側に大砲を埋めておくと太
平洋からくる船はダメ。すべてそれを用いて鏡に反射されて地下砲に日が沈む
と。日本人はまったく入って行けなかった、そこは。そこがどうなったかとい
うと、シンガポールの後方にきて米軍、米軍、連合軍がもうともかくぎっしりとそ
こに軍隊がいたのに、後方から押し寄せたという、日本が。そうして捕虜を全
員捕まえた、そっくり。戦闘もせずに。日本が宣戦布告と同時に押し寄せて来
たので。そこでこんな話をすべて聞きました。もうそこから出てきてパレンバ
ンへかなり行かなくてはならない、いったんそこでしばらく。このシンガポール
のパレンバンはこのようになっているじゃないですか。ここタイまでかなり行
かなくてはいけない。そこで日本が敗戦したから刑務所にみんな入れられた。
私たちは、日本の奴は、そこで刑務所ではないが全員集合した。もう日本の奴
が、ほんとうに日本がそこへ入れられた、刑務所に入った、全員すべて。敗戦
になって。そこにいるときは矯正官も連れていた、多数。その刑務所の中を。
私たちはいったん入られると勝手なことは出来ない。連合軍もその中だけ歩
きまわる。そしてその中で死刑の日、死刑をするとき階段があって、両側に花

壇があって、それも私たちが行って掃除もしてあげて。あいつら、その死刑で使う支え棒をこうして、おばあさんもきっちり座って、そこに座って首をさっと絞めると、扉をすっとおろす、下で。直接そのままそれが出るように火葬室に行ってしまう。

死刑するのも見ましたか？

見ました。私達はそこで。数日間掃除もし、仕事もして。

あ、その死刑台？

はい。その死刑台。それで見たのです。死刑囚がいったん独房に入ると、日本の僧がその日に念仏をあげて食べ物も美味しいものをしてあげます。もう僧が念仏をひとつあげれば、また死刑される。連続でそうする、おもに日本の奴の死刑です。多いようだった、たぶん。そうでなければ、朝鮮人はそんなにいなかったし。

どのように、待機はいつ？

その待機室にいと番号順に呼びました。人たちは呼ばれると車に、船に乗ります。乗船したら、どんな隅っこでも場所をとらねば。

そのとき帰ってくるときに、女性たちを間近に見ませんでしたか？

私がそこから帰って来るとき、ひとがひとり落ちたといいました、船から。でもそれは夜で、人々がウーというので甲板に行ってみると、船が停止しました。停止して大きな河を照らし、人がそこへボートを下ろして引き上げるということがありました。帰って来るとき。行く時ではなく帰って来るとき。それが慰安女です。聞いたことは、誰かがこうして韓国に帰ってもどうにもならない。自殺した、とそんな話も聞いたけれど、そんなことがあったということだけ知っています。

話だけを聞かれたのですか？

はい。話だけ聞きました。ここからシンガポールへ行く時はそれほどかからなかったが、それほど遠くないのかな？ 帰る時は速力を出してなのか1週間で着きました。シンガポールから直接釜山まで。

あ、寄ったところはありませんか？

はい、夜も昼も速力出して釜山へ直行。行く時はパレンバンに寄って、ゆっくりひと月ほどかかったのに。半分ほどの速力で、けれども帰る時はなんなく直行し速かった。だから台湾を過ぎてから暑かった、赤道だろう？ 赤道じゃないのかな。

パレンバンは、大型船がそのまま運航できる港湾都市だそうですね？

はい。港です。でも狭い河幅をしばらく入らなくてはなりません。そしてインドネシアの生活は、おもに都市にいるひとは車もありサリユンギョ¹²⁶⁾もあるし、家もカサ棒を四隅に固定させる、まあそんな程度。行くとそうでした。ですが市内のインドネシアはまた良い暮らしのところは良い暮らしをするようだった。

インドネシアにいる間、インドネシアの人たちと交流はめったにありませんか？

とりたてて接触しません。崔さんも私もインドネシア語を学ばなくてはと思ったけれど、とりたてて接触することがありません。インドネシア¹²⁷⁾と。余裕がなくて出られません。またそのインドネシアの捕虜収容所の傍は一步も近づけません。全部あれで徹底していて。捕虜といっしょにインドネシアと接触できないようにした。そしてインドネシアと捕虜が話をすれば撃ったから。監視員らが撃てという。とても接近はできなかった。

126) 車輪が四個ついている人が乗る馬車。

127) インドネシア人をいっているようである。

そうすると捕虜監視員軍属であるのに銃をお持ちだったのですか？

そこでは銃はありました。捕虜を監視する間だけ銃を持つことになっています。そこで勤務時間のときだけ。弾だけ、実弾もきっちり決められていて。その時だけ5発。弾倉も。そいつを置いて、そこへ持ってきて置いて、外出の時はすべて返納して。勤務時間だけ使用する。

それだから釜山でも、事前にその銃の使用法などをすべて習い行かれたのですね？

はい、そこで学びました。

1カ月間？

はい、1カ月間か習いました。簡単に習いました、ただ。その人たちは時間が無いといってとても急いでしました。

その当時、捕虜監視員として行く時、月給はどのぐらい渡す。そういうことがあったではありませんか？

ありません。そこに行って、はい、家に送ってくれたのはあったようだ。それでそこではいくらもくれなかった。その時、その時は軍票を使用したから。臨時で使う軍票です。それを数枚、そんなのを持って市内を外出するとき使用した。家に連絡してみると日本のなに支庁でひとつ、ずっとくれたのはある。そこへ行った人たち。

どれぐらいくれたのか、分かりませんか？

それは分かりません。いくらをくれたのか、それは。

最初だけくれたのではありませんか、そうなら？

だから私がいた期間だけくれ、その後はくれなかったようだ。あとで帰ってか

ら聞いてみると。そこにいる時だけ。

きっちり出ましたか？

はい。出たといいます。毎月。それは出ました、数年間出ましたが、その後は出なかったそうです。日本が敗れて。その約束は、もう結局は戦争に敗れてダメになったようだ。私たちも送ってあげると言いました。3年ほどいて送ってあげると。なんだかんだと約5年いました。日本が敗戦し、そこで数年間、捕まって送った。

そこでどれぐらいの金をくれたかは覚えていませんか？そこへ行く前にお前たちいくら渡す、という話…

そんな金銭の話はしませんでした。金銭の話はなく、ただそこへ行き小遣いを家でくれて。あの部隊、釜山、そこへ行けば小遣いくれるだろう。そうすれば家に送り、どれぐらいもらったか知らないで、あとで手紙がきたのを読むと少しもらったみたいです。



留守名簿

もしや家でもらったものとか、それに関連する証書とかそういうのがひとつもありませんか？ 当時に受け取ったものは。

日本がそういうのを書いてくれたんですか？ 証書のようなものありません。家には分かりませんが。

そこに行っても貯金をされるとか、そんなことは1度もありませんか？

軍票でしたからそれは、日本の敗戦で無効になりました。それを使って

食べられなかった、ひとつも。

釜山まで、誰か連れて行きましたか？

日本軍人が。一種の軍人でしょ、彼らもいわば。軍人が連れてそこへ行くと全員すべて軍人でした。

車で行きましたか？

はい。車で行きました。群山から釜山まで、釜山からトラックでその部隊まで行きました。

パレンバンへ到着されてから食事など、捕虜監視員として生活した時は生活しやすかったですか？

ええ、そこではインドネシア¹²⁸⁾が、それを配達します。野菜などを配達する。部隊に、そうして私たちはそこで炊事班がつくり食べました。飯を炊き、特別なものはないがおもに野菜でキムチを浸けたり、煮て食べたりして。日本の奴が分配して持ってきます。インドネシアから私たちは受取り。そこで上手につくるひとがいました。炊事班で食事をつくるひと、上手だった。そいつがおもにつくった。

捕虜監視員で、炊事班に配置された人がまたいましたか？

はい、いました。捕虜監視員だから炊事する人がいなくてはね？ 食事を上手に作るのがひとりいました。それをさせました。そのひとがつくったものを日本人もいっしょに食べました。日本の奴は何人もいないから。

何人いましたか？

3, 4人しかいなかった、日本の奴は。

128) インドネシア人を指しているようだ。

その上の上級部隊はなんですか？

上級部隊は分かりません。いわば今でいうと一小隊じゃないかな一小隊。中隊はどこかにあるでしょう。大隊があり、でもそれは分からない。本部はシンガポールだし。

それは第7方面軍所属ですか、それとも南方軍？

南方軍ヤマモトイチロク¹²⁹⁾という奴、それが司令官、南方司令官です。そいつが、いうならばあれあるでしょ。そこの所属です私たちは。そのヤマモトイチロク、あの日本の奴。

それは一番上ではありませんか？ その下の中間はご存知ないのですね？

中間はよく知りません。私が知っているのは自家用、それがチェチェジ？ ヤマモチがいて、黄色の旗竿がはためいている。赤旗は領級で、青は少領、あ、少尉か？ その3つに分かれていたなあ。

階級の色が？

はい。階級の色。大将の色は黄色、そいつが通るときは日本の奴ら全員が敬礼する。黄色はひとりいるようだった。そして赤色は普通で大勢、そして青は少尉、今でいうと少尉、中尉とかになる。領級はいわば赤色。

トラックのようなところに旗をはためかせるのですか？

はい。すべてそうでした。そこに星がこうちゃんとして、旗に赤いのをつけていたから。それを見ると分かる、出て見れば。

129) ヤマモトイソロク（山本五十六；1884. 4.4. 1943.4.18）を指すようである。旧日本軍海軍で26、27隊連合艦隊指令艦長を歴任。

先生は、あれはありませんか？星とかなにの、軍服に似たのがあるでしょう？

はい、軍服はあります。捕虜を監視するのでそれをする時は、私もそうしていたが、日本が敗戦してそんなものもなく。軍属はただ軍属でただひとつだけあった。あれがひとつだけあった。星のような形でこんなして、布切れに軍属と書いてあるものもあるし。でもそれは必要じゃないでしょう。部隊は階級をみるのではなく軍属たち。日本の奴だけそうです。朝鮮人同士はそのままそんなものはしない。

では、その日本軍人にはどのように敬礼しますか？

しません、私たちは。

互いに敬礼はせずに？

はい、はい、しません。私たちはしません。軍人だけそうする。私たちは軍人たちに敬礼する、こう。敬礼は私たちがしなくてはいけない。むこうはしない、私たちの部隊にいるひとで小隊長とか下士のような人に敬礼します。

しなければ、たいへんなことになりますか？

たいへんなことになります。しなければ、上官が分からないか、と。今のことで上官です、私たちにとっては。こいつらが私たちを監視した、私達を。私たちは捕虜を監視し、あの人たちは私たちを監視する、また。

そうすると捕虜をちゃんと監視できないといって虐待し、そうではありませんか？

それほど厳しくしないが、厳しくはありません。ひとは何人もいないし。丁寧な言葉で捕虜の監視についてだけよく話しをして、捕虜の監視などをきっちりするように、と言いました。監視はしない、とくだん。そのことだけきっちりすれば。イスがあると座ってうとうとし、私たちは私たちで別にいるし。そこを行ったりきたりする兵卒がひとりいるでしょう？ その人たちが連絡にきて、明日

は何人がまたどこへ出る、ということや、捕虜監視でどこかで事故はなかったか、それを管理する。捕虜はあんなにも大勢いたけれど従順でした、おとなしい。絶対に、彼らも階級が別途あるから、そこでも。だからその言葉を聞かなくてはならない。命令は私たちが銃を持って中に入り1日ずつ回ります？ 部屋の中を。そこに行くくと敬礼をとてもしたり、全員みんな、捕虜が。いちおう捕虜は捕らわれて行ったから、とても従順でちゃんと聞きました。

その人たちは、食事はどのようにしていましたか？

彼らは各自、それも彼等がつくって食べます。

米などは誰が渡すのですか、日本軍ですか？

日本軍が全部渡します。日本軍が渡しますがどうしてもぱっとしません。そんなにたいしたものは。彼らはパンのようなもの、砂糖、こういうものが好きでした。それは配当されたようだ。そんなにはあげないけれど。飯もいわば粥のようにしてそれも食べたし。また果物などもあげるし。その配給はそうしてあげるが、量が足りていたか足りていなかったかは分かりません。適当だったか適当でなかったかは。でもどうしたってそうだったでしょう？ 彼らの生活は？ どんなにたいへんか？ 寝床もそのままでは特別には。寝台を板切れでつくった奴もいるし。

パレンバン収容所も大きな建物の中にありましたか？

建物ではありません。そこはヤシの木の葉のようなものですべて屋根をおおいました。屋根をおおって。正方形にきっちり建てた、その一角に。そして寝台を1台ずつこう両側に。真ん中をきっちりあげ、そこで私たちがひと回りする。寝台の彼らの行動を見て回る。

その収容所にいる人たちは、副食などを植えて食べましたか？

その、ありません。できません。

労働をさせたではありませんか？

労働は外に出かけてします。その中では特別にしません。埠頭に行つてなにかをするそういうのです。はい、それを運んで行きます、私たちが。埠頭で荷物を載せて運ぶそんなのをした。その中ではできません。捕虜には空き缶ひとつ持って行つてもダメだ。針金のようなもの。そいつらはそんなもので無線機もつくるし、あらゆることをしでかすからと、日本はさせなかった。彼らが持ってきたのであれば知らないが。ひとつひとつ寝台の中までどうすればいい。寝台に棒を置いている奴がいてもそのまま。大将といえどそいつは、一番、頭脳が、ここで少しなにかあれば、ここに大将を連れてきて、兵隊たちをずっとここで内部事情があります。でも、純粋に食べるもの、とれたものは互いにしてあげた。コリア、市内に行ったら少し買ってきて欲しい、と言って。ものは金が無いから。砂糖とかは私も幾度か買ってきてあげた、市内に行つて。砂糖が好きだから。コーヒー、コーヒーは安い。なんといってもそこは熱帯地方だよ。バナナなども安い。日本人にみつかるといけないから気付かれないようこっそりする。うん、ポケットに入れて、勤務の時に、こうあげると、とてもありがとう、と首を横にふつた。日本人に言つてはいけないと言うとオッケー、オッケーと言う。それで私はほんとうに悪いことはなかったです。

思い出すといちばんの苦労はどんなことでしたか？

刑務所のなかで空腹で。どれほど空腹だったか頭髮がどんどん抜けてひとつもなくなった。便秘もした。ビスケット2枚をビタミンの横に置いておいた。そいつを食べ回虫薬をひとつちょっと横に置いておいた。そして3時か4時になると粥を炊いてくれる。オカユ¹³⁰⁾といつて日本の奴の粥のようなのを。それを数匙食べて、そいつをビスケットを数枚置いておく。だから腹がへるでしょ、腹へらない？ 腹がへつてたいへんな目にあつた。腹もへつたが死ぬか生きるか、そ

130) オカユ (お粥) ; 日本式粥

れが問題だったそこでは。通訳官が赤い紙で名前を呼ぶ、青い紙で名前を呼ぶと問題にもならない。白い紙で名前を呼ばれるとそれを待ち焦がれ目がぐらくらします。通訳官をみてそれを聞いてみます。頭をちゃんと少し分かった、分かったと、通訳官がきっちりしてくれます。教えてくれる。

その通訳官は、日本人にこうして連行された朝鮮人でしたか？どんな朝鮮人でしたか？

朝鮮人です。どんな朝鮮人かは朝鮮語の上手な朝鮮人だよ。朝鮮人というのは間違いない。朝鮮語が上手だから。

パレンバンにいた時ですが、市内に行くときはトラックや車で出かけましたか、それとも歩いて行きましたか？

トラックで行きました。部隊にトラックがあるから。市内に出るときはトラックの後ろに乗ったりします。はい、それに乗って市内に出て降ります。どこかの場所で。そこで各自が慰安婦のところに遊びに行つて。たくさん遊ばせん。時間が制限されているから。きっちりしていて午前、午後。午前10時頃、11、9時頃に出かけると午後3時、4時にもどってくる、部隊に。市内に行くと日本の奴も会うことが多い。日本の兵卒たち。部隊がそこへ遊びにきている、慰安所。

その慰安所は何箇所にありましたか？

そこ2カ所しかありません。日本人と韓国人と。市内に軍人は別にいません。

パレンバンに出かけると、おもに何をしましたか？

おもに市内に出ても特別なことはありません。おもにバナナを買い、買って部隊で食べ。果物なども食べ。果物いろいろあってドリアンもあるしマンゴーといったもの。ヤシの木を見あげてそんな見物をして散歩します。

では慰安所にはどれくらい行きましたか？ 何回か一度行ってみましたか？

ふたりだけ会いました、おそらく。おもに慶尚南道、慶尚北道のひとがたくさん来ていました、女性は。話声を聞いてみるともう。

その名前を覚えていますか？

名前をどうして覚えていますか？ 芸名も知らない。そこへ行ってもよく教えてくれないし、朝鮮人、初めて会ったのは泣きじゃくりたいへんだった、数回行ってみると日本の奴らも大勢通っていた、そこは。そこで少し遊んでくる。あゝあれなんだ。日本の奴らがそれをたくさんする、注意を。それを使用しろと、なにに使用しろと。そんなことも教えてくれる。日本の奴らがたくさん来て。私はそこにいるとき多分数回行きました。

サック¹³¹⁾のようなものは？

そこでくれる。

誰がくれるのですか？

女性が。

女性が持っているのですか？

それ使用しろと部隊でもあげるし。出かけるとき、外出する時。それおもに女性の家には花柳病があるからときりに頼まれる。頼んで駄目なら仕方ないし、それは分かってすることで、そこまでは。そんなことは分かってすることで。

そこで病気になるとどこへ行きますか？

131) コンドーム

臨時病院があります。

病院の名前を正確に覚えていませんか？

覚えていません。臨時病院があります。臨時病院で治療しますが、大病にかかるとすぐ病院へ搬送するがどこへ連れて行くかは分からない。すぐにすぐに日本が電話して、エムビュランスその車がきて連れて行くがどこかの病院に。おもに陸軍病院が別にあるでしょう多分。

陸軍病院。第9陸軍病院というのを聞きませんでしたか？

聞いたことありません。そこで病気になったことがないのでよく分からない。

ところでその慰安所名を覚えていますか？

あ、名前知りません。

明月館って聞いたことがありますか、明月館？

明月館は軍事明月館で。そのようにつけていない、彼女たちは。私が知っているのは軍人慰安婦とだけ書いてあった看板に。

それではその家の構造はどうでしたか？

構造はまあ簡素です。部屋はそんなに猥雑ではありません。入るとひと部屋ずつになっている。入って行くとふたりだけが顔を合わせるように部屋になっている構造が。入って行くと門がひとつこうあり。

業者とか管理人もいなかったですか？

管理人はいません。管理する女性管理人はいます。でも探しはしない。

女性で管理するひとがいたのですか？

ええ、いました。はい、いました。

男性ですか、女性ですか？

女性。

女性ですか？年齢は何歳ほど…

年配です、その人は。

その人は年配でしたか？韓国人ですか？朝鮮人？

はい、朝鮮人。けれども業主のようだった業者、一種の。日本の奴が慰安婦を連れてくるが、そこについてきた奴を置いて行く。そのときなのか。管理して。男性はいるのか私は会わなかった。慰安婦として入ればいくらか渡すことになっている。そのまた今の金で1万円なら1万円、千円なら千円。それが女子のすべての収入になるのか、その彼女たちにも別にあげるかは分かりません。

そのお金を誰に渡すのですか？

その（慰安婦）女子たちに渡すでしょう。ですが女子がどうするか知りません。その軍票をどうするのか知らない。

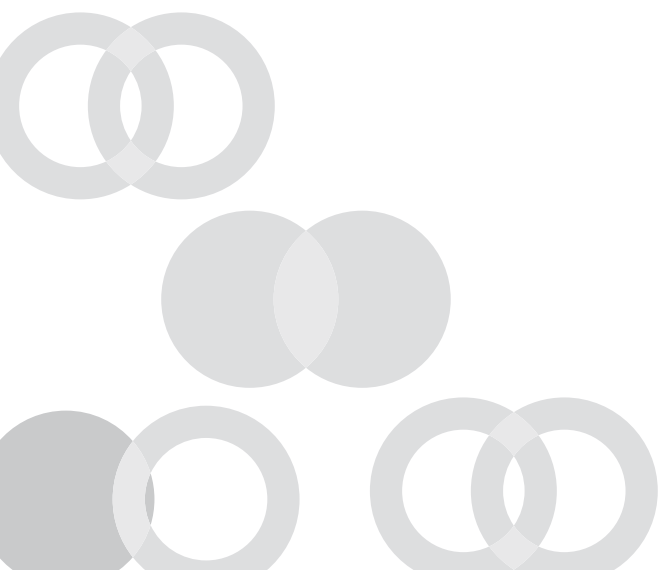
ひとは大勢でしたか？

軍人だけです、軍人、軍属だけです。

面談者__カン・ジョンスク調査官

録取者__キム・ミンヘ

検督/編集/注釈__イ・セイル調査3班長、カン・フィヨン/イム・ドア



解題

戦争を経験していない新世代に戦争は歴史の教訓として教育される。教科書は戦争を教えることによっておもに平和の貴さを感じ取らせようとし、平和教育の場として戦争記念館などが建てられることもある。一方、個人が個人に戦争を語るときそれは次元のこととなる話となる。個人的な体験としての戦争話は“苦労”という単語に集約される。口述者の話の中で、倭奴は悪者であったし彼らはその悪者のために苦労した。戦争経験を話すことで人々はどれほど苦しい時代を生き抜いてきたかを次の世代に知って欲しいと願うと同時に、自己の微弱な現在の姿を正当化させようと思うかもしれない。

過去に経験した事実について口述は、歴史が過去と現在の際限ない対話であることを確認させてくれる行為である。個人の経験が言葉で語られ文字に記録されながら、現されていなかった事実を明らかにする口述は、歴史がつくられてゆく過程をみせてくれる。「日帝強占下強制動員被害真相糾明委員会」は、国権を失った時期に植民地人として経験した戦争被害の内容を、政府次元で明らかにする作業をおこなっている。このような委員会の調査活動で生存者に対する口述調査は、強制動員被害の真相を糾明する過程において極めて重要な意味をもつ。収集された口述調査結果は、一次的に被害事実の確認と真相調査の推進のために使用される。生存者の口述は時として、文献資料がもつ権威に対して疑問を提起し、文献資料に現れない貴重な事実を確認させてもくれる。しかしまた逆に彼らの記憶を呼び起こす媒介として文献資料が使われることもある。日本の

軍隊史、戦争史、わが国の植民地史に関する資料に口述を追加することにより、口述が既存の歴史を一層豊かなものにする可能性を示してくれる。更に被害事実を立証する文献資料等の明確な記録がない場合、当時の状況の直接体験者、目撃者等の証言は貴重な証拠資料としての価値をもつ。

生存被害者の口述は生々しく具体的である。彼らの生々しい体験談は、既存の文献資料に明らかにされている事実の再確認だけにとどまるものではない。うずもれている生存者の経験を明らかにすることにより私たちは生存者の記憶に社会的な意味を付与し、文字に記録されていない個人の過去を私たち全員で共有できる公的な記録に転換する方式でもっともうひとつの歴史を創造することになる。同時に口述は、普遍的な社会価値と人間性を守るため、人類に痛みを与える歴史の輪を絶って共生のための新しい歴史を築かねばならないと力説する。

1. 日帝下朝鮮人軍属の性格

日帝は1931年の満洲事変につづいて1937年、中日戦争をひき起こし大陸への侵略を本格化させ、1941年には太平洋戦争をおこして南太平洋地域に及ぶ侵略戦線をいっそう拡大させていった。このような過程で戦争遂行のために膨大な物的・人的支援を当時の日本の植民地と占領地から動員していった。

朝鮮に対する植民支配の維持を日本自らの防衛と生存の必須条件と見なした日本は、基本的な植民支配政策として同化主義を選んだ。それにも拘らず植民支配の初期、現地人で編成された部隊を秩序維持に投入しなかった。代わって日本人のみで構成される徴兵軍隊を植民地常駐軍隊として駐屯させた。このような事実から推量すると当初から日帝の同化政策は、朝鮮人を積極的に日本人化するよりは帝国主義的植民支配を隠蔽するための手段であったと見られる。しかし1937年にはじまったいわゆる支那事変により日本の軍兵力動員が限界に達するや、兵力補充の方便として1938年に陸軍特別志願兵制度の導入を図った。翌1939年には朝鮮人を軍属として動員を開始した。日帝は戦争を遂行する

過程で兵力ではない準兵力にも朝鮮人を動員し、多様な形態の朝鮮人出身軍属が存在した。したがって朝鮮人軍属が、日本軍部隊内でどのような役割を遂行し、その性格がいかなるものであったかについて綿密な検討が必要とされる。

一般的に軍属は「軍務員」という旧用語で、陸・海軍に従属する文官、文官待遇者、雇員・傭人等「軍属誓書」または「軍属独法」による服務する者の総称である。要するに軍隊構成員として陸・海軍に服務する軍人以外の者を軍属という¹³²⁾。

軍属は文官、雇員、傭人に分類される。文官はふつう文官、教官、技術官、法務官、監獄官、通訳官等の種類に分れ一般官庁と同様に高等官、判任官に区別される。陸軍の場合、技術官の一部、法務官はのちに法務部将校に命じられた。「軍属誓書」または「軍属独法」により陸海軍に服務する者は属、嘱託員（専任、臨時）、雇員及び傭人¹³³⁾に区分され、これらは同じく軍属に含まれる。

戦争中に陸海軍の要求により作戦地で船舶運航に従事した船員は身分上、陸軍または海軍軍属扱いとなる。飛行場設営隊員、女性タイピスト、司令部と契約関係にある調理師、理髪師、野戦郵便局勤務軍属もある。

軍属を軍との契約関係ではなく仕事の性格により別途に分類する場合もある。金英達は通常、軍属に分類されていた捕虜監視員と海軍設営隊を併せて兵力動員次元の準兵士とみなしており、その他の軍要員を労務動員次元の軍属とみなしている。単純に仕事の性格だけをみるとき、軍属は労務者との差異が見受けられない場合が多い。したがって被害者達の証言では労務動員と軍属動員とが明確に区別されない事例がみられる。また労働力動員の初期段階から軍属が動員された点も、被害者の意識に軍属と労務動員の境界をあいま

132) 鄭惠瓊、朝鮮人強制連行、強制労働1：日本編、ソニン、2006、p.221

133) 雇員の辞典的意味は官庁等における正規でない雇用により事務等に携わる者であり、アジア歴史資料センターの資料を中心に検討してみると、第二次大戦当時、日本が雇員や傭人を別途に分類した法令等は作成されていない。傭人は軍の各組織が個別的に採用した非軍人をさし、工廠（旧陸海軍に直属して武器、弾薬等の軍需品を製造した工場）の工員や調理師、理髪師、洗濯夫、守衛、小使い、給仕、馬丁、消防夫等をいう。

いにさせる部分であるとみられる。結局、軍属の辞典的意味、法的解釈の是非ではなく、彼らが遂行した業務は、人間の営みに必要なあらゆる種類の仕事とみなして支障ないであろう。

2. 朝鮮人軍属の強制動員

朝鮮人軍属は、民間企業や炭鉱に動員された者たちと同じ様相の直接募集方式、或は官斡旋及び徴用による事実上の強制動員が多かった。募集、地域割り当て及び国民動員令による強制的な形態の動員、現地調達等の方式があったが、おもに募集、官斡旋、徴用の3分類とするのが一般的である。海軍軍属名簿をみると採用・徴用を区分し表わしているが、入職日と動員地域が同一であっても採用と徴用に区分されている。すなわち動員方式としての募集と徴用が時期別に明確に区分されずに混在していたのである。また大多数の場合に徴用・採用の可否を表記していない。一般的な分類では次のように時期別でも動員方法に分けられる。

- ◎「募集」 1939 (昭和14) 年9月～1942 (昭和17) 年1月
- ◎「官斡旋」 1942 (昭和17) 年2月～1944 (昭和19) 年8月
- ◎「徴用」 1944 (昭和19) 年9月～1945 (昭和20) 年8月

朝鮮人軍属動員は1939年満洲への動員がその始まりである。毎日新報1939年2月4日号には「全羅南道で関東軍司令部の委嘱により朝鮮青年軍属50名を募集し光州、木浦、順天3箇所ですば簡単な試験と身体検査をおこない応募者は所管官庁警察署に志願。小学校卒業程度で国語に習熟した身体健康な者」と報道されている。しかし大蔵省管理局資料を引用した金英達の著書には、1939年満洲に動員された朝鮮人軍属は145名とあり、それからすると同種類の動員は他の地域にもあったとみられる。すでに太平洋戦争の勃発前から陸軍省は朝鮮人を軍属として動員し、1941年を境に大幅に増加した。

1942年7月8日号の毎日新報には「多数半島青年を海軍軍属として採用し現地に派遣することとし、7月中旬に朝鮮各道で銓衡を開始・国民徴用令の発動に併せて、国家においては半島民衆に軍事に直接貢献できる榮譽ある機会を与えることとなった。海軍当局の要求によって多数工員を朝鮮各道において銓衡したのち海軍軍属として時局下緊用なる土木作業に従事せしめることとなった」という記事が登場する。同日、銓衡についての記事には「海軍当局の要求によって多数工員を全鮮の半島青年の中から銓衡し海軍軍属として現地に派遣することとなり、17日総督府情報課においてその内容を発表したのが今月中に朝鮮各道において嚴重に銓衡することとなった。」と報道し、7月19日総督府発表銓衡日程には、資格条件が「(韓)国語会話が可能な19歳～40歳までの男子」となっている。以降、1943年3月に実施された南方軍属募集には1週間で4千名が応募したと伝えられている。

〈表1〉 朝鮮から送り出された軍属の数

年度	日本国内	朝鮮内	満洲	中国	南方	合計
1939	-	-	145	-	-	145
1940	65	-	656	15	-	736
1941	5,396	1,085	284	13	9,249	16,027
1942	4,171	1,723	293	50	16,159	22,396
1943	4,691	1,976	390	16	5,242	12,315
1944	24,071	13,575	1,617	294	5,885	45,442
1945	31,603	15,532	467	347	(9,897)	47,949
総数	69,997	33,891	3,852	735	36,535 (46,432)	145,010 (154,907)

*朝鮮人強制連行研究（2003、金英達、明石書店）再引用、原資料：大蔵省管理局

大蔵省管理局資料を引用した資料には1945年南方に連行された数字が不明確だが、1953年日本政府発表資料には軍属数が154,907名である点に照らして表を再構成した。第86回帝国議会説明資料によれば1944年9月末まで8万8241

名の朝鮮人軍属が動員されうち国民徴用令による者は3万1783 名である。これを根拠にすると、朝鮮で国民徴用令が一般の労働者に本格的に適用されたのは1944年からであるが、その前段階の1942年1月（会計年度 1941年）から軍属動員に徴用が適用されたとみる見解がある。1942年10月には、日本国内居住の朝鮮人にも国民徴用令が発動され、軍属として海軍直轄作業場の土木建築労務に動員された。国民徴用令は1939年7月15日に施行され（勅令第451号）、日本ではすでに全面適用されていた。一方朝鮮では1939年10月1日に施行されたが全面適用ではなくおもに軍属等の一部に限定的に適用されていた。

〈表2〉1940—43年の軍属送出状況 徴用の比率¹³⁴⁾

		日本	朝鮮内	満洲	中国	南方	合計
1940	総	65		656	15		736
1941	総	5,396	1,085	284	13	9,249	16,027
	徴用数	4,895					4895
	比率	90.7%					30.3%
1942	総	4,171	1,723	293	50	16,159	22,396
	徴用数	3,872	90			135	4,097
	比率	92.8%	5%			0.8%	18.2%
1943	総	4,691	1,976	390	16	5,242	12,315
	徴用数	2,341	648				2,989
	比率	49.9%	32.8%				24.2%

朝鮮人軍属中の陸海軍の個別命令によって1941年9月以降、南方の土木作業に斡旋・送出された海軍愛国作業団員3万2228名と陸軍の要求による北部軍・經理部傭人7,061名、及び捕虜監視員4223名、運輸部傭人1,320名等が目される部分である。その派遣地域は日本国内、満洲、中国、南洋等に広く分布して

134)「昭和19年 第86回帝国議会説明資料」、民族問題研究所編、2001、「日帝下戦時体制 期政策史料叢書」第23 巻、303頁

いる。朝鮮人軍属の動員は1944年以降拡大された。「大蔵省日本人の海外活動に関する調査—朝鮮・篇第9分冊」及び「第85回帝国議会説明資料」によれば1939年から1945年に至るまで軍属（軍傭人）の連行数は145,110名に達し、戦後厚生省の第2復員局の集計によれば1941年以降の動員数は陸軍7万424名、海軍8万4483名であり合計15万4907名に達する（「在日朝鮮人の概況」1953）。しかしこの数は推定値にすぎず実際の数字は更に多かったとみられる。

〈表3〉1953年3月当時 朝鮮人陸海軍軍属の復員現況

陸軍 軍属 (70,424)			海軍 軍属(84,483)			
死亡	不明	復員	死亡	未帰還	復員	復員展望
2,992	20,674	46,758	6,971	117	60,539	16,836

戦争が長期化して総力戦の様相をおびると国家総動員法により働ける者全員が動員されるようになる。戦線の拡大と戦況の悪化にしたがい兵士の数が不足してくると兵役義務年齢を17～45歳にひろげ戦場へ動員していった。元来、徴兵通報用の「召集令状」は赤い用紙を使用したので「アカガミ（赤紙）」といわれた。「アカガミ（赤紙）」による召集は兵籍原簿から画一的に選出されたため、熟練技術者や研究者達も無差別的に戦場に送られて工業、農業の生産力を甚だしく低下させた。

〈表4〉召集令状区分

アカガミ（赤紙）	充員召集 臨時召集
シラガミ（白紙）	演習召集 教育召集 国民兵召集 簡閲点呼 ¹³⁵⁾
アオガミ（青紙）	防衛召集

135) 簡閲点呼は在郷軍人下士兵卒の1日入隊をいう。連隊軍司令部から各市郡に定められた場所で毎年行われる。参加者には通知され軍人勅諭奉読訓示・学科・実技訓練がある、分会ではこの演習をする。

徴兵によって欠員になった熟練労働者の場所を「学徒動員令」¹³⁶⁾によって国民学校高等科以上の学生達を動員し埋めていった。この召集令状を「シラガミ（白紙）」という。また22～35歳の独身女性も「シラガミ（白紙）」召集を受けて工場等で働くようになり女子勤労挺身隊、女子勤労報国隊がこれに相当する。したがって軍属または準軍属はアカガミ（赤紙）徴集以外のシラガミ（白紙）徴集の形態をおび戦争遂行において国家と一定の身分関係をもった人たちが多い。

戦場や占領地内の施設建設等は敵軍の攻撃や現地人の抵抗にあう危険が日常的にあり、民間人の労働力では遂行できない部門であった。しかし日本軍は施設を建設するために別途の兵力を編成しなかった。したがって戦闘員としての訓練を受けずに武器も所持しない軍属によってこの部門が遂行された。朝鮮人、台湾人またはアジア各地の現地人が強制連行・強制労働等の形式でこの部門を担当し、軍属が兵士とともに戦闘に参加することになった例も多い。そのため軍属の死亡率は軍人の死亡率よりも高くなっている。

〈表5〉韓国（朝鮮）出身軍人軍属死亡率

	徴兵 徴用	復員	死亡者数	死亡率(%)
韓国（朝鮮）人軍人	11万6294	11万0116	6178	5.3
軍属	12万6047	11万0043	1万6004	12.7
計	24万2341	22万0159	2万2182	

（1990年厚生省発表に基づき日本の戦争責任を確実にする会 作成）

136) 中日戦争の拡大により不足した農村、工業等の労働力不足を補充するため学生を強制動員。1938年（昭和13年）6月文部省の「集团的勤労作業運動実施ニ関スル件」の通達により中学校以上で夏休みを前後に3～5日の勤労作業がはじめられた。1941年（昭和16年）8月文部省は各学校に「学校報国隊（団）」を組織し軍事上の要請にしたがって学生を勤労に動員しうる体制を整えた。1943年（昭和18年）6月閣議は戦力増強のために本格的に軍需工場動員と軍事訓練の徹底を図った。1944年（昭和19年）には中学校以上の学生は男女を問わず授業が停止となり軍需生産、食糧増産、防空防衛に動員された。1945年（昭和20年）7月に動員数は430万名を超え軍需生産の中心となったが、労働力の低下は免れず一般工員との摩擦等の問題が発生した。

3. 日本の戦後軍属補償

植民地朝鮮出身強制動員被害者達が日本の戦後補償から排除されたのに反し、日本人軍属達は戦争後、「国のために公務により殉国した軍人軍属に対する国家補償」がなされる。そして補償を前提とする法的な定義がくだされたが、援護法と恩金法がすなわちこれである。

日本の恩金法、援護法で軍人、軍属は国家と使用関係または国家と特別な関係にあることに基づき極めて厳格な条件を前提に定義される。戦争犠牲者に対する援護政策が軍人、軍属を中心に制定された根拠は、戦争遂行主体者の責任側面から被害補償を行うという論理である。

〈表6〉日本戦傷病者 戦没者 遺族等 援護法上 軍属 及 準軍属¹³⁷⁾

軍 属	陸海軍部 内 有給軍属	陸海軍部内の有給の嘱託員、雇員、傭人、工員、鉱員などで、戦地等で勤務した者等
	日本赤十字社 救護員	日本赤十字社により陸海軍に属して戦時衛生勤務に従事した救護看護婦、救護医員等
	配属 雇傭人	従軍文官以外の雇・傭人で陸海軍に配属され戦地等で勤務した者
	船舶運営会 船員	国家総動員法により設立された船舶運営会社に所属し、軍の代行機関として軍務に従事した乗組船員等
	満鉄軍属	陸海軍の指揮監督により軍務に従事した南満州鉄道(株)等の国策会社の職員等

137) www.pref.gunma.jp

準 軍 属 ¹³⁸⁾	被徴用者等	国家総動員法に基づき総動員業務に従事した者
		・国民徴用令、船員徴用令等により徴用され、国の行う総動員業務や政府が管理する工場等の総動員業務に従事した者等
		・軍需会社法により指定された軍需会社の従業員及び現員徴用者等
		・学校報国隊員、女子挺身隊員、国民勤労報国隊員等
	戦闘参加者	陸海軍の要請に基づいて戦闘に参加した一般邦人等。 (沖縄などにおいて、軍の要請により物資の運搬などの軍事行動に参加した者等)
	国民義勇隊員	閣議決定により組織された国民義勇隊の隊員として陣地構築作業及び疎開作業などに従事した者等
	満州国 開拓要員	閣議決定により組織された満州青年移民、満州開拓青年義勇隊員、義勇開拓団員として関東軍の指揮のもとに陣地構築等の軍事に関する作業に従事した者等
	特別未帰還者	終戦後、ソ連軍により連行され強制労働に従事させられた一般邦人等
	日本国内 勤務軍属	戦地及び事変地以外の地域において陸海軍部内の有給軍属として勤務に従事したが、陸海軍の共済組合員として処遇されなかった者等
	防空従事者	防空法に基づき組織され、または地方長官の命を受け、防空業務に従事した防空医療従事者、警防団員 ¹³⁹⁾ 、学校報国隊防空補助員、防空（船舶）監視隊員等

もともと戦争前に恩金法の対象である戦死者、戦傷病者（軍人、軍属）を中
心とする法である援護法がもつ特徴は、恩金法と異なり改定によって準軍属の

138) 法令または命令等により軍属がおこなう業務の補完的業務に従事する者

139) 警防団：戦時体制下民間の消防や防災、防空のために組織された団体。1939年（昭和

14) 年結成・47年廃止。

範囲を拡大してきたという点にある。そうして対象を限定的ではあるが民間人戦争犠牲者に対する補償機能をするようになる。重ねていえば戦争遂行時には軍属として扱われていない人たちがそれ以降、新たに軍属として待遇を受けることになったのである。しかし援護法の準軍属に対する補償は、戦争による被害を根拠とするのではなく軍属に準ずるという点を根拠とし、国家との特別な関係をもった人たちのみを対象とした。

日本の戦後戦争犠牲者に対する援護政策は軍人、軍属を中心に制定された。そしてその根拠は国家が彼等に戦争という違法行為を遂行させて積極的に彼らの生命、身体を危険に陥れ被害を発生させたことに対して戦争主体の責任側面から被害を補償するというものである。そのため戦後、旧日本軍軍属は新たに定義され、そのような補償の対象から植民地韓国（朝鮮）人出身は排除された。結局、日帝によって強制動員され戦地で凄惨にも生命をおとした韓国人であれ、労役させられ九死に一生をえて帰還した韓国人であれ日本政府からいかなる補償を受けられぬまま恨みだけを胸に抱いたままひとりふたりと他界した。

4. 口述集の構成及び内容

口述集は期間中に生存者調査を通じて収集された15名の口述記録で構成された。口述者15名の地域別動員現況をみると日本へ動員されたひとが8名、中国地域へ動員されたひとが3名、南方へ動員されたひとが4名である。軍属動員を類型別にみると日本地域へ動員された場合、全員が陸海軍工員である。南方へ動員された場合、海軍軍属は工員、陸軍軍属は捕虜監視員に該当する。中国地域へ動員された3名は全員陸軍軍属である。この中で日本へ動員された金永元ハラボジは、軍属に動員され1ヵ月未満で軍人として動員された多重動員被害者である。また金済斗ハラボジは、1941年に軍属として動員され1945年8月10日に軍人に動員された多重動員被害者であると同時にソ連軍の捕虜になったひとである。戦争終結後も収容所に抑留され労役に従事して1948年2月にな

って帰還することができた。

<口述者別動員現況>

姓名	出生 年度	本籍	動員 年度	動員類型	動員場所	備考
孫永權	1924	京畿 長湍	1942	陸軍 工員	日本 名古屋	
金永元	1923	忠南 舒川	1945	陸軍 工員 陸軍 警備兵	日本 大阪 ソウル 汝矣島	多重被害
金元逸	1921	京畿 漣川	1944	陸軍 工員	日本 埼玉	
柳鍾雲	1922	全北 高敞	1942	海軍 工員	日本 佐世保	
薛仁奎	1921	ソウル 鍾路	1943	海軍 工員	日本 呉	
朴魯英	1927	忠南 燕岐	1945	海軍 軍属	日本 沼津	
李長民	1923	全北 完州	1943	陸軍 工員	日本 大阪	
張昌權	1930	慶南 統営	1944	海軍 工員	日本 群馬	
朴成春	1915	全南 務安	1943	海軍 工員	トラック	
金濟斗	1925	済州北済州	1941	陸軍 傭人	満洲	ソ連軍 捕虜
裴英虎	1927	釜山	1945	陸軍 傭人	中国	
金壬用	1922	慶南 昌原	1942	陸軍 傭人	インドネシア ジャワ	捕虜監視員
黄鍾大	1919	全北 錦山	1942	海軍 工員	ラバウル	
金顯沂	1922	慶南 統営	1942	陸軍 警防手	満洲	
金甲天	1922	全北 群山	1942	陸軍 工員	インドネシア パレンバン	捕虜監視員

孫永權ハラボジは、1924年生まれで徴兵1期生にあたる。京畿中学校で勤務中に徴兵検査を受け、第1補充役判定を受けた。このことにより軍隊に行かなくなったが当時の京畿中学校校長の仲立ちで名古屋陸軍造兵廠へ動員された。熱田製造所で航空機部品をつくる仕事に従事し、岐阜県で解放を迎えた。帰還途次、台風にあい対馬島で停泊して釜山に帰還した。

金永元ハラボジは、1932年に忠南舒川郡舒川面で出生した。1944年舒川面

事務所の嘱託職員として勤務中に徴兵検査を受け軍人として動員され待機中であつた。本来の年齢であれば徴兵検査対象者に該当しないが、父母が誤って出生申告したため徴兵検査を受けたとのことである。徴兵検査後、軍人として動員されるものと予想したが軍属令状を受けて大阪軍需工場に動員された。しかし大阪に到着して1ヵ月足らずでふたたび軍人令状を受け、汝矣島飛行場空軍部隊哨所警備兵として服務中に解放を迎えた。

金元逸ハラボジは、1921年に京畿道漣川郡金谷面で出生し動員された当時、ソウルに居住していた。1944年12月頃、現在の桂洞現代本社のある場所にあった朝鮮共栄株式会社に勤務中、召集令状を受け軍属として動員された。陸軍被服廠埼玉支廠で服務中、解放を迎え釜山に帰還した。

柳鍾雲ハラボジは、1922年11月に全北高麗郡新林面で出生した。国民学校卒業後、家で農業に従事し、1942年11次徴用工員として動員された。2年契約だったが1年延長となり日本敗戦時までいて、中間に休暇で帰郷したことがある。長崎県佐世保市の相浦海軍基地建設作業に服務中、解放を迎え帰還した。

薛仁奎ハラボジは、1921年9月にソウル鍾路区で出生した。日雇い労務者として建築の仕事の1943年に通知書を受け動員された。当時、婦人は妊娠中だった。当初、2年契約の通知を受け呉海軍鎮守府等で海軍宿舍建築、地下壕建設の仕事に服務した。地下壕建設作業中に腰を負傷し治療を受けている。いっしょに働いたひとの大多数は南洋群島に動員されたが日本語が分からないという口実で南洋群島動員から除外された。解放当時は大阪にいて1942年6月頃、下関を経由し釜山に帰還した朴魯英ハラボジは、1927年3月に忠南燕岐郡全東面に出生し、1945年1月頃に日本の沼津にあった123施設隊に動員された。動員当時はソウルで母、結婚した兄夫婦と暮らしていた。令状を受け麻浦区庁に集結し釜山から博多を経て日本に行った。以後、おもに軍需工場で使われる地下壕建設作業に服務し、戦争末期には軍事訓練も受けた。解放はその2日後に知り、部隊長から渡航証明書をもって下関から乗船しようとしたが乗

れず仙崎に行ってそこから釜山に帰還した。

李長民ハラボジは、1923年11月に全北完州郡参禮邑で出生した。1943年9月頃に大阪陸軍造兵廠に動員されおもに鉄工の仕事に従事した。動員当時に貯蓄した金を帰還後、全州市長を通じて取り戻したという特異な証言をしている。解放前の1945年8月13日、14日頃に解放になることを知ったと語っている。1945年10月頃に帰還してから鉄工、建築等の仕事に従事した。

張昌權ハラボジは、1930年に慶南通営郡蛇梁面良地里で出生した。蛇梁初等学校6年在学中、級長から行かなくてはならない、という担任教師の勧めにより動員された。1943年5月頃に鎮海51航工廠に少年工員として入所、訓練を受け同年12月に群馬県中島航空機に配席された。51航工廠に少年工員として志願した記録は現在も学籍簿に残っている。中島飛行機ではおもに飛行機のエンジンの組み立てに従事した。解放後、長崎から乗船し鎮海を経て帰還した。

朴成春ハラボジは、1915年6月に全南務安郡清溪面で出生した。1943年6月頃に南洋群島トラック（現在名チュオク）島へ動員された。日本の地名で夏島（Tonoas Island）、水曜島（Tol island）等で飛行場設営作業に従事した。解放後も帰還できずそのまま留まり1946年1月に日本芝浦で解員後、帰国した。

金濟斗ハラボジは、1925年9月に済州北済州郡は涯月邑で5人兄弟の末っ子として出生した。涯月国民学校卒業後、日本に行き東京無線高等通信学校を修了した。その後、新京飛行場に配属され、朝鮮第2航空軍第4航路部満洲第12914部隊所属傭人として服務した。それ以降、凶們飛行場等に転属し労役させられ1945年8月10日、軍人として徴集され待機中にソ連軍と日本軍の戦闘の情報に接した。そしてソ連軍との戦闘に参加し、日本の降伏宣言以後、ソ連軍の捕虜となった。ソ連軍捕虜所で抑留され1948年になって帰還した。

裴英虎ハラボジは、1927年3月に釜山凡一洞で出生した。釜山で父親が運営する会社職員として勤務中に動員された。憲兵に引率され釜山駅から汽車で浦口を経て南昌に配置された。中国派遣軍第6方面軍直轄部隊の傭人だったが軍

人とともに戦闘に参加した。戦争が終わって上海を経て帰還しようとするが、南京兵站司令部の指示により天津から乗船し1946年5月、仁川に帰還した。

金壬用ハラボジは、1922年11月に慶南昌原郡内西面で3男1女の長男として出生した。城湖普通学校卒業後、里長、面長の督励で動員された。1942年6月から釜山西面野口部隊で訓練を受け同年8月、インドネシア・ジャワの捕虜監視員として配属された。日本の敗戦後、戦犯裁判でかけられ帰還が遅れた。1947年2月に日本宇品で解雇後、故郷に帰還した。

黄鍾大ハラボジは、1919年8月に全北錦山群錦山邑で出生した。1939年に志願兵動員から逃れようと満洲へ行くが1942年、父危篤の知らせで帰郷し軍属として動員された。ソロモン群島、ラバウル等で飛行場設営作業に従事し脱肛症等を発病した。その後、呉で治療を受け1943年秋に本籍地に帰還した。ふたたび動員をすすめる警察を逃れて満洲へ行き、新京の宝山百貨店、満洲生命株式会社、興農産業株式会社等で勤務した。戦争末期に満洲から撤収する日本軍と行動をともにして奉天で解放を迎えた。

金顯沂ハラボジは、1921年1月に慶南統営郡長木面で出生した。早くに家族と離れソウルで苦学し学業をおえた。その後、仁川の会社で勤務中に軍属令状を受け動員された。1942年6月頃に動員され、関東軍経理部チチハル出張所785部隊の警防手として配属された。戦争末期にソ連軍捕虜となり一時抑留されるが釈放され奉天、新義州を経由し本籍地に帰還した。

金甲天ハラボジは、1922年4月に全北群山で出生した。家庭事情で中学校を中退し日本人の商店で店員として勤務中、義兄の勧めで捕虜監視員募集に応募した。軍隊へ行くよりはましだとの考えで群山から200余名とともに動員された。1942年6月に釜山西面野口部隊で訓練を受け、同年8月頃にインドネシア・パレンバン捕虜収容所に配属された。日本の敗戦後、戦犯裁判にかけられたが1945年秋、故郷に帰還した。

委員会発足後、2005年1月から被害申告の受付を開始し2006年末までの2次にわたる被害申告受付期間中、国内外の各地から総22万余件の被害申告を接

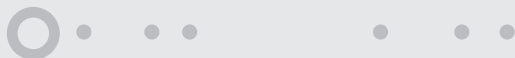
受した。このうち日帝強占期旧日本軍軍属として動員された被害申告は26,638件に及ぶ。被害申告接受件数中、生存者は52,600名、軍属動員被害の生存者は6,894名に達する。

これらの生存者に対する口述収集作業は、戦時体制が日常生活を支配した日帝末期の状況を記録として残す歴史的・社会的意味をもつものである。同時に日帝時期という大きなタイトルでは現わされなかった個別の事例は、当時の状況を生々しく再現し歴史が遠い事象ではなく今日、私たち隣人のことであることを思い起こさせてもくれる。遺憾なことは、強制動員被害生存者達が80歳以上の高齢者であるため健康状態や記憶力が徐々に衰えており、申告を接受してから生存者数は減少し続けていることである。

本書の刊行目的はこのように消え去りゆく歴史を復元するために口述を記録し、その内容を多数の皆様と分かち合い強制動員の歴史に対する理解を高めることにある。よって録音を起こし、説明を付ける過程で口述資料を補い付記した点を明記したい。口述者達の御協力と尽力により委員会が、軍属として動員された強制動員被害生存者の歴史に新たな位置を占めるこの成果を刊行するのはこびになり心より感謝の意を表します。

日帝強占下強制動員被害真相糾明委員会 調査2課

イ・セイル カン・フィヨン



翻譯・最終監修者

日本語翻訳

日本語翻訳協力委員会

曹貞烈

最終監修

崔永鎬 choiygho@ysu.ac.kr

靈山大学 教授. 東京大学国際関係学博士(Ph.D)

日帝強制動員真相糾明委員会委員, 在外韓人学会/韓日民族問題学会会長

主要著書: 《韓日関係の流れ 2017-2018》, 《日本人世話会》,

《現代韓日関係社》, 《在日韓国人と祖国解放》



日帝強制動員被害者支援財団



写真出处：国立日帝強制動員歴史館所蔵、日帝強制動員被害者(シンガポール)の朴綺萬寄贈、
「第101設営隊軍属動員団体写真：地下足袋をはいた土工員たち」(所蔵番号：000058)